

令和2年度

アニュアルレポート 年報



独立行政法人国立病院機構

京都医療センター

National Hospital Organization **Kyoto Medical Center**





序 文

京都医療センターのアニニアルレポート令和2年度版をお届けいたします。

この年度、新型コロナウイルスの世界的流行に伴い、日本では2回の緊急事態宣言（京都では4月16日～5月25日、令和3年1月13日～3月21日）が発令されました。病院では病床や医療物資が不足し、社会では新しい生活様式としてのテレワークや「3密」の回避が広まり、スポーツ界では試合の中止や延期が相次ぎました。9月16日には菅義偉総裁が安倍首相の後任として第99代首相に就任しました。将棋界では藤井聡太七段が7月に棋聖、8月に王位を獲得し、史上初の10代二冠を達成しました。12月には小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウから帰還し、日本の宇宙探査の技術力を世界に知らしめました。海外では、香港で6月30日に国家安全維持法が施行、一国二制度の下での高度な自治は形骸化して民主活動家が逮捕されました。ミャンマーでは2月の軍事クーデターによりスー・チー国家主席が再び軟禁されました。またアメリカでは大統領選挙でバイデン前副大統領がトランプ大統領に勝利し、1月に第46代大統領に就任しました。

当院では軽症から重症のコロナ患者さんの診療を積極的に行うため、4月に1－8コロナ病棟整備（自動ドアと監視カメラ設置、シャワー室整備等）、外来患者隔離室（1階発熱外来）設置、7月に陰圧化設備設置（1－8病棟、救命救急センターHCU、外来患者隔離室）、PCR検査機器等整備、8月に病院入口サーモグラフィーカメラ設置、外来受付時間の変更、2月に紫外線照射照明設置を行いました。職員の新型コロナワクチン先行接種は2月3月に行われました。働き方改革に対する取り組みとしては、会議・委員会の見直し、時間外業務の変更（内科当直と外科当直の一本化など）、電子カルテ（内視鏡を含む）音声入力システム導入を行いました。また7月に外来採血室新システム導入、9月にMRI-超音波融合画像診断システム「Biojet」導入、12月に薬剤部アンプルピッカー設置、1月に眼科OCTアンギオ装置設置、3月には外来トイレ全面改修を行いました。一方、令和2年度の経営は新型コロナウイルス流行のため非常に厳しく、医業収支は13億9千万円の赤字、経常収支は4億5千万円の黒字でした。

当センターがこの街の医療をささえる病院として十分に役立っていくためには、職員一同の日々の研鑽に加えて地域の皆さまのご支援が必要です。今後も益々ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

院長 小池 薫

京都医療センター診療年報 目次

序文	1
京都医療センター診療年報 目次	2
京都医療センターの理念	4
概要	5
京都医療センター 組織図	14
京都医療センター 幹部職員	15
職員の状況	16
診療実績(年度別統計)・入院外来・診療実績	18
総合内科／総合診療科	21
膠原病・リウマチ内科	23
血液内科	24
内分泌・代謝内科	25
糖尿病センター(糖尿病内科)	35
腎臓内科	43
腫瘍内科	46
精神科	48
脳神経内科	50
呼吸器センター	53
消化器内科	57
循環器内科	65
小児科	77
外科	79
整形外科	87
形成外科	91
脳神経外科	93
血管外科	96
心臓外科	98
皮膚科	101
泌尿器科	103
産科婦人科	107
緩和ケア科	113
眼科	116
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	119
麻酔科	121

放射線科	123
総合リハビリテーション科	129
歯科口腔外科	130
救命救急センター(救命救急科)	133
健診センター	138
臨床研究センター	144
遺伝診療部	152
医療安全管理部	156
医療情報部	159
感染制御部	164
教育研修部	170
地域医療部	171
薬剤部	178
臨床検査科	182
病理診断科	185
臨床栄養科	187
リハビリテーション科	189
臨床工学科	193
看護部	194
京都看護助産学校	203
編集後記	216

京都医療センターの理念

私たちは患者さんとともに病気に立ち向かい、
患者さんが安心できる医療を提供します。

□ 基本方針

- 一、常に高度で先進的な医療を導入し、地域の医療機関との連携を図り、急性期医療を中心とした質の高い医療を提供することで患者さんに信頼される病院となることを目指します。
- 一、十分な説明のうえで患者さんの同意を得た医療を提供します。
- 一、臨床医学の発展を常に念頭におき、臨床研究を積極的に推進し、新しい医療技術の研究開発に努めます。
- 一、教育研修病院として医師、看護師等、医療に従事する人材の育成に努めます。
- 一、職員の働きやすい職場環境であることが、安全で高度かつ効率的な医療提供に不可欠であると考え、職員の福利厚生の上に努めます。

□ 患者さんの権利の尊重に関して

京都医療センターでは、患者さんと医療従事者との信頼関係のもとで患者さんとともに歩む病院をめざしています。ここに患者さんの権利に関する事項と守っていただく事項について記します。

【患者さんの権利に関する事項】

1. 尊厳ある人間として医療を受ける権利を大切にします。
2. 良質で適切な医療を平等に提供します。
3. 検査や治療について十分に理解していただけるように説明します。
4. 検査や治療について自ら選択する権利を尊重します。
5. 医療のどの段階においても他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利を尊重します。
6. 自分に関する医療情報の開示を求める権利を尊重します。
7. プライバシーを守ります。

【守っていただく事項】

1. 健康状態及び診療に必要な情報の提供をお願いします。
2. 医療内容について理解していただけない場合にはお知らせください。
3. 病院のルールを守り他の人に迷惑をかけないようにお願いします。

概要

(令和3年4月1日現在)

1. 施設の概要

(1) 環 境

京都市の南にある市内最大の人口を擁する伏見区のおおむね中央に位置し、伏見稲荷大社で有名な稲荷山の南麓に広がる深草地区に立地している。深草地区は「うづらの里」と呼ばれるように、かつては多くの鶉(うづら)が生息したことで知られる。南へ下がると伏見の酒造りの町があり、白壁の酒蔵が立ち並び独特の風情がある。東南部には桃山城の城下町桃山地区がある。桃山時代に伏見城の城下町として始まり、また江戸時代には淀川水運の重要な港町・宿場町としても栄えた地域である。

現在は、伏見城の城下町の伝統を受け継ぐ商業拠点である一方、京都市中心部や京都府南部、大阪方面へのベッドタウンとしての性格をもち、診療圏も二次医療圏にとどまらず、京都府南部地域はもとより大阪府北部及び滋賀県南部をはじめ他府県に及んでいる。

(2) 沿 革

明治41年11月 (1908年)	京都衛戎病院として設立
昭和12年 (1937年)	京都陸軍病院と名称変更
昭和20年12月 (1945年)	国立京都病院として厚生省に移管
昭和53年 4月 (1978年)	臨床研究部(内分泌代謝疾患)設置
昭和59年12月 (1984年)	救命救急センター設置
昭和63年11月 (1988年)	WHOより糖尿病協力センターに指定
平成 7年 4月 (1995年)	開放型病院に認定
平成 7年 7月 (1995年)	京都府エイズ治療拠点病院に指定
平成10年 6月 (1998年)	臓器提供施設に指定
平成11年 3月 (1999年)	国の政策医療「内分泌代謝疾患」の高度専門医療施設として位置付けられる
平成12年 4月 (2000年)	(財)日本医療機能評価機構 病院機能評価『一般病院種別・B』に認定
平成14年 6月 (2002年)	地域医療連携室の開設
平成15年10月 (2003年)	臨床研究センター(内分泌代謝疾患)設置
平成16年 4月 (2004年)	独立行政法人へ移行。京都医療センターと改称

平成17年 4月 (2005年)	(財)日本医療機能評価機構 病院機能評価『一般病院(Ver. 4.0)』に認定
平成19年 1月 (2007年)	地域がん診療連携拠点病院に指定
平成20年 8月 (2008年)	地域医療支援病院に指定
平成22年 6月 (2010年)	(財)日本医療機能評価機構 病院機能評価『一般病院(Ver. 6.0)』に認定
平成23年 1月 (2011年)	新中央診療棟竣工 緩和ケア病棟開設
平成26年 6月 (2014年)	第2外来棟竣工
平成27年 4月 (2015年)	京都府災害拠点病院に指定
平成27年 6月 (2015年)	(財)日本医療機能評価機構『一般病院2(Ver. 1.0)』 『救急医療機能(Ver. 2.0)』に認定
平成28年12月 (2016年)	原子力災害拠点病院に指定
平成30年 3月 (2018年)	第二病棟8階(38床)休棟
平成30年 4月 (2018年)	がんゲノム医療連携病院(京都大学)に指定
令和 元年10月 (2019年)	高精度放射線治療棟(リニアック棟)竣工
令和 2年 6月 (2020年)	(財)日本医療機能評価機構『一般病院2(3rdG:Ver. 2.0)』 『高度専門機能(救急・災害)(Ver. 1.0)』に認定

(3)医療圏・近隣医療機関の状況

- 2次医療圏
 - ・京都・乙訓医療圏
(京都市、向日市、長岡京市、大山崎町3市1町)
- 2次医療圏内人口
 - ・京都市 1,466千人
 - ・向日市 56千人
 - ・長岡京市 80千人
 - ・大山崎町 16千人 計1,618千人

(4)職 員 数

- 1,233名(令和3年5月1日現在)
 - ・常勤職員 1,021名
 - ・期間職員 42名

・非常勤職員 262名 1,325名

(5)敷地・建物の状況

●所在地 京都府京都市伏見区深草向畑町1-1

●敷地面積 …… 66,267㎡

●建物面積

建物 番号	建 物 名 称	建 築 概 要			建築面積 ㎡	延べ面積 ㎡	完成 年月
		構造	地上階数	地下階数			
1	新中央診療棟	RC	6	0	1,952.25	8,671.93	2010/12
2	外来管理診療棟	RC	4	0	2,710.50	10,839.95	1983/5
3	中央診療棟(リニアック棟含む)	RC	5	1	2,404.78	13,300.94	1985/7
4	第1・2病棟	RC	8	0	2,976.37	18,748.47	1989/3
5	渡り廊下棟	RC	5	0	400.84	1,304.67	1988/3
6	パーチカルコンベア中継室	RC	1	0	40.80	40.80	1988/3
7	臨床研究センター	RC	4	0	826.80	3,116.90	1978/2
8	渡り廊下(中央診療棟～臨床研究センター)	S	1	0	22.62	22.62	1986/3
9	中和処理棟	RC	1	0	32.40	32.40	1987/3
10	健診センター	RC	1	0	297.68	297.68	1962/3
11	給水ポンプ室	RC	1	0	43.17	43.17	1988/3
12	電気室	RC	1	0	21.83	21.83	1988/3
13	倉庫(保育所)	RC	1	0	412.53	412.53	1973/3
14	RI機械室	RC	1	0	20.00	20.00	1985/12
15	マニホールド室	RC	1	0	24.00	24.00	1986/11
16	車庫棟	RC	1	0	90.50	90.50	1983/11
17	渡り廊下(臨床研究センター～除染室)	S	1	0	41.85	41.85	1978/2
18	動物実験室(RI動物舎)	CB	1	0	33.00	33.00	1985/7
19	看護助産学校	RC	4	0	1,634.40	3,782.08	2003/3
20	助産師科校舎	RC	2	0	469.63	850.15	1979/10
21	看護師宿舎5号館(助産師科学生寮)	RC	5	0	111.45	540.12	1983/3
22	体育館(空調機械室含む)	RC	2	0	560.00	624.00	1991/3
23	図書館棟	RC	2	0	513.27	754.50	2003/3
24	倉庫(助産師科電気室)	CB	1	0	9.33	9.33	1979/10
25	看護師宿舎(清香寮)1号館	RC	3	0	680.72	2,030.09	1995/8
26	看護師宿舎(清香寮)1号館	RC	3	0	672.07	2,357.14	1995/1
27	看護師宿舎(清香寮)3号館	RC	2	0	106.66	213.32	1977/3
28	看護師宿舎(清香寮)4号館	RC	2	0	103.80	209.66	1977/3
29	教育研修棟(研修医宿舎)	RC	3	0	227.40	563.16	2000/2
30	保育所	S	2	0	230.92	347.21	2012/2
31	公務員宿舎(A棟)	CB	2	0	135.16	270.32	1972/3
32	公務員宿舎(B棟)	RC	4	0	99.17	443.62	1966/3
33	公務員宿舎(C棟)	CB	2	0	141.51	283.03	1979/1
34	公務員宿舎(D棟)	RC	4	0	142.77	546.84	1987/3
35	公務員宿舎(E棟)	RC	3	0	137.75	413.25	1980/3
36	公務員宿舎6号(枯木)	CB	1	0	72.00	72.00	1974/7
37	集塵庫(ごみ置場)	CB	1	0	32.40	32.40	1995/8
38	第2外来棟	RC	3	1	421.44	1,228.02	2014/6
39	特高受電室	S	2	2	98.98	197.96	2018/10
40	燃料槽基礎	RC	1	1			2019/3
41	高精度放射線治療棟	RC	1	1	718.17	699.36	2019/12
42	除染室	S	1	0	79.11	79.11	2020/3
43	汚染廃棄物・備品倉庫棟	RC	1	1	47.48	39.57	2020/3
合 計					建19,797.51	延73,649.48	

2. 診療機能の状況

(1) 病床数 医療法病床数(一般病床) 600床

(2) 診療科(38科)

内科、血液内科、糖尿病内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、腫瘍内科、膠原病・リウマチ内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、心臓外科、血管外科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、乳腺外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産科婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、気管食道外科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、緩和ケア外科、歯科口腔外科、小児歯科、病理診断科、臨床検査科、救急科

(3) 医療計画上の当院が担う機能

- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・がんゲノム医療連携病院(京都大学)
- ・地域医療支援病院
- ・救命救急センター(三次、30床)
- ・地域災害拠点病院
- ・原子力災害拠点病院
- ・緊急災害医療チーム(DMAT2チーム10名)
- ・周産期医療2次病院(地域周産期母子医療センター)
- ・難病医療協力病院
- ・エイズ拠点病院
- ・急性期を担う医療機関(脳卒中、急性心筋梗塞)

(4) その他の主な機能

- ・緩和ケア病棟(20床)
- ・外来化学療法センター
- ・ER(北米型救急外来)
- ・NHO災害ブロック拠点病院
- ・国際医療協力施設
- ・臓器提供施設
- ・WHO糖尿病協力センター
- ・健診センター
- ・人工透析センター
- ・(財)日本医療機能評価機構 病院機能評価
「一般病院2(3rdG:Ver2.0)」 「救急医療・災害時の医療(Ver.1.0) 認定
- ・遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設

(5) 教育研究機能

- ・臨床研究センター
- ・臨床研修病院(基幹型・協力型)
- ・専門研修基幹施設(7プログラム)、専門研修連携施設
- ・附属京都看護助産学校(看護学科・助産学科)

(6) 各学会認定専門医研修施設及び修練施設

日本内科学会、日本消化器学会、日本循環器学会、日本小児科学会、日本皮膚科学会、日本精神神経学会、日本外科学会、日本消化器外科専門医、日本整形外科学会、日本産婦人科学会、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医研修施設、日本周産期(新生児)専門医、日本眼科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本泌尿器科学会、日本脳神経外科学会、日本医学放射線学会、日本麻酔科学会、日本集中治療医学会、日本救急医学会、日本形成外科学会、日本手外科学会、日本神経学会、日本呼吸器外科基幹施設、日本消化器内視鏡学会、日本内分泌学会、日本腫瘍学会、日本頭頸部外科学会、日本がん治療認定医機構、日本緩和医療学会、胆管膵外科高度技能専門医、日本外科感染症学会、日本心血管インターベンション治療学会

3. 診療機能等の特色

(1) 救命救急センター(30床:ICU8床、HCU22床)

昭和59年12月に開設された歴史あるセンターであり、京都府内に6つある救命救急センターのひとつである。活動拠点は京都市のみならず、近隣市からの救急隊による収容要請にも応え24時間365日、質の高い救急医療を提供している。平成23年1月に新中央診療棟に移転し、30床全床で生体監視モニター管理が可能となった。また、広範囲熱傷処置対応のための熱傷治療室も設置した。

(2) 集中治療室(ICU・6床)

平成15年7月に設置。集中治療室では、全身麻酔下手術等における重篤患者等の術後全身管理や入院中に集学的治療が必要となった患者の全身管理を行っている。救命救急センターの集中治療室と合わせて計2ヶ所の集中治療室を有している。

(3) 新生児集中治療室(NICU・6床)

平成12年2月に設置し、平成12年4月に施設基準を取得。低出生体重児等の新生児の治療管理を集行的に行っている。地域周産期母子医療センターとして京都府南部地域の中核病院としての役割を果たしている。

(4) 特別室個室病棟(30床)

平成23年1月にオープンした全室個室の病棟。セキュリティを確保した特別病棟は、病棟専属のコンシェルジュを配置し、クオリティーの高い療養環境と最高のサービスを提供している。新型インフルエンザの発生時等において隔離病棟として使用できるよう陰圧機能を備えた病室も備えている。

(5) 緩和ケア病棟(20床)

平成23年1月にオープン。京都府で初めて地域がん診療連携拠点病院にできた緩和ケア病棟であり、各診療科と連携を積極的に行って苦痛症状の緩和に努めている。医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、音楽療法士、ボランティアなど多職種でチームを組んで対応している。

(7) 開放型病床(20床)

地域医療機関との連携強化を図るため、伏見医師会との協定により開放型病床を設置し、登録医からの紹介入院患者を共同して診療、指導にあたっている。平成7年4月に開放型病院の承認。平成20年8月に地域医療支援病院の承認。地域医療の向上を図り、紹介患者に対する医療の提供のみならず、地域の医療関係者の生涯教育の充実等地域医療の確保に努めている。

※登録医数 129名(令和3年5月1日現在)

(8) 特殊専門外来

特殊診療として、内視鏡センター、呼吸器センター、心臓センター、糖尿病センター、内分泌・甲状腺・高血圧センター、スポーツ医学センター、めまいセンター、脳・神経センター、産婦人科超音波外来、フットケア外来、セカンドオピニオン外来、腫瘍外来、遺伝子外来、禁煙外来、発達障害外来、外来化学療法センター、メタボリック症候群外来、妊娠糖尿病外来、糖尿病透析予防外来、婦人科骨粗鬆症更年期外来

(9) 健診センター

平成16年4月に設置。早期に病気を発見する予防医学の役割が一層重要になっていることから、当院の政策医療である内分泌・代謝疾患の高度専門医療施設の特性を生かし、生活習慣病を主な対象とするとともに、各診療科の専門性を有効に活用した健診とし、専門医との連携による的確な判定を行っている。

(10) 研修医・レジデントの教育、研修の充実

教育研修部を設置して「患者を包括的にケアできる」医師の育成を行っている。

- ☐ 臨床研修病院(基幹型・協力型)
- ☐ 専門研修基幹施設(7プログラム)、専門研修連携施設
- ☐ 臨床研修医の令和2年度定数…1年目 10名、2年目 10名
- ☐ スーパーローテーション方式
- ☐ ランチタイムセミナー
- ☐ 双方向性の評価方式の導入

(11) 臨床研究センター

平成15年10月に臨床研究センターが設置され、「糖尿病を中心とした内分泌・代謝性疾患の病態と発症機序の解明および予防・診断・治療法の開発研究」を担っている。国立病院機構の臨床研究体制再構築に伴い、平成20年度からは「内分泌・代謝性疾患」にとどまらず、がん診療支援を含めた幅広い分野を臨床研究の活動分野とすることになった。

(12) 手術支援ロボット「ダヴィンチ」

平成26年6月に腹腔鏡下手術を支援する内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入。このダヴィンチを用いた手術は通常の腹腔鏡下手術と同様に傷口が小さく低侵襲で術後の痛みも少ないことから回復も早く、早期の退院が可能となった(保険適用手術は限られているが、平成30年4月に保険適用手術が拡大しており、今後も保険適用の拡大が期待されている)。

(13) PET/CT

がんの早期発見、早期治療の充実・発展のため、平成26年6月に京都府南部地域初のPET/CTを導入。

(14) 患者支援センター

平成14年6月に地域医療連携室を設置した。令和元年11月に移転し、患者支援センター(地域医療連携室、がん相談支援センター、患者相談窓口)を開設した。地域の診療所や各医療機関及び保健福祉機関との連携を強化している。前方後方支援業務はもとより、年2～3回開催の医療連携フォーラムにも力を入れている。

☐ 人員配置

- 地域医療部長(医師) 地域医療連携室長(医師)
- 病床管理師長 副看護師長 地域医療連携係長(事務)
- 医療社会事業専門員3名 看護師14名 事務助手6名 計28名

(15) がん診療支援

当院は平成19年1月から地域がん診療連携拠点病院の認定を受けており、カンサーボードも設置し「がん診療セミナー」等、医師だけでなく、看護師、コメディカル、その他医療職を対象とした、オープンセミナーを開催している。

また、がん診療相談(患者支援センター)や患者情報室(1階ホール)、京都では初となるNPO法人カンサーリボنزが設置をサポートするリボنزハウス(外来化学療法室)を設置して患者の日常生活支援に力を入れ、最先端の総合的ながん治療から患者の視点に立って生活を支援することができる施設を目指している。

平成30年4月からはがんゲノム医療連携病院に、平成31年4月には遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設の指定を受け、患者からのがん診療相談についても幅広く実施している。

□リボنزハウス(平成23年10月から運用開始)

○がん患者の「治療と生活」をつなぐ具体的な情報とケアを提供する。

○医療者やヘルスケアに携わる多くの専門家の手によるプログラムを通して、患者がより自分らしく少しでも快適な生活を送れるようサポートする。

○広く地域に開かれたスペースとして多くの人々が情報を共有し支えあいを実践できる場になることを目的とする。

○主な内容としては、がんに係る相談、がんに係る情報提供、がん患者支援のイベント等の企画運営、インターネット検索コーナー、展示コーナー(ウィッグ、帽子等)アロマセラピー等

(16) 感染制御部

平成9年4月に組織横断的院内感染対策チーム(ICT)を設立し、平成22年4月には、院内感染管理と職員の健康管理を通じて、患者が安心して診療を受けられる環境を提供するため、ICTを核とする感染制御部を発足させた。医師、看護師、リンクナース、薬剤師、臨床検査技師、事務職等多くの職員がそれぞれ得意とする分野を分担している。ICTリーダーを中心に週に1回ICTミーティングを行い、更に週1回定期的に院内ICTラウンドを実施し、日々の感染対策に関する相談に関しても随時対応している。

□人員配置

○感染制御部長(医師) 副部長(医師1名) 医師1名
専任薬剤師2名 専従認定看護師 専任検査技師
事務職2名 計9名

□主な活動例

○インフルエンザ、感染性胃腸炎、結核、新型コロナウイルス等の院内感染対策

○手術部位感染、血流感染等のサーベイランス

○抗菌薬適正使用推進業務等

○これらの活動は、病院長直轄の「院内感染対策委員会」(月1回)と「抗菌薬の適正使用に関する小委員会」(月1回)にて報告及び審議決定されるシステムとなっている。また、院内感染対策委員会については、感染対策の必要に応じて臨時開催され迅速な対応を行っている。

(17) 医療安全管理体制

医療安全体制の確立を図り安全な医療の遂行を徹底するために医療安全管理部を設置している。各部門にリスクマネージャーを置き、患者や家族に対する対応及び医療安全管理部門や幹部職員への報告・連絡・相談を速やかに行う体制を整えている。

また、客観的事実の確認や事故原因の追及と再発防止策の検討の為にオカレンス事例検討会や医療安全管理委員会及び医療事故対策本部会議を開催し、必要に応じて弁護士や外部評価委員を構成メンバーに加えた拡大医療安全管理委員会も開催している。

必要に応じて顧問弁護士に法的観点からの意見を含め、病院として見解を常に決定するとともに、専任の医療安全管理係長や訴訟専門職、さらにはクレームや暴言暴力への対応策として警察OBも配置して、あらゆるケースに対応出来る体制を構築している。

□人員配置

○副院長(医療安全担当) 医療安全管理部長(医師) 医療安全管理副部長(医師) 専門職(訴訟担当) 医療安全管理係長(看護師長、医療安全管理専従) 看護部医療安全担当副看護師長(医療安全管理専従) 医療安全推進担当者(リスクマネージャー)(各部署から1名:60名) 計65名

□主な会議

- 拡大医療安全検討委員会
- 医療安全管理委員会
- 医療事故対策本部会議
- オカレンス事例検討会
- ハイリスク診療検討会
- リスクマネージャー会議

(18) 医療情報部

平成15年7月に設置された医療情報部は国立病院としては初めて認可された部門であり、医師と情報システムエンジニアの資格を持つ人材が部長を担当している。ベンダーに依存することなく医療現場のニーズにマッチした情報システムの開発、導入、構築を迅速かつ正確に行っている。平成11年に導入した病院総合情報システム(電子カルテ)は、平成28年10月より稼働した新システムで第4世代となる。

また、京都府及び京都市が設置した情報基盤協議会である「ITコンソーシアム京都」医療情報化部会と連携しPHRシステム「ポケットカルテ」や地域共有診察券「すこやか安心カード」等の二次医療圏を包括する地域医療連携基盤の企画、設計、開発、構築、運用等も行っている。

更に、情報システムや診療記録管理だけではなく、診療諸記録作成の作成等の医師事務作業補助の専門職として「スペシャル医療クラーク」を独自に育成し、各診療科に配置する事で、医師や看護師等の専門職が業務に集中出来る環境を構築すると共に、診療の質の向上に努めている。

□人員配置

○部長(医師・SE) 副部長(医師) 診療情報管理士4名 スペシャル医療クラーク27名 医療クラーク5名 情報システム管理室員4名 流動研究員(SE等)1名 計43名

(19) 高度放射線治療棟(リニアック棟)

当院は京都府南部における「高度がん治療センター」としての役割を担っており、年間のべ1万件の放射線治療を行っている。令和元年10月竣工の高度放射線治療棟には、さらなる貢献とより安全で効果的な放射線治療を実施するため、最新の装置を2台導入し、高度変調放射線治療(IMRT)と画像誘導放射線治療(IGRT)が可能となった。

(20) 除染室

当院は「原子力災害拠点病院」として指定を受けており、原子力災害が発生時には被ばく傷病者等に対する集中治療や線量測定、除染処置等の診療機能が求められている。令和2年3月完成の除染室は、二次被ばくが起らないよう、治療前に除染を行う施設であり、放射線線量測定装置や生体情報モニター等の除染処置に必要な機器が設置されている。

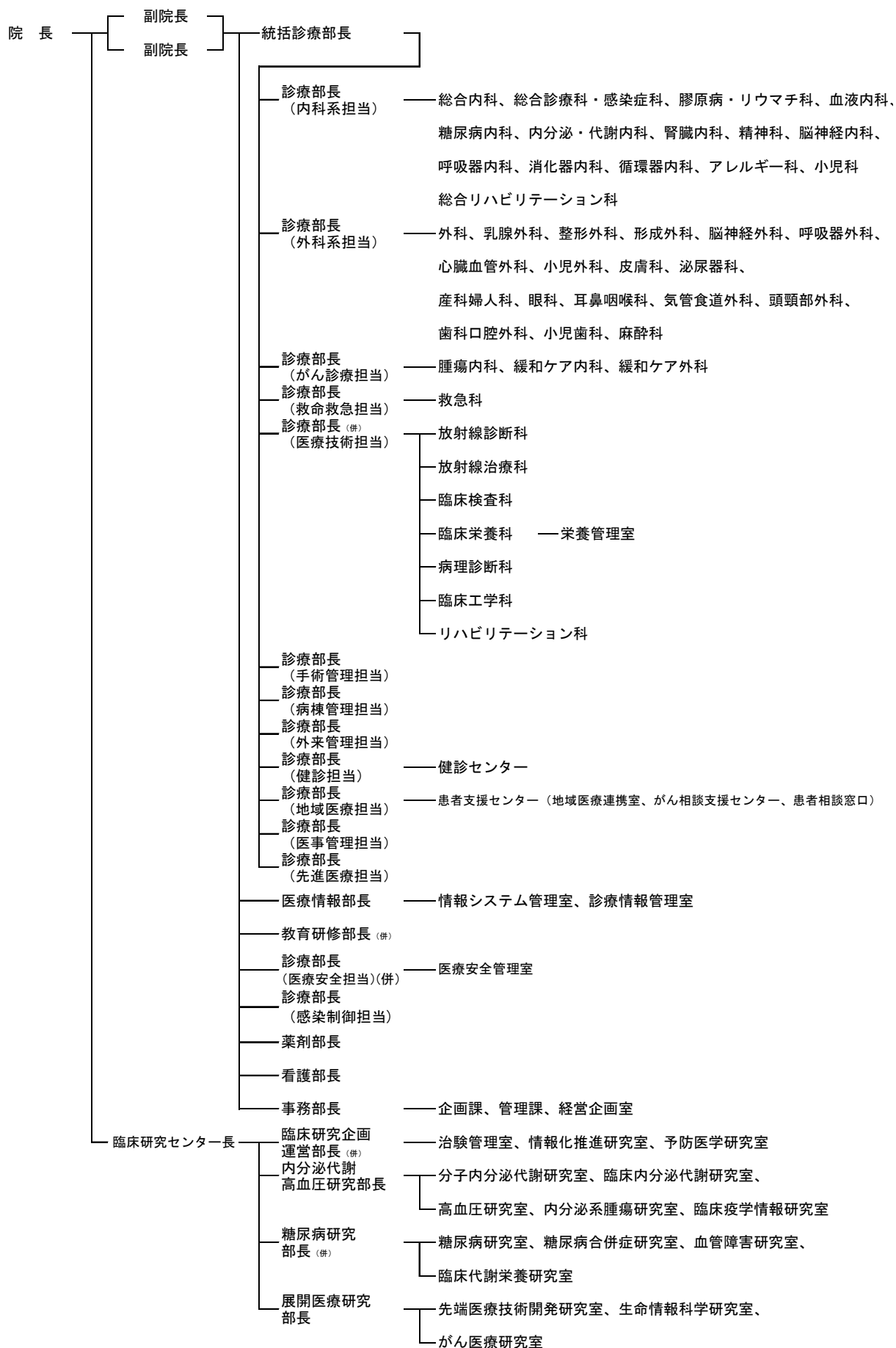
4. 附属京都看護助産学校

(1) 沿革

昭和24年 4月 1日 (1949年)	附属高等看護学院設置
昭和44年 4月 1日 (1969年)	附属高等看護助産学院設置
昭和50年 4月 2日 (1975年)	国立京都病院附属看護助産学校、看護婦科 および助産婦科に名称が変更される。
平成14年 4月 1日 (2002年)	看護学科、助産学科に名称が変更される
平成16年 3月25日 (2004年)	看護学校大型化整備工事竣工
平成16年 4月 1日 (2004年)	国立京都病院附属看護助産学校及び国立療養所 宇多野病院附属看護学校並びに国立療養所南京都 病院附属看護学校を当院の地で統合し、附属京都看 護助産学校となる。 ※1学年定員 看護学科80名 助産学科35名
平成27年 4月 1日 (2015年)	附属京都看護助産学校助産学科の定員減 ※1学年定員 助産学科25名
令和3年 4月 1日 (2021年)	附属京都看護助産学校助産学科の定員減 ※1学年定員 助産学科18名

組 織 図

(令和3年4月1日現在)



学校長 (併) — 副学校長 — 附属京都看護助産学校

京都医療センター 幹部職員



院長 小池 薫



副院長 塚原 徹也
令和3年3月31日まで



副院長 三尾 直士
令和3年4月1日から



副院長 白神 幸太郎



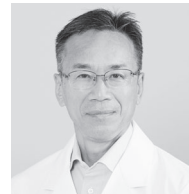
臨床研究センター長
八十田 明宏



統括診療部長
猪飼 伊和夫
令和3年3月31日まで



統括診療部長
中川 泰彰
令和3年4月1日から



内科系診療部長
教育研修部長
小山 弘



外科系診療部長
奥野 博
令和3年4月1日から



がん診療部長
大谷 哲之
令和3年4月1日から



救命救急部長
笹橋 望



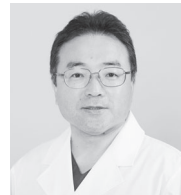
手術管理部長
七野 力



病棟管理部長
赤尾 昌治



外来管理部長
田上 哲也
令和3年4月1日から



健診部長
宮本 心一
令和3年4月1日から



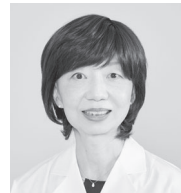
地域医療部長
瀬田 公一



医事管理部長
勝島 慎二



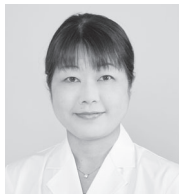
感染制御部長
小田垣 孝雄
令和3年4月1日から



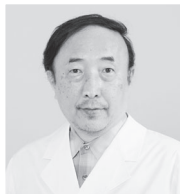
先端医療部長
喜多 美穂里



医療情報部長
北岡 有喜



内分泌代謝高血圧研究部長
浅原 哲子



展開医療研究部長
長谷川 浩二



薬剤部長
本田 芳久
令和3年3月31日まで



薬剤部長
土井 敏行
令和3年4月1日から



看護部長
池田 仁美
令和3年3月31日まで



看護部長
福井 久美子
令和3年4月1日から



事務部長
前田 真次



副学校長
前中 由美

職員の状況

(令和3年4月1日現在)

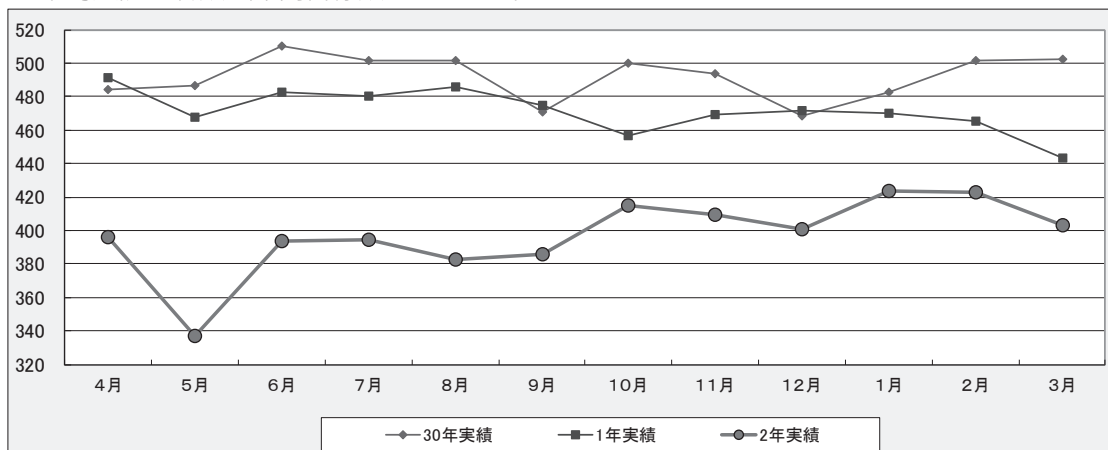
	職 種 ・ 職 名		常勤職員		非常勤職員			期間職員			職 員 合 計
			定 数	現 員	定 数	現 員	常勤換算	定 数	現 員	常勤換算	
医 師	院長・年俸表(一)	院長	1	1							1.00
		副院長	2	2							2.00
		部長	14	14							14.00
		医長	41	42							42.00
		歯科医長	1	1							1.00
		小計	59	60							60.00
	一般医師 医療職(一)	医師	109	100	21.25	28	21.25	36.90	40	36.00	157.25
		歯科医師	1	1					1	0.90	1.90
		小計	110	101	21.25	28	21.25	36.90	41	36.90	159.15
医 師 計			169	161	21.25	28	21.25	36.90	41	36.90	219.15
医 療 職 (一)	薬剤師	薬剤部長	1	1							1.00
		副薬剤部長	2	2							2.00
		主任薬剤師	7	7							7.00
		薬剤師	27	26							26.00
		小計	37	36							36.00
	放射線技師	診療放射線技師長	1	1							1.00
		副診療放射線技師長	2	2							2.00
		主任診療放射線技師	6	6							6.00
		診療放射線技師	25	25							25.00
		小計	34	34							34.00
	検査技師	臨床検査技師長	1	1							1.00
		副臨床検査技師長	2	2							2.00
		主任臨床検査技師	8	8							8.00
		臨床検査技師	24	24	2.93	6	4.22				28.22
		小計	35	35	2.93	6	4.22				39.22
	管理栄養士	栄養管理室長	1	1							1.00
		副栄養管理室長	1	1							1.00
		主任栄養士	2	2							2.00
		栄養士	3	3	2.49	4	2.67				5.67
		小計	7	7	2.49	4	2.67				9.67
	理学療法士	理学療法士長	1	1							1.00
		副理学療法士長	1	1							1.00
		主任理学療法士	5	5							5.00
		理学療法士	13	13	0.77	1	0.77				13.77
		小計	20	20	0.77	1	0.77				20.77
	作業療法士	主任作業療法士	2	1							1.00
		作業療法士	7	7							7.00
		小計	9	8							8.00
	言語聴覚士	主任言語聴覚士	1								
		言語聴覚士	4	4	0.41	1	0.41				4.41
		小計	5	4	0.41	1	0.41				4.41
	臨床工学技士	臨床工学技士長	1	1							1.00
		主任臨床工学技士	2	1							1.00
		臨床工学技士	12	13							13.00
		小計	15	15							15.00
	医療技術職員	視能訓練士	4	4	1.66	2	1.60				5.60
		心理療法士			0.92	4	0.60				0.60
		歯科衛生士			3.08	3	2.31				2.31
		歯科技工士			0.77	1	0.77				0.77
		小計	4	4	6.43	10	5.28				9.28
医 療 職 (二) 計			166	163	13.03	22	13.35				176.35

	職 種 ・ 職 名		常勤職員		非常勤職員			期間職員			職 員 合 計
			定 数	現 員	定 数	現 員	常勤換算	定 数	現 員	常勤換算	
医 療 職 (三)	看護師、助産師	看護部長	1	1							1.00
		副看護部長	3	3							3.00
		看護師長	21	21							21.00
		副看護師長	49	48							48.00
		助産師	483	25	28.44						25.00
		看護師		513		26	17.74				530.74
		准看護師				1	0.80				0.80
医 療 職 (三) 計			557	611	28.44	27	18.54				629.54
事務職・診療情報管理職	事務職員	事務部長	1	1							1.00
		課長・室長	3	3							3.00
		班長	2	2			w				2.00
		専門職	2	2							2.00
		係長	12	9							9.00
		主任									
		一般職員(事務補助)	8	12	120.70	153	118.20				130.20
	小計	28	29	120.70	153	118.20				147.20	
	診療情報管理職	診療情報管理士	11	10	1.66	1	0.83				10.83
	小計	11	10	1.66	1	0.83				10.83	
事務職・診療情報管理職 計			39	39	122.36	154	119.03				158.03
技能職員		自動車運転手			26.56	1	0.83				0.83
		調理師	10	10							10.00
		看護助手				17	14.05				14.05
		その他				2	1.66				1.66
技 能 職 員 計			10	10	26.56	20	16.54				26.54
教育職		副学校長・教育主事	4	4							4.00
		教員(教務補助)	14	14							14.00
	教 育 職 計		18	18							18.00
研究職		センター長・部長	3	3							3.00
		室長・主任研究官	4	4							4.00
		研究(補助)員	1	1	9.30	11	7.03				8.03
	研 究 職 計		8	8	9.30	11	7.03				15.03
福祉職		保育士	1	1	1	1	0.77				1.77
		医療社会事業専門員	4	3							3.00
	福 祉 職 計		5	4	1	1	0.77				4.77
	職 員 総 数		972	1,014	221.71	263	196.51	36.90	41	36.90	1,247.41
	(男 性)			311		54	36.25		28	18.90	366.15
	(女 性)			703		209	160.26		13	18.00	881.26

診療実績(年度別統計)

○平均入院患者数 (年間目標数 = 483.0 人)

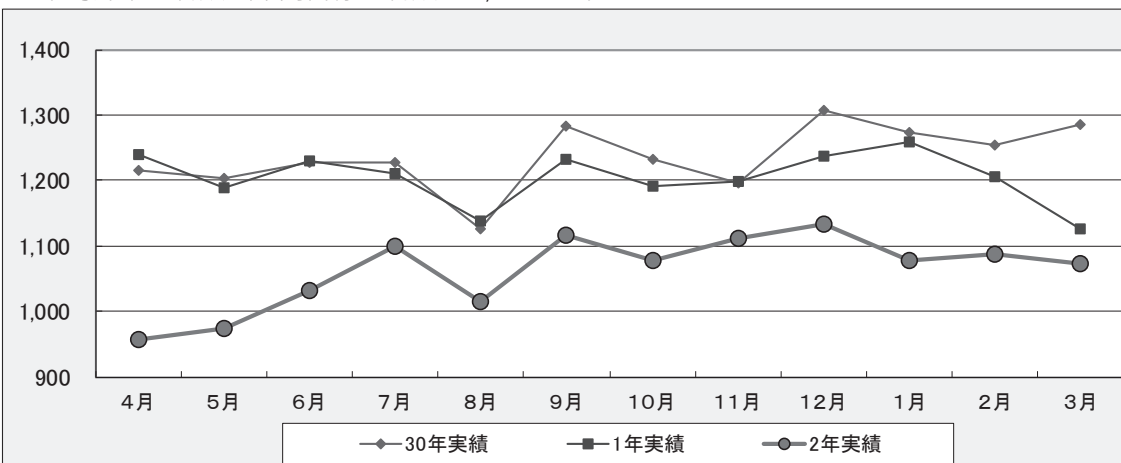
(単位: 人/日)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	利用率
30年実績	484.0	486.2	510.2	501.9	501.3	471.1	500.1	493.9	468.1	482.7	501.1	502.3	491.9	87.5%
1年実績	491.3	467.5	482.5	480.2	485.5	474.9	456.2	469.5	471.9	469.7	465.4	443.2	471.4	83.6%
2年実績	396.0	337.3	393.7	394.2	382.3	385.7	415.2	409.5	400.5	423.5	422.8	403.4	396.8	70.4%

○平均外来患者数 (年間目標患者数 = 1,220.0 人)

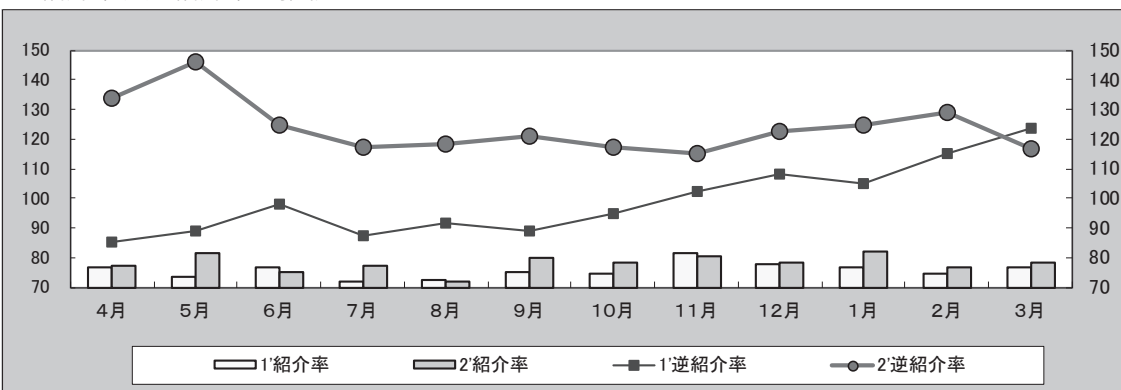
(単位: 人/日)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30年実績	1,216.3	1,202.8	1,228.0	1,228.1	1,125.2	1,282.1	1,231.9	1,197.0	1,306.1	1,274.2	1,253.2	1,284.1	1,233.1
1年実績	1,238.9	1,189.4	1,230.9	1,210.1	1,137.2	1,232.0	1,192.0	1,199.3	1,236.9	1,258.3	1,206.7	1,126.8	1,203.8
2年実績	955.7	972.9	1,031.8	1,099.9	1,013.8	1,116.9	1,078.6	1,110.5	1,133.2	1,078.2	1,088.2	1,073.5	1,062.7

○紹介率、逆紹介率の推移

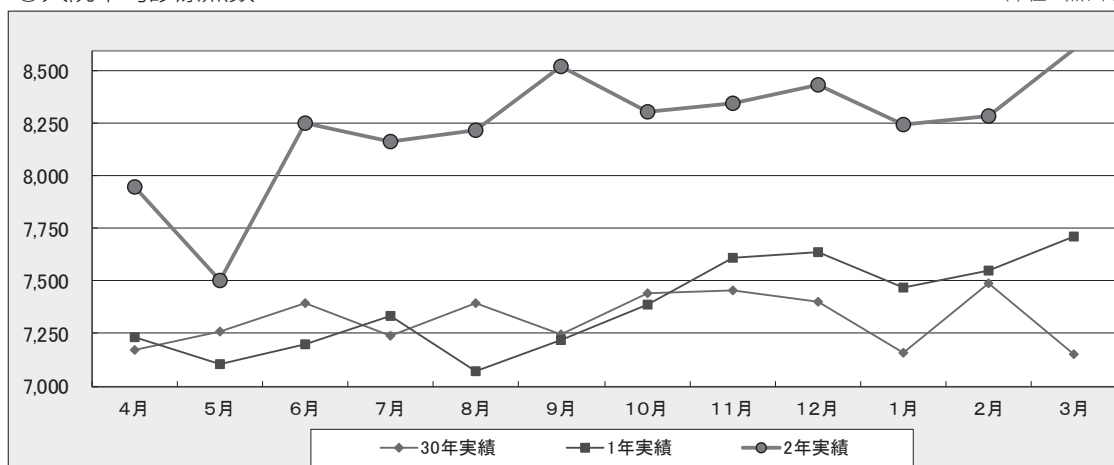
(単位: %)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1'紹介率	76.5	73.4	76.7	71.7	72.4	75.1	74.7	81.5	77.6	76.6	74.5	76.9	75.5
2'紹介率	77.0	81.3	75.1	77.3	71.8	80.1	78.5	80.2	78.4	82.2	76.7	78.2	78.0
1'逆紹介率	85.3	88.8	98.2	87.4	91.4	88.9	95.0	102.3	108.0	104.8	115.0	123.7	122.5
2'逆紹介率	133.8	146.0	124.6	117.3	118.2	121.2	117.3	114.9	122.5	124.6	128.7	116.5	123.3

○入院平均診療点数

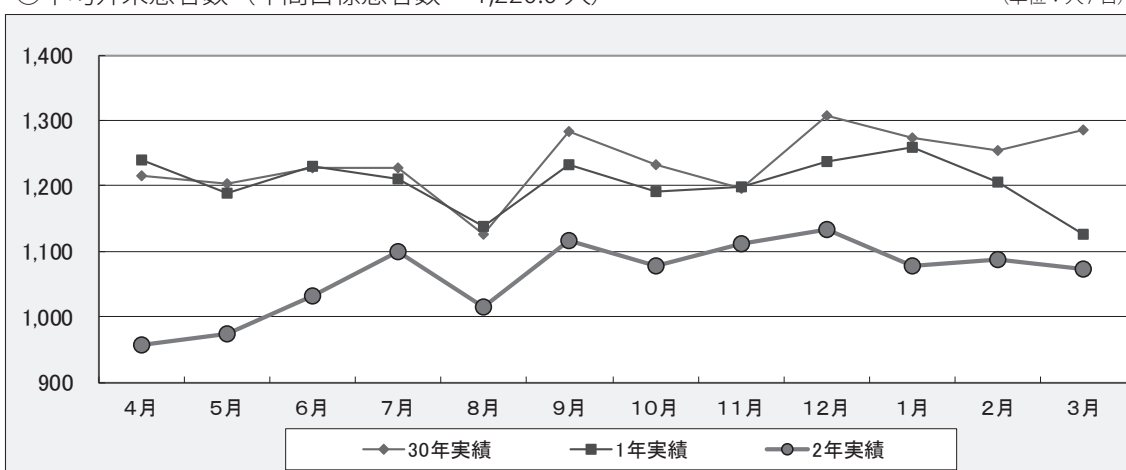
(単位：点/日)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30年実績	7,173.8	7,262.7	7,396.1	7,236.7	7,397.9	7,248.0	7,438.9	7,456.8	7,402.2	7,158.4	7,490.0	7,151.8	7,317.1
1年実績	7,233.4	7,101.7	7,198.4	7,337.4	7,070.1	7,221.8	7,386.4	7,611.7	7,636.7	7,466.8	7,552.5	7,712.2	7,373.6
2年実績	7,949.1	7,502.5	8,255.0	8,167.4	8,221.7	8,520.2	8,308.8	8,349.7	8,431.6	8,242.6	8,286.4	8,604.0	8,246.2

○平均外来患者数（年間目標患者数＝1,220.0人）

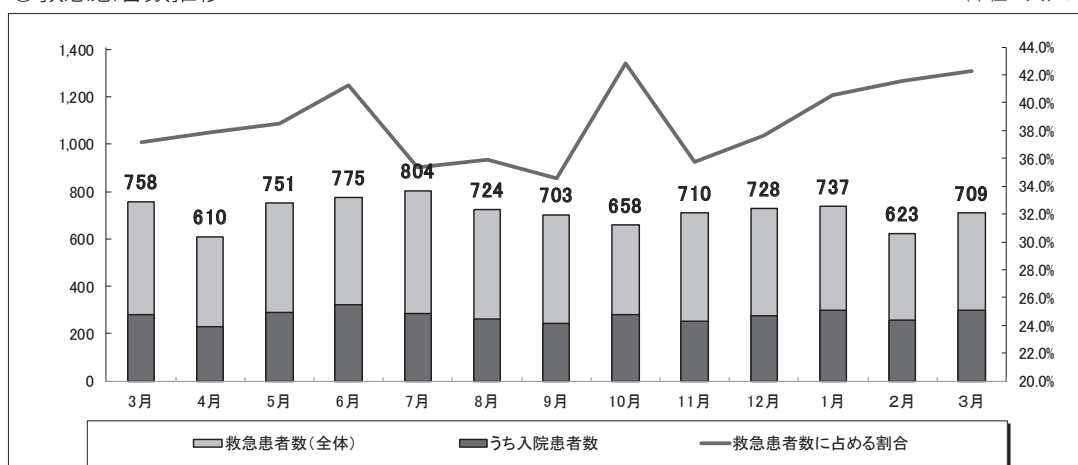
(単位：人/日)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30年実績	1,216.3	1,202.8	1,228.0	1,228.1	1,125.2	1,282.1	1,231.9	1,197.0	1,306.1	1,274.2	1,253.2	1,284.1	1,233.1
1年実績	1,238.9	1,189.4	1,230.9	1,210.1	1,137.2	1,232.0	1,192.0	1,199.3	1,236.9	1,258.3	1,206.7	1,126.8	1,203.8
2年実績	955.7	972.9	1,031.8	1,099.9	1,013.8	1,116.9	1,078.6	1,110.5	1,133.2	1,078.2	1,088.2	1,073.5	1,062.7

○救急患者数推移

(単位：人、%)



R1年度 R2年度															
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
救急患者数(全体)	758	610	751	775	804	724	703	658	710	728	737	623	709	714.6	
	うち入院患者数	282	231	289	320	284	260	243	282	254	274	299	259	300	275.2
	救急患者数に占める割合	37.2%	37.9%	38.5%	41.3%	35.3%	35.9%	34.6%	42.9%	35.8%	37.6%	40.6%	41.6%	42.3%	38.5%
救急搬送患者数	286	278	309	312	323	283	320	305	308	306	366	264	356	308.9	
新規入院患者数(参考)	1,175	969	787	1,049	1,053	1,050	1,004	1,092	1,059	1,021	1,060	922	1,120	1,027.8	

経常収支率

損益計算書

(千円)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
医業収益	18,560,845	18,299,681	17,264,703
入院診療収益	12,677,263	12,260,110	11,578,885
室料差額収益	417,106	403,095	333,397
外来診療収益	5,345,063	5,510,149	5,288,099
保健予防活動収益	105,868	100,454	83,086
文書料収益	70,399	68,111	56,489
その他医業収益	18,316	20,908	18,157
保険等査定減(△)	▲73,171	▲63,147	▲93,412
診療業務費	18,221,188	18,647,528	18,652,397
給与費	9,093,855	9,184,479	9,250,934
材料費	5,733,610	5,875,908	5,641,088
委託費	836,456	874,188	882,608
設備関係費	1,702,904	1,805,736	1,945,703
研究研修費	4,030	4,034	2,612
経費	850,332	903,182	929,452
医業収支差	339,657	▲347,846	▲1,387,694
医業収支率	101.9%	98.1%	92.6%
人件費率	49.0%	50.2%	53.6%
材料費率	30.9%	32.1%	32.7%
委託費率	4.5%	4.8%	5.1%
経費率	4.6%	4.9%	5.4%
人件費+委託費率	53.5%	55.0%	58.7%
経常収益	19,528,181	19,275,752	19,978,382
経常費用	19,140,079	19,468,423	19,526,866
経常収支差	388,102	▲192,671	451,517
経常収支率	102.0%	99.0%	102.3%

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育研修収益	226,794	225,560	238,610
教育研修費用	288,485	263,086	276,324
収支差	▲61,690	▲37,526	▲37,714

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
臨床研究収益	416,519	400,468	410,162
臨床研究費用	450,518	411,880	458,562
収支差	▲33,999	▲11,412	▲48,400

総合内科／総合診療科



診療部長
診療科長
小山 弘

専門医資格等 日本内科学会総合内科専門医

専門分野 内科一般

得意疾患 内科一般

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
総合診療科 科 長	小田垣 孝雄	日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医/指導医 日本内科学会総合内科専門医 Infection Control Doctor 日本化学療法学会抗菌化学療法指導医 日本救急医学会ICLSディレクター 日本内科学会JMECCディレクター 日本医師会認定産業医	総合診療	Common diseases
医 師	後藤 雅史	日本内科学会総合内科専門医 公衆衛生学博士	内科一般	内科一般
医 師	井口 美季子	日本内科学会総合内科専門医 日本リウマチ学会専門医・登録ソノグラファー 日本リウマチ財団登録医	膠原病・リウマチ一般	膠原病・リウマチ一般
専 攻 医	島田 大揮		内科一般	内科一般
専 攻 医	大塚 岳樹		内科一般	内科一般

□ 診療科の特徴

1. 器官系を横断的に考えます
2. 患者と病院のインターフェースとして、窓口機能を果します
3. 専門診療科との連携を尊重します
4. 医学的なエビデンスに配慮します

□ 主な対象疾患

急性感染症（気道、尿路、皮膚軟部組織、骨、その他）

不明熱、多発関節痛など診断の確定していない症候

膠原病リウマチ疾患（関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症など）

＊膠原病リウマチ疾患の一部については、膠原病リウマチ内科が総合内科と協力しながら診療をしています

□ 診療（業務）内容

外来では重篤でない急性疾患の診断・管理や、不明熱や多発関節痛など診断の確定していない症候の診断・管理と必要に応じての専門診療部門・機関への紹介などを行っております。健診その他での高血圧や脂質異常症などについて相談に受診される方もおられ、生活指導や薬物療法が継続的に必要と考えられた場合、地域の医療機関を紹介していますので、よろしくお願い致します。

入院では、おもに救急外来から緊急入院した内科系非重篤患者のうち、呼吸器、尿路、皮膚、骨軟部組織などの急性感染症、原因不明の発熱（最終的には、薬剤熱、血管炎症候群や膠原病リウマチ疾患、血液学的腫瘍、自然治癒するウイルス感染症や一過性の肺への吸引など）や意識障害、電解質異常、栄養不良を受け持ち、診断および管理、必要に応じて他科への紹介を行っています。他科入院中の患者の感染症や原因不明の発熱についての共診も主たる活動の一部になっています。

□ 診療実績

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
19.5名	293名	19.1日

外来患者数

1日平均患者数
35.5名

主な疾患の特徴など

感染症	加齢関連疾患	血液・腫瘍疾患	膠原病リウマチ疾患	消化器疾患	栄養・水電解質異常
131件	71件	38件	29件	18件	17件

□ 地域医療連携・広報活動

伏見医師会理事（小山）

伏見関節リウマチ病診連携の会（井口）

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
英文	海透 修子, 後藤 雅史, 井口 美季子, 奥野 芳章, 森吉 弘毅, 小山 弘	Methotrexate-associated lymphoproliferative disorder with histopathological features of histiocytic necrotizing lymphadenitis.	Mod Rheumatol Case Rep.	5	1	141-144	2021/1	原著論文 以外	

膠原病・リウマチ内科



医長
井口 美季子

専門医資格等 日本内科学会総合内科専門医
日本リウマチ学会専門医・登録ソノグラファー
日本リウマチ学会指導医
日本リウマチ財団登録医
専門分野 膠原病・リウマチ一般
得意疾患 膠原病・リウマチ一般

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本リウマチ学会認定教育施設
-------	----------------

1. 膠原病・関節リウマチは慢性疾患であるため、患者さんで自身が治療に納得して上手に疾患と付き合っていく必要があります。様々な治療の選択肢をご提示し、ご納得いただける治療をご提供します。
2. 他の疾患領域と同様に膠原病・リウマチ性疾患の治療は飛躍的に進化しています。最新の知見に基づいた最善の治療を提供します。
3. 膠原病・関節リウマチは全身に合併症をきたす可能性がある疾患なので各科と連携しながら治療を行います。当院で対応困難な疾患の場合には速やかに大学病院にご紹介します。
4. 関節リウマチについては地域連携に努めています。

□ 主な対象疾患

関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、悪性関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、強皮症、血管炎、多発性筋炎／皮膚筋炎、ベーチェット病、IgG4関連疾患 など

□ 診療内容

月・水・木・金曜に外来診療を行っております。

関節エコーを用いてリアルタイムに現在の関節炎の活動性を評価します。

拳児希望関節リウマチ・膠原病患者さんにも対応します。

□ 地域医療連携・広報活動

第8回 膠原病を考える会 「73歳男性 発熱、溶血性貧血、血小板減少をきたした症例」

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
3.0名	54名	19.3名

外来患者数

1日平均患者数
19.6名

血液内科



診療科長
奥野 芳章

専門医資格等 日本内科学会内科専門医
日本血液学会専門医・指導医
京都大学医学博士
専門分野 血液一般

□ 診療科の特徴

1. 当院では貧血から、白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫など血液悪性疾患に至るまでいろいろな血液疾患の診断、治療をおこなっています。血液疾患は自覚症状に乏しく、血液検査をして初めて異常が明らかになることが多いため、まず、お近くのかかりつけ医師に診察して頂いて、血液疾患の疑いがあれば当科にご紹介して頂いています。
2. 血液疾患の治療法の進歩はめざましく、血液幹細胞移植の適応になることもありますが、残念ながら当院では移植治療は行っておりません。そのような治療が必要な場合、移植施設をご紹介します。

□ 主な対象疾患

貧血・出血傾向・リンパ腫・白血病・骨髄腫 など

□ 診療（業務）内容

再生不良性貧血に対する免疫抑制療法や血液悪性疾患に対する通常量化学療法、貧血などに対する輸血などの対症療法を行っています。治療法を選択するにあたっては、広く認められている標準療法であること、患者さんが十分ご理解、ご納得頂けることを重視しています。

血液疾患は診断、あるいは治療の選択に困難を伴う場合が多いかと思いますが、患者さんと常にご相談しながらよりよい治療法を探していきます。

- ・貧血
- ・出血傾向
- ・リンパ腫
- ・白血病
- ・骨髄腫など

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
4.9名	129名	13.3日

外来患者数

1日平均総患者数
12.7名

内分泌・代謝内科



診療部長・診療科長
田上 哲也

専門医資格等 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医、近畿支部評議員
日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医・教育責任者、
評議員
日本甲状腺学会 専門医、評議員、理事
厚生労働省 臨床研修指導医
京都大学医学部 臨床教授・講師(非常勤)
京都大学 医学博士

専門分野 内科、内分泌・代謝
得意疾患 内分泌・代謝疾患、甲状腺疾患

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	立木 美香	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医、評議員 日本高血圧学会 専門医 臨床研修指導医 東京女子医科大学 医学博士 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	内科 内分泌・代謝	内分泌疾患、 高血圧・副腎 疾患
医 師	難波 多拳	日本内科学会 総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医、評議員 米国心臓協会 AHAフェロー 臨床研修指導医 ミシガン大学医学部 リサーチ・アシスタント・プロフェッサー(非常勤)	内科 内分泌・代謝	内分泌疾患、 副腎疾患
医 師	石原 裕己	日本内科学会 認定医	内科 内分泌・代謝	内分泌疾患
医 師	中谷 理恵子	日本内科学会 総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医 日本甲状腺学会 専門医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	内科 内分泌・代謝	内分泌疾患
レジデント	廣嶋 佳歩	日本内科学会 認定医	内科 内分泌・代謝	内分泌疾患
専 攻 医	須川 琢			

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本内分泌学会研修施設 日本甲状腺学会認定施設 日本高血圧学会認定施設
-------	---

- 内分泌代謝疾患とは「ホルモンの乱れに起因する病気」を総称するものです。下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性ホルモンの異常をきたす疾患の他、内分泌疾患を疑う必要のある、高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症などの生活習慣病、電解質異常、骨粗鬆症なども対象としており、糖尿病センターと連携して治療にあたっています。
- 地域における内分泌代謝疾患の専門診療を担っており、1999年には内分泌代謝性疾患に関する高度専門医療施設（準ナショナルセンター）として国の指定を受けています。全国の内分泌・代謝疾患の「専門医療施設」と内分泌・代謝疾患ネットワークを構築しています。また、日本内分泌学会認定教育施設および日本甲状腺学会認定専門医施設に認定されています。
- 診療のモットー
 1. 内分泌代謝疾患に関する、良質で高水準の医療を提供しています。
 2. 満足のいく十分な説明を行い、安心できる医療を提供しています。
 3. 十分な診療情報提供と逆紹介により、病診連携を促進しています。

□ 主な対象疾患

● 下垂体疾患

下垂体インシデンタローマ：脳ドックなど、CTやMRIで偶然見つかった下垂体腫瘍の機能評価をします。

下垂体機能亢進症：先端巨大症（アクリロメガリー）、グッシング病（下垂体性クッシング症候群）、プロラクチン産生下垂体腫瘍（プロラクチノーマ）、TSH産生下垂体腫瘍（中枢性甲状腺機能亢進症）などです。糖尿病や肥満、不順月経の原因になります。

下垂体機能低下症：シーハン症候群（出産後下垂体機能低下症）などの汎下垂体機能低下症、ACTH単独欠損症（下垂体性副腎不全）、成長ホルモン分泌不全症、リンパ球性下垂体炎、中枢性尿崩症などがあります。無月経や低身長、低血圧・低血糖、口渇・多飲・多尿などが主徴候となります。小児科からのトランジション（引き継ぎ治療）も大切です。

● 甲状腺疾患

甲状腺腫：学校検診や人間ドックなどで指摘された甲状腺腫の評価をします。

甲状腺インシデンタローマ：頸動脈エコーなどで偶然見つかった甲状腺腫瘍の良性・悪性の判定をします。甲状腺機能亢進症：バセドウ病のほか、プランマー病（機能性結節）、妊娠性甲状腺機能亢進症があります。眼球突出や心房細動がきっかけで見つかることもあります。振戦や筋力低下の原因にもなります。コントロール不良のバセドウ病にはアイソトープ治療（¹³¹I内用療法）も考えてみてください。

破壊性甲状腺中毒症：発熱・前頸部痛を主訴とする亜急性甲状腺炎や、橋本病をベースとした無痛性甲状腺炎、インターフェロンやアミオダロンなどによる薬剤性甲状腺中毒症があります。

甲状腺機能低下症：原因として橋本病（慢性甲状腺炎）が最も多いですが、先天性甲状腺機能低下症や薬剤性甲状腺機能低下症（向精神薬など）も少なくありません。便秘や体重増加、皮膚の乾燥、顔のむくみ、脱毛などを訴えます。

● 副甲状腺疾患

高カルシウム血症：副甲状腺腫による原発性副甲状腺機能亢進症や悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症、ビタミンD中毒があります。尿路結石を繰り返します。

低カルシウム血症：成人では特発性副甲状腺機能低下症があります。小児では、先天性副甲状腺機能低下症や偽性副甲状腺機能低下症があります。

骨粗鬆症：高齢化に伴い、閉経後の原発性骨粗鬆症が増加しています。ステロイドホルモンによる続発性骨粗鬆症にも注意が必要です。

● 副腎疾患

副腎インシデンタローマ：CTやMRIで偶然見つかった副腎腫瘍の機能評価をします。

副腎皮質機能亢進症：原発性アルドステロン症やクッシング症候群などがあります。多くは副腎腫瘍が原因です。高血圧や糖尿病、メタボリック症候群の原因になります。

副腎髓質機能亢進症：褐色細胞腫や傍神経節腫が原因です。術後数年後に転移が見つかるケースも少なくありません。発作性の高血圧が特徴です。

副腎皮質機能低下症：アチソン病や先天性副腎過形成などが原因となります。急性副腎不全（副腎クリーゼ）を発症することがあります。

● 性腺疾患

ターナー症候群、クラインフェルター症候群、多嚢胞性卵巣症候群などです。

● 内分泌性高血圧

高血圧の薬15%はホルモンの異常による内分泌性高血圧で、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、腎臓などのホルモン過剰が原因となります。適確な診断と治療で治癒可能なことが多いので、専門医の受診を勧めます。高血圧の～10%に原発性アルドステロン症が見つかります。

● メタボリックシンドローム

高血圧、肥満、糖尿病などの生活習慣病の中にも内分泌の病気が隠れています。

● サルコペニア

加齢によって筋肉量が減り、握力や歩く速度が低下するなど、身体機能に影響がでる状態。日常生活に支障がでるのみならず、転倒・骨折、生活習慣病、認知症などのさまざまな病気のリスクとなります。

● その他

腎性尿崩症、多発性内分泌腺腫症（MENⅠ型、MENⅡ型）

電解質異常（低カリウム血症、低ナトリウム血症など）、高脂血症、高尿酸血症など、その他の内分泌代謝疾患

□ 診療（業務）内容

- 外来では、血液検査、画像検査（レントゲン、CT、MRI、アイソトープ検査や甲状腺エコー）、甲状腺の細胞診などを行っています。遺伝子診断・遺伝相談、セカンドオピニオン外来を実施しています。本年度より新たに骨粗鬆症・サルコペニア専門外来を開設しました。

- 入院では、上記疾患の診断と治療の他、バセドウ病のアイソトープ治療、甲状腺眼症のステロイドパルス療法、原発性アルドステロン症の副腎静脈サンプリング検査などを実施しています。

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数

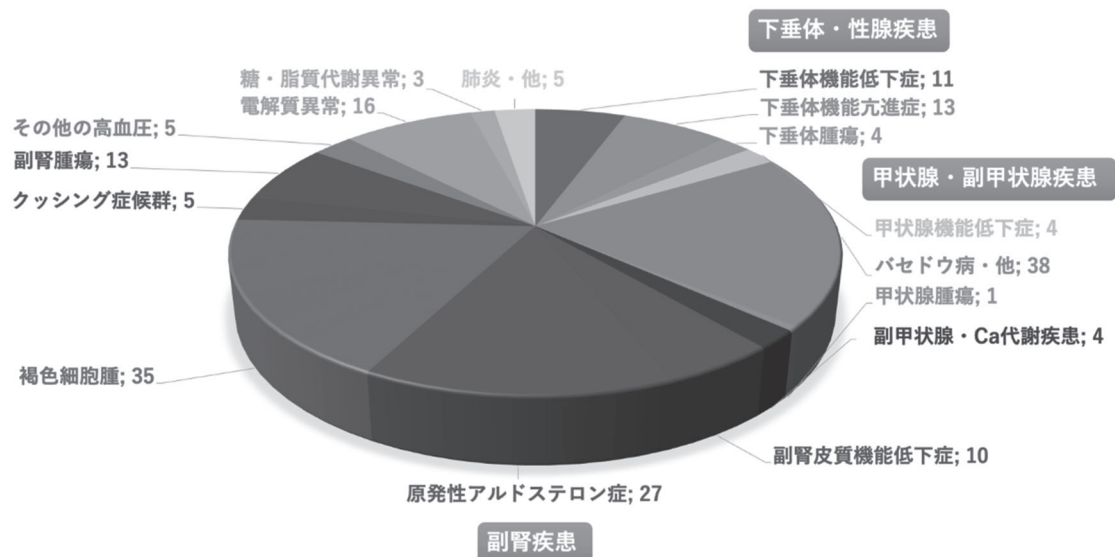
1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
4.8名	170名	9.7日

外来患者数

1日平均総患者数	年間初診患者数
54.3名	435名

主な検査の件数など

甲状腺エコー	甲状腺細胞診	副腎静脈サンプリング
1,277件	121件	13件



<福島県県外甲状腺検査>

平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって、東京電力福島第一原子力発電所では、放射性物質の放出を伴う事故（以下、福島第一原発事故という）が発生した。この事故は、国際原子力・放射線事象評価尺度（International Nuclear and Radiological Event Scale : INES）において、1986年4月26日に旧ソビエト連邦（現ウクライナ）で発生したチェルノブイリ原子力発電所事故（以下「チェルノブイリ原発事故」という）と同等の「7」（暫定）とされている。チェルノブイリ原発事故においては、事故直後に食品等の規制がなされなかったことなどに起因し、周辺住民の放射性ヨウ素による内部被ばくが拡大し、小児の甲状腺がんが増加する事態となった。このことから、福島第一原発事故においても小児の甲状腺がん発症への懸念が高まっている。このため、福島県では県民の健康見守り事業である「県民健康管理調査」を実施し、その中で、福島第一原発事故発生時に18歳以下の小児であった者に対する甲状腺検査を行っている。

「県民健康管理調査」事業は、福島第一原発事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげることで、将来にわたる県民の健康維持・増進を図ることを目的としている。財源には、国及び福島県からの出資金並びに東京電力株式会社から福島県への賠償金等から構成される「福島県民健康管理基金」が充てられている。検査・診断等は、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターが主体となって行っている。県民健康管理調査は、外部被ばく線量の推計を目的とした「基本調査」と、健康状態の把握を目的とした「詳細調査」から構成されている。

甲状腺検査

事故当時18歳以下の小児（平成4年4月2日以降に生まれた者）を対象とし、以下の2つの検査から構成されている。

- 先行検査 平成23年10月から平成26年3月末までに行われる、1回目の甲状腺検査
- 本格検査 平成26年4月以降、20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに継続して行われる甲状腺検査

チェルノブイリ原発事故のデータから、小児甲状腺がんが増加するのは事故後4～5年を経過して以降とされている。このことを踏まえつつ、事故直後に開始された先行検査は、福島第一原発事故後3年以内の小児の甲状腺の状態を把握することで、放射線被ばくによる影響が考えにくい時点での疾患の頻度を記録し、将来の健

健康管理の土台をつくることを目的としている。一方、事故後3年を経て開始される予定の本格検査は、放射線被ばくの影響についての追跡調査と健康管理を目的としている。平成25年現在行われているのは先行検査である。

先行検査はさらに、対象者全員に対して行われる一次検査と、一次検査で疑わしい所見のあった者に対してのみ行われる、診断確定のための二次検査で構成される。

一次検査は甲状腺エコー検査(超音波検査)である。二次検査は甲状腺エコー検査に加え、採血・尿検査が行われるほか、必要な場合は細胞診(甲状腺の細胞を採取して行う検査)が行われる。

京都医療センター内分泌・代謝内科では、京都府下への避難者(京都府内居住者)を対象に一次検査と二次検査を実施している。

	福島甲状腺エコー
2012年度	9件
2013年度	26件
2014年度	9件
2015年度	21件
2016年度	11件
2017年度	11件
2018年度	10件
2019年度	21件
2020年度	36件

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学術総会	両側副腎・肝の占拠性病変により副腎不全をきたした一例	濱中 佳歩[廣嶋], 難波 多挙, 兼子 大輝, 石原 裕己, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 勝島 慎二, 田上 哲也	WEB開催	2020/7/20-31
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学術総会	当院における免疫チェックポイント阻害薬による副腎皮質機能低下症に関する検討	立木 美香, 難波 多挙, 石原 裕己, 兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 須川 琢, 八十田 明宏, 田上 哲也	WEB開催	2020/7/20-31
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学術総会	大学新入生を対象とした若年者におけるサルコペニアの頻度およびその特徴に関する検討	赤松 裕訓, 日下部 徹, 荒井 宏司, 山本 祐二, 中尾 一和, 石原 裕己, 田上 哲也, 八十田 明宏, 浅原 哲子	WEB開催	2020/7/20-31
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学術総会	原発性アルドステロン症の術後Biochemical Outcomeの早期予測に関する検討	石原 裕己, 馬越 洋宜, 兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	WEB開催	2020/7/20-31
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学術総会	成長ホルモンによるGATA転写因子群を介したエネルギー代謝調節の基礎的検討	田上 哲也	WEB開催	2020/7/20-31
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学術総会	アルドステロン産生腺腫におけるACTH反応性とその臨床的意義	難波 多挙, 兼子 大輝, 石原 裕己, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	WEB開催	2020/7/20-31
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学術総会	SITSHを示す疾患の基礎と臨床 甲状腺ホルモン不応症の診断基準について	田上 哲也	WEB開催	2020/7/20-31
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学術総会	フィブラート製剤投与に伴い甲状腺機能の変動を認めた1例と自験例での検討	須川 琢	WEB開催	2020/7/20 ~ 8/31

国内学会発表	第93回日本内分泌学会 年次学術集会	原発性アルドステロン症の 術後Biochemical Outcome の早期予測に関する検討	石原 裕己, 馬越 洋宜, 廣嶋 佳歩, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	Web開催	2020/7/20 ~ 8/31
国内学会発表	第93回日本内分泌学会 学術総会	アルドステロン症において 非機能性と診断される副腎 腫瘍からも微量のコルチ ゾール自律分泌があり予後 に影響する	立木 美香, 成瀬 光栄	Web開催	2020/6/4-6/6
国内学会発表	第93回日本内分泌学会 学術総会	原発性アルドステロン症に おける副腎静脈サンプリン グの診断効率に関する検討 (国際共同研究AVSTAT study)	成瀬 光栄, 立木 美香	Web開催	2020/6/4-6/6
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	特別シンポジウム Al in Thyroid: 臨床医が考える甲 状腺疾患のAI診療	田上 哲也	WEB開催	2020/11/19- 12/15
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	メディカルスタッフシンポジ ウム: 多発性内分泌腫瘍症2 型の遺伝カウンセリング: 甲 状腺髄様がん術前に遺伝学 的検査を行った一例	小西 陽介, 日下部 徹, 難波 多挙, 橋本 有紀子, 北 誠, 和田 美智子, 鈴木 直宏, 江本 郁子, 安彦 郁, 林 琢磨, 浅原 哲子, 八十田 明宏	WEB開催	2020/11/19- 12/15
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	メディカルスタッフシンポジ ウム: 甲状腺機能異常に随 伴する症状の質問紙調査	嘉喜 葵, 長谷川 紗世, 曾谷 由衣, 喜田 幸, 中谷 理恵子, 石原 裕己, 難波 多挙, 立木 美香, 田上 哲也	WEB開催	2020/11/19- 12/15
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	共催セミナー 5: 次世代迅速 TSAb測定法の開発: 臨床評 価	田上 哲也	WEB開催	2020/11/19- 12/15
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	高得点演題: 原発性甲状腺 機能低下症にみられた apparentニュートラル型 TSH受容体抗体	田上 哲也, 石原 裕己, 中谷理恵子, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田明宏	WEB開催	2020/11/19- 12/15
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	ロシュ若手奨励賞(YIA) 候 補者講演: 骨粗鬆症患者に おける筋骨連関と生理的濃 度にある甲状腺ホルモンが 骨および筋肉に及ぼす影響 に関する検討	石原 裕己, 日下部 徹, 濱中(廣嶋)佳歩, 中谷理恵子, 難波 多挙, 立木 美香, 浅原 哲子, 八十田明宏, 田上 哲也	WEB開催	2020/11/19- 12/15
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	甲状腺ホルモンのコレステ ロール調節作用と喫煙	田上 哲也	WEB開催	2020/11/19- 12/15
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	当院における免疫チェック ポイント阻害薬による甲状 腺機能異常に関する検討	立木 美香, 石原 裕己, 難波 多挙, 中谷理恵子, 廣嶋 佳歩, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田明弘, 田上 哲也	WEB開催	2020/11/19- 12/15
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	パセドウ病 I-131 内用療法 における至適投与量の検討	中谷 理恵子, 山陰 一, 濱中 佳歩, 石原 祐己, 難波 綾, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	WEB開催	2020/11/19- 12/15
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	高齢者の甲状腺機能と認知 障害の関係について	田上 哲也, 浅原 哲子, 山蔭 一	WEB開催	2020/11/19- 12/15
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	重症筋無力症を合併した甲 状腺眼症の一例	難波 多挙, 濱中(廣嶋)佳歩, 野村 拓未, 吉田 弘樹, 浜 祥代, 石原 裕己, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	WEB開催	2020/11/19- 12/15
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	甲状腺髄様癌手術から 25 年後に両側褐色細胞腫を発 症した MEN2A の一例	田上 哲也	WEB開催	2020/11/19- 12/15
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	早期発見できた限局性甲状 腺 MALT リンパ腫の 1 例	野村 拓未, 石原 裕己, 安田 佳織, 伊藤 通子, 濱中(廣嶋)佳歩, 中谷 理恵子, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	WEB開催	2020/11/19- 12/15

国内学会発表	第63回日本甲状腺学会 学術集会	Basedow病を契機に診断され た常染色体優性低Ca血症 の1例	須川 琢	WEB開催	2020/11/19 ～ 12/15
国内学会発表	第30回内分泌update	GNA11変異による autosomal dominant hypocalcemiaの本邦第1例	須川 琢	WEB開催	2020/11/13 ～ 14
研究セミナー・ シンポジウム等	伏見内分泌代謝ネットワー ク第33回連携の会	偽性クッシング症候群と偽 性褐色細胞腫	立木 美香	京都	2020/7/16
研究セミナー・ シンポジウム等	伏見内分泌代謝ネットワー ク第33回連携の会	偽性アルドステロン症と偽 性低アルドステロン症	難波 多挙	京都	2020/7/16
研究セミナー・ シンポジウム等	伏見内分泌代謝ネットワー ク第33回連携の会	腎性尿崩症と腎性糖尿	中谷 理恵子	京都	2020/7/16
研究セミナー・ シンポジウム等	伏見薬剤師会研修会 WEB セミナー	高血圧における新規アルド ステロン受容体ブロッカー の可能性	難波 多挙	WEB開催	2020/12/5

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	田上 哲也	「Letters to the editor」 へのコメント	日本甲状腺学会 雑誌 (2185-3126)	11	2	92-93	2020/10	レター	日本甲状腺学会
和文	田上 哲也	【TSH受容体抗体を考 える】AITD患者血清にお けるApparentニュート ラル型TSH受容体抗体 について	日本甲状腺学会 雑誌 (2185-3126)	11	2	59-67	2020/10	解説	日本甲状腺学会
和文	田上 哲也	【難病研究の進歩】内分 泌 甲状腺機能異常	生体の科学 (0370-9531)	71	5	496-497	2020/10	解説	医学書院
和文	立木 美香, 田上 哲也, 成瀬 光栄	免疫チェックポイント阻 害薬による副腎皮質機 能異常	循環器内科 (1884-2909)	88	3	335-337	2020/9	解説	科学評論社
和文	難波 多挙, 田上 哲也, 浅原 哲子	【高血圧学 上-高血圧 制圧の現状と展望-】高 血圧領域における循環 生理活性物質研究の進 歩と展望(RAA系を除く) レプチン	日本臨床 (0047-1852)	78	増刊1 高血 圧学 (上)	366-370	2020/6	解説	日本臨床社
和文	田上 哲也	【ちょっとした疑問】 ニュートラル型のTSH受 容体抗体とは?	日本甲状腺学会 雑誌 (2185-3126)	11	1	34-37	2020/4	解説	日本内分泌学会
和文	成瀬 光栄, 立木 美香	【最新の高血圧診療:「高 血圧治療ガイドライン 2019」後の展開】高血 圧の成因、分類、疫学 二 次性高血圧	診断と治療	108	4	461-467	2020/4	総説	診断と治療社
和文	田上 哲也	甲状腺機能低下症	今日の治療指針 2021年版[デス ク判](私はこう治 療している)			806-808	2021/1	解説	医学書院
和文	田上 哲也	慢性甲状腺炎(橋本病)	今日の治療指針 2020年版[デス ク判](私はこう治 療している)			793-795	2020/1	解説	医学書院
和文	田上 哲也	第7章 内分泌疾患 甲状腺疾患2 炎症 1 慢性甲状腺炎(橋本病)	新臨床内科学 第10版			882-886	2020/3	解説	医学書院
和文	田上 哲也	診断メモ 甲状腺ク リーゼ	内科 内科疾患 の診断基準・病 型分類・重症度	127	4	1011	2021/4	解説	南江堂
和文	成瀬 光栄, 立木 美香	【高血圧学 下-高血圧 制圧の現状と展望-】二 次性高血圧の診断と治 療のトピックス 難治 性副腎疾患の診療に直 結するエビデンス創出 研究(JRAS研究)	日本臨床増刊号 高血圧学(下)	78	増刊2	341-346	2020/7	総説	日本臨床社

和文	成瀬 光栄, 立木 美香	【腎疾患コンサルテーション】高血圧 褐色細胞腫・パラガングリオーマを疑う所見と鑑別診断	腎と透析	89	4	658-660	2020/10	総説	東京医学社
和文	立木 美香, 成瀬 光栄	【内分泌腺腫瘍(第2版)-基礎・臨床研究のアップデート-】副腎腫瘍 副腎腫瘍の治療薬物治療 褐色細胞腫	日本臨床増刊号 内分泌腺腫瘍	78	4	675-678	2020/9	総説	日本臨床社
和文	成瀬 光栄, 立木 美香	【内分泌腺腫瘍(第2版)-基礎・臨床研究のアップデート-】副腎腫瘍 副腎腫瘍の治療 褐色細胞腫・パラガングリオーマ治療戦略 概論	日本臨床増刊号 内分泌腺腫瘍	78	4	647-651	2020/9	総説	日本臨床社
和文	成瀬 光栄, 立木 美香	【内分泌腺腫瘍(第2版)-基礎・臨床研究のアップデート-】副腎腫瘍 副腎腫瘍の病態生理と臨床像 褐色細胞腫・パラガングリオーマ 良性と悪性の鑑別診断	日本臨床増刊号 内分泌腺腫瘍	78	4	600-602	2020/10	総説	日本臨床社
和文	成瀬 光栄, 立木 美香	【アルドステロン症・副腎疾患update】原発性アルドステロン症の診療水準向上に向けた系統的・継続的な取り組み	循環器内科	88	3	231-236	2020/10	総説	科学評論社
和文	立木 美香, 成瀬 光栄	第5章副腎および関連疾患 F原発性アルドステロン症 1副腎CT	内分泌画像検査・診断マニュアル	第2版		170-171	2020/12	総説	診断と治療社
和文	成瀬 光栄, 立木 美香	第5章副腎および関連疾患 F原発性アルドステロン症 2副腎シンチグラフィ	内分泌画像検査・診断マニュアル	第2版		172-173	2020/12	総説	診断と治療社
和文	立木 美香	付録 内分泌画像検査所見一覧	内分泌画像検査・診断マニュアル	第2版		242-246	2020/12	総説	診断と治療社
和文	濱中 佳歩[廣嶋], 難波 多挙, 兼子 大輝, 石原 裕己, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 勝島 慎二, 田上 哲也	両側副腎・肝の占拠性病変により副腎不全をきたした一例	日本内分泌学会 雑誌 (0029-0661)	96	1	373	2020/8	会議録	日本内分泌学会
和文	立木 美香, 難波 多挙, 石原 裕己, 兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 須川 琢, 八十田 明宏, 田上 哲也	当院における免疫チェックポイント阻害薬による副腎皮質機能低下症に関する検討	日本内分泌学会 雑誌 (0029-0661)	96	1	372	2020/8	会議録	日本内分泌学会
和文	赤松 裕訓, 日下部 徹, 石原 裕己, 田上 哲也, 八十田 明宏, 浅原 哲子	大学新入生を対象とした若年者におけるサルコペニアの頻度およびその特徴に関する検討	日本内分泌学会 雑誌 (0029-0661)	96	1	368	2020/8	会議録	日本内分泌学会

和文	石原 裕己, 馬越 洋宜, 兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	原発性アルドステロン症の術後Biochemical Outcomeの早期予測に関する検討	日本内分泌学会雑誌 (0029-0661)	96	1	335	2020/8	会議録	日本内分泌学会
和文	田上 哲也	成長ホルモンによるGATA転写因子群を介したエネルギー代謝調節の基礎的検討	日本内分泌学会雑誌 (0029-0661)	96	1	284	2020/8	会議録	日本内分泌学会
和文	難波 多挙, 兼子 大輝, 石原 裕己, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	アルドステロン産生腺腫におけるACTH反応性とその臨床的意義	日本内分泌学会雑誌 (0029-0661)	96	1	284	2020/8	会議録	日本内分泌学会
和文	田上 哲也	SITSHを示す疾患の基礎と臨床 甲状腺ホルモン不応症の診断基準について	日本内分泌学会雑誌 (0029-0661)	96	1	124	2020/8	会議録	日本内分泌学会
和文	田上 哲也	伏見内分泌代謝ネットワーク第33回連携の会 テーマ:偽性の陰に真性あり	伏見医報		723	8	2020/7	会議録	伏見医師会
和文	立木 美香	偽性クッシング症候群と偽性褐色細胞腫	伏見医報		723	8	2020/7	会議録	伏見医師会
和文	難波 多挙	偽性アルドステロン症と偽性低アルドステロン症	伏見医報		723	8	2020/7	会議録	伏見医師会
和文	中谷 理恵子	"Nephrogenic diabetes insipidus and Renal glycosuria" 「腎性尿崩症と腎性糖尿」	伏見医報		723	8	2020/7	会議録	伏見医師会
英文	藤田 浩平, 嘉田 真平, 金井 修, 畑 啓昭, 小田垣 孝雄, 浅原 哲子, 田上 哲也, 八十田 明宏	Quantitative SARS-CoV-2 Antibody Screening of Healthcare Workers in the Southern Part of Kyoto City During the COVID-19 Pre-pandemic Period	Front Public Health	8		595348	2020/12	原著論文	
英文	石原 裕己, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	Reassessment of Urinary Aldosterone Measurement After Saline Infusion in Primary Aldosteronism.	J Endocr Soc	4	9	bvaa100	2020/7	原著論文	
英文	難波 多挙	Genetic, Cellular, and Molecular Heterogeneity in Adrenals With Aldosterone-Producing Adenoma	Hypertension	75	4	1034-1044	2020/4	原著論文	
英文	難波 多挙	Biochemical, Histopathological, and Genetic Characterization of Posture-Responsive and Unresponsive APAs	J Clin Endocrinol Metab	105	9	e3224-e3235	2020/9	原著論文	

英文	難波 多挙	Prevalence of Somatic Mutations in Aldosterone-Producing Adenomas in Japanese Patients	J Clin Endocrinol Metab	105	11	e4066-e4073	2020/11	原著論文	
英文	難波 多挙	Identification of Somatic Mutations in CLCN2 in Aldosterone-Producing Adenomas	J Endocr Soc	4	10	bvaa123	2020/10	原著論文	
英文	立木 美香, 成瀬 光栄	Nadir Aldosterone Levels After Confirmatory Tests Are Correlated With Left Ventricular Hypertrophy in Primary Aldosteronism.	Hypertension	75	6	1475-1482	2020/6	原著論文	
英文	立木 美香, 成瀬 光栄	Diabetes Mellitus Itself Increases Cardio-Cerebrovascular Risk and Renal Complications in Primary Aldosteronism.	J Clin Endocrinol Metab	105	7	dgaa177	2020/6	原著論文	
英文	立木 美香, 成瀬 光栄	Obesity predicts persistence of resistant hypertension after surgery in patients with primary aldosteronism.	Clin Endocrinol (Oxf)	93	3	229-237	2020/9	原著論文	
英文	立木 美香, 成瀬 光栄	Associations Between Changes in Plasma Renin Activity and Aldosterone Concentrations and Changes in Kidney Function After Treatment for Primary Aldosteronism	Kidney Int Rep	5	8	1291-1297	2020/6	原著論文	
英文	立木 美香, 成瀬 光栄	Adrenal venous sampling guided adrenalectomy rates in primary aldosteronism: results of an international cohort (AVSTAT)	J Clin Endocrinol Metab	106	3	e1400-e1407	2021/3	原著論文	
英文	立木 美香, 成瀬 光栄	Sex Differences in Renal Outcomes After Medical Treatment for Bilateral Primary Aldosteronism.	Hypertension	77	2	537-545	2020/2	原著論文	
英文	立木 美香, 成瀬 光栄	Diverse pathological lesions of primary aldosteronism and their clinical significance.	Hypertens Res	44	5	498-507	2021/5	原著論文	
英文	田上 哲也	V Internal Medical Care 2 Endocrine and Metabolic Disorders	2020 Guide for the Management of Thalidomide Embryopathy			34-36	2021/3	総説	The Research Group on grasping the health and living situation as well as creating the support infrastructure for the thalidomide-impaired people in Japan

糖尿病センター(糖尿病内科)



診療科長
河野 茂夫

専門医資格等 WHO糖尿病協力センター長
日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医
日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本糖尿病学会 評議員
日本内分泌学会 評議員
京都大学医学博士
京都大学臨床教授
専門分野 糖尿病
得意疾患 足病変

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	村田 敬	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本小児・思春期糖尿病学会 評議員 日本メディカルAI学会 評議員 東京大学医学博士	糖尿病	若年者糖尿病
医 師	渡邊 知一	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医	糖尿病	糖尿病
医 師	野村 英生	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	糖尿病	糖尿病
内 分 泌 代 謝 高 血 圧 研 究 部 長	浅原 哲子	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本糖尿病学会近畿支部 評議員 日本内分泌学会 幹事・内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 日本動脈硬化学会 認定動脈硬化専門医・評議員 日本病態栄養学会 評議員 日本抗加齢医学会 認定専門医 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医・指導医 日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会 評議員 日本性差医学・医療学会 評議員 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師 九州大学非常勤講師 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センターフェロー 同志社大学 スポーツ健康科学部 客員教授 滋賀医科大学 社会医学講座 公衆衛生学部門 客員教授 久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門 客員教授 帝京大学医学部 臨床研究医学講座 特任教授 名古屋大学環境医学研究所 メタボ栄養科学寄付研究部門 特任教授	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)疾患、内分泌代謝内科、予防医学、遺伝診療	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)疾患、内分泌代謝内科、予防医学、遺伝性疾患全般
予 防 医 学 研 究 室 長	坂根 直樹	日本内科学会 認定医 日本肥満学会 評議員 京都府立医科大学医学博士	糖尿病	糖尿病

臨床内分泌代謝(専任)研究室長	日下部 徹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 日本肥満症治療学会 評議員 日本サルコペニア・フレイル学会 評議員 京都大学医学博士 京都大学客員研究員	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、内分泌	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、内分泌、サルコペニア
-----------------	-------	---	---------------------------	----------------------------------

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本糖尿病学会認定教育施設 日本肥満学会認定専門病院
-------	-------------------------------

- 生活習慣病である糖尿病の治療には、患者さんで自身が自己管理能力を身につけることが大事です。当科では糖尿病教育、すなわち患者さんへの教育を実施すると同時に、患者さんに対する指導能力を高めた教育スタッフを育成し、より一層の治療実績アップに努めます
- 地域の糖尿病基幹病院としての責務を果たすべく、地域連携に努めます

□ 主な対象疾患

2型糖尿病、耐糖能異常、1型糖尿病、肥満症、メタボリック症候群、糖尿病神経障害と糖尿病足病変、糖尿病腎症、糖尿病網膜症(眼科)、妊娠糖尿病、脂質異常症(高脂血症)、糖尿病性昏睡、重症低血糖

□ 診療(業務)内容

糖尿病センターでは一般糖尿病外来および入院での診療に加えてさまざまな専門外来を開設し、さまざまなタイプの糖尿病および関連疾患およびそれらの合併症の充実した診療活動につながっている。

下記の専門外来の診療活動について紹介する。

- ・フットケア外来 毎週月曜日14時～/フットセンター外来 毎週火曜日14時～(2000年開設) フットケア外来では、主に糖尿病に由来する足病変に対応し、全国各地からの紹介患者を集めている。また、非糖尿病足病変患者に対する問い合わせも多く、難治性の足病変を扱う集学的な欧米型のフットセンターを目指している。フットセンター外来では初診は糖尿病センターで行い、一般診療をした上で、関係担当診療科へ紹介している。
- ・フットウェア外来(月2回:木曜日13時～16時 完全予約制) フットウェア外来では義肢装具士がオーストリア人の整形外科靴マイスター(Orthopedic Shoe Meister)と協力して、靴・装具の指導や調整にあたっている。
- ・1型糖尿病外来(2005年開設) 毎週火曜日午前・午後、金曜日の午前。/インスリンポンプ(CSII)外来(2010年開設) 毎週月曜日の午後。

医師、看護師、管理栄養士チームを組み、1型糖尿病の系統的な自己管理教育と心理・社会的な問題への対応を含めた患者支援を行っている。食事の炭水化物量に合わせてインスリンの単位数を自己調節するカーボカウントや、インスリンポンプ・持続血糖測定器(CGM)などの先進糖尿病デバイスの活用により、合併症予防と生活の質(QOL)の両立を目指している。小児期発症患者の成人移行、1型糖尿病合併妊娠の内科的管理、1型糖尿病患者を対象とした臨床研究も実施している。糖尿病センターに登録されている1型糖尿病患者は約270名。インスリンポンプ療法(CSII)を行っている者は75名(新規導入3名)。このうち、SAP(リアルタイムCGM機能搭載インスリンポンプ)を用いている者は37名(49%)。単体型リアルタイムCGMを用いている者は5名、間歇スキャンCGMを用いている者は46名。2019年度の1型糖尿病外来の初診患者は16名である。

- ・肥満・メタボリックシンドローム外来(2001年開設) 毎週 水曜日9時～14時

肥満・メタボリックシンドローム外来では、医師・看護師・栄養士によるチーム医療をベースに、体重グラフや食事記録表を登録した当院独自の「ダイエットノート」を活用し、日本肥満学会が提唱する減量指導を行い、

動脈硬化等の合併症も定期的に評価している。

また、外来患者を中心に2006年よりメタボ会（患者会）を定期的に開催。さらにメタボ通信、スマートランチ等をチーム医療で展開し、外来開設から現在まで述べ19,000人以上の患者治療を行ってきた。

- ・脂質異常外来（2005年開設）：第2、4木曜日。家族性高コレステロール血症（FH、2020年3月で124名を登録）やWHO分類のV型など1,000mg/dL以上の著明な高中性脂肪血症（同、22名を登録）の鑑別診断と治療方針の決定を行っている。スタチンのみで管理不良のFHヘテロ接合体に対するPCSK9阻害薬の使用も開始。また、スタチン投薬時のCPK上昇例の対応やスタチン関連自己免疫性ミオパチーなど副作用症例の対応も行っている。管理栄養士による高脂血症療養指導外来（2006年開設）も併設し、節酒による中性脂肪改善プログラム（HAPPY）も提供している。
 - ・妊娠糖尿病外来（2007年3月開設）毎週金曜日13時～15時 妊娠糖尿病は妊娠中に初めて発見された軽度の（糖尿病には至っていないレベルの）耐糖能異常で巨大児その他の周産期合併症の原因となる。また出産後の糖尿病発症リスクが増大する。妊娠前に糖尿病を発症した場合、糖尿病合併妊娠となり、胎児奇形が大きな問題となり、妊娠前血糖管理が重要となる。2019年度当外来を受診した新規患者数は34名であった。
 - ・糖尿病血管合併症外来/毎週金曜日13時～16時 糖尿病血管合併症外来では、糖尿病血管合併症のスクリーニングを行い、他科との緊密な連携によって治療にあたっている。特に、閉塞性動脈硬化症などの合併症に加え腎機能障害を有する糖尿病患者の短期入院で、外来での施行が困難な造影剤による画像検査を施行し、定期的なスクリーニング・治療への展開も検討している。
 - ・糖尿病透析予防指導外来（2012年10月開設） 糖尿病腎症2期以上の患者を対象とし、医師、看護師、管理栄養士が連携して自己管理指導を行う。毎週月、水、木曜日に1名ずつの予約枠となっていて、現在3回シリーズとして指導を実施している。
- さらに、糖尿病センターではコメディカルスタッフによる指導として一般糖尿病食事指導（管理栄養士）および糖尿病療養指導外来（インスリン自己注射、血糖自己測定、フットケア指導など：看護師）を開設している。また、自己管理（療養）を患者に指導する医療スタッフである糖尿病療養指導士（CDEJ）は、当院内で看護部、薬剤部、栄養科、検査科などに多数を擁し、綿密な糖尿病セルフケアを支援している。
- ・糖尿病地域連携外来 第1,2,4,5水曜日、9時～14時

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
9.6名	196名	16.5日

外来患者数

1日平均患者数
64.5名

主な手術・検査の件数など

CGM（連続皮下ブドウ糖測定）	CAVI/ABI測定	CT（内臓脂肪面積測定）
9件	190件	80件

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
研究セミナー・シンポジウム等	患者さんのためになること 医のココロ	生活習慣を見直そう～3日 坊主になる人、ならない人 ～	坂根 直樹	京都	2021/1/23
研究セミナー・シンポジウム等	患者さんのためになること 医のココロ	生活習慣を見直そう～塩分 ～ 生活習慣を見直そう～禁煙 成功への道～	坂根 直樹	京都	2021/1/30
研究セミナー・シンポジウム等	15th Stroke Oriented… 研究会	肥満症・糖尿病に合併する サルコペニアと動脈硬化	日下部 徹	京都	2020/8/29
国際学会発表	The American Society for Nutrition 2020	Effects of a Chrononutrition-Based Mobile App Intervention on Meal Timings and Weight Changes in Adults	坂根 直樹, 坂根 靖子, 菅沼 彰子	シアトル	2020/6/1
国内学会発表	第10回CGMから見えてきた 今後の糖尿病治療を考 えるスモールミーティング	COVID-19パンデミック下の 糖尿病診療 -京都医療セ ンターにおける経験-	村田 敬	オンライン	2020/10/22
国内学会発表	第5回日本糖尿病・生活習 慣病ヒューマンデータ学会 年次学術集会	JOMS/J-DOS2 Study Group: 認知症・心血管病の 早期評価系構築のための多 施設共同大規模肥満症コ ホート研究	山陰一, 浅原 哲子	福岡	2020/12/11
国内学会発表	第41回日本肥満学会・ 第38回日本肥満症治療学会	PTP1B遺伝子多型は日本人 のBMIおよび減量治療抵抗 性に関連する	浅原 哲子	富山	2021/3/21
国内学会発表	第11回日本プライマリ・ケ ア連合学会学術大会	残薬の有無に関する臨床予 測ツールの作成 (The Mima- SONGS Study)	藤原 真治, 菅沼 彰子, 小谷 和 彦, 坂根 直樹	広島市 (web開催)	2020/7/23
国内学会発表	第20回日本内分泌学会 九州支部学術集会	脂肪萎縮症とレプチン治 療ープレジジョンメディスン を目指してー	日下部 徹	WEB	2020/9/18 ～ 2020/10/4
国内学会発表	第30回臨床内分泌代謝 Update	チーム医療を軸としたモチ ベーションを高める糖尿病 治療	浅原 哲子	東京	2020/11/13
国内学会発表	第39回臨床運動療法学会	腹囲と筋質による複合指標 は肥満患者の心血管疾患リ スクを予測する	池上 健太郎, 日下部 徹, 村中 和哉, 赤松 裕訓, 山陰 一, 井上 隆之, 浅原 哲子	WEB	2020/9/5
国内学会発表	第84回日本循環器病学会 学術集会	喫煙者における動脈硬化促 進作用を有する酸化LDLは 歯周病と関連していた	小見山麻紀, 浅原 哲子, 山陰一, 和田啓道, 八十田明宏, 長谷川浩二	Web開催	2020/7/27- 2020/8/2
国内学会発表	第44回日本遺伝カウンセリ ング学会学術集会	京都医療センターにおける 遺伝カウンセリングロール プレイ演習導入の試み	小西 陽介, 飛騨 美希, 和田 美智子, 北 誠, 橋本 有紀子, 難波 多挙, 江本 郁子, 安彦 郁, 日下部 徹, 三宅 秀彦, 浅原 哲子, 高倉 賢二, 八十田 明宏	沖縄	2020/7/3-5
国内学会発表	第84回日本循環器病学会 学術集会	禁煙後早期におけるシスタ チンCの減少は血清MCP-1 と正の相関を認めた	小見山 麻紀, 浅原 哲子, 山陰 一, 和田 啓道, 長谷川 浩二	Web開催	2020/7/27- 2020/8/2
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学 術総会	原発性アルドステロン症の 術後Biochemical Outcome の早期予測に関する検討	石原 裕己, 馬越 洋宜, 兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	Web開催	2020/7/20- 2020/8/31
国内学会発表	第93回日本産業衛生学会	個別に生活習慣改善の優先 順位を提案するシステムの 開発～隠れマルコフモデル を用いて～	坂根 直樹	北海道、 オンデマンド 配信	2020/5/14
国内学会発表	第63回日本糖尿病学会 年次学術集会	高齢者2型糖尿病における 認知症予防のための多因子 介入研究ーパイロット研究 ー (J-MIND Diabetes) 進捗 報告	浅原 哲子	Web開催	2020/10/5-16

国内学会発表	第63回日本甲状腺学会学術集会	重症筋無力症を合併した甲状腺眼症の一例	難波 多挙, 廣嶋 佳歩, 野村 拓未, 石田 弘樹, 濱 祥代, 石原 裕己, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	奈良	2020/11/19-21
国内学会発表	第41回日本肥満学会・第38回日本肥満症治療学会	食事・行動療法を併用したマジンドールの効果的な活用術	浅原 哲子	富山	2021/3/20
国内学会発表	第41回日本肥満学会&第38回日本肥満症治療学会学術集会	生体電気インピーダンス法によるPhase Angleのサルコペニア診療における意義に関する検討	赤松 裕訓, 日下部 徹, 池上 健太郎, 石原 裕己, 田上 哲也, 八十田 明宏, 浅原 哲子	WEB	2021/3/25 ~ 2021/4/20
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会学術集会	早期発見できた限局性甲状腺MALTリンパ腫の1例	野村 拓未, 石原 裕己, 安田 佳織, 伊藤 通子, 廣嶋 佳歩, 中谷 理恵子, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	奈良	2020/11/19-21
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会学術集会	多発性内分泌腫瘍症2型の遺伝カウンセリング:甲状腺髄様がん術前に遺伝学的検査を行った一例	小西 陽介, 日下部 徹, 難波 多挙, 橋本 有紀子, 北 誠, 和田 美智子, 鈴木 直宏, 江本 郁子, 安彦 郁, 林 琢磨, 浅原 哲子, 八十田 明宏	WEB	2020/11/19 ~ 2020/12/15
国内学会発表	第20回日本抗加齢医学会総会	代謝臓器としての骨格筋—肥満症・2型糖尿病におけるサルコペニア—	日下部 徹, 浅原 哲子	WEB	2020/9/25 ~ 2020/9/27
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学術総会	大学新入生を対象とした若年者におけるサルコペニアの頻度およびその特徴に関する検討	赤松 裕訓, 日下部 徹, 荒井 宏司, 山本 祐二, 中尾 一和, 石原 裕己, 田上 哲也, 八十田 明宏, 浅原 哲子	WEB	2020/7/20 ~ 2020/8/31
国内学会発表	第7回サルコペニア・フレイル学会	単球・ミクログリアを介した認知症とサルコペニアの関連	浅原 哲子	東京	2020/11/15
国内学会発表	第63回日本糖尿病学会年次学術集会	男性勤労者において2年以内の糖尿病発症が示唆されるストレス反応の予測	高橋 かおる, 菅沼 彰子, 坂根 直樹	仙台(Web)	2020/10/15
国内学会発表	第57回日本糖尿病学会近畿地方会	糖尿病・肥満と認知症—進展機序と予防戦略—	浅原 哲子	Web開催	2020/10/17
国内学会発表	第41回日本肥満学会&第38回日本肥満症治療学会学術集会	肥満患者において脳心血管病リスクを予測するサルコペニア肥満の診断指標	日下部 徹, 浅原 哲子	WEB	2021/3/20 ~ 2021/3/21
国内学会発表	第57回日本糖尿病学会近畿地方会	肥満型糖尿病の治療選択—SGLT2阻害薬の展望—	浅原 哲子	Web開催	2020/10/17
国内学会発表	第39回日本臨床運動療学会学術集会	腹囲と筋質による複合指標は肥満患者の心血管疾患リスクを予測する	池上 健太郎, 日下部 徹, 村中 和哉, 赤松 裕訓, 山陰 一, 井上 隆之, 浅原 哲子	Web開催	2020/9/5-6
国内学会発表	第75回日本体力医学会大会	離島高齢者における独居とフレイルとの関係	宮崎 亮, 坂根 直樹	鹿児島	2020/9/25
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学術総会	両側副腎・肝の占拠性病変により副腎不全をきたした一例	濱中(廣嶋) 佳歩, 難波 多挙, 兼子 大輝, 石原 裕己, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 勝島 慎二, 田上 哲也	Web開催	2020/7/20-2020/8/31
	FM845 カラダ元気コーナー	現代の肥満・糖尿病予防の為の行動療法について～『いただきますを言わない人が太るワケより～』	浅原 哲子	京都	2020/11/24
国際学会発表	56th annual meeting of EASD	EASD/AASD Symposium: Implementation science in diabetes. AASD/IDF-WPR Diabetic Foot Guidelines: Implementation in Asia and WPR	Shigeo Kono	ウーン	2020/9/25

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	浅原 哲子	「いただきます」を言わない人が太るワケスゴ腕女医の「やせる」極意	「いただきます」を言わない人が太るワケスゴ腕女医の「やせる」極意	-	-	1-184	2020/8	一般	三笠書房
和文	村田 敬	AI・ICTを用いた透析管理 AIを用いた血糖管理	臨床透析	36	5	477 ~ 484	2020/5	総説	日本メディカルセンター
和文	日下部 徹	ELISA法による血中レプチン濃度測定キット (Leptin ELISA「コスミック」)の基礎的および臨床的有用性の検討	医学と薬学	77	5	767-774	2020/5	総説	自然科学社
和文	浅原 哲子	質疑応答 プロからプロへ 糖尿病の認知症リスクとその予知マーカーについて	日本医事新報	-	5022	48	2020/7	総説	日本医事新報社
和文	浅原 哲子	肥満症における大豆イソフラボン由来の腸内細菌代謝産物・エクオールの効果	実験医学				in press	総説	羊土社
和文	日下部 徹	レプチン・アディポネクチン	臨床雑誌内科検査値を読む2020	125	増大 号 4	1042-1043	2020/4	総説	(株)南江堂
和文	村田 敬	医療AIとサイバーセキュリティ	医学のあゆみ	274	9	895 ~ 899	2020/8/29	総説	医歯薬出版
和文	日下部 徹	個人差の理解へ向かう肥満症研究 (第3章-5 脂肪萎縮症)	実験医学	39	増刊 5	未定	2021/3	総説	(株)羊土社
和文	坂根 直樹	松本市の成人を対象とした血糖値および尿酸値をはじめとする血液検査値と生活習慣に関する横断研究(原著論文)	薬理と治療	48	6	969-978	2020/6	原著論文	ライフサイエンス出版(株)
和文	村田 敬	日本国内でのFreeStyle リブレの使用におけるSMBG併用の重要性	糖尿病	63	9	634 ~ 635	2020	原著論文	日本糖尿病学会
和文	河野 茂夫	-	糖尿病専門医研修ガイドブック (改訂第8版) (日本糖尿病学会)			345-349	2020/10	総説	診断と治療社
英文	高橋 かおる, 菅沼 彰子, 坂根 直樹	Association Between Psychological Distress and Stress-Related Symptoms and Increased Risk of Type 2 Diabetes in Male Individuals: An Observational Study	J Clin Med Res	12	12	816-823	2020/12	原著論文	
英文	坂根 直樹	Diagnostic Accuracy of Single Spot Urine for Detecting Renal Uric Acid Underexcretion in Men	J Clin Med Res	12	7	443-447	2020/7	原著論文	
英文	坂根 直樹	Effect of the Casein-Derived Peptide Met-Lys-Pro on Cognitive Function in Community-Dwelling Adults Without Dementia: A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Trial	Clin Interv Aging	27	15	743-754	2020/5	原著論文	

英文	和田 啓道, 浅原 哲子, 島津 章, 長谷川 浩二	Effects of Metformin on Left Ventricular Size and Function in Hypertensive Patients with Type 2 Diabetes Mellitus: Results of a Randomized, Controlled, Multicenter, Phase IV Trial.	Am J Cardiovasc Drugs	20	3	283-293	2020/6	原著論文	
英文	小谷 和彦, 坂根 直樹	Effects of Proprotein Convertase Subtilisin/Kexin Type 9 (PCSK9) Inhibitor on Oxidized Lipoprotein Levels: A Case Report	The Journal of Applied Laboratory Medicine	5	5	1124-1126	2020/9	原著論文以外	
英文	村田 敬	Ethics and practical mitigations for ongoing clinical trials during the COVID-19 pandemic.	Diabetol Int.	11	3	240-241	2020/6	原著論文	
英文	林 育代, 山口 健, 高倉 賢二, 坂根 直樹	Full-term low birth weight infants have differentially hypermethylated DNA related to immune system and organ growth: a comparison with full-term normal birth weight infants	BMC Research Notes.	199	13	1-7	2020/4	原著論文	
英文	二連木 晋輔, 坂根 直樹	Near-Infrared Time-Resolved Spectroscopy for Assessing Brown Adipose Tissue Density in Humans: A Review	Front Endocrinol (Lausanne)	11	261	1-13	2020/5	原著論文	
英文	山口 建, 林 育代, 坂根 直樹, 江本 郁子, 宇治田 麻里, 安彦 郁, 高尾 由美	Postpartum hemorrhage is associated with neonatal body weight, pre-pregnancy body mass index, and maternal weight gain.	Clinical and Experimental Obstetrics & Gynecology.	47	6	920-925	2020/12	原著論文	
英文	兼子 大輝, 馬越 洋宜, 石原 裕己, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	Reassessment of Urinary Aldosterone Measurement After Saline Infusion in Primary Aldosteronism	J Endocr Soc.	4	9		2020/9	原著論文	
英文	大谷 良, 坂根 直樹	Response to Letter to the Editor	J Stroke Cerebrovasc Dis	29	4	1	2020/4	原著論文以外	
英文	山口 建, 山陰 一, 安彦 郁, 浅原 哲子, 高倉 賢二, 小西 郁夫	Serum lactate dehydrogenase is a possible predictor of platinum resistance in ovarian cancer Short title: Prognostic value of serum LDH in ovarian cancer.	Obstet Gynecol Sci	63	6	709-718	2020/11	原著論文	
英文	馬越 洋宜, 石原 裕己, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	Significance of urinary aldosterone measurement after saline infusion to predict subtype of primary aldosteronism.	J Endocr Soc	4	9	bvaa100	2020/7	原著論文	

英文	坂根 直樹, 安藤 仁, 宮崎 亮	Social participation and physical prefrailty in older Japanese adults: The Shimane CoHRE study	PLoS One	15	12	e0243548	2020/12	原著論文	
英文	浅原 哲子	Metabolic Syndromes and CAVI.	Cardio-Ankle Vascular Index – Overview & Clinical Application-	-	-	-		原著論文以外	
英文	河野 茂夫	Diabetic Foot Worldwide : Pacific Region	The Foot in Diabetes (Fifth Edition): WILEY Blackwell			75-78	2020/ in press	原著論文以 外	

腎臓内科



診療部長
診療科長
瀬田 公一

専門医資格等

日本腎臓学会 専門医・指導医
日本透析医学会 専門医・指導医
日本高血圧学会 専門医・指導医
日本内科学会 総合内科専門医・
JMECCインストラクター
日本集中治療医学会 専門医
日本救急医学会ICLSインストラクター
ICD制度協議会認定インфекション
コントロールドクター
日本急性血液浄化学会認定指導者
京都大学医学博士
京都大学臨床教授
奈良県立医科大学非常勤講師
日本内科学会近畿地方会評議員
京都府医師会 勤務医部会幹事
伏見医師会 理事

専門分野

腎臓内科

得意疾患

高血圧、透析、急性血液浄化、
常染色体優性多発性嚢胞腎

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	小泉 三輝	日本腎臓学会 専門医・指導医 日本透析学会 専門医・指導医 日本集中治療医学会 専門医 日本内科学会 総合内科専門医・ JMECCインストラクター 日本急性血液浄化学会 認定指導医	腎臓内科	透析、急性血液浄化
医 師	高折 光司	日本腎臓学会 専門医 日本透析学会 専門医・指導医 日本内科学会 総合内科専門医 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマ リ・ケア認定医・指導医 京都大学医学博士	腎臓内科	透析、急性血液浄化
医 師	平井 大輔	日本内科学会 認定内科医	腎臓内科	透析
医 師	上田 直子	日本内科学会 認定内科医	腎臓内科	透析
専 攻 医	河合 悠里子		腎臓内科	透析

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本腎臓学会研修施設 日本透析医学会認定施設 日本急性血液浄化学会認定指定施設
-------	---

1. 積極的に腎生検を行い、早ければ翌日には診断がつく体制を取っている
2. 血液透析だけでなく、血漿交換や持続血液ろ過透析など急性血液浄化に対応できる
3. 腹膜透析も多く導入している
4. 学会発表・論文執筆・臨床研究を積極的に行っている

□ 主な対象疾患

急性腎不全、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症、急速進行性糸球体腎炎、多発性嚢胞腎、Gitelman症候群、高血圧症

□ 診療（業務）内容

1. 慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群などに対して腎生検を行い、その結果に基づいて治療を行っている。
2. 保存期腎不全に対し、血圧管理を始めとした腎保護療法を行い、末期腎不全への進行を抑制できるようにしている。
3. 末期腎不全に陥った場合、腎移植・腹膜透析・血液透析の3つの選択肢を提示し、患者に合った治療を提供している。

□ 診療実績

	2019年度	2020年度
入院患者数/日（人）	15.0	10.9
平均在院日数（日）	12.3	10.0
外来患者数/日（人）	29.7	25.2
紹介患者数（地域連携）（人）	310	221
腎生検数（人）	66	71

□ 人工腎件数

	2019年度	2020年度
血液浄化療法件数（延べ人数）	2468	1920
血液透析導入患者数（人）	45	43
腹膜透析導入患者数（人）	15	5

□ 腎生検診断一覧（2020年度）

IgA腎症	21例	アミロイドーシス	1例
膜性腎症	10例	抗GBM抗体腎炎	1例
腎硬化症	8例	紫斑病性腎炎	1例
微小変化型ネフローゼ	6例	FGS	1例
半月体形成性腎炎	5例	Minor glomerular abnormality	1例
間質性腎炎	4例	TMA	1例
ループス腎炎	3例	多発性骨髄腫	1例
膜性増殖性糸球体腎炎	3例	Alport症候群	1例
肥満関連腎症	2例	糖尿病性腎症	1例

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	伏見内分泌代謝ネットワーク第33回連携の会	これからの糖尿病性腎臓病治療	瀬田 公一	京都	2020/7/16
国内学会発表	下京西部医師会生涯教育講演会 第1回病診連携講演会	多発性嚢胞腎のすべて	瀬田 公一	京都	2020/9/17
国内学会発表	第6回ADPKDフォーラム	これからのADPKD診療	瀬田 公一	Web	2020/10/8
国内学会発表	第50回日本腎臓学会西部学術大会	アデニンホスホリボシルトランスフェラーゼ (APRT) 欠損症の一例	上田 直子	WEB開催で抄録のみ	2020/10/16,10/17
国内学会発表	第74回国立病院総合医学会	座長シンポジウム患者・家族を支える入退院支援	瀬田 公一	Web	2020/10/17
国内学会発表	第42回伏見糖尿病研究会Webセミナー	腎臓内科医が考えるSGLT2阻害剤の治療戦略	瀬田 公一	Web	2020/10/22
国内学会発表	第20回伏見CKD医療連携の会	AKIとCKDの深～い関係	高折 光司	京都	2020/10/24
国内学会発表	第20回伏見CKD医療連携の会	アンケート結果と改訂版について	上田 直子	京都	2020/10/24
国内学会発表	第20回伏見CKD医療連携の会	重症COVID19透析患者の経験	平井 大輔	京都	2020/10/24
国内学会発表	日本集中治療医学会第4回関西支部学術集会	維持血液透析中でCOVID-19に感染した患者にfavipiravirを投与した1例	平井 大輔, 中田 康貴, 山下 大輔, 河合 悠里子, 上田 直子, 高折 光司, 小泉 三輝, 田中 博之, 寺嶋 真理子, 別府 賢, 関本 裕美, 本田 芳久, 笹橋 望, 瀬田 公一	Web	2020/10/31
国内学会発表	Kidney Online Seminar in 伏見	高カリウム血症治療の実際と新規薬剤への期待座長	瀬田 公一	京都 Web	2020/11/19
国内学会発表	第14回伏見薬業連携協議会	なぜミネラルコルチコイド受容体をブロックするといのか?	瀬田 公一	Web	2020/12/10
国内学会発表	Otsuka Nephrology WEB Seminar	座長	望月 俊雄	Web	2021/2/5
国内学会発表	第40回京都透析医会学術集会	血液透析を受けているCOVID-19患者にファビピラビルを投与した1例	平井 大輔, 中田 康貴, 山下 大輔, 河合 悠里子, 上田 直子, 高折 光司, 小泉 三輝, 田中 博之, 寺嶋 真理子, 別府 賢, 関本 裕美, 本田 芳久, 笹橋 望, 瀬田 公一	Web	2021/2/14
国内学会発表	第14回京都腎病理カンファレンス	尿細管拡張・円柱形成が目立ったIgA腎症の1例	高折 光司, 河合 悠里子, 上田 直子, 平井 大輔, 小泉 三輝, 瀬田 公一	京都	2021/3/11

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
英文	小玉 美幸, 平井 大輔, 辻 誠士郎, 沈 載紀, 小泉 三輝, 瀬田 公一, 八幡 兼成	Successful sodium level correction with a 3% saline bolus before intermittent hemodialysis for a patient with severe hyponatremia accompanied with acute kidney injury	Internal medicine.				in press	原著論文	
英文	平井 大輔, 山下 大輔, 瀬田 公一	Favipiravir for COVID-19 in a Patient on Hemodialysis	American Journal of Kidney Diseases	77	1	153-154	2021/1	原著論文以外	

腫瘍内科



診療科長
宇良 敬

専門医資格等 日本内科学会 認定内科医
日本臨床腫瘍学会
がん薬物療法専門医
専門分野 腫瘍内科学(臨床腫瘍学) がん薬物療法(化学療法)

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
非常勤医師	松原 淳一	日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 消化器病専門医	腫瘍内科学(臨床腫瘍学)、がん薬物療法(化学療法)	消化器がん
非常勤医師	船越 太郎	日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本内科学会 総合内科専門医 日本消化器病学会 消化器病専門医	がん薬物療法(消化管・胆膵)	
非常勤医師	近藤 知大	日本内科学会 認定内科医	腫瘍内科学(臨床腫瘍学)、がん薬物療法(化学療法)	

□ 診療科の特徴

施設認定等 日本臨床腫瘍学会認定研修施設

1. 患者さんが納得し満足いただける医療を提供します
2. 患者さんご家族を徹底的に支援します
3. エビデンスに基づいた最善の化学療法を行ないます
4. 化学療法と並行して、緩和医療を提供します
5. 患者さんと一緒に歩み、成長する姿勢を大切にします
6. 地域の医療機関との連携を大切にします

□ 主な対象疾患

- ・消化器がん(食道がん、胃がん、大腸がん、消化管間質腫瘍など)
- ・膵臓がん、胆道がん
- ・原発不明がん
- ・希少疾患などその他の固形腫瘍

□ 診療(業務)内容

- ・化学療法(がん薬物療法)の実施
- ・緩和医療の実施
- ・他職種カンファレンスの実施

- ・他科からのコンサルテーション
- ・セカンドオピニオン
- ・外来化学療法センターの運営
- ・化学療法委員会の運営
- ・臨床試験・治験への参加

□ 診療実績（令和2年度）

外来患者数

1日平均患者数
15.3名

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	林 琢磨, 宇良 敬, 安彦 郁, 天野 泰彰	コロナと未病 感染拡大する新型コロナウイルス感染症 コウモリがヒトにウィルスを感染させる理由	未病と抗老化	29		56 ~ 61	2020/11	総説	
英文	宇良 敬	Long-term efficacy and predictive correlates of response to nivolumab in Japanese patients with esophageal cancer.	Cancer Sci.	111	5	1676-1684	2020/4	原著論文	
英文	宇良 敬	Efficacy of Cytotoxic Agents After Progression on Anti-PD-(L)1 Antibody for pretreated metastatic Gastric Cancer.	Anticancer Res.	40	4	2247-2255	2020/4	原著論文	
英文	宇良 敬	Phase I Study of Alternate-Day Administration of S-1, Oral Leucovorin. And Bevacizumab for Refractory Metastatic Colorectal Cancer.	Oncologist	25	11	e1614-e1620	2020/6	原著論文	
英文	宇良 敬	The association of primary tumor site with acute adverse event and efficacy of definitive chemotherapy for cStage II / III esophageal cancer: an exploratory analysis of JCOG0909.	Esophagus	17	4	417-424	2020/4	原著論文	
英文	宇良 敬	A triplet combination of FOLFOXIRI plus cetuximab as first-line treatment in RAS wild-type, metastatic colorectal cancer: a dose-escalation phase I b study.	Int J Clin Oncol				2021/1	原著論文	

精神科



診療科長
吉田 貴子

専門医資格等 精神保健指定医
日本精神神経学会 指導医 専門医
専門分野 精神医学一般

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	沼本 和記		精神病理学	
医 師	栗野 雄大	精神保健指定医・日本医師会認定産業医	精神医学一般	
非常勤臨床心理士	梶川 和行	臨床心理士		
非常勤臨床心理士	竹田 俊介	臨床心理士		
非常勤臨床心理士	岸 朋彦	臨床心理士		
非常勤臨床心理士	藤村 江利子	臨床心理士		

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本精神神経学会精神科専門医研修施設
-------	--------------------

1. 確定診断と精神療法的な意味を兼ねて、初診時診察に十分な時間をかける。
2. 精神疾患の病態を自然科学的、人間学的視点から多角的に把握する。
3. 共感的、探究的な診察態度を心がけ、繊細な薬物療法を工夫する。
4. 器質性精神障害が疑われるときには、他科と連携し、頭部MRI等を利用して病態検索が可能である。

□ 主な対象疾患

- ・睡眠障害
- ・身体表現性自律神経機能不全、その他の身体表現性障害
- ・パニック障害、その他の不安障害
- ・適応障害、その他のストレス関連障害
- ・強迫性障害、その他の神経症性障害
- ・躁うつ病、その他の気分障害
- ・統合失調症、妄想性障害等
- ・器質性あるいは症状性精神障害

□ 診療（業務）内容

1. 精神科入院病棟は無いため、入院治療が必要と判断される時は、精神科病院等に紹介する。
2. 医師による診療後、病態として心理学的に複雑な葛藤が想定される場合は、心理療法士による標準型精神分析療法等を併用することが可能。
3. 一般病棟の他科入院患者に対し、依頼に応じて、リエゾン・コンサルテーション精神科医療に従事している。

□ 診療実績（令和2年度）

外来患者数

1日平均患者数
46.6名

脳神経内科



診療科長
井内 盛遠

専門医資格等 日本神経学会 神経内科専門医・指導医
日本てんかん学会 てんかん専門医・指導医
日本臨床神経生理学会 専門医(脳波・筋電図分野)
日本内科学会 認定内科医

専門分野 臨床神経生理

得意疾患 てんかん、脳神経内科一般

□ スタッフ

令和2年度10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	金星 匡人	日本神経学会 神経内科専門医 日本内科学会 総合内科専門医 日本脳卒中学会 脳卒中専門医 日本臨床神経生理学会 専門医 (脳波、筋電図分野)	臨床神経生理	てんかん 脳血管障害
医 師	十川 純平	日本神経学会 神経内科専門医 日本内科学会 総合内科専門医 日本てんかん学会 てんかん専門医 日本臨床神経生理学会 専門医 (脳波、筋電図分野)	臨床神経生理	てんかん 脳血管障害
医 師	松成 亮太	日本内科学会 認定内科医		脳神経内科一般
専 攻 医	吉田 弘樹			脳神経内科一般
専 攻 医	田村 優			脳神経内科一般
非常勤医師	村瀬 永子	日本神経学会 神経内科専門医・指導医		
非常勤医師	大野 美樹	日本神経学会 神経内科専門医・指導医		
非常勤医師	高田 真基	日本神経学会 神経内科専門医		
非常勤医師	桑田 康弘	日本神経学会 神経内科専門医 日本内科学会 認定内科医		
非常勤医師	大井 由貴	日本神経学会 神経内科専門医		
非常勤医師	三村 直哉	日本神経学会 神経内科専門医		
非常勤医師	武田 清明	日本神経学会 神経内科専門医		
非常勤医師	河村 祐貴	日本神経学会 神経内科専門医		

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本神経学会研修施設
-------	------------

1. 納得できる医療を目指します
2. 紹介医との密な連絡(病診連携)および大学や機関病院との連携に努めます
3. 看護師、薬剤師、理学療法士など他の医療従事者とのチーム医療を推進します
4. 若手医師の教育に尽力します

□ 主な対象疾患

脳血管障害(脳梗塞、脳出血など)、認知症(アルツハイマー病など)、パーキンソン病、ジストニア、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症などの数多の神経難病、多発性硬化症、重症筋無力症などの免疫神経疾患、脳炎、髄膜神経疾患、筋炎、筋ジストロフィーなどの筋疾患など

□ 診療(業務)内容

神経内科一般

電気生理外来:電気診断学にもとづく神経・筋疾患の電気生理検査

ボツリヌス治療:対象疾患 顔面けいれん、眼瞼けいれん

神経内科・音楽療法外来:認知症を対象とする音楽療法

□ 診療実績(令和2年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
18.47名	310名	20.7日

外来患者数

1日平均患者数
40名

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第61回日本神経学会学術大会	MRI再検にて卵巣奇形腫を確認できた抗NMDA受容体抗体脳炎2例の検討	田村 優	岡山	ポスター

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	大谷 良	認知症患者診療における高度急性期病院の役割	国立医療学会誌 医療	74	5	226-230	2020/5/20		
和文	齊ノ内 信, 中村 道三, 増田 裕一, 大谷 良	中脳下部病変により眼球運動障害と尿閉をきたした1例	臨床神経学	61		24-28	2021/01/29	原著論文	
和文	大谷 良	感染症による認知症	新臨床内科学 第10版 監修:矢崎義雄			1390-82	2020/4/27	総説	
和文	大谷 良	外科的疾患による認知症	新臨床内科学 第10版 監修:矢崎義雄			1382-85	2020/4/27	総説	

和文	十河 正弥, 井内 盛遠, 松本 理器, 澤本 伸克, 池田 昭夫, 高橋 良輔	橋病変が脱力発作と半 側顔面けいれん発作に 関与したと診断した難 治てんかん発作の1例	臨床神経学	60	5		2020/5	原著論文	
英文	大谷 良	Association Between Serum Apolipoprotein A1 Levels, Ischemic Stroke Subtypes and Plaque Properties of the Carotid Artery	J Clin Med Res.	12	9	598-603	2020	原著論文	
英文	大谷 良	Response to Letter to the Editor Pretreatment Blood Pressure is a simple Predictor of Hemorrhagic Infarction after intravenous Recombinant Tissue Plasminogen Activator (rt-PA) Therapy.	J Stroke and Cerebrovascular Disease	29	4	1	2020/11	原著論文	
英文	大谷 良	Intravenous alteplase for stroke with unknown time of onset guided by advanced imaging: systematic review and meta- analysis of individual patient data	Lancet	396	10262	1574-84	2020	原著論文	
英文	井内 盛遠	Electrical cortical stimulations modulate spike and post-spike slow-related high- frequency activities in human epileptic foci	Clin Neurophysiol.	131	8	1741-54	2020	原著論文	
英文	井内 盛遠	Engagement of cortico-cortical and cortico-subcortical networks in a patient with epileptic spasms: An integrated neurophysiological study	Clin Neurophysiol.	131	9	2255-64	2020	原著論文	
英文	金星 匡人	Collagen VI-related myopathy with subacute presentation of hypercapnic respiratory failure following pneumonia.	Neurology and Clinical Neuroscience.	8	5	320-322	2020		
英文	金星 匡人	Role of Astrocytic Inwardly Rectifying Potassium (Kir) 4.1 Channels in Epileptogenesis.	Frontiers in Neurology.	11		626658	2020		
英文	金星 匡人	Effects of vascular compression on the rostral ventrolateral medulla for blood pressure variability in stroke patients.	Journal of Hypertension.	38	12	2443-2450	2020		
英文	金星 匡人	Predictors of Stroke Outcome Extracted from Multivariate Linear Discriminant Analysis or Neural Network Analysis.	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis.				2020		

呼吸器センター



副院長
(令和3年4月1日より)
診療科長
(呼吸器内科)
三尾 直士

専門医資格等
日本がん治療認定医
機構暫定教育医
日本医師会認定産業医
アメリカ胸部疾患学会
(ATS)
アメリカ臨床腫瘍学会
(ASCO)
京都大学医学博士
京都大学臨床教授
専門分野
呼吸器内科全般
得意疾患
肺癌・間質性肺炎



診療科長
(呼吸器外科)
澤井 聡

専門医資格等
日本呼吸器外科学会
専門医・指導医・評議員
呼吸器外科専門医
気管支鏡専門医
外科専門医
滋賀医科大学医学博士
専門分野
呼吸器外科全般
得意疾患
肺癌・縦隔腫瘍

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	中谷 光一	日本内科学会 認定内科医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医	呼吸器内科全般	肺癌・睡眠時無呼吸症候群・呼吸器内科全般
医 師	橋本 雅之	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医・評議員 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医 肺がんCT検診認定機構 肺がんCT検診認定医 INTUITIVE社認定 ダ・ヴィンチコンソール術者	呼吸器外科全般 呼吸器外科ロボット手術	呼吸器外科全般
医 師	岡村 美里	日本内科学会 認定内科医	呼吸器内科全般	肺癌 呼吸器内科一般
医 師	藤田 浩平	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医 日本感染症学会 感染症専門医・指導医 京都大学医学博士	呼吸器内科全般	呼吸器感染症・肺癌・呼吸器内科全般
医 師	金井 修	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医 日本エイズ学会 治療指導医 エイズ拠点病院 施設代表 京都市HIV感染症対策専門委員会 委員	呼吸器内科全般	HIV感染症、睡眠時無呼吸症候群、呼吸器内科一般
医 師	武田 恵子	外科専門医 癌治療認定医	呼吸器外科全般	呼吸器外科全般
専 攻 医	益本 貴人		呼吸器外科全般	呼吸器外科全般
専 攻 医	伊藤 高範		呼吸器内科一般	呼吸器内科一般
専 攻 医	斉藤 漸太郎		呼吸器内科一般	呼吸器内科一般
専 攻 医	余田 誠		呼吸器外科全般	呼吸器外科全般

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本呼吸器学会認定施設 日本呼吸器外科基幹施設 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設 日本感染症学会認定施設
-------	---

[診療のモットー]

1. 難治な呼吸器疾患に対して最新の治療を提供します。
2. 十分な情報を提供し、患者さんの意見を尊重し診療を行います。
3. 地域の医療機関と連携し、地域に根ざした医療機関を目指します。

[当科の特色]

呼吸器疾患は悪性腫瘍・感染症・気道系疾患・呼吸不全・びまん性肺疾患・生活習慣病など、他の臓器には見られないほど多岐にわたり、その多くが生命に直接関わる重要な領域です。当科では多様な呼吸器疾患患者さんに対して専門性の高い医療を提供するように努力しています。さらに現在治療法の進歩が見られる疾患について最新最良の治療を取り入れています。

肺癌は最も死亡数が多い悪性腫瘍で、今でも難治ですが、分子標的剤や免疫チェックポイント阻害剤などの新しい治療薬や支持療法の開発が急速に進んでおり、治療方法が大きく変わりつつあります。新しい治療法のおかげで、治療不能とされていた超高齢者や、治療不応となった患者さんにも治療を提供できる機会が増えており、患者さんの予後が大きく改善しつつあります。また、悪性腫瘍の診療においては外科治療・放射線治療・化学療法・緩和医療の4本柱があり、関係する各科の協力が必要ですが、当院での肺癌診療においては、呼吸器内科・外科、放射線科、化学療法部、緩和ケア部とカンファレンスなどの場をもうけ緊密な関係をもって進めています。

気道系疾患である喘息、慢性閉塞性肺疾患は特に有病率が高い疾患ですが、終生にわたって治療を続けていく必要性があり、当科では診断・治療導入、悪化時の緊急対応、リハビリテーションなど地域の拠点病院でないとできない診療を中心にを行い、その後は患者さんの負担を出来るだけ少なくするように地域の医療機関と連携して診療を行なっています。

呼吸器感染症はヒトの疾患の中でも最も重要な疾患の一つです。当科では急性・慢性の呼吸器感染症の診療を行っていますが、市中肺炎以外に、他科で診療中の免疫不全状態で起きる弱毒菌の感染症やHIVの症例の診療も行っております。さらに、最近急増している非結核抗酸菌の患者数も多く、積極的に臨床・研究に取り組んでいます。

上記以外にも呼吸器には急性・慢性の呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群、間質性肺疾患など重要な疾患が多数あります。それらの疾患をもつ患者さんに対しても常に最良の治療を提供できるように日々研鑽しながら診療に当たっています。

呼吸器外科では肺癌をはじめとする胸部の腫瘍（肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍）や気胸を代表とする嚢胞性肺疾患に対して、より負担の少ない胸腔鏡下手術を積極的に行っています。膿胸などの炎症性疾患に対しても積極的な外科治療（局所麻酔下胸腔鏡を含む）を行っています。気道狭窄に対するステント留置やレーザー焼灼術などの気管支鏡下手術や、漏斗胸に対する矯正術（Nuss法）も行っています。

□ 主な対象疾患

肺癌 転移性肺腫瘍 縦隔腫瘍 中皮腫 胸腺腫 胸壁腫瘍 気胸 肺嚢胞症 気道狭窄 漏斗胸 膿胸
慢性閉塞性肺疾患 気管支喘息 慢性・急性呼吸不全、呼吸器感染症（肺炎・非結核性抗酸菌症・結核）
びまん性肺疾患（間質性肺炎、サルコイドーシス、好酸球性肺炎、膠原病に伴う間質性肺炎など）
睡眠時無呼吸症候群 HIV感染症

□ 診療（業務）内容

呼吸器内科の外来診療日は月曜から金曜まで毎日新患外来を含めて3外来を行なっています。

呼吸器外科の外来診療日は月、火、木、金曜日で、手術は水、金曜日に行っています。

睡眠時無呼吸症候群の専門外来は毎週水曜日です。完全紹介制としております。初めての方は紹介元の施設で予約を取得して頂きますよう、よろしくお願い致します。

気管支鏡検査、CTガイド下生検検査は原則として1泊の入院で行なっています。

それぞれ月・火・木と火・木曜日の午後に行っています。

HIV感染症の初診については呼吸器科外来に予めお電話頂ければ受診日等を事前に相談していただくことができます。

□ 診療実績(令和2年度)

呼吸器内科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
33.1名	970名	12.0日

呼吸器内科外来患者数

1日平均患者数
53.2名

呼吸器外科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
7.6名	253名	10.5日

呼吸器外科外来患者数

1日平均患者数
12.5名

主な手術・検査の件数など

手術(全身麻酔)	手術(全身麻酔) (ロボット支援下)	肺癌手術(診断含)	気管支鏡検査	局所麻酔下胸腔鏡検査	CTガイド下肺生検
193件	19件	112件	319件	16件	91件

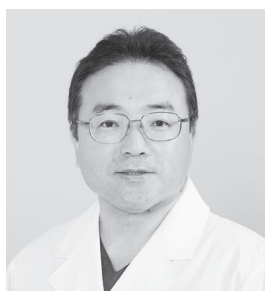
□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第60回日本呼吸器学会総会	非小細胞肺癌患者における抗PD-L1抗体治療後の抗PD-1抗体治療の効果と安全性の検討	藤田 浩平	神戸	2020/9/21
国内学会発表	第60回日本呼吸器学会総会	非ステロイド性抗炎症薬と免疫チェックポイント阻害薬の有効性の関連についての後方視的研究	金井 修	神戸	2020/9/21
国際学会発表	European Respiratory Society International Congress 2020	Preliminary evaluation of serial interferon-gamma release assay test in NSCLC patients treated with immune checkpoint inhibitors	Kohei Fujita	ウィーン	2020/9/9
国際学会発表	European Respiratory Society International Congress 2020	Association between cyclooxygenase inhibitor use and efficacy of immunotherapy: a retrospective study	Osamu Kanai	ウィーン	2020/9/9
国際学会発表	European Respiratory Society International Congress 2020	Negative impact of heated tobacco products use on smoking cessation: a retrospective study.	Makiko Kanai	ウィーン	2020/9/9
国内学会発表	第61回日本肺癌学会学術集会	小細胞肺癌に対するカルボプラチン/エトポシド/アテゾリズマブ併用療法の使用経験	伊藤 高範	岡山	2020/11/13
国内学会発表	第61回日本肺癌学会学術集会	高齢者に対する免疫チェックポイント阻害薬の使用経験	斉藤 漸太郎	岡山	2020/11/13
国際学会発表	ESMO Asia 2020	Single-center analysis of antiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaw in lung cancer patients	Kohei Fujita	シンガポール	2020/11/21
国内学会発表	第37回日本呼吸器外科学会学術集会	胸腔鏡の併用が有用であった肺尖部腫瘍切除の一例	益本 貴人	WEB開催	2020/9/29
国内学会発表	第37回日本呼吸器外科学会学術集会	当院におけるダ・ヴィンチシステム運用の現状	橋本 雅之	WEB開催	2020/9/29
国内学会発表	第37回日本呼吸器外科学会学術集会	肺動脈・肺静脈と交通した肺葉外肺分画症の一切除例	益本 貴人	WEB開催	2020/9/29
国内学会発表	第61回日本肺癌学会学術集会	薬剤性うつ血性心不全に対してオシメルチニブ減量により治療継続可能であった2例	橋本雅之	岡山	2020/11/13
国内学会発表	第61回日本肺癌学会学術集会	未診断症例に対するロボット支援下手術の実際	橋本雅之	岡山	2020/11/13

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
英文	藤田 浩平, 山本 祐樹, 金井 修, 岡村 美里, 橋本 雅之, 中谷 光一, 澤井 聡, 三尾 直士	Retreatment with anti-PD-1 antibody in non-small cell lung cancer patients previously treated with anti-PD-L1 antibody.	Thoracic cancer	11	1	15-18	2020/4	原著論文	
英文	藤田 浩平, 山本 祐樹, 金井 修, 岡村 美里, 中谷 光一, 三尾 直士	Development of Mycobacterium avium Complex Lung Disease in Patients With Lung Cancer on Immune Checkpoint Inhibitors	Open Forum Infect Dis	7	3	ofaa067	2020/4	原著論文	
英文	金井 真希子, 金井 修, 藤田 浩平, 三尾 直士	Decreased handgrip strength can predict lung function impairment in male workers: a cross sectional study.	BMC Pulm Med	20	1	97	2020/4	原著論文	
英文	岡村 美里, 藤田 浩平, 山本 祐樹, 金井 修, 中谷 光一, 橋本 雅之, 澤井 聡, 下郷 麻衣子, 吉田 和也, 三尾 直士	Single-centre analysis of anti-resorptive agent-related osteonecrosis of the jaw in lung cancer patients.	Asia Pac J Clin Oncol	16	6	380-384	2020/12	原著論文	
英文	藤田 浩平, 山本 祐樹, 金井 修, 岡村 美里, 橋本 雅之, 中谷 光一, 澤井 聡, 三尾 直士	Incidence of Active Tuberculosis in Lung Cancer Patients Receiving Immune Checkpoint Inhibitors	Open Forum Infect Dis	7	5	ofaa126	2020/7	原著論文	
英文	藤田 浩平, 伊藤 高範, 齊藤 漸太郎, 金井 修, 中谷 光一, 三尾 直士	Impact of COVID-19 pandemic on lung cancer treatment scheduling	Thorac Cancer	11	10	2983-2986	2020/10	原著論文	
英文	伊藤 高範, 藤田 浩平, 岡村 美里, 奥野 芳章, 齊藤 漸太郎, 金井 修, 中谷 光一, 森古 弘毅, 三尾 直士	Pleural involvement of diffuse large B-cell lymphoma mimicking malignant pleural mesothelioma	Respir Med Case Rep	28	31	101206	2020/8	原著論文以外	
英文	藤田 浩平, 嘉田 真平, 金井 修, 畑 啓昭, 小田垣 孝雄, 浅原 哲子, 田上 哲也, 八十田 明宏	Quantitative SARS-CoV-2 Antibody Screening of Healthcare Workers in the Southern Part of Kyoto City During the COVID-19 Pre-pandemic Period	Front Public Health.	8		595348	2020/12	原著論文	

消化器内科



診療部長
診療科長
宮本 心一

専門医資格等 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医
日本消化器病学会 専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
緩和ケア研修会指導者講習会修了者
京都大学医学部非常勤講師
京都大学医学博士

専門分野 消化器内科全般
得意疾患 消化管癌内視鏡治療
消化器癌化学療法

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
診療部長 臨床検査科 科長 医 長	勝島 慎二	日本内科学会 認定内科医 指導医 日本消化器病学会 専門医・指導医・近畿支部評議員・本部評議員 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医・近畿支部評議員・本部評議員 日本医学放射線学会 放射線科診断専門医 日本肝臓学会 専門医・西部会評議員 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医・指導責任者 日本消化管学会 胃腸科専門医 日本消化器がん検診学会 総合認定医 京都大学医学博士	消化器内科全般	肝疾患 炎症性腸疾患
医 長 副 健 診 センター長	島 伸子	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本消化器がん検診学会 胃認定医 日本人間ドック学会 人間ドック健診認定医 日本医師会 認定産業医 日本ヘリコバクター学会 H.pylori (ピロリ菌) 感染症認定医	消化器内科全般	消化器疾患、消化器内視鏡検査
医 長	水本 吉則	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会 専門医・指導医・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医・近畿支部評議員・本部評議員 日本胆道学会 指導医(内視鏡診断治療・経皮経肝的診断治療) 日本消化器がん検診学会 胃・大腸認定医	消化器内科全般	消化管・胆・膵の内視鏡検査・治療全般、炎症性腸疾患
医 長	岩本 諭	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会 専門医・指導医・近畿支部評議員・本部評議員 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医・近畿支部評議員 日本肝臓学会 専門医・指導医 京都大学医学博士	消化器内科全般	消化管・内視鏡検査・治療全般

医 師	江坂 直樹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・JMECCインストラクター 日本消化器病学会 専門医・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医・近畿支部評議員 日本カプセル内視鏡学会 JACEカプセル内視鏡認定医 緩和ケア研修会指導者講習会修了者 臨床研修指導医	消化器内科全般	小腸内視鏡、食道胃静脈瘤治療、緩和医療、PEG
医 師	太田 義之	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医	消化器内科全般	消化管疾患
医 師	中野 佳子	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会 専門医・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医・近畿支部評議員 神戸大学医学博士	消化器内科全般	内視鏡検査・治療
医 師	下釜 翼	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医	消化器内科全般	胆道・膵疾患検査・治療 (EUS,ERCP,PTBD等)
医 師	村井 克行	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本臨床腫瘍学会	消化器内科全般	消化管癌の内視鏡診断と治療 消化器癌の化学療法
医 師	村田 雅樹	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本ヘリコバクター学会 H.pylori感染症認定医	消化器内科全般	内視鏡検査・治療、小腸内視鏡検査、炎症性腸疾患
専 攻 医	黄 莉媛			
専 攻 医	山崎 由希			
専 攻 医	平井 達基			
専 攻 医	渡邊 康博			
非常勤医師 (診療援助)	米田 俊貴	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会 専門医 日本肝臓学会 専門医・指導医・西部会評議員 京都大学医学博士	消化器内科全般	肝疾患
非常勤医師 (診療援助)	笠原 勝宏	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会 専門医・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本プライマリケア連合学会 プライマリケア認定医	消化器内科全般	消化器疾患

非常勤医師 (診療援助)	遠藤 文司	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医・近畿支部 評議員・本部評議員 日本肝臓学会 専門医 日本胆道学会 指導医(内視鏡診断治療・ 経皮経肝的診断治療) 日本消化器がん検診学会 胃・肝胆膵認定医 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医 指導医 ICD協議会認定インフェクションコントロ ールドクター 日本医師会認定産業医 臨床研修指導医	消化器内科全般	胆道疾患検査治 療
非常勤医師 (診療援助)	見島 裕之	日本内科学会 認定内科医	消化器内科全般	内視鏡検査・治療
非常勤医師 (診療援助)	中野 重治	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本肝臓学会 専門医	消化器内科	肝疾患・治療

□ 診療科の特徴

認定施設等	日本消化器病学会認定施設 日本消化器内視鏡学会指導施設 日本肝臓学会認定施設 日本超音波学会専門医研修施設 日本胆道学会指導施設 京都府肝疾患専門医療機関
-------	---

1. 三次救急病院の消化器内科として、緊急内視鏡検査(ERCP含む)治療・PTCDなどに24時間対応
2. 地域がん診療連携拠点病院の消化器内科として消化器癌全般の診断と早期癌の内視鏡的あるいは経皮的治療に全て対応
3. 地域医療支援病院の消化器内科として紹介による内視鏡検査の実施、PEG/PTEGの造設・管理に対応
4. 炎症性腸疾患の専門診療を実施
5. 多数の慢性肝疾患症例を専門的に診療
6. 潰瘍性大腸炎に対する治療PhaseⅢを実施

□ 主な対象疾患

消化器癌全般(食道、胃、十二指腸、大腸、肝臓、膵臓、胆嚢、胆管系)

炎症性腸疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎)

急性および慢性肝疾患(ウイルス性、自己免疫性)

肝硬変

ヘリコバクター感染症関連疾患(消化性潰瘍、MALTリンパ腫)

消化器救急疾患(消化管出血、閉塞性黄疸、急性膵炎)

□ 診療(業務)内容

消化器内科一般外来および肝臓専門外来

上部消化管、下部消化管内視鏡検査および治療

ERCPおよびERCP関連治療

PTCおよびPTC関連治療

EUSおよびEUS-FNA、Interventional EUS

消化管・胆膵系ステント留置

小腸内視鏡(カプセルおよびバルーン内視鏡)

炎症性腸疾患に対する専門的治療(免疫調節剤、生物学的製剤)
 ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス療法(内服薬、インターフェロン)
 肝臓に対する経皮的治療
 セカンドオピニオン外来
 内視鏡技師の育成
 治験Phase II および III

□ 診療実績(令和2年度)

入院患者数

1 日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
37.7名	1127名	11.5名

外来患者数

1 日平均患者数
96.9名

主な手術・検査の件数など

上部消化管 内視鏡検査	下部消化管 内視鏡検査	ERCP	食道・胃ESD	大腸ESD	肝臓ラジオ波 焼灼術
4,766件	2,286件	413件	86件	50件	30件

□ 地域医療連携・広報活動

- ・江坂直樹 とつつきにくい消化器症状へのアプローチ.
伏見消化器研究会 2020/10/24 WEB
- ・宮本心一 膵臓化学療法の新たな治療選択肢.
第16回伏見薬業連携協議会 2021/2/4 WEB
- ・宮本心一 カラダ元気コーナー 癌検診の必要性和自分のカラダと生活習慣の弱点を知る、そして便の観察を習慣にしよう. 京都リビングエフエム845. 2021/2/16 京都
- ・宮本心一 高齢化社会におけるがん診療のあり方.
第16回京都医療センター医療連携フォーラム. 2021/3/27 WEB開催

□ 受賞(学会・研究会発表など)

- ・平井達基
正中弓状靱帯圧迫症候群に伴う膵十二指腸動脈瘤破裂の一例.
日本消化器病学会近畿支部第113回例会 2020/10/3 大阪 ※誌上発表

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学術総会	両側副腎・肝の占拠性病変により副腎不全をきたした一例	濱中(廣嶋)佳歩, 難波 多挙, 兼子 大輝, 石原 裕己, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 勝島 慎二, 田上 哲也	WEB	2020/7/20
国内学会発表	第106回日本消化器病学会総会	時間依存性変数を用いたDAA治療肝癌再発抑制効果の解析	勝島 慎二, 中野 重治, 小畑 達郎	WEB	2020/8/11
国内学会発表	第56回日本肝臓学会総会	自己免疫性肝炎治療においてsteroid free managementの可能性を早期に予測できるか?	小畑 達郎, 中野 重治, 遠藤 文司, 岩本 諭, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 米田 俊貴, 勝島 慎二	大阪 WEB・誌上	2020/8/28
国内学会発表	第99回日本消化器内視鏡学会総会	JEDプロジェクトのデータ集積の経験とその課題	水本 吉則, 江坂 直樹, 勝島 慎二	京都 WEB・誌上	2020/9/2
国内学会発表	第99回日本消化器内視鏡学会総会	抗凝固薬・2剤抗血小板薬内服者における胃内視鏡的粘膜下層剥離術後出血に対するPGA被覆法の予防効果に関する検証的臨床研究	滝本 見吾	京都 WEB・誌上	2020/9/3
国内学会発表	第59回日本消化器がん検診学会総会	京都医療センター健診センター方式“パラパラ動画風静止画像撮影法”の紹介～胃がん内視鏡検診ダブルチェックの精度向上を目指して～	島 伸子, 前川 高天, 勝島 慎二	WEB・誌上	2020/9/30
国内学会発表	第24回日本肝臓学会大会	SVR獲得は肝癌再発を抑制するかー時間依存性変数を用いた解析ー	勝島 慎二, 米田 俊貴, 小畑 達郎, 中野 重治, 遠藤 文司, 岩本 諭, 滝本 見吾	神戸 WEB・誌上	2020/11/5
国内学会発表	第100回日本消化器内視鏡学会総会	<i>H.pylori</i> 除菌治療後GERDと酸逆流関連症状発現のリスクの検討	村田 雅樹	神戸 WEB・誌上	2020/11/5
国内学会発表	第100回日本消化器内視鏡学会総会	初回大腸内視鏡のQuality indicators-便潜血陽性症例(FIT-positive colonoscopy:FIT-C)と日常臨床診療でのスクリーニング大腸内視鏡症例(Symptom-based colonoscopy:SB-C)との比較	水本 吉則, 太田 義之, 江坂 直樹	神戸 WEB・誌上	2020/11/5
国内学会発表	第62回日本消化器病学会大会	ヘリコバクターピロリ未感染印環細胞癌の臨床病理学的特徴と遺伝子異常	宮本 心一	神戸 WEB・誌上	2020/11/6
国内学会発表	第26回日本ヘリコバクター学会学術集会	<i>Helicobacter pylori</i> 除菌後胃癌治療における異時性発癌のリスク因子の同定	村田 雅樹	浜松 WEB	2021/1/9
国内学会発表	第26回日本ヘリコバクター学会学術集会	酸分泌抑制より考えた三次除菌治療の現状と耐性菌との関係性	村田 雅樹	浜松 WEB	2021/1/8
国内学会発表	第17回日本消化管学会総会学術集会	タブレット端末を用いた内視鏡業務支援システムの構築-Voice Captureの有用性を検討	水本 吉則, 村井 克行, 村田 雅樹, 勝島 慎二	WEB	2021/2/19
国内学会発表	第17回日本消化管学会総会学術集会	<i>H.pylori</i> 除菌治療後の逆流性食道炎発症リスクの検討:メタアナリシス	村田 雅樹	WEB	2021/2/19
国内学会発表	第104回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	当院における食道癌に対する食道ステント留置術の現状	下釜 翼, 水本 吉則, 勝島 慎二	WEB	2020/6/27
国内学会発表	日本消化器病学会近畿支部第113回例会	正中弓状韌帯圧迫症候群に伴う膵十二指腸動脈瘤破裂の一例	平井 達基	大阪 誌上	2020/10/3

国内学会発表	第43回日本肝臓学会東部会	C型肝炎高齢者における初発肝癌根治後SVR獲得の意義	勝島 慎二, 中野 重治, 小畑 達郎, 平井 達基, 黄 莉媛, 村田 雅樹, 遠藤 文司, 岩本 諭, 滝本 見吾, 米田 俊貴	オンデマンド	2020/12/3
国内学会発表	第43回日本肝臓学会東部会	京都市南部でのA型急性肝炎の動向	小畑 達郎, 黄 莉媛, 平井 達基, 中野 重治, 村田 雅樹, 遠藤 文司, 岩本 諭, 滝本 見吾, 米田 俊貴, 勝島 慎二	オンデマンド	2020/12/3
国内学会発表	第43回日本肝臓学会東部会	慢性C型肝炎症例に認められた肝結核腫の長期経過	高尾 浩司, 平井 達基, 黄 莉媛, 村田 雅樹, 中野 重治, 遠藤 文司, 岩本 諭, 滝本 見吾, 米田 俊貴, 小畑 達郎, 勝島 慎二	オンデマンド	2020/12/3
国内学会発表	第43回日本肝臓学会東部会	生検および手術にて診断した肝偽リンパ腫の2例	黄 莉媛, 平井 達基, 村田 雅樹, 中野 重治, 遠藤 文司, 岩本 諭, 滝本 見吾, 米田 俊貴, 小畑 達郎, 勝島 慎二	オンデマンド	2020/12/3
国内学会発表	第2回日本医療研究開発機構研究 (AMED) 班会議	肝癌既往のない80歳以上の高齢者におけるDAA治療の有用性	勝島 慎二	長崎	2020/12/18
国内学会発表	第105回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	胃管癌に対する内視鏡的切除の有用性, 安全性	宮本 心一	京都	2020/12/19
国内学会発表	第105回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	自然脱落したストレート型胆管ステントによるS状結腸憩室穿孔の一例	水本 吉則	京都	2020/12/19
国内学会発表	日本消化器病学会近畿支部第114回例会	セフトリアキソン投与による偽胆石性急性胆管炎の一例	渡邊 康博, 江坂 直樹, 村田 雅樹, 黄 莉媛, 山崎 由希, 村井 克行, 下釜 翼, 中野 佳子, 太田義之, 岩本 諭, 水本 吉則, 宮本 心一	WEB	2021/2/27
国内学会発表	日本消化器病学会近畿支部第114回例会	急性肺炎と血球貪食症候群を合併した急性肝不全昏睡型の1例	宮本 心一	WEB	2021/2/27
国内学会発表	伏見消化器研究会	とっつきにくい消化器症状へのアプローチ	江坂 直樹	WEB	2020/10/24
国内学会発表	第128回京都胃腸勉強会	ヘリコバクターピロリ未感染胃癌のオーバービュー	宮本心一	WEB	2021/1/15
国内学会発表	第16回伏見薬業連携協議会	膵癌化学療法の新たな治療選択肢	宮本心一	WEB	2021/2/4
国内学会発表	京都次世代内視鏡研究会	With corona時代の上部内視鏡検査～ PPIの影響も含めて～	岩本 諭	WEB	2021/2/12
国内学会発表	第16回京都医療センター 医療連携フォーラム	高齢化社会におけるがん診療のあり方	宮本 心一	WEB	2021/3/27

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	村田 雅樹	消化性潰瘍診療ガイドライン2020改訂第3版	消化性潰瘍診療ガイドライン2020改訂第3版			28-30 32-33 35-36 38-45	2020/6	総説	南江堂
和文	水本 吉則, 黄 莉媛, 村井 克行, 下釜 翼, 太田 義之, 江坂 直樹, 遠藤 文司, 岩本 諭, 滝本 見吾, 小畑 達郎, 勝島 慎二	【消化器疾患とステント治療】手術不能悪性食道狭窄に対するステント治療	消化器・肝臓内科	8	1	7-17	2020/7	解説	科学評論社
和文	滝本 見吾	大腸(結腸) Early colon cancer, LST-NG, T	近畿LIVE Endoscopy 2017-2018			7-9	2020/8	その他	金原出版

和文	勝島 慎二	ERCP前と2時間後の血清アミラーゼ値の比較によるERCP後膵炎の早期予測	日本消化器病学会雑誌	117	9	788-795	2020/9	原著論文	日本消化器病学会
和文	村田 雅樹	抗凝固薬内服症例における内視鏡診療の現状と対策	Gastroenterological Endoscopy	62	10	2257-2268	2020/10	総説	日本消化器内視鏡学会
和文	村田 雅樹	III 消化管疾患 C.腸 1.腸管感染症	消化器疾患 最新の治療 2021-2022			141-144	2021/2	解説	南江堂
英文	滝本 見吾	Reply to Murakami et al.	Endoscopy	52	1	77	2020/1	原著論文以外	Thieme
英文	村田 雅樹	Clarithromycin Versus Metronidazole in First-Line <i>Helicobacter Pylori</i> Triple Eradication Therapy Based on Resistance to Antimicrobial Agents: Meta-Analysis	J Clin Med	9	2	543	2020/2	原著論文	
英文	勝島 慎二, 小畑 達郎	Integrated GWAS and mRNA Microarray Analysis Identified IFNG and CD40L as the Central Upstream Regulators in Primary Biliary Cholangitis	HepatoL Commun	4	5	724-738	2020/3	原著論文	
英文	村田 雅樹	Chemoprevention of gastric cancer development after <i>Helicobacter pylori</i> eradication therapy in an East Asian population: Meta-analysis	World J Gastroenterol	26	15	1820-1840	2020/7	原著論文	
英文	宮本 心一	Endoscopic laryngopharyngeal surgery for hypopharyngeal lesions	Oral Oncol	106			2020/4	原著論文	ELSEVIER
英文	村田 雅樹	How long should patients be surveyed for gastric cancer risk after <i>Helicobacter pylori</i> eradication therapy? 10 years is no longer enough.	J Gastroenterol	55	5	577-578	2020/5	原著論文以外	Springer
英文	村田雅樹	Differences in efficacy and safety of lubiprostone used for idiopathic vs opioid-induced constipation: meta-analysis of East Asian and Western populations	J Clin Biochem Nutr	66	3	184-192	2020/5	原著論文以外	日本酸化ストレス学会
英文	宮本 心一	An Unusual Case of Gastric Leiomyosarcoma Presenting as a Giant Polyp	Clin Gastroenterol Hepatol			DOI: 10.1016/J.cgh.2020.05.042	2020/5	原著論文以外	ELSEVIER
英文	水本 吉則, 遠藤 文司, 筑後 孝紀	Diagnostic Value of Serum Amylase Levels Indicating Computed Tomography-Defined Post-Endoscopic Retrograde Cholangio-pancreatography Pancreatitis. A Prospective Multicenter Observational Study	Pancreas	49	7	955-959	2020/8	原著論文	Wolters Kluwer

英文	勝島 慎二, 島津 章	Long-term safety and efficacy of lanreotide autogel in Japanese patients with neuroendocrine tumors:Final results of a phase II open-label extension study	Asia-Pac J Clin Oncol			DOI: 10.1111/ajco.13371	2020/8	原著論文	Wiley
英文	村田 雅樹	Effect of a rabeprazole half-dose twice daily on acid inhibition in patients with different CYP2C19 alleles	Eur J Clin Pharmacol	76	9	1253-1261	2020/9	原著論文	Springer
英文	村田 雅樹	Effect of Antibiotic Susceptibility and CYP3A4/5 and CYP2C19 Genotype on the Outcome of Vonoprazan -Containing <i>Helicobacter pylori</i> Eradication Therapy	Antibiotics (Basel)	9	10	645	2020/9	原著論文	
英文	村田 雅樹	Endoscopic Reflux Esophagitis and Reflux-Related Symptoms after <i>Helicobacter pylori</i> Eradication Therapy: Meta-Analysis	J Clin Med	9	9	3007	2020/9	原著論文	
英文	勝島 慎二	A Phase 1 Study of KHK4083: A Single - Blind, Randomized, Placebo - Controlled Single - Ascending - Dose Study in Healthy Adults and an Open - Label Multiple - Dose Study in Patients With Ulcerative Colitis	Clin Pharmacol Drug Dev			DOI: 10.1002/cpdd.918	2021/1	原著論文	Wiley
英文	江坂 直樹	Endoscopic resection of local recurrences of diminutive polyps by cold forceps polypectomy	Scand J Gastroenterol	56	3	363-368	2021/3	原著論文	Taylor & Francis
英文	宮本 心一	Spontaneous regression of mismatch repair-deficient colorectal cancers: Case series	Dig Endosc	33	1	190-194	2021/1	原著論文以外	Wiley
英文	勝島 慎二	Risk Factors for Delayed Bleeding after Therapeutic Gastrointestinal Endoscopy in Patients Receiving Oral Anticoagulants:A Multicenter Retrospective Study	Digestion	102	2	161-169	2021/3	原著論文	Karger

循環器内科



診療部長
診療科長
赤尾 昌治

専門医資格等 日本循環器学会認定循環器専門医、社員、近畿支部評議員、
FJCS会員
日本内科学会認定内科医、指導医、近畿支部評議員
日本不整脈心電学会評議員
日本心血管脳卒中学会評議員
欧州心臓学会FESC会員
京都大学臨床教授、非常勤講師

専門分野 心房細動、不整脈、臨床疫学

□ スタッフ

令和2年度10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長 カテ室チーフ 医療安全管理副部長	阿部 充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本心血管インターベンション治療学会 専門医、指導医、代議員	心臓および末梢動脈カテーテル検査・治療、CTO(慢性完全閉塞)治療、造影剤腎症、医学統計	
医 長 CCUチーフ	益永 信豊	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本心血管インターベンション治療学会 認定医・専門医 腹部大動脈ステントグラフト実施医	冠動脈カテーテル治療、末梢動脈カテーテル治療、大動脈ステントグラフト治療	
医 師 不整脈チーフ	小川 尚	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本不整脈心電学会不整脈専門医	不整脈、電気生理、カテーテルアブレーション治療、デバイス治療	
医 師	井口 守丈	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本超音波医学会認定超音波専門医	心不全、循環器領域の画像診断	
医 師	石井 充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本心血管インターベンション治療学会 専門医	狭心症・心筋梗塞・閉塞性動脈硬化症などのインターベンション、循環器全般	
医 師	安 珍守	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本不整脈学会心電図学会 認定不整脈専門医 日本心血管インターベンション治療学会 認定医	不整脈、カテーテルアブレーション治療、心臓デバイス手術	
医 師	藤野 明子	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会 認定医	狭心症、心筋梗塞などの冠動脈疾患	
医 師	井手 裕也	日本内科学会総合内科専門医	循環器疾患全般	

医 師	濱谷 康弘	日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会循環器専門医 日本心エコー図学会SHD心エコー図認証医 ASD治療TEE認証医	心不全、心筋症、弁膜症、心エコー（経食道心エコー・負荷心エコー）、心臓カテーテル、緩和ケア	
医 師	土井 康佑	日本内科学会認定内科医	循環器全般	
専 修 医	池田 周平	日本内科学会認定内科医	循環器全般	
専 修 医	石上 健二郎		循環器全般	
展開医療研究部長	長谷川 浩二	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科専門医 アメリカ心臓協会専門医(AHA) アメリカ心臓病学会専門医(FACC) 日本禁煙科学会認定 禁煙支援医	心不全、虚血性心疾患、心血管危険因子管理・特に禁煙指導、心血管展開医療研究	
展開医療研究部長	和田 啓道	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医、指導医	循環器学、リスクファクター管理、予防医学、バイオマーカー研究	
リハビリテーション科医長	中島 康代	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医・指導医	循環器一般、心臓リハビリテーション	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本循環器学会認定循環器研修施設 日本心血管インターベンション治療学会認定教育施設 日本不整脈学会認定不整脈専門医研修施設
-------	---

診療科のモットー：「地域、世界、そして将来に貢献する循環器内科」

1. 「地域」：命を守る責任感をもって、信頼される地域医療を提供すること
2. 「世界」：より良い医療を探究する情熱を持ち、世界に向けて情報発信すること
3. 「将来」：指導者として人を教育育て、学習者として人から学び成長すること

「地域」は診療、「世界」は研究、「将来」は教育をあらわしています。診療・研究・教育の3本柱は、それぞれが互いを刺激して高めあう関係にあります。この3本柱がバランス良くしかも高いレベルで達成されていること、これが我々の診療科の目指す姿であり、また課せられた使命であると考えています。

□ 主な対象疾患

虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）

不整脈

心不全、心原性ショック

心筋症、心筋炎

心臓弁膜症

感染性心内膜炎

心膜疾患、心タンポナーデ

高血圧

大動脈瘤、大動脈解離

閉塞性動脈硬化症

静脈血栓症

肺塞栓症

□ 診療（業務）内容

心臓、血管系の疾病全般を扱っています。専門性に偏ることなく、バランスの取れた診療を行っていくよう、常に心がけています。

2014年9月8日に、心臓カテーテル検査室が移転、新装オープンし、「心血管治療センター」として稼働を開始しました。「心血管治療センター」では、冠動脈疾患や末梢動脈疾患に対するカテーテル検査・治療、不整脈疾患に対する電気生理検査・アブレーション治療を行っています。最新鋭のレントゲン透視装置で鮮明な画像が得られるため、より正確な診断と、より確実な治療が行えます。放射線の被ばく量も減少させることができます。より安全で確実に、清潔で快適な環境で、患者さんに検査や治療を受けて頂けるよう、そしてさらにレベルの高い医療を提供して地域に貢献してまいりたい所存です。

当院は、三次救急病院として地域医療の最後の砦であるという自覚と責任感を持って、絶対に断らない医療を目標としています。医療関係者専用の当科医師への直通電話（循環器ホットライン：075-606-2071）を設けています。24時間365日、緊急症例、診療のご相談、なんでも気軽にお電話下さい。重症度や緊急度によりましては、当科ドクターカーを派遣することも可能です。

高齢化の進むわが国において、心疾患の終末像ともいえる心不全患者が増加の一途を辿っています。心不全の治療には、薬物療法だけでなく、食事療法、心臓リハビリなどの運動療法、訪問介護・看護などを含めた生活の支援も重要になります。当科では、心臓リハビリスタッフ、看護師、栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカー、医師を中心に、心不全チーム医療を充実させ、多職種介入による包括的管理に力を入れています。

また、当科ではつねに多くの臨床研究や、新しい薬剤や医療機器の治験をおこなっており、より有効性・安全性の高い医療を求めて積極的に研究活動を行っています。とくに、当科が中心となって2011年より開始した「伏見心房細動患者登録研究（伏見AFレジストリ）」は、日本の実臨床の現場における心房細動患者の実態を反映するデータとして全国の注目を集めており、その成果を国内や国外の一流学会や論文に発表しております。

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
30.0名	989名	10.9日

外来患者数

1日平均患者数
52.8名

主な手術・検査の件数など

冠動脈カテーテル治療	冠動脈カテーテル検査	下肢動脈カテーテル治療	カテーテルアブレーション
232件	447件	23件	63件
ペースメーカー植込			
47件			

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

W

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国際学会発表	European Society of Cardiology Congress 2020	Balancing stroke and bleeding risks in Asian patients with atrial fibrillation	Masaharu Akao	WEB	2020/8/29-9/1
国際学会発表	European Society of Cardiology Congress 2020	Impact of creatinine clearance on clinical outcomes in elderly atrial fibrillation patients receiving apixaban: J-ELD AF Registry sub-analysis	Masaharu Akao	WEB	2020/8/29-9/1
国際学会発表	European Society of Cardiology Congress 2020	Impact of chronic kidney disease on mid-term prognosis of stable angina patients with high-dose or low-dose pitavastatin treatment: REAL-CAD sub-study	Mitsuru Abe, Masaharu Akao	WEB	2020/8/29-9/1

国際学会発表	European Society of Cardiology Congress 2020	A placebo-controlled trial of low-dose edoxaban for the management of atrial fibrillation in elderly Japanese patients ineligible for standard oral anticoagulant therapy: The ELDERCARE-AF trial	Masaharu Akao	WEB	2020/8/29-9/1
国際学会発表	ESC Congress 2020 - The Digital Experience	Plasma natriuretic peptide level is an independent determinant of major clinical outcomes in atrial fibrillation patients without heart failure: The Fushimi AF Registry	Yasuhiro Hamatani, M Iguchi, Y Aono, K Ishigami, S Ikeda, K Doi, A Fujino, N Masunaga, H Wada, K Hasegawa, H Ogawa, M Abe, M Akao	online congress	2020/8/29 -9/1
国際学会発表	ESC Congress 2020 - The Digital Experience	Adverse outcomes after worsening renal function in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	Hisashi Ogawa, Y An, S Ikeda, Y Aono, K Doi, Y Hamatani, A Fujino, M Ishii, M Iguchi, N Masunaga, H Wada, K Hasegawa, M Abe, M Akao	online congress	2020/8/29 -9/1
国際学会発表	ESC Congress 2020 - The Digital Experience	Derivation and validation of a novel score to detect heart failure with preserved ejection fraction in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF registry	Yuya Aono, M Iguchi, H Ogawa, S Ikeda, K Doi, Y Hamatani, A Fujino, Y An, M Ishii, N Masunaga, H Wada, K Hasegawa, M Abe, M Akao	online congress	2020/8/29 -9/1
国際学会発表	ESC Congress 2020 - The Digital Experience	Clinical outcomes of Japanese atrial fibrillation patients with combined valvular heart disease: The Fushimi AF Registry	Kosuke Doi, K Ishigami, Y Aono, S Ikeda, Y Hamatani, A Fujino, Y An, M Ishii, M Iguchi, H Ogawa, N Masunaga, H Wada, K Hasegawa, M Abe, M Akao	online congress	2020/8/29 -9/1
国際学会発表	ESC Congress 2020 - The Digital Experience	Association of smoking with heart failure hospitalization in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	Mitsuru Ishii, H Ogawa, Y Aono, S Ikeda, K Doi, Y Hamatani, A Fujino, Y An, M Iguchi, N Masunaga, H Wada, K Hasegawa, M Abe, M Akao	online congress	2020/8/29 -9/1
国際学会発表	ESC Congress 2020 - The Digital Experience	Clinical impact of regression from sustained to paroxysmal atrial fibrillation: the Fushimi AF registry	Akiko Fujino, H Ogawa, Kenjiro Ishigami, Yuya Aono, S Ikeda, K Doi, Y Hamatani, Y An, M Ishii, M Iguchi, N Masunaga, H Wada, K Hasegawa, M Abe, M Akao	online congress	2020/8/29 -9/1
国際学会発表	ESC Congress 2020 - The Digital Experience	Relationship between history of major bleeding and subsequent mortality in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	Mitsuru Ishii, H Ogawa, Y Aono, S Ikeda, K Doi, Y Hamatani, A Fujino, M Iguchi, Y An, N Masunaga, H Wada, K Hasegawa, M Abe, M Akao	online congress	2020/8/29 -9/1
国際学会発表	ESC Congress 2020 - The Digital Experience	The relationship between diastolic blood pressure and the risk of cardiovascular events in patients with atrial fibrillation: the Fushimi AF registry	Shu Ikeda, M Iguchi, H Ogawa, K Ishigami, Y Aono, K Doi, Y Hamatani, A Fujino, Y An, M Ishii, N Masunaga, H Wada, K Hasegawa, M Abe, M Akao	online congress	2020/8/29 -9/1

国際学会発表	American Heart Association Scientific Sessions 2020	Low cholesterol level was a risk for stroke or systemic embolism in elderly patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF registry	Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Yoshimori An, Yuya Ide, Akiko, Fujino, Yasuhiro Hamatani, Kosuke Doi, Syuhei Ikeda, Kenjiro Ishigami, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	WEB	2020/11/13-11/17
国際学会発表	American Heart Association Scientific Sessions 2020	Impact of thrombocytopenia on clinical outcomes in atrial fibrillation patients with anemia: The Fushimi AF Registry	Kenjiro Ishigami, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Yasuhiro Hamatani, Akiko Fujino, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Hisashi Ogawa, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	WEB	2020/11/13-11/17
国際学会発表	American Heart Association Scientific Sessions 2020	Association of fibrillation cycle length on the surface electrocardiogram with clinical outcomes in atrial fibrillation patients: The Fushimi AF Registry	Hisashi Ogawa, Yoshimori An, Kenjiro Ishigami, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Yasuhiro Hamatani, Akiko Fujino, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	WEB	2020/11/13-11/17
国際学会発表	American Heart Association Scientific Sessions 2020	The risk of alcohol consumption habit in Japanese atrial fibrillation patients: The Fushimi AF Registry.	Kosuke Doi, Moritake Iguchi, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	WEB	2020/11/13-11/17
国際学会発表	American Heart Association Scientific Sessions 2020	Impact of Progression from Paroxysmal to Sustained Atrial Fibrillation on Clinical Outcomes in Patients with Obesity: the Fushimi AF Registry	Akiko Fujino, Hisashi Ogawa, Mitsuru Ishii, Kenjiro Ishigami, Yuya Aono, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Yasuhiro Hamatani, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	WEB	2020/11/13-11/17
国際学会発表	American Heart Association Scientific Sessions 2020	Prognostic Factors of Atrial Fibrillation Patients With Coronary Artery Disease: The Fushimi Af Registry	Nobutoyo Masunaga, Hisashi Ogawa, Yuya Aono, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Yasuhiro Hamatani, Akiko Fujino, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	A virtual experience	2020/11/13-17
国内学会発表	第84回日本循環器病学会学術集会総会	Topics: How to manage atrial fibrillation in an integrated manner: Easy as ABC (会長特別企画) Cardiovascular and comorbidity risk management"	Masaharu Akao	WEB開催 京都	2020/7/27-8/3
国内学会発表	第84回日本循環器病学会学術集会総会	Debate: Controversies in the management of atrial fibrillation (会長特別企画) DOACs for NVAf should be strictly used with approved doses"	Masaharu Akao	WEB開催 京都	2020/7/27-8/3
国内学会発表	第84回日本循環器病学会学術集会総会	Debate: Controversies on Structural Heart Disease Management (会長特別企画) LAA closure is preferable to oral anticoagulation in many AF patients with high bleeding risk"	Masaharu Akao	WEB開催 京都	2020/7/27-8/3
国内学会発表	第84回日本循環器病学会学術集会総会	Topics: 透析患者の心血管疾患にどう向き合う(会長特別企画)「心房細動合併人工透析患者における抗凝固療法」	Masaharu Akao	WEB開催 京都	2020/7/27-8/3

国内学会発表	第84回日本循環器病学会 学術集会総会	Baseline Analysis of Non- valvular Atrial Fibrillation (NVAf) Comprehension and Anticoagulant Adherence in Elderly NVAf Patients from the ANAFIE Registry	Masaharu Akao	WEB開催 京都	2020/7/27- 8/3
国内学会発表	第84回日本循環器病学会 学術集会総会	Estimated Values of Renal Function as Prognostic Surrogate Markers in Japanese Patients with Non-Valvular Atrial Fibrillation: the J-RISK AF	Masaharu Akao, Hisashi Ogawa	WEB開催 京都	2020/7/27- 8/3
国内学会発表	第84回日本循環器病学会 学術集会総会	Impact of Baseline Blood Pressure on Adverse Outcomes in Japanese Patients with Non-Valvular Atrial Fibrillation: the J-RISK AF	Masaharu Akao, Hisashi Ogawa	WEB開催 京都	2020/7/27- 8/3
国内学会発表	第84回日本循環器病学会 学術集会総会	Risk Factors for Major Bleeding in Japanese Patients with Non-Valvular Atrial Fibrillation: the J-RISK AF	Hisashi Ogawa, Masaharu Akao	WEB開催 京都	2020/7/27- 8/3
国内学会発表	第84回日本循環器病学会 学術集会総会	Multicenter prospective cohort anticoagulation study by primary care physicians in patients with non-valvular atrial fibrillation (GENERAL)	Masaharu Akao	WEB開催 京都	2020/7/27- 8/3
国内学会発表	第84回日本循環器病学会 学術集会総会	The impact of combined valvular disease in Japanese non-valvular atrial fibrillation patients: The Fushimi AF Registry	Kosuke Doi, Moritake Iguchi, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao, for the Fushimi AF Registry investigators	WEB開催 京都	2020/7/27- 8/3
国内学会発表	第84回日本循環器病学会 学術集会総会	Relationship between high heart rate and prognosis in patients with paroxysmal and sustained atrial fibrillation: The Fushimi AF registry	Moritake Iguchi, Hiroaki Sugiyama, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Yoshimori An, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	WEB開催 京都	2020/7/27- 8/3
国内学会発表	第84回日本循環器病学会 学術集会総会	Association between heart rate and cardiac events in patients with sustained atrial fibrillation: The Fushimi AF registry	Moritake Iguchi, Hiroaki Sugiyama, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Yoshimori An, Akiko Fujino, Yasuhiro Hamatani, Masahiro Esato, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	WEB開催 京都	2020/7/27- 8/3
国内学会発表	第84回日本循環器病学会 学術集会総会	The differences in clinical characteristics between atrial fibrillation and venous thromboembolism: From Fushimi AF Registry and COMMAND VTE Registry	Yugo Yamashita, Hisashi Ogawa, Takeshi Morimoto, Mitsuru Abe, Masaharu Akao, Takeshi Kimura	WEB開催 京都	2020/7/27- 8/3
国内学会発表	第84回日本循環器学会学 術集会	Prognostic Significance of Plasma Natriuretic Peptide Level in Atrial Fibrillation Patients with- out Heart Failure: The Fushimi AF Registry	濱谷 康弘, 小川 尚, 井口 守丈, 青野 佑哉, 石上 健二郎, 池田 周平, 土井 康佑, 藤野 明子, 安 珍守, 石井 充, 益永 信豊, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Web	2020/7/27- 8/2
国内学会発表	第84回日本循環器学会学 術集会	Impact of Paroxysmal versus Sustained Atrial Fibrillation on Clinical Outcomes in Patients with Heart Failure: The Fushimi AF Registry	藤野 明子, 安 珍守, 池田 周平, 青野 佑哉, 石上 健二郎, 土井 康佑, 濱谷 康弘, 石井 充, 井口 守丈, 益永 信豊, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 小川 尚, 阿部 充, 赤尾 昌治	Web	2020/7/27- 8/2

国内学会発表	第84回日本循環器学会学術集会	Prognostic Impact of Hyperuricemia on the Incidence of Stroke and Heart Failure in Atrial Fibrillation Patients: The Fushimi AF Registry	安 珍守, 小川 尚, 石井 充, 井口 守丈, 益永 信豊, 土井 康佑, 濱谷 康弘, 藤野 明子, 青野 佑哉, 池田 周平, 石上 健二郎, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Web	2020/7/27-8/2
国内学会発表	第84回日本循環器学会学術集会	Association between Left Ventricular Hypertrophy and Progression from Paroxysmal to Sustained Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry	手塚 祐司, 濱谷 康弘, 井口 守丈, 小川 尚, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Web	2020/7/27-8/2
国内学会発表	第84回日本循環器学会学術集会	Current Status of Percutaneous Coronary Intervention in Patients with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry	阿部 充, 小川 尚, 石上 健二郎, 池田 周平, 青野 佑哉, 土井 康佑, 濱谷 康弘, 藤野 明子, 安 珍守, 石井 充, 井口 守丈, 益永 信豊, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 赤尾 昌治	Web	2020/7/27-8/2
国内学会発表	第84回日本循環器学会学術集会	Impact of Proteinuria on Cardiovascular Outcomes in Younger (<75 Years) Japanese Patients with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry	池田 周平, 井口 守丈, 小川 尚, 石上 健二郎, 青野 佑哉, 土井 康佑, 濱谷 康弘, 藤野 明子, 安 珍守, 石井 充, 益永 信豊, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Web	2020/7/27-8/2
国内学会発表	第84回日本循環器学会学術集会	Clinical Characteristics and Determinants of Major Adverse Cardiac and Cerebrovascular Events after Atrial Fibrillation Catheter Ablation: The Fushimi AF Registry	安 珍守, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 小川 尚, 阿部 充, 赤尾 昌治	Web	2020/7/27-8/2
国内学会発表	第84回日本循環器学会学術集会	Impact of History of Myocardial Infarction in Atrial Fibrillation Patients with Coronary Artery Disease: The Fushimi AF Registry	益永 信豊, 小川 尚, 石上 健二郎, 池田 周平, 青野 佑哉, 土井 康佑, 濱谷 康弘, 藤野 明子, 安 珍守, 石井 充, 井口 守丈, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Web	2020/7/27-8/2
国内学会発表	第84回日本循環器学会学術集会	Risk Factors for Major Bleeding in Japanese Atrial Fibrillation Patients under 75-years Old in Clinical Practice: The Fushimi AF Registry	石井 充, 小川 尚, 益永 信豊, 井口 守丈, 安 珍守, 藤野 明子, 濱谷 康弘, 土井 康佑, 池田 周平, 青野 佑哉, 石上 健二郎, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Web	2020/7/27-8/2
国内学会発表	第84回日本循環器学会学術集会	Risk Factors of Worsening Renal Function in Patients with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry	小川 尚, 安 珍守, 石上 健二郎, 池田 周平, 青野 佑哉, 土井 康佑, 濱谷 康弘, 藤野 明子, 石井 充, 井口 守丈, 益永 信豊, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Web	2020/7/27-8/2
国内学会発表	第84回日本循環器学会学術集会	Predictive Value of the CHA2DS2-VASc Score for Stroke and Cardiovascular Death in Patients with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry	安 珍守, 小川 尚, 石井 充, 井口 守丈, 益永 信豊, 土井 康佑, 濱谷 康弘, 藤野 明子, 青野 佑哉, 池田 周平, 石上 健二郎, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Web	2020/7/27-8/2
国内学会発表	第84回日本循環器学会学術集会	Early versus Late New-onset Heart Failure in Atrial Fibrillation Patients without Pre-existing Organic Heart Disease: The Fushimi AF Registry	青野 佑哉, 井口 守丈, 濱谷 康弘, 石上 健二郎, 池田 周平, 土井 康佑, 藤野 明子, 安 珍守, 石井 充, 益永 信豊, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 小川 尚, 阿部 充, 赤尾 昌治	Web	2020/7/27-8/2
国内学会発表	第84回日本循環器病学会学術集会総会	Current Status of Percutaneous Coronary Intervention in Patients With Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry.	阿部 充	ウェブ開催	2020/7/27 - 8/2
国内学会発表	第84回日本循環器病学会学術集会総会	Clinical Research-3: High Impact Clinical Research: Discussant	阿部 充	ウェブ開催	2020/7/27 - 8/2

国内学会発表	第84回日本循環器病学会学術集会総会	この症例をどうする？ Section1 緊急心臓カテーテル検査中にA型急性大動脈解離が疑われたらどうする？ LAD STEMIを併発したA型急性大動脈解離 エキスパートオピニオン	阿部 充	ウェブ開催	2020/7/27
国内学会発表	第84回日本循環器病学会学術集会	Prognosis and Causes of Death in Patients with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry	安 珍守	ウェブ開催	2020/7/28
国内学会発表	第84回日本循環器病学会学術集会	What is the risk factors for developing heart failure in AF patients? Insights from Fushimi AF registry	安 珍守	ウェブ開催	2020/7/31
国内学会発表	第84回日本循環器病学会学術集会	救急現場で出会う不整脈	安 珍守	ウェブ開催	2020/7/27
国内学会発表	第84回日本循環器病学会学術集会	Multimodality imaging in hypertrophic cardiomyopathy	濱谷 康弘	WEB	2020/7/30
国内学会発表	第117回日本内科学会総会・講演会『革新と伝統が協奏する内科学』	薬剤起因性障害の病態と治療戦略：抗血栓薬の現況と合併症対策	赤尾 昌治	東京	2020/8/8
国内学会発表	第7回日本心臓血管脳卒中学会学術集会	心房細動患者における大出血後の転帰の検討～伏見心房細動患者登録研究より	小川 尚, 赤尾 昌治	WEB	2020/8/23
国内学会発表	第7回日本心臓血管脳卒中学会学術集会	心房細動患者における心臓血管イベントに対して蛋白尿が与える影響～伏見AFレジストリより	池田 周平, 井口 守丈, 小川 尚, 石上 健二郎, 青野 佑哉, 土井 康佑, 濱谷 康弘, 藤野 明子, 安珍 守, 石井 充, 益永 信豊, 江里 正弘, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	WEB	2020/8/23
国内学会発表	第85回日本循環器病学会学術集会 ランチョンセミナー	症例から考えるハイリスク心房細動患者の管理～エビデンスを日常診療にどう活かすか	赤尾 昌治	横浜市	2021/3/26
国内学会発表	第117回日本内科学会総会・講演会	抗血栓薬の現況と合併症対策	赤尾 昌治	東京	2020/8/8
国内学会発表	第7回KSHC学術集会	低腎機能患者の抗凝固療法をどうするか～J-ELD AF研究の最新解析から	赤尾 昌治	京都	2020/9/25
国内学会発表	第140回日本循環器病学会北陸地方会共催セッション	低腎機能患者の抗凝固療法をどうするか～J-ELD AF研究の最新解析から	赤尾 昌治	金沢市	2021/1/24
国内学会発表	第13回植込デバイス関連冬季大会ランチョンセミナー	低腎機能患者の抗凝固療法をどうするか～J-ELD AF研究の最新解析から	赤尾 昌治	大阪市	2021/2/5
国内学会発表	第17回日本消化管学会総会学術集会 会長特別企画	消化器医が知るべき抗血栓薬療法の最新知見	赤尾 昌治	大阪市	2021/2/19
国内学会発表	第50回日本脳卒中の外科学会学術集会 ランチョンセミナー	その抗血小板薬併用、本当に必要ですか？～最新のエビデンスとガイドラインから	赤尾 昌治	福岡市	2021/3/11
国内学会発表	PAC20	Session 1 Multivessel or Culprit / Stent less strategy in ACS:腹部大動脈瘤置換術2日後に発症し治療方針に苦慮したSTEMIの一例	阿部 充	ウェブ開催	2020/11/7
国内学会発表	第29回日本心臓血管インターベンション治療学会	Medication Percutaneous Coronary Intervention in Patients with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry	阿部 充	ウェブ開催	2021/2/18 - 21
国内学会発表	第16回日本PCIフェローコース	冠動脈疾患と腎障害～正しく恐れる～	阿部 充	ウェブ開催	2021/2/7
国内学会発表	日超医学術集会2020	非対称性中隔肥厚を認め、肥大型心筋症と診断されていた心アミロイドーシスの一例	井口 守丈, 濱谷 康弘, 藤野 明子, 安 珍守, 石井 充, 益永 信豊, 小川 尚, 阿部 充, 赤尾 昌治	On line	2020/12/1-3

国際学会発表	International Society of Cadiomyopathy, Myocarditis and Heart Failure(ISCMF)2021	The impact of heart rate on the incidence of cardiovascular events in patients with atrial fibrillation:The Fushimi AF Registry	井口 守丈	Virtual Symposium	2021/2/28
国内学会発表	第12回植込みデバイス関連冬季大会	ペースメーカー植込み心房細動患者の背景と転帰に関する検討 ～伏見心房細動患者登録研究より～	小川 尚, 安 珍守, 石上 健二郎, 池田 周平, 青野 佑哉, 土井 康佑, 濱谷 康弘, 藤野 明子, 石井 充, 井口 守丈, 益永 信豊, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	名古屋	2020/2/7

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	井口 守丈, 赤尾 昌治	コモンディージーズとしての心房細動	Vita	37	4	12-21	2020/11	総説	株式会社BML
和文	小川 尚, 赤尾 昌治	[不整脈の管理]抗凝固療法	月刊薬事	62	15	2948-2953	2020/11	総説	株式会社じほう
和文	安 珍守, 赤尾 昌治	心房細動:薬物治療	循環器診療コンプリート「不整脈」				2021/	総説	学研メディカル秀潤社
和文	赤尾 昌治	心房細動における血栓症予防法の進歩	日本医師会雑誌	149	8	1391-1395	2020/11	総説	日本医師会
和文	赤尾 昌治	心房細動患者における周術期(抜歯・消化管内視鏡・外科手術・アブレーション等)の抗凝固療法のポイント	循環器内科	88	2	158-164	2020/8	総説	科学評論社
和文	赤尾 昌治	<不整脈> Fushimi AF Registry	循環器内科	88	4	414-419	2020/10	総説	科学評論社
和文	濱谷 康弘, 赤尾 昌治	心房細動患者の血栓塞栓症リスク・出血リスクをどのように評価するか?	Heart View	25	1	12-17	2021/1	総説	メディカルレビュー社
和文	赤尾 昌治	薬剤起因性障害の病態と治療戦略「抗血栓薬の現況と合併症対策」	日本内科学会雑誌	109		1776-1783	2020/2/26 doi.org/ 10.2169/ naika.109. 116a	総説	一般社団法人 日本内科学会
和文	赤尾 昌治	持続性心房細動患者の予後を診る	Heart View	25	3	228-234	2021/3	総説	メディカルレビュー社
和文	赤尾 昌治	脳卒中・循環器病対策基本法成立で何が変わるのか?～循環器疾患治療の立場から	医療	75	1	38	2021/2/20	総説	一般社団法人 国立医療学会
和文	阿部 充	専門医でなくてもこれだけは知っておきたい抗凝固療法	レジデントノート 3月号「救急・ICUで使う循環器の薬に強くなる!」	22	18	3381～8	2021/2/10	総説	羊土社
和文	安 珍守	心房細動に対する薬物療法とカテーテルアブレーション	Medicina	58	1	102-107	2021/1	総説	医学書院
和文	小川 尚	抗凝固のジレンマをどう解決するか	Medicina	57	10	1714-7	2020/9/10	総説	医学書院
和文	小川 尚	心房細動アブレーション周術期の抗凝固療法の注意点は?	循環器ジャーナル	68	4	604-7	2020/10/1	総説	医学書院
和文	赤尾 昌治, 井口 守丈, 小川 尚, 安 珍守, 濱谷 康弘	第4.1章 心房細動(翻訳)	欧州心臓病学会(ESC)心血管薬物療法ハンドブック 日本語翻訳版)			185-208	2020/6	解説	OXFORD UNIVERSITY PRESS

英文	赤尾 昌治	Low-Dose Edoxaban in Very Elderly Patients with Atrial Fibrillation.	N Engl J Med	383	18	1735-1745	2020/10	原著論文
英文	赤尾 昌治, 小川 尚	Risk Factors Associated With Ischemic Stroke in Japanese Patients With Nonvalvular Atrial Fibrillation	JAMA Netw Open	3	4	e202881	2020/4	原著論文
英文	赤尾 昌治	Impact of creatinine clearance on clinical outcomes in elderly atrial fibrillation patients receiving apixaban: J-ELD AF Registry subanalysis	Am Heart J.	223		23-33	2020/5	原著論文
英文	赤尾 昌治	Clinical implications of assessment of apixaban levels in elderly atrial fibrillation patients: J-ELD AF registry sub-cohort analysis	Eur J Clin Pharmacol	76	8	1111-1124	2020/8	原著論文
英文	青野 佑哉, 濱谷 康弘, 井口 守文, 小川 尚, 阿部 充, 赤尾 昌治	Late-onset Hereditary ATTR Amyloidosis with a Novel p.P63S (P43S) Transthyretin Variant	Intern Med	60	4	557-561	2021/2	原著論文
英文	濱谷 康弘, 南 公人, 阿部 充, 赤尾 昌治	Utility of handgrip stress test in patients with functional mitral regurgitation and exertional dyspnea	Eur Heart J Case Rep	4	5	1-2	2020/8	原著論文
英文	赤尾 昌治	Atrial fibrillation and stroke prevention: state of the art-epidemiology and pathophysiology: new risk factors, concepts and controversies.	Eur Heart J Suppl	22	(Suppl O)	O1-O13	2020/12	原著論文
英文	赤尾 昌治	Questionnaire in patients with aborted sudden cardiac death due to coronary spasm in Japan	Heart Vessels	35	12	1640-1649	2020/12	原著論文
英文	赤尾 昌治, 尾野 亘	D-dimer levels at diagnosis and long-term clinical outcomes in venous thromboembolism: from the COMMAND VTE Registry.	J Thromb Thrombolysis	49	4	551-561	2020/5	原著論文
英文	赤尾 昌治, 尾野 亘	Clinical characteristics and outcomes of patients with venous thromboembolism according to diagnosis on weekends versus on weekdays.	J Thromb Thrombolysis					原著論文
英文	赤尾 昌治, 尾野 亘	Risk Factors for Major Bleeding During Anticoagulation Therapy in Cancer-Associated Venous Thromboembolism - From the COMMAND VTE Registry.	Circ J	84	11	2006-2014	2020/10	原著論文
英文	赤尾 昌治, 尾野 亘	Predictive ability of modified Ottawa score for recurrence in patients with cancer-associated venous thromboembolism: From the COMMAND VTE Registry.	Thromb Res	191		66-75	2020/7	原著論文
英文	赤尾 昌治	Influence of low body weight on long-term clinical outcomes in patients with venous thromboembolism: From the COMMAND VTE registry.	Thromb Res	198		26-33	2021/2	原著論文
英文	赤尾 昌治	High prevalence of masked uncontrolled morning hypertension in elderly non-valvular atrial fibrillation patients: Home blood pressure substudy of the ANAFIE Registry.	J Clin Hypertens (Greenwich)	23	1	73-82	2021/1	原著論文

英文	赤尾 昌治	Current status of proton pump inhibitor use in Japanese elderly patients with non-valvular atrial fibrillation: A subanalysis of the ANAFIE Registry.	PLoS One	15	11	e0240859	2020/11	原著論文
英文	赤尾 昌治, 尾野 亘	Impact of no, distal, and proximal deep vein thrombosis on clinical outcomes in patients with acute pulmonary embolism: From the COMMAND VTE registry	J Cardiol					原著論文
英文	赤尾 昌治	Rhythm versus rate control strategies regarding anticoagulant use in elderly non-valvular atrial fibrillation patients: Subanalysis of the ANAFIE (All Nippon AF In the Elderly) Registry.	J Cardiol	76	1	87-93	2020/7	原著論文
英文	赤尾 昌治	Characteristics and anticoagulant treatment status of elderly non-valvular atrial fibrillation patients with a history of catheter ablation in Japan: Subanalysis of the ANAFIE registry	J Cardiol	76	5	446-452	2020/11	原著論文
英文	赤尾 昌治, 尾野 亘	Validation of simplified PESI score for identification of low-risk patients with pulmonary embolism: From the COMMAND VTE Registry	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care	9	4	262-270	2020/6	原著論文
英文	濱谷 康弘, 井口 守文, 青野 佑哉, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 小川 尚, 赤尾 昌治	Prognostic significance of natriuretic peptide levels in atrial fibrillation without heart failure.	Heart.	107		705-712	2021	原著論文
英文	小川 尚, 安 珍守, 石上 健二郎, 池田 周平, 土井 康佑, 濱谷 康弘, 藤野 明子, 石井 充, 井口 守文, 益永 信豊, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Long-term clinical outcomes after major bleeding in patients with atrial fibrillation: the fushimi AF registry.	Eur Heart J Qual Care Clin Outcomes.	7	2	163-171	2021	原著論文
英文	井口 守文, 濱谷 康弘, 石上 健二郎, 青野 佑哉, 池田 周平, 土井 康佑, 藤野 明子, 安 珍守, 石井 充, 益永 信豊, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 小川 尚, 阿部 充, 赤尾 昌治	Different Impact of Resting Heart Rate on Adverse Events in Paroxysmal and Sustained Atrial Fibrillation - The Fushimi AF Registry.	Circ J	84	12	2138-2147	2020/11	原著論文
英文	安 珍守, 小川 尚, 石井 充, 井口 守文, 益永 信豊, 藤野 明子, 井出 裕也, 濱谷 康弘, 土井 康佑, 池田 周平, 石上 健二郎, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Cardiovascular Events and Mortality in Patients With Atrial Fibrillation and Anemia (from the Fushimi AF Registry).	Am J Cardiol.	134		74-82	2020/11	原著論文
英文	阿部 充, 益永 信豊, 石井 充, 土井 康佑, 石上 健二郎, 池田 周平, 青野 佑哉, 安 珍守, 井口 守文, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 小川 尚, 赤尾 昌治	Current status of percutaneous coronary intervention in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	J Cardiol.	75	5	513-520	2020/5	原著論文
英文	手塚 祐司, 井口 充, 濱谷 康弘, 小川 尚, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Association between relative wall thickness of left ventricle and incidence of thromboembolism in patients with non-valvular atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Eur Heart J Qual Care Clin Outcomes	6	4	273-283	2020/10	原著論文

英文	土井 康佑, 小川 尚, 石上 健二郎, 池田 周平, 濱谷 康弘, 藤野 明子, 安 珍守, 石井 充, 井口 守文, 益永 信豊, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Impact of Valvular Heart Disease on Mortality, Thromboembolic and Cardiac Events in Japanese Patients With Atrial Fibrillation -The Fushimi AF Registry.	Circ J.	84	5	714-722	2020/4	原著論文
英文	池田 周平, 安 珍守, 石上 健二郎, 青野 佑哉, 土井 康佑, 石井 充, 井口 守文, 小川 尚, 益永 信豊, 阿部 充, 赤尾 昌治	Iatrogenic ventricular fibrillation caused by inappropriately synchronized cardioversion in a patient with pre-excited atrial fibrillation: A case report.	J Cardiol Cases	23	1	31-34	2020/10	原著論文
英文	阿部 充	Clopidogrel Monotherapy vs. Aspirin Monotherapy Following Short-Term Dual Antiplatelet Therapy in Patients Receiving Everolimus-Eluting Coronary Stent Implantation.	Circ J	84	9	1483-1492	2020/8	原著論文
英文	濱谷 康弘	Current practice and effects of intravenous anticoagulant therapy in hospitalized acute heart failure patients with sinus rhythm	Scientific Reports	11	1	1202	2021/1	原著論文
英文	濱谷 康弘	Comparison of Clinical Characteristics, Natural History and Predictors of Disease Progression in Patients With Degenerative Mitral Stenosis Versus Rheumatic Mitral Stenosis	American Journal of Cardiology	143		118-124	2021/3	原著論文
英文	濱谷 康弘	Experience of morphine therapy for refractory dyspnea as palliative care in advanced heart failure patients	Journal of Cardiology	75	6	682-688	2020/6	原著論文
英文	小川 尚, 安 珍守, 石上 健二郎, 池田 周平, 土井 康佑, 井出 裕也, 濱谷 康弘, 藤野 明子, 石井 充, 井口 守文, 益永 信豊, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Characteristics and Clinical Outcomes in Atrial Fibrillation Patients Classified Using Cluster Analysis: The Fushimi AF Registry.	EP Europace					原著論文

小児科



診療科長
浅井 康一

専門医資格等
日本小児科学会
小児科専門医・指導医
日本アレルギー学会
専門医・指導医
日本小児アレルギー学会
代議員
日本小児感染症学会
代議員
Infection Control
Doctor
(ICT)
京都大学医学博士
京都大学医学部
臨床教授
京都小児科医会理事
専門分野
小児アレルギー
小児感染症
得意疾患
食物アレルギー
喘息・アトピー



NICU診療科長
松倉 崇

専門医資格等
日本小児科学会
小児科専門医・指導医
新生児蘇生法「専門」
コースインストラクター
専門分野
新生児

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	石塚 哲也		小児全般	小児感染症
医 師	北 誠	日本小児科学会専門医 新生児蘇生法「専門」コース インストラクター	小児全般	虐待・遺伝性疾患
医 師	仁井 純子	日本小児科学会専門医	小児全般	
医 師	橋本 有紀子	日本小児科学会専門医 日本人類遺伝学会 遺伝専門医	小児内分泌代謝	低身長・甲状腺・ 遺伝性疾患
医 師	岩井 篤	日本小児科学会専門医	小児血液がん	小児白血病

□ 診療科の特徴

施設認定等	京都大学小児科専門研修プログラム連携施設 周産期(新生児)専門医指定研修施設 日本アレルギー学会専門医教育研修施設
-------	---

1. お子さんの、心とからだの発達を重視します。
2. スタッフ全員が、新生児から思春期までの小児の診療がおこなえるよう研鑽しています。
3. 新生児期から小児期に外科的治療が必要な例には専門施設と円滑に連携をとっています。
(京都大学病院・京都府立医科大学病院等)
4. 病気の治療にとどまらず、予防接種による感染症の予防にも力をいれています。
5. 長期入院が必要な小・中学生は、学習が継続できるよう院内学級(京都市立桃陽総合支援学校)が利用できます。
6. 京都市から委託をうけ院内病児保育を実施し、子供さんが体調不良で登園・登校できない時にも、ご家族の方が仕事を休まずにすむようサポートしています。

□ 主な対象疾患

新生児・低出生体重児（極低出生体重児1500g未満・超低出生体重児1000g未満）・新生児黄疸・糖尿病や甲状腺疾患母体からの出生児・新生児薬物離脱症候群
食物アレルギー・気管支喘息・アトピー性皮膚炎
低身長・甲状腺機能異常・糖尿病・肥満・先天代謝異常・遺伝相談
先天性心疾患・川崎病
てんかん・発達障害・自閉症・心身症・不登校など

□ 診療（業務）内容

1. 平成12年から新生児集中治療室（NICU6床）、産婦人科と密接に協力し24時間体制で赤ちゃんの診療を行っています。
2. 小児病棟（2-3病棟）では、肺炎・胃腸炎・脱水症・熱性痙攣など小児一般急性疾患の入院治療をしており、病棟保育士も常駐しています。
3. 外来診療は、一般外来の他、専門外来（アレルギー、内分泌、神経、心臓、NICUフォローアップ）や予防接種・健診があり、食物アレルギーでの食物経口負荷試験、内分泌疾患での負荷試験や学校検診（心電図・検尿）異常の精査をしています。
- 外来初診の場合、可能であればかかりつけの先生からの紹介状をご持参ください。

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数			外来患者数
1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数	1日平均患者数
8.0名	244名	11.7名	16.1名

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第444回日本小児科学会京都地方会	離乳食拒否・発達遅滞経過観察中、大球性貧血を契機にビタミンB21欠乏症と診断された乳児例	浅井 康一	京都	2020/12/13

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	黒須 英雄	授乳支援必要度スコアの開発	日本母乳哺育学会雑誌	14	1	39-47	2020/7	原著論文	
和文	橋本 有紀子, 飛騨 美希, 小西 陽介, 浅原 哲子, 三宅 秀彦	不十分な遺伝カウンセリングの元で実施された無侵襲的出生前遺伝学的検査にて胎児性別を誤判定された妊婦の遺伝カウンセリングー見発症皮膚筋炎が検査に影響した可能性ー	日本遺伝カウンセリング学会誌				in press	原著論文	株式会社メディカルドゥ
和文	小西 陽介, 浅原 哲子, 飛騨 美希, 和田 美智子, 橋本 有希子, 北 誠, 日下部 徹, 荒木 由香里, 江本 郁子, 山賀 郁, 山口 健, 安彦 郁, 荒田 順, 山崎 誠二, 三宅 秀彦, 高倉 賢二, 小西 郁生	遺伝診療部のトリック身ー HBOCフォーキンググループの立ち上げから現在までー	医療	74	3	116-119	2020/3	原著論文	

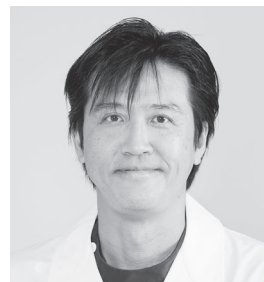
外科 令和3年4月 乳腺外科独立



統括診療部長
診療科長
(肝胆膵責任者)
猪飼 伊和夫
(令和3年3月31日まで)

専門医資格等 日本外科学会 外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器外科
専門医・指導医
日本肝胆膵外科学会 評議員・肝胆
膵外科高度技能指導医
日本がん治療認定医機構 がん治
療認定医
日本消化器外科学会 消化器がん
外科治療認定医
日本肝癌研究会幹事・取扱い規約委員
日本臨床外科学会 評議員
京都大学医学部 臨床教授
京都大学 医学博士

専門分野 肝胆膵外科
得意疾患 肝臓がん、胆道がん、膵臓がん



診療科長
山口 高史
(令和3年4月1日より)

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
がん診療部長 医 長 (乳 腺 責 任 者)	山崎 誠二	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本乳癌学会 専門医・指導医 日本臨床腫瘍学会 暫定指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定 ASCO member 京都大学 非常勤講師 京都大学 医学博士	乳腺	乳がん
臨床栄養科長 医 長 (上部消化管責任者)	大谷 哲之	日本外科学会 外科専門医 日本消化器外科学会 消化器外科認定医 京都大学医学部 臨床教授	上部消化管	食道がん 胃がん
医 長 (下部消化管責任者)	山口 高史	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医・指導医 日本内視鏡外科学会 内視鏡外科学術認定医・技術認定審査員・評議員 ダ・ヴィンチ コンソール術者ライセンス医 京都大学医学部 臨床教授 京都大学 非常勤講師	下部消化管	大腸がん
医 師	成田 匡大	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 日本肝胆膵外科学会 評議員・肝胆膵外科高度技能専門医 日本消化器病学会 専門医 Le Diplôme Inter Universitaire EUROPEAN CANCERS HEPATO BILIO PANCREATIQUES 日本ヘルニア学会 評議員 関西ヘルニア研究会 世話人 京都大学医学部 臨床准教授 京都大学 医学博士	肝胆膵外科 鼠径ヘルニア	肝臓がん 胆道がん 膵臓がん 鼠径ヘルニア 術後疼痛

医 師	畑 啓昭	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 日本内視鏡外科学会 内視鏡外科技術認定医・評議員 日本食道学会 食道科認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 ICD(インフェクションコントロールドクター) 日本外科感染症学会 周術期感染管理認定医・教育医・評議員・教育委員会委員長・編集委員会委員 日本感染症学会 評議員・臨床研究促進委員会委員 日本化学療法学会 評議員・抗菌化学療法認定医制度審議委員会委員・国際渉外委員会委員 日本化学療法学会・日本感染症学会 薬剤耐性菌感染症を対象とした抗菌薬ガイドライン作成に関する合同委員会委員・Journal of Infection and Chemotherapy, Senior Editor 日本臨床外科学会 評議員 ダ・ヴィンチ コンソール術者ライセンス医 京都大学 医学博士	上部消化管 外科感染症	胃がん 食道がん
医 師	松末 亮	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医 日本内視鏡外科学会 内視鏡外科技術認定医 内痔核治療法研究会 四段階注射法講習会受講 ダ・ヴィンチ コンソール術者ライセンス医 京都大学 医学博士	下部消化管	大腸がん 肛門疾患
医 師	山賀 郁	日本外科学会 外科専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本乳癌学会 乳腺専門医 検診マンモグラフィ読影認定医 京都大学 医学博士	乳腺	乳がん
医 師	山岡 竜也	日本外科学会 外科専門医 日本肝胆膵外科学会 評議員 京都大学 医学博士	肝胆膵外科	肝臓がん 胆道がん 膵臓がん
医 師	岡田 はるか			
医 師	後藤 健太郎			
医 師	三木 晶森			
医 師	宗景 史晃			
専 攻 医	豊田 有紀			
専 攻 医	末永 尚浩			

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本消化器外科学会専門医修練施設 日本肝胆膵外科学会認定肝胆膵外科高度技能専門医修練施設A 日本大腸肛門病学会認定施設 日本食道学会食道外科専門医準認定施設 日本乳癌学会認定施設 日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設 JCOG大腸がんグループ参加施設 JCOG胃がんグループ参加施設
-------	---

特 色

消化器がん(胃がん、食道がん、大腸がん、肝臓がん、胆嚢・胆管がん、膵臓がんなど)の手術を中心として、一般外科全般(腹部良性疾患、肛門疾患、そけいヘルニアなど)の診療を行っています。腹部救急疾患に対しては、緊急手術を24時間対応で行っております。

新しい流行の治療法を安易に採用したり、特定の成績(たとえば腹腔鏡手術率や肛門温存率など)のみを追い求めるのではなく、患者さんにとって何が一番かを常に考えて治療方針を考えるようにしております。

体 制

消化器がんの治療は日進月歩であり、一昔まえのように、あらゆる領域の消化器がんに対して一人の外科医が最新かつ質の高い治療を行うことは困難です。したがって、当科では上部消化管領域(食道がん、胃がんなど)、下部消化管領域(大腸がんなど)、肝胆膵領域(肝がん、胆嚢・胆管がん、膵臓がんなど)の3つのチームにわかれて、各領域の専門医・指導医が高度で安全な手術を行っています。全領域で腹腔鏡手術やロボット手術と基本し、状況に応じて開腹手術を選択しています。腹腔鏡手術は内視鏡外科技術認定医が、ロボット支援手術はダ・ヴィンチ コンソール術者ライセンス医が行っております。

このように細分化して専門的治療を行なうことは重要ですが、疾患だけをみて治療している訳ではなく、患者さん中心に人生観や仕事・家庭状況なども考慮させて頂きながら、御希望を尊重して相談しながら治療を行うことを心がけております。かかりつけ医の先生ともしっかり連携をとって、普段の全身的管理をかかりつけ医の先生に、特定の疾患の治療やフォローを当院でいうスタイルをとっております。

関連科との良好な連携

- ・内科的な検査、治療は専門科である消化器内科にお任せしております。
- ・抗がん剤治療の進歩も早く、最近では遺伝子的な検査や治療も行われてきているため、外科だけではなく腫瘍内科と協力して行っております。
- ・放射線治療が必要な場合は放射線治療科と連携して高精度な治療を行っております。

どの科も実力は十分ですので、いずれかの治療に偏ることなく、純粋に患者さんに最適な治療法を選択できるような体制が整っております。

□ 主な対象疾患

悪性疾患

■食道がん ■食道胃接合部がん ■胃がん ■GIST ■NET ■結腸・直腸・肛門がん■肝がん
■胆嚢・胆管がん、膵がんなどのすべての消化器悪性疾患 ■乳がん(令和3年4月乳腺外科として独立)

良性疾患

■上部消化管疾患(食道裂孔・横隔膜ヘルニア、食道憩室、食道平滑筋腫など)
■下部消化管疾患(大腸良性腫瘍、大腸憩室、炎症性腸疾患、痔核、裂肛、痔瘻、直腸脱など)
■肝胆膵脾疾患(胆石症、胆嚢炎、肝血管腫、膵管内乳頭粘液性腫瘍、胆管内乳頭状腫瘍、脾腫など)
■腹部救急疾患(上部・下部消化管穿孔、急性胆嚢炎、急性虫垂炎、憩室炎、鼠経ヘルニア嵌頓・腸閉塞など)

□ 診療(業務)内容

上記、対象疾患の治療。

鼠経ヘルニア手術は日本では唯一、メッシュを使用せず自身の組織を用いた組織修復法であるShouldice法もご希望により行っています。また鼠経ヘルニア術後の疼痛(慢性疼痛)で悩んでいる患者さんの診療を行っています。

□ 診療実績(令和2年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
36.6名	960名	13.5日

外来患者数

1日平均患者数
55.3名

手術実績

全手術件数(外来手術含める)	873件
全麻手術	670件
腰麻手術	16件
局麻手術	187件

※うち緊急手術件数163件

主な術式別手術件数

術式	手術件数	※うち鏡視下手術 (ポリペクトミー、EMR,ESDなど 内視鏡的切除は除く)
食道がん切除術	3	3
幽門側胃切除術(幽門保存胃切除術を含む)	32	30
胃全摘術(噴門側胃切除術を含む)	16	10
結腸切除術	93	91
直腸前方切除術	44	43
直腸切断術	3	3
肝切除術(葉切除以上)	14	4
肝切除術(区域・亜区域切除術)	15	7
肝切除術(上記以外)	21	11
脾頭十二指腸切除術	18	0
脾体尾部切除術(胃がん手術に伴うものは除く)	7	2
脾切除術(その他)	0	0
乳がん手術	69	0
胆嚢摘出術	112	102
脾摘術	0	0
虫垂切除術	54	48
ヘルニア手術(小児を除く)	123	22
良性肛門疾患手術	21	0
小児外科手術(ヘルニアも含む)	4	0

□ 地域医療連携・広報活動

2020/6/23	COVIDIENゼロコン+シアター「鼠経ヘルニア修復術ー慢性疼痛の発症予防にできることー」 成田匡大
2020/7/4	メディカ出版 WEB講義「消化器外科 術後観察ポイント これだけ編」 畑啓昭
2020/10/28	DIRECTION Discovery of Colorectal Surgical Oncology Seminar「症例提示2「地域中核病院での側方郭清の基本方針」」 山口高史
2020/10/30	ゼロコン+ルーム「慢性疼痛を予防する鼠径部ヘルニア修復術を考えよう〜」 成田匡大
2020/11月上旬～ 2021/3月中旬	日本環境感染学会 「院内感染講習会事業 厚生労働省動画チャンネル(YouTube) 「手術部位感染防止対策」」 畑啓昭
2021/11/6	第1回大腸手術ビデオクリニック講師 松末亮
2020/11/8	Healthy Discussion seminar WEB「Colon Preparation」 畑啓昭
2020/11/22	研修医のための輸液セミナー「『術後輸液』の部屋 「何をどれだけどんな根拠で?」」 畑啓昭
2021/1/29	JSES×ゼロコン WEBINAR:ここがポイント!「慢性疼痛を予防するTAPPとTEP -内視鏡下で見る鼠径部神経解剖の実際-」 成田匡大
2021/2/3	UGI ミレニアムの会「外科医に役立つコロナの知識」 畑啓昭
2021/2/20	第8回沖縄ヘルニア研究会「Inguinodynia」 成田匡大

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会	第92回日本胃癌学会総会	長期成績からみた腹腔鏡下胃切除術の適応についての妥当性の検討	大倉 啓輔, 畑 啓昭, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	WEB開催	2020/7/1 ~ 2020/7/31
国内学会	第92回日本胃癌学会総会	蛋白漏出性胃腸症を合併した胃癌の1例	末永 尚浩, 畑 啓昭, 大倉 啓輔, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 山岡 竜也, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	WEB開催	2020/7/1 ~ 2020/7/31
国内学会	第40回日本脳神経外科学会コンgres総会	第2回感染対策講習会 講演「周術期感染対策に関するガイドラインと最近のトピックス」	畑 啓昭	金沢	2020/8/12
国内学会	第94回日本感染症学会学術講演会	シンポジウム18「外科手術を必要としたClostridioides difficile 感染症症例について」	畑 啓昭	東京	2020/8/20
国内学会	第68回日本化学療法学会総会	術後感染予防抗菌薬の基本	畑 啓昭	神戸	2020/9/13
国内学会	第68回日本化学療法学会総会	動画で見る!術中の感染対策手技 一般外科医	畑 啓昭	神戸	2020/9/13
国内学会	第56回日本腹部救急医学会総会	学術共催セミナー 4「こんな時はどうする?腹部救急における至適腹壁ヘルニア修復術 ~嵌頓症例を中心に~」	成田 匡大	名古屋	2020/10/8 ~ 2020/11/2
国内学会	第82回日本臨床外科学会	共催ランチョンセミナー「今こそ考える!慢性疼痛を防ぐ最適な鼠径ヘルニア治療戦略」	成田 匡大	WEB開催	2020/10/29 ~ 2020/10/31
国内学会	第82回日本臨床外科学会総会	AEGIS-Women共催ブースセミナー 外科医のCOVID-19対策「Withコロナ外科医が気をつけること」	畑 啓昭	WEB開催	2020/10/29 ~ 2020/11/30
国内学会	第82回日本臨床外科学会総会	Non-mesh pure tissue repair- Shoulddice法の可能性	成田 匡大, 後藤 健太郎, 岡田 はるか, 山岡 竜也, 松末 亮, 畑 啓昭, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	WEB開催	2020/10/29
国内学会	第82回日本臨床外科学会総会	進行残胃癌術後補助化学療法中に大量腹水の貯留をきたし腹膜播種再発の診断に苦慮した一例	出川 佳奈子, 後藤 健太郎, 畑 啓昭, 末永 尚浩, 宗景 史晃, 三木 晶森, 岡田 はるか, 山岡 竜也, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	WEB開催	2020/10/30
国内学会	第82回日本臨床外科学会総会	胃壁から腹腔内へ迷入した魚骨を腹腔鏡下に摘出した1例	近森 健太郎, 後藤 健太郎, 畑 啓昭, 末永 尚浩, 宗景 史晃, 三木 晶森, 岡田 はるか, 山岡 竜也, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	WEB開催	2020/10/30
国内学会	第18回日本ヘルニア学会学術集会	シンポジウム3 Evidence from Japan を発信していこう!どうすれば比較試験はできるのか 「本邦における鼠径ヘルニア術後慢性疼痛の実態-多施設共同前向き研究」	成田 匡大	WEB開催	2020/11/3
国内学会	第18回日本ヘルニア学会学術集会	A Case of Meralgia Paraesthetica after Transinguinal Preperitoneal Groin Hernia Repair	Goto K, Narita M, Suenaga T, Toyoda Y, Munekage F, Okada H, Miki A, Yamaoka R, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I	WEB開催	2020/11/4
国内学会	第18回日本ヘルニア学会学術集会	Mesh Plug修復術後8年目に慢性疼痛に対する外科的アプローチを施した一例	宗景 史晃, 成田 匡大, 末永 尚浩, 吉岡 尚子, 大倉 啓輔, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 山岡 竜也, 松末 亮, 畑 啓昭, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	WEB開催	2020/11/3 ~ 2020/11/4

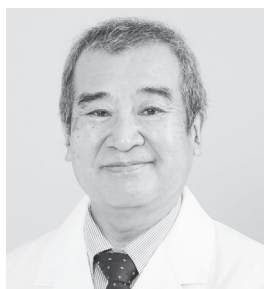
国内学会	第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会 第63回日本感染症学会中日本地方会学術集会 第68回日本化学療法学会西日本支部総会 合同開催	第57回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 年次テーマ:基本に立ち返る AST主導の抗菌薬適正使用を支援する「感染症以外の術後発熱」	畑 啓昭	福岡	2020/11/5
国内学会	第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会 第63回日本感染症学会中日本地方会学術集会 第68回日本化学療法学会西日本支部総会 合同開催	乳房切除術後の手術部位感染 (SSI) に対してNPWT (局所陰圧閉鎖療法) と創閉鎖の工夫により治療期間の短縮ができた 1 例	後藤 健太郎, 畑 啓昭	福岡	2020/11/5 ~ 2020/11/7
国内学会	第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会 第63回日本感染症学会中日本地方会学術集会 第68回日本化学療法学会西日本支部総会 合同開催	虫垂穿孔による汎発性腹膜炎術後の腹腔内感染の治療に難渋した一例	出川 佳奈子, 後藤 健太郎, 畑 啓昭, 末永 尚浩, 宗景 史晃, 三木 晶森, 岡田 はるか, 山岡 竜也, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	福岡	2020/11/7
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会・学術集会	ランチョンセミナー 4 SSI 予防ガイドライン遵守率の現状と次の一手 「外科感染症ガイドラインの最新遵守率について」	畑 啓昭	WEB開催	2020/11/27
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会・学術集会	周術期の抗菌薬適正使用の取り組み	畑 啓昭, 松末 亮, 山岡 竜也, 末永 尚浩, 宗景 史晃, 三木 晶森, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 山口 高史	WEB開催	2020/11/27
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会・学術集会	教育委員会企画プログラム 外科医が知っておくべき微生物検査について	畑 啓昭	WEB開催	2020/11/27
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会・学術集会	術後感染予防抗菌薬の適正使用に向けた病棟薬剤師の取り組み	熊谷 康平, 畑 裕基, 村津 圭治, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久, 畑 啓昭	WEB開催	2020/11/27
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会・学術集会	シンポジウム4 消化器外科領域における周術期感染対策 「周術期の抗菌薬適正使用の取り組み」	畑 啓昭, 松末 亮, 山岡 竜也, 末永 尚浩, 宗景 史晃, 三木 晶森, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 山口 高史	WEB開催	2020/11/27
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会・学術集会	外科感染症入門講座18 「ドレーン」	畑 啓昭	WEB開催	2020/11/28
国内学会	第42回日本手術医学会総会	感染対策セミナー 2 「SSI 防止対策 - 最近のガイドラインを比較検討する -」	畑 啓昭	高松	2020/12/4
国内学会	第75回日本消化器外科学会総会	ワークショップ 13 【総論】 周術期感染対策の最前線 「周術期感染対策における抗菌薬適正使用 (Antimicrobial Stewardship) の継続的・多様な取り組み」	畑 啓昭, 大倉 啓輔, 後藤 健太郎, 岡田 はるか, 山岡 竜也, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	和歌山	2020/12/16
国内学会	第75回日本消化器外科学会総会	ワークショップ 18 【総論】 ヘルニア (鼠径, 癪痕) 手術の新知見 「Shouldice 法 - 古くて新しい「メッシュを使わない」鼠径ヘルニア手術」	成田 匡大, 後藤 健太郎, 岡田 はるか, 山岡 竜也, 松末 亮, 畑 啓昭, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	和歌山	2020/12/17
国内学会	第75回日本消化器外科学会総会	腹腔鏡下大腸切除術後の創部感染対策について	松末 亮, 山口 高史, 末永 尚浩, 豊田 有紀, 宗景 史晃, 三木 晶森, 後藤 健太郎, 岡田 はるか, 山岡 竜也, 畑 啓昭, 成田 匡大, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	和歌山	2020/12/15 ~ 2020/12/17
国内学会	第75回日本消化器外科学会総会	肝内胆管癌術後の後腹膜再発による食道狭窄の 2 例	後藤 健太郎, 成田 匡大, 末永 尚浩, 豊田 有紀, 宗景 史晃, 岡田 はるか, 三木 晶森, 山岡 竜也, 松末 亮, 畑 啓昭, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	和歌山	2020/12/15 ~ 2020/12/17
国内学会	第45回日本外科系連合学会学術集会	大腸手術における周術期感染対策の現状と問題点	畑 啓昭, 松末 亮, 山口 高史	WEB開催	2020/12/23
国内学会	第33回日本内視鏡外科学会総会	Educational Lecture 「鼠径部の神経解剖の解説と TAPP 法での工夫」	成田 匡大	WEB配信	2021/3/10

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「整形外科感染対策における国際コンセンサス」	INFECTION CONTROL	29	4	77	2020/4	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭, 吉岡 尚子	V 術後合併症とその管理 7.感染症・その他「SSI」	消化器外科	43	5	915-918	2020/4	総説	へるす出版
和文	熊谷 康平, 畑 基裕, 村津 圭治, 畑 啓昭	原著 術後感染予防抗菌薬の適正使用に向けた病棟薬剤師による電子カルテを用いた処方提案の効果	日本外科感染症学会雑誌	17	4	167-171	2020/4	原著論文	日本外科感染症学会
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「イレウスと腸閉塞は違うの?」	INFECTION CONTROL	29	5	73	2020/5	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	V 院内マニュアルの作成 1.術後感染予防抗菌薬マニュアルを院内で作成したいのですが、基本的な事項と作成上の注意点について教えてください	AST 虎の巻:日常の疑問に答える!			180-186	2020/5	解説	中外医学社
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「ガイドラインはどうやって探すの?」	INFECTION CONTROL	29	6	77	2020/6	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「脾臓摘出後のワクチン接種ガイドライン」	INFECTION CONTROL	29	7	85-86	2020/7	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	疾患別・臨床事例の全診療行為 カルテ・レセプトの原風景 カルテ221 絞扼性イレウス イレウス それとも 腸閉塞	月刊保険診療	75	7	77-79	2020/7	解説	医学通信社
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン」	INFECTION CONTROL	29	8	68-69	2020/8	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「術前の禁煙に関するガイドライン」	INFECTION CONTROL	29	9	69-70	2020/9	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「ヘリコバクター・ピロリ感染のライン」	INFECTION CONTROL	29	10	63-64	2020/10	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	CHAPTER 2 各論 2-1 基本的抗菌薬 10. ニトロイミダゾール系抗菌薬 2-2 耐性菌治療薬 05. グリシルサイクリン系抗菌薬	抗菌薬適正使用生涯教育テキスト 第3版			171-176 222-225	2020/10	講義	日本化学療法学会
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「虫垂炎のガイドライン」	INFECTION CONTROL	29	11	85-86	2020.11	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭, 末永 尚浩, 大谷 哲之, 松末 亮, 山口 高史, 猪飼 伊和夫	総特集 消化器・一般外科手術における感染対策・周術期管理 II.各論 2) 胃手術における感染対策・周術期管理	手術	74	12	1701-1709	2020/11	総説	金原出版
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「脳室炎・髄膜炎のガイドライン」	INFECTION CONTROL	29	12	74-75	2020/12	解説	メディカ出版

和文	畑 啓昭	疾患別・臨床事例の全診療行為 カルテ・レセプトの原風景 カルテ227 大腸癌による閉塞性腸炎 大腸癌に対する最近の治療	月刊保険診療	76	1	74-76	2021/1	解説	医学通信社
和文	畑 啓昭	特集 知っておきたい外科感染症 周術期予防抗菌薬	消化器外科	44	1	15-25	2021/1	総説	へるす出版
和文	大倉 啓輔, 畑 啓昭, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	胃管癌術後消化管狭窄に留置した金属ステントが逸脱し治療に難渋した1例	消化器外科	44	2	235-241	2021/2	原著論文	へるす出版
英文	Hata H	Comparison of Postoperative Quality of Life Among Three Different Reconstruction Methods After Proximal Gastrectomy: Insights From the PGSAS Study	World J Surg	44	10	3433-3440	2020/8	原著論文	
英文	Narita M, Moriyoshi K.	Is the nerve in the inguinal canal really protected by an investing fascia? Is it a real entity?	Hernia	Online ahead of print.			2020/9	原著論文	
英文	Fujita K, Kada S, Kanai O, Hata H, Odagaki T, Satoh-Asahara N, Tagami T, Yasoda A.	Quantitative SARS-CoV-2 Antibody Screening of Healthcare Workers in the Southern Part of Kyoto City During the COVID-19 Pre-Pandemic Period	Frontiers in Public Health	8		595348	2020/12	原著論文	
英文	Yamaguchi T	Primary Tumor Resection Plus Chemotherapy Versus Chemotherapy Alone for Colorectal Cancer Patients With Asymptomatic, Synchronous Unresectable Metastases (JCOG1007; iPACS): A Randomized Clinical Trial	J Clin Oncol.	39	10	1098-1107	2021/2	原著論文	
英文	Narita M, Munekage F, Yamaoka R, Ikai I.	Mesh shrinkage is the potential pathogenesis of chronic somatic pain following transabdominal preperitoneal repair: Report of two cases	Asian J Endosc Surg	Online ahead of print.			2021/3	原著論文	
英文	Matsusue R, Yamaguchi T, Ikai I	Combination of lymphocyte count and albumin concentration as a new prognostic biomarker for rectal cancer	Sci Rep	11	1	5027	2021/3	原著論文	

整形外科



診療部長
診療科長
中川 泰彰

専門医資格等 日本専門医機構認定整形外科専門医

専門分野 スポーツ、軟骨、関節

得意疾患 膝、肩、肘関節

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	山田 茂	日本専門医機構認定整形外科専門医	股関節、肘関節	股関節
医 長	山本 博史	日本専門医機構認定整形外科専門医 日本手外科学会専門医 日本マイクロサージャリー学会評議員	上肢外科、マイクロサージャリー	上肢外科、四肢外科
医 長	向井 章悟	日本整形外科学会 専門医	スポーツ、膝、肩、小児	膝、肩
医 師	宮田 誠彦	日本専門医機構認定整形外科専門医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医 脊椎脊髄病医	脊椎、脊髄外科	頸椎症、OPLL、上位頸椎疾患、リウマチ頸椎症、脊髄腫瘍、腰椎すべり症、変性側弯症
医 師	坪内 直也	日本整形外科学会 専門医	脊椎	脊椎一般
専 攻 医	里見 健太郎		整形外科一般	
専 攻 医	中村 亮太		整形外科一般	
専 攻 医	新屋 祐希		整形外科一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本整形外科学会研修施設 日本脊椎脊髄病学会認定 脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設 脊椎脊髄外科指導医 常勤施設
-------	---

1. スポーツ、肩、肘、手関節・手、股関節、膝関節、脊椎、小児整形外科のそれぞれのスペシャリストがいます。
2. 救命救急センターとタイアップし、様々な外傷にも対応しています。
3. 脊椎・脊髄外科は後頭骨～頸胸椎・腰椎～骨盤までインスツルメンテーション手術に対応。ナビゲーションシステムを使用し、精緻な手術を心がけている（特に頸胸椎）。脊髄誘発電位を使用し、手術の安全性の向上に努めている。
4. スポーツ医学センターを併用し、発育期、競技スポーツ、中高年のスポーツ復帰のリハビリも行っています。
5. 骨軟骨疾患に対する自家骨軟骨移植術の件数は、日本最多で、中期成績も優秀です。

□ 主な対象疾患

様々な関節の変形性関節症、肩関節脱臼、腱板断裂、膝靱帯損傷、様々な脊椎疾患、離断性骨軟骨炎などのスポーツ障害

□ 診療（業務）内容

スポーツ、肩、肘、手関節・手、股関節、膝関節、脊椎、小児整形外科のそれぞれの専門家が執刀する手術（安定した治療成績が獲得できています）及び、外来での経過観察や保存的治療を行っています。術後のリハビリは疾患に応じて、当院リハビリ科とスポーツ医学センターで行っており、特に、スポーツ医学センターでは、術後のスポーツ復帰だけでなく、再受傷予防などの対策も立てています。また、外来通院による保存的治療としてのリハビリも行っています。

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
40.6名	647名	22.0日

外来患者数

1日平均患者数
69.0名

主な術式別手術件数

頸椎手術	胸腰椎手術	人工股関節置換術	人工膝関節置換術
50件	72件	43件	54件
自家骨軟骨移植術			
36件			

□ 地域医療連携・広報活動

京都府軟式野球連盟からの依頼により、2011年からスポーツ医学センターにて、小中学生野球選手のメディカルチェックを行っています。

- ・中川泰彰 新型コロナとスポーツーコロナに正しく対処するには？ー

令和2年度京都府相撲連盟指導者講習会、 2020.12.13、 京都、日本

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国際学会発表	75th Annual Meeting of the American Society for Surgery of the Hand	Treatment of nonunion of the ulna fracture	山本 博史, 中川 泰彰	Virtual Meeting	2020/10/1
国内学会発表	第3回関西重度四肢外傷 Peer Review Web Meeting	Morel Lavallee lesionを合併した閉鎖性下腿骨折に足関節開放性脱臼骨折を伴った症例	山本 博史	京都	2020/4/25
国内学会発表	第93回日本整形外科学会学術総会	上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する自家骨軟骨移植術後の機能評価と病巣部の大きさ、部位、病期分類との関係について	向井 章悟, 中川 泰彰, 山田 茂, 山本 博史, 宮田 誠彦, 坪内 直也, 前田 峻宏, 里見 健太郎	福岡	2020/5/23
国内学会発表	第93回日本整形外科学会学術総会	末期変形性膝蓋大腿関節症に対する自家骨軟骨移植術および外側解離術併用の有用性	里見 健太郎, 中川 泰彰, 山田 茂, 山本 博史, 向井 章悟, 宮田 誠彦, 坪内 直也	福岡	2020/5/23
国内学会発表	第93回日本整形外科学会学術総会	脛骨近位骨壊死に対する逆行性自家骨軟骨移植術の術後成績	中川 泰彰, 山田 茂, 山本 博史, 向井 章悟, 宮田 誠彦, 坪内 直也, 里見 健太郎, 中村 亮太	福岡	2020/5/23

国内学会発表	第63回日本手外科学会学術集会	橈骨遠位端骨折に伴う尺骨茎状突起骨折の固定についての一考	山本 博史	オンライン学術集会	2020.6.25-8.17
国内学会発表	第49回日本脊椎椎髄病学会学術集会	「ブーメラン型Ti-coated PEEKケーシングを使用したTLIF術後のendplate cystの検討～ケーシングの位置を基準としたcystの発生部位について～」	坪内 直也, 宮田 誠彦, 向井 章悟, 山田 茂, 中川 泰彰	名古屋	2020/9/7
国内学会発表	第49回日本脊椎椎髄病学会学術集会	What combination of neurological assessments can be effective to screen for cervical compressive myelopathy: information sharing and collaboration with referral general physicians	Miyata M, Tsubouchi N, Mukai S, Yamada S, Nakagawa Y	名古屋	2020/9/7
国内学会発表	第47回日本肩関節学会	Anatomical TSAにおけるNano stemless implantの使用経験	向井 章悟, 中川 泰彰	札幌	2020/10/9
国内学会発表	第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会	大腿骨滑車部離断性骨軟骨炎のX線所見の検討	新屋 祐希, 中川 泰彰, 向井 章悟, 里見 健太郎, 中村 亮太	オンライン学術集会	2020/10/17
国内学会発表	第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会	軟骨損傷に対し、競技スポーツ復帰を目指して自家骨軟骨移植術を行った症例の術後成績	中村 亮太, 中川 泰彰, 向井 章悟, 里見 健太郎, 井上 直人, 横田 尚子	オンライン学術集会	2020/10/17
国内学会発表	第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会	距骨骨軟骨障害に対し、早期スポーツ復帰を目的として自家骨軟骨移植術を行った10例11足関節の治療成績	里見 健太郎, 中川 泰彰, 向井 章悟, 里見 健太郎, 井上 直人, 横田 尚子, 中村 亮太, 新屋 祐希	オンライン学術集会	2020/10/17
国内学会発表	第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会	術前MRIによる軟骨病変の病巣部面積評価の正確性	中川 泰彰, 向井 章悟, 中村 亮太, 里見 健太郎, 井上 直人, 横田 尚子, 新屋 祐希	オンライン学術集会	2020/10/17
国内学会発表	第31回西京整形外科病院勤務医開業医有志による病診連携の会	右手関節痛	山本 博史	京都	2020/11/7
国内学会発表	第47回日本マイクロサージャリー学会学術集会	Implant温存を目指した足部deglovingを伴う下腿開放骨折	山本 博史	福岡	2020/11/20
国内学会発表	第12回JOSKAS,第46回JOSSM合同学術集会	脛骨高位骨切り術と自家骨軟骨移植術を併用した変形性膝関節症患者の再鏡視所見と膝関節機能の関係	井上 直人, 中川 泰彰	神戸	2020/12/17
国内学会発表	第12回JOSKAS,第46回JOSSM合同学術集会	外側型変形性膝関節症に対する大腿骨遠位内反骨切り術及び自家骨軟骨移植術の治療成績	新屋 祐希, 中川 泰彰	神戸	2020/12/7
国内学会発表	第12回JOSKAS,第46回JOSSM合同学術集会	Open HTO+モザイク後比較的早期にTKAに至った2例の検討	中川 泰彰	神戸	2020/12/17
国内学会発表	第12回JOSKAS,第46回JOSSM合同学術集会	大腿骨外顆骨折による骨軟骨欠損に対して腸骨移植を伴う自家骨軟骨移植術及び大腿骨遠位内反骨切り術を行った1例	中川 泰彰	神戸	2020/12/17
国内学会発表	第12回JOSKAS,第46回JOSSM合同学術集会	病変部の形状は高位脛骨骨切り術に併用した自家骨軟骨移植術後の軟骨修復にどのような影響を与えるのか	向井 章悟, 中川 泰彰	神戸	2020/12/17
国内学会発表	第12回JOSKAS,第46回JOSSM合同学術集会	膝疾患に対する自家骨軟骨移植術は高齢者でも臨床的な効果はあるか？	中川 泰彰	神戸	2020/12/17
国内学会発表	第12回JOSKAS,第46回JOSSM合同学術集会	膝離断性骨軟骨炎の両側例についての検討	中村 亮太, 中川 泰彰	神戸	2020/12/17

国内学会発表	第12回JOSKAS,第46回JOSSM合同学術集会	内側開大式高位脛骨骨切り術に大腿骨外側顆への自家骨軟骨移植術を併用した7症例の検討	中川 泰彰	神戸	2020/12/17
国内学会発表	第12回JOSKAS,第46回JOSSM合同学術集会	脛骨高位骨切り術と骨軟骨柱移植術を併用した患者の2年間の術後成績	横田 尚子, 中川 泰彰	神戸	2020/12/17
国内学会発表	第33回日本軟骨代謝学会	クルクミン1年間で内服による臨床効果の検討	中川 泰彰, 向井 章悟, 山田 茂	オンライン学術集会	2021/3/27
国内学会発表	令和2年度京都府相撲連盟指導者講習会	新型コロナとスポーツーコロナに正しく対処するには?ー	中川 泰彰	京都	2020/12/13

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	山本 博史	Ender nail法が低侵襲として奏功した下肢骨折	骨折	42	2	217-221	2020	原著論文	
和文	山本 博史	上肢阻血性拘縮の3例	日手会誌	36	4	611-617	2020	原著論文	
和文	山本 博史	全周性Radial Rim Fractureに対するFragment-Specific Fixationの1例	臨整外	55	2	199-202	2020	原著論文	
和文	山本 博史	透析患者のアキレス腱再建後感染性壊死に、外側広筋、大腿筋膜を含む前外側大腿皮弁で再々建を行った1症例	日本マイクロ会誌	33	3	156-160	2020	原著論文	
英文	中川 泰彰、向井 章悟、山田 茂	The efficacy and safety of highly-bioavailable curcumin for treating knee osteoarthritis: A 6-month open-labeled prospective study.	Clinical Medicine Insights: Arthritis and Musculoskeletal Disorder				2020	原著論文	
英文	中川 泰彰、向井 章悟	Quantitative parameters for the degeneration in cartilage and subchondral bone of human knee by 3-D ultrasound scanning system	Ultrasound in Med Biol	46		3239-3248	2020	原著論文	
英文	中川 泰彰、向井 章悟、里見 健太郎、中村 亮太	Midterm outcomes of autologous osteochondral graft transplantation only in the femoral condyle without treating the tibial plateau with subchondral bone exposed	Cartilage				2020	原著論文	
英文	中川 泰彰、向井 章悟	Long-Term Survivorship and Clinical Outcomes of Osteochondral Autologous Transplantation for Steroid-Induced Osteonecrosis of the Knee.	Cartilage				2020	原著論文	
英文	中川 泰彰	Osteochondral Autograft Transplant as a Potential Salvage Procedure for Articular Cartilage Defects of the Lateral Compartment in Lateral Meniscus-Deficient Knees: Results From a Country With Limited Availability of Meniscal Transplant.	Orthop J Sports Med				2020	原著論文	

形成外科



診療科長
荒田 順

専門医資格等 日本形成外科学会専門医
日本手外科学会専門医
日本創傷外科学会専門医
京都大学医学部 臨床教授
小児形成外科分野指導医
再建・マイクロサージャリー分野指導医
乳房再建用エキスパンダー・インプラント責任医師

専門分野 手外科・先天異常

□ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	海透 修子	日本形成外科学会専門医	形成一般	
医 師	熊切 将宜		形成一般	眼瞼
専 攻 医	幡 輝世		形成一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本形成外科学会認定施設 日本手外科学会認定基幹研修施設
-------	---------------------------------

□ 主な対象疾患

先天異常、皮膚・皮下軟部腫瘍、顔面外傷、手外科、瘢痕拘縮、頭頸部・乳房再建

□ 診療（業務）内容

当科では

- ・手足、顔面、体幹の先天異常をはじめとする小児形成外科
- ・整容を重視した眼瞼下垂、内反症および外反症などの眼瞼形成
- ・体表における腫瘍の切除、皮膚潰瘍に対する皮膚移植、遊離皮弁による潰瘍の閉鎖などの皮膚疾患に対する整容面に配慮した外科治療
- ・顔面骨骨折を中心とする顔面外傷に対する整容を重視した治療、口腔外科と合同で行う顎顔面外科
- ・切断指を含む手外科疾患の初期治療から二次的な機能再建
- ・頭頸部外科と合同で頭頸部癌に対する癌切除後の機能損失を最小限にすることを目的としたマイクロサージャリーを駆使した組織移植を積極的に行い、乳腺外科との合同で乳がんに対する乳房再建を手がけています。
- ・レーザー：ルビーレーザー（黒、茶あざ、しみ）、Vビーム（血管腫）、CO₂レーザー（小腫瘍の蒸散、瘢痕の修正）を所持しており、美容を目的としたしみに対するレーザー治療など幅広い治療を行っています。

□ 診療実績(令和2年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
8.1名	231名	12.3日

外来患者数

1日平均患者数
17.7名

主な術式別手術件数

皮膚皮下腫瘍	眼瞼形成	顔面骨骨折および外傷	手外科
358件	70件	56件	101件

マイクロサージャリー
40件

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国際学会発表	第12回日本創傷外科学会	小児に発症した頬部放線菌症の一例	荒田 順, 熊切 将宜, 海透 修子, 山下 輝世	徳島	2020/12/10-12/11
国内学会発表	第12回日本創傷外科学会	心臓カテーテル治療後の背部放射性皮膚潰瘍に対して広背筋皮弁で治療した一例	海透 修子, 荒田 順, 熊切 将宜, 山下 輝世	徳島	2020/12/10-12/11
国内学会発表	第12回日本創傷外科学会	E.coliによる肋骨骨髓炎をきたした症例	山下 輝世, 荒田 順, 熊切 将宜, 海透 修子	徳島	2020/12/10-12/11

□ 投稿論文など

分類	著者(全員)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	熊切 将宜, 荒田 順, 鈴木 茉友, 海透 修子, 丸川 雄大	形成外科領域の非全身麻酔手術時におけるデクスメトミジンの使用経験	日本形成外科学会誌	40	5	217-221	2020/5	原著論文	
和文	尹 庸	Distal bypassを移植床血管にして遊離皮弁移植を行い救肢し得た Gustilo IIIC型下腿開放骨折の1例	形成外科	63	4	501-507	2020/4	原著論文	

脳神経外科



副院長
脳神経センター長
塚原 徹也
令和3年3月31日まで

専門医資格等
日本脳神経外科学会
専門医/指導医
日本脳卒中学会
専門医/指導医
日本脳卒中の外科学会
技術指導医
日本脳神経外科
認知症学会 理事
京都大学 医学博士
専門分野
脳神経外科
得意疾患
脳血管障害
脳卒中の外科的治療



診療科長
福田 俊一

専門医資格等
日本脳神経外科学会
専門医/指導医
日本脳卒中学会
専門医/指導医
日本脳卒中の外科学会
技術指導医
京都大学医学部 臨床教授
京都大学 医学博士
専門分野
脳神経外科
得意疾患
脳動脈瘤
良性脳腫瘍
頭蓋底外科
バイパス手術

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	青木 友和	日本脳神経外科学会 専門医/指導医 日本脳卒中学会 専門医 日本癌治療学会 暫定教育医 京都大学 医学博士	脳神経外科	脳腫瘍(悪性)、下垂体腫瘍、顔面けいれん、三叉神経痛
医 師	川上 理	日本脳神経外科学会 専門医/指導医 日本脳卒中学会 専門医/指導医 日本脳卒中の外科学会 技術指導医 日本脳神経血管内治療学会 専門医 日本神経内視鏡学会 技術認定医 日本脊髄外科学会 認定医 京都大学 医学博士	脳神経外科	脳血管障害
医 師	土井 健人	日本脳神経外科学会 専門医 日本脳卒中学会 専門医 日本神経内視鏡学会 技術認定医 日本脳神経血管内治療学会 脳血栓回収療法実施医	脳神経外科	脳血管障害 脳腫瘍
医 師	西 秀久	日本脳神経外科学会 専門医 日本脳卒中学会 専門医 日本脳神経血管内治療学会 指導医	脳神経外科	脳血管障害 脳血管内治療
医 師	岸田 夏枝	日本脳神経外科学会 専門医 日本脳卒中学会 専門医 日本脳神経血管内治療学会 専門医 日本医師会認定産業医 京都大学 医学博士	脳神経外科	

□ 診療科の特徴

- ・脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷、機能的脳外科、脊髄疾患など脳神経外科領域全般にわたって、患者さんの入院および外来加療を行っています。
- ・脳神経外科領域の疾患では、①緊急に点滴や手術などの濃厚な治療を受けなければ生命にかかわる救急疾患(例えば、くも膜下出血や急性期脳梗塞、重症頭部外傷など)がある一方で、②病気は認められるものの、まだ症状は出現しておらず、予防的に手術を受けるかどうかを慎重に検討する必要がある疾患(例えば、未破裂

脳動脈瘤や無症候性頸動脈狭窄、良性脳腫瘍など)もあります。

- ・当科は、①に対しては、脳卒中や頭部外傷などの脳神経外科領域の救急疾患に24時間対応し、東京都の地域救急医療に貢献していると同時に、②における治療困難な脳神経領域の疾患に対して、綿密な計画を練った集学的な治療も行っています。

□ 主な対象疾患

- ・脳血管障害 (脳梗塞・クモ膜下出血・未破裂脳動脈瘤・脳内出血・その他の脳血管障害)
- ・脳腫瘍 (神経膠腫/グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・髄膜腫・頭蓋咽頭腫)
- ・機能的脳神経外科 (顔面けいれん・三叉神経痛)
- ・脊椎脊髄疾患
- ・脳神経血管内治療
- ・神経内視鏡手術

□ 診療(業務)内容

- ・脳血管障害 (脳梗塞に対する血行再建術・破裂および未破裂脳動脈瘤に対するクリッピング術および脳動脈瘤奇形・脳内出血に対する開頭摘出術、内視鏡手術)
- ・頭部外傷 (血種除去術)
- ・脳腫瘍 (グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・髄膜腫・頭蓋咽頭腫) に対する摘出術
- ・頭蓋底および頸部腫瘍: 腫瘍摘出および血行再建術
- ・機能的脳神経外科 (顔面けいれん・三叉神経痛に対する神経減圧術)
- ・脊椎脊髄疾患
- ・脳神経血管内治療 (脳動脈瘤塞栓、ステント設置、腫瘍塞栓、脳動脈瘤奇形塞栓、急性期血管血行再建など)
- ・神経内視鏡手術 (下垂体腫瘍、脳室内腫瘍、水頭症、脳内出血など)

□ 診療実績(令和2年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
17.3名	252名	22.7名

外来患者数

1日平均患者数
23.5名

□ 地域医療連携・広報活動

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	STROKE2020	繰り返す塞栓性脳梗塞に対し急性期脳血栓回収術およびCEAを施行した1例	川上 理, 大谷 良, 十川純平, 土井健人, 青木友和, 福田俊一, 塚原徹也	横浜	2020/8/23
国内学会発表	STROKE2020	未破裂脳動脈瘤に対する薬物治療法の開拓: パロキセチンは脳動脈瘤増大を抑制できるか?	福田俊一, 福田美雪, 塚原徹也	横浜	2020/8/24
国内学会発表	STROKE2020	緊急頸動脈ステント留置術の治療成績	福田俊一, 塚原徹也	横浜	2020/8/23 ~ 25
国内学会発表	脳神経外科学会第79回学術総会	未破裂脳動脈瘤の増大における血行力学的リスク因子の検討: CFD ABO Study	福田俊一	岡山	2020/10/15 ~ 17

国内学会発表	脳神経外科学会第79回学術総会	心房細動患者における機械学習を用いた脳卒中発症予測	西 秀久, 赤尾昌治, 小川 尚, 岸田夏枝, 土井健人, 川上 理, 青木友和, 福田俊一, 塚原徹也	岡山	2020/10/17
国内学会発表	脳神経外科学会第79回学術総会	悪性脳腫瘍のAdvance care planningと緩和ケアの現状と問題点	青木友和,	岡山	2020/10/15 ~ 17
国内学会発表	脳神経外科学会第79回学術総会	経動脈的低濃度NBCAの持続的塞栓術にて根治が得られた上矢状洞部硬膜静脈瘻の治験経験	川上 理, 土井健人, 塚原徹也, 福田俊一	岡山	2020/10/15 ~ 17
国際学会発表	2020 SNO Virtual Annual Meeting	Phase I/II Study of Temozolomide Plus Nimustine Chemotherapy for Recurrent Malignant Gliomas: Kyoto Neuro-oncology Group	Aoki T	Austin Texas, USA	2020/11/19
国内学会発表	第36回日本脳神経血管内治療学会学術総会	抗GMB型急速進行性糸球体腎炎治療中に院内発症したくも膜下出血に脳血管内治療を行った1例	川上 理, 小泉三輝, 土井健人, 福田俊一, 塚原徹也	京都	2020/11/19 ~ 21
国内学会発表	第36回日本脳神経血管内治療学会学術総会	皮質静脈逆流を伴わない硬膜動静脈瘻の多施設共同前向き観察研究:3年間の追跡調査結果	西 秀久	京都	2020/11/19
国内学会発表	第36回日本脳神経血管内治療学会学術総会	急性期主幹動脈閉塞の診断と治療における人工知能の活用への取り組み	西 秀久	京都	2020/11/21
国内学会発表	第38回日本脳腫瘍学会	悪性脳腫瘍のアドバンスケアプランニングと緩和ケアの現状と問題点	青木友和	広島	2020/12/1
国内学会発表	STROKE2021	頸動脈狭窄症における血管内皮細胞血流感知機構の役割検討	福田俊一, 丹羽陽子, 鈴木崇士	福岡	2021/3/11 ~ 13
国内学会発表	STROKE2021	頰部動静脈瘻摘出術前に血管内塞栓術を行った1例	川上 理, 安里 亮, 土井健人, 岸田夏枝, 西 秀久, 福田俊一, 塚原徹也	福岡	2021/3/11 ~ 13

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
英文	青木友和	Genetic Analysis in Patients With Newly Diagnosed Glioblastomas Treated With Interferon-Beta Plus Temozolomide in Comparison With Temozolomide Alone.	J Neurooncol.	148	1	17-27	2020/5	原著論文	
英文	青木友和	Effect of Aromatherapy Massage on Quality of Sleep in the Palliative Care Ward: A Randomized Controlled Trial.	J Pain Symptom Manage.	59	6	1165-1171	2020/6	原著論文	
英文	青木友和	Current Status of Palliative and Terminal Care for Patients with Primary Malignant Brain Tumors in Japan.	Neurol Med Chir.	60	12	600-611	2020/12	原著論文	

血管外科



診療科長
浅田 秀典

専門医資格等 心臓血管外科専門医

日本外科学会専門医

日本脈管学会評議員

旭川医科大学 医学博士

専門分野 血管外科(閉塞性動脈硬化症、動脈瘤、急性動脈閉塞、
血管炎、血管外傷に対する各種血行再建術)、
静脈、リンパ疾患

□ 診療科の特徴

1. あらゆる診療科や地域医療機関で直面した血管疾患の問題に迅速に対応してまいります。

2. 患者さんには診療内容に対する十分な説明と満足な治療成果が得られるよう努力いたします。

2006年(平成18年)4月に発足した、主に末梢動脈疾患に対する血行再建を担当する診療科です。

近年、糖尿病や腎不全による慢性透析患者さんが増加するとともに、閉塞性動脈硬化症例(ASO)が増加しています。

閉塞性動脈硬化症とは、動脈硬化による下肢血流障害により各種症状(歩行時の下肢の痛み、安静時の足の痛みおよび足部潰瘍・壊死)を生じ、最終的には下肢切断にも至る疾患です。

このような症例には、迅速な診断とともに適切な治療が必要で、時には技術的に困難とされる足関節周囲への末梢バイパス手術と適切な局所処置が必要となります。

当科は、京都では数少ない血管外科専門科として日々下肢血流障害の治療にあたっています。

患者さんの多くは動脈硬化性の全身合併症があり、術前評価には循環器内科、脳神経外科、また、術前後には麻酔科はもちろん、糖尿病内科、腎臓内科、形成外科、整形外科、皮膚科などとの協力が必要で、各科連携した総合的診療を心がけています。

□ 主な対象疾患

大動脈疾患(腹部大動脈瘤、大動脈解離など)

閉塞性動脈硬化症(糖尿病合併症例、慢性透析例を含む)

閉塞性血栓性血管炎(バージャー病)

急性動脈閉塞症(血栓症、塞栓病、外傷など)

下肢静脈瘤、静脈(鬱滞)性潰瘍

深部静脈血栓症、肺塞栓症

リンパ浮腫

血管内治療(動・静脈閉塞性疾患、動脈瘤)

内シャント(blood access)作成

□ 診療(業務)内容

外来診療は、月、水の午前・午後、木曜日午前中の週3日間実施しております。

心疾患、脳疾患、糖尿病、腎臓病などの併存症を持っている方でも院内全体の診療科が協力し、安全で安心できる治療を行っています。

□ 診療実績(令和2年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
7.0名	202名	12.6日

外来患者数

1日平均患者数
8.9名

主な手術・検査の件数など

下肢末梢動脈手術	腹部大動脈瘤手術	透析内シャント手術	下肢静脈瘤手術
34件	9件	83件	1件
四肢カテーテル治療	四肢動脈造影		
63件	74件		

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第84回日本循環器学会	急性下肢動脈閉塞;下肢救済のゴールデンタイムと至適治療	浅田 秀典	京都	2020/8/1
国内学会発表	第50回日本心臓血管外科学会	総大腿動脈を含む多領域動脈閉塞による重症虚血肢に対するdistal bypassの工夫	浅田 秀典, 片岡 剛, 白神 幸太郎	福島	2020/8/17
国内学会発表	第2回日本フットケア・足病医学会関西地方会	CLI患者に対するdistal bypassのイロハ	浅田 秀典	大阪	2020/11/28

心臓外科



副院長
診療部長
(医療安全/医療技術担当)
診療科長
白神 幸太郎

専門医資格等 心臓血管外科専門医
心臓血管外科修練指導者
心臓血管外科専門医
京都大学臨床教授、非常勤講師
専門分野 成人心臓大血管手術

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	片岡 剛	心臓血管外科専門医 外科専門医 脈管専門医 心臓血管外科修練指導者	成人心臓大血管疾患	成人心臓大血管手術および周術期管理、血管内治療
医 師	工藤 雅文	心臓血管外科専門医 外科専門医	成人心臓大血管疾患	成人心臓大血管手術および周術期管理

□ 診療科の特徴

京都府南部地域における循環器疾患の基幹施設として機能すべく、2011年に開設。2013年までの実績により、心臓血管外科専門医認定機構より基幹施設認定を受けた。①心臓外科診療を通して人々のお役に立つ②手術や診療の透明性を確保する③循環器診療の最後の砦となる、という3つの診療指針の下、循環器内科、血管外科、救命救急科、麻酔科との緊密な連携を維持しながら安全な医療を提供するように努力している。

□ 主な対象疾患

虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞など）に対する冠動脈バイパス術
弁膜症（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患など）に対する弁形成術や弁置換術、不整脈手術
大血管疾患（胸部大動脈瘤、急性大動脈解離など）に対する人工血管置換術、ステントグラフト内挿術

□ 診療（業務）内容

心臓大血管疾患の手術適応およびリスク評価を体系的にかつ厳密に行い、安全な手術治療を目指す。循環器内科、血管外科と共に心臓血管カンファレンスを行い、手術適応、術前リスクと治療方針の検討、周術期治療経過の報告を行い、治療の透明性を担保している。また緊急を要する症例について積極的に手術治療を行い、地域医療に貢献することを目標としている。

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
5.4名	54名	33.4日

外来患者数

1日平均患者数
4.5名

主な手術・検査の件数など（重複あり）

虚血性心疾患手術	心臓弁膜症手術	大動脈手術	ステントグラフト手術
13件	28件	10件	8件

手術方針：当科の手術方針としては、以下の通りである。

- ① 冠動脈バイパス術においては、可能な限り心拍動下手術を施行し、患者さんに与える手術の侵襲を最低限としながら最大限の効果を得ることを目標とする。
- ② 心臓弁膜症に対して、特に僧帽弁手術においては、弁尖の硬化や石灰化が無い限り自己弁を温存する形成術を第一選択とする。大動脈弁については、弁尖や弁輪の石灰化のある症例が多く、確実な弁置換術を行う。
- ③ 大動脈手術は侵襲の低減化を図り、オープンステントグラフトや二期的ステントグラフト留置を組み合わせたハイブリッド手術も考慮する。

2020年実績：2020年手術実績（主たる治療対象疾患による分類）は以下の通りである。虚血性心疾患に対する手術13例、心臓弁膜症に対する手術28例、胸部大動脈に対する手術10例、ステントグラフト留置術8例を施行した。手術手技としては、冠動脈バイパス術を行った19例のうちoff pump CABG11例、on pump CABG8例であった。心臓弁膜症においては可能な限り弁形成術を行うが、弁形成を行った弁は15弁、弁置換を施行した弁は23弁であった。大動脈手術10例のうち、急性大動脈解離に対する緊急手術は3例に施行。

治療成績：2020年度には手術死亡は認められなかった。手術成績を全国データベースと比較すると以下の表の通りである。実際の手術死亡率、合併症発生率を太字で表しているが、患者の臨床データから予想される予測死亡率、予測合併症発生率を下回る良好な成績を2020年も維持することができた。データ計算可能な2013年からの通算成績は下段の通りで有り、概ね良好であった。

2020年手術成績

	実測手術死亡率	予測手術死亡率	実績発生率 (死亡+主要合併症)	予測発生率 (死亡+主要合併症)
冠動脈バイパス術	0%	4.72%	7.69%	16.55%
心臓弁膜症手術	0%	5.61%	10.0%	20.93%
大動脈手術	0%	11.35%	20.0%	33.06%

2013-2020年通算成績

	実測手術死亡率	予測手術死亡率	実績発生率 (死亡+主要合併症)	予測発生率 (死亡+主要合併症)
冠動脈バイパス術	0.8%	3.13%	5.6%	13.68%
心臓弁膜症手術	3.56%	6.87%	10.22%	21.39%
大動脈手術	8.91%	10.81%	20.79%	33.68%

□ 地域医療連携・広報活動

医師会、救急隊を通じての広報活動を行い、他院循環器内科とも積極的に協働している。院外からの手術目的紹介症例は年々増加している。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第120回日本外科学会	結合織疾患における胸腹部大動脈人工血管置換術(第120回日本外科学会)	工藤 雅文	神奈川	2020/8/13
国内学会発表	第50回日本心臓血管外科学会学術総会	bioglueを使用した急性大動脈解離術後の基部再解離4例	片岡 剛, 白神 幸太郎, 浅田 秀典	福島	2020/8/17
国内学会発表	第22回日本医療マネジメント学会総会	医療安全管理部門の治療介入	白神 幸太郎, 阿部 充, 塩早 苗, 山本 なお美	京都	2020/10/6
国内学会発表	第22回日本医療マネジメント学会総会	有害事象-患者、家族との関係をこじらせないために-	白神 幸太郎, 阿部 充, 塩早 苗, 山本 なお美	京都	2020/10/7
国内学会発表	第22回日本医療マネジメント学会総会	医療事故調査制度に対応する院内体制整備とその効果	白神 幸太郎, 阿部 充, 塩早 苗, 山本 なお美	京都	2020/10/7
国内学会発表	第22回日本医療マネジメント学会総会	宗教的輸血拒否患者に対する絶対的無輸血診療の実際	白神 幸太郎, 阿部 充, 塩早 苗, 山本 なお美, 片岡 剛, 工藤 正文, 浅田 秀典	京都	2020/10/7
国内学会発表	第61回日本脈管学会総会	Bacteroides fragilisによる感染性腹部大動脈瘤の1例	片岡 剛, 浅田秀典, 白神幸太郎	仙台	2020/10/13
国内学会発表	第48回日本血管外科学会学術総会	最大短径94mmの上行大動脈瘤を有する大動脈弁輪拡張症の一例	片岡 剛, 白神 幸太郎, 工藤 雅文, 浅田 秀典	東京	2020/11/27
国内学会発表	第51回日本心臓血管外科学会学術集会)	エホバの証人信者に対する開心術(第51回日本心臓血管外科学会学術集会)	工藤 雅文, 片岡 剛, 眞野 翔, 浅田 秀典, 白神 幸太郎	京都	2021/2/21

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	片岡 剛, 白神 幸太郎, 浅田 秀典, 益永 信豊	高安動脈炎の病理像を示した多発性嚢状上行大動脈瘤の1例	脈管学	60	5	67-70	2020/05	原著論文	日本膜管学会
和文	水津 悠, 片岡 剛, 浅田 秀典, 白神 幸太郎, 笹井 由美子, 立木美香, 成瀬 光栄, 七野 力	心臓傍神経節腫瘍に対する心拍動下腫瘍摘出術の麻酔経験	Cardiovascular Anesthesia	24	1	85-90	2020/01	原著論文	日本心臓麻酔学会
和文	工藤 雅文	大動脈基部拡大と二尖弁を伴うStanford A型急性大動脈解離に対する自己弁温存基部再建術の1例	胸部外科	73	11	936-939	2020/10	原著論文	南江堂

皮膚科



診療科長
十一 英子

専門医資格等 日本皮膚科学会皮膚科専門医
京都大学医学博士
京都大学医学部臨床教授
京都皮膚科医会理事

専門分野 皮膚科一般
皮膚免疫

得意疾患 乾癬、掌跖膿疱症
糖尿病足病変

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	渋谷 真実	日本皮膚科学会皮膚科専門医	皮膚科一般	
専 攻 医	鄭 相絃		皮膚科一般	
専 攻 医	飯岡 孝英		皮膚科一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本皮膚科学会専門医研修施設 生物学的製剤使用承認施設
-------	--------------------------------

1. 乾癬、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹、掌跖膿疱症に対して生物学的製剤による治療を行っています。
2. 糖尿病、悪性腫瘍など基礎疾患を持つ蜂窩織炎、带状疱疹などの感染症や難治性潰瘍など、総合病院の特色を生かして他科と密に連携して治療しています。
3. 地域の他病院から紹介された診断困難な症例、難治例、重症例なども多く受け入れています。

□ 主な対象疾患

尋常性乾癬、乾癬性関節炎、掌跖膿疱症、アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、うつ滞性皮膚炎、蕁麻疹、薬疹、水疱症、細菌感染症（ざ瘡、蜂窩織炎、丹毒、伝染性膿痂疹、など）、
ウイルス感染症（带状疱疹、単純疱疹、カポジ水痘様発疹症、尋常性疣贅など）、
真菌感染症（足白癬、股部白癬、爪白癬、カンジダ症など）、
皮膚潰瘍、皮膚腫瘍など

□ 診療（業務）内容

乾癬：治療が急速に進歩し、難治の皮疹や関節炎のため生物学的製剤の治療を受ける患者さんが増えており、スクリーニング検査を行い適応を決め、投与しています。

掌跖膿疱症：病巣感染などの原因検索を行って治療しています。

アトピー性皮膚炎：外用剤や免疫抑制剤内服で十分改善しない場合、生物学的製剤の注射を行っています。

蕁麻疹：抗アレルギー剤内服で効果不十分な場合、生物学的製剤の注射を行っています。

糖尿病に合併する皮膚疾患：糖尿病と関連した難治性足潰瘍や皮膚病変を、糖尿病科、形成外科、血管外科、整形外科、循環器科などと連携して診療しています。

带状疱疹（ヘルペス）：重症度に応じて、抗ウイルス剤の内服、或いは入院で点滴治療を行っています。

爪白癬：難治な爪の水虫には抗真菌剤の内服治療を行っています。

接触皮膚炎：かぶれの原因検索に、パッチテストを行っています。

薬疹：重症薬疹は入院で治療しています。

水疱症：天疱瘡の中等症以上では血漿交換療法や免疫グロブリン大量療法を行っています。
診断・治療のために積極的に皮膚生検を行っています。

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
3.1名	53名	19.4日

外来患者数

1日平均患者数
56.2名

主な手術・検査の件数など

皮膚生検	皮膚切開術	皮膚皮下腫瘍摘出術
179件	46件	31件

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

- ・ラムシルマブ投与中に皮膚に血管腫が多発した1例
飯岡孝英, 岡本奈都子, 鄭 相紘, 渋谷真美, 藤田浩平, 十一英子
第468回 日本皮膚科学会京滋地方会 2020/12/19 京都
- ・乾癬治療－Bioの歴史から実際の診療の留意点まで－
十一英子 講演 第113回近畿皮膚科集談会スポンサーセミナー 2020 7/19 神戸 (WEB)
- ・作用機序から考える抗IL-23p19製剤の可能性
十一英子 講演 Psoriasis Expert Web Seminar 2020 8/1 WEB
- ・抗IL-23p19抗体の最適な使用法を考える
十一英子 講演 第35回日本乾癬学会学術大会モーニングセミナー 2020 9/13 WEB
- ・乾癬診療について知っておきたいこと
十一英子 講演 Dermatology Remote Seminar 2020 10/1 WEB
- ・トレムフィアはステララの進化形となり得るか？
十一英子 講演 Biologics Virtual Symposium ～トレムフィア発売2周年記念～ 2020 10/5 WEB
- ・生物学的製剤導入時のスクリーニング検査－どこまで、どのように－
十一英子 講演 京滋Psoriasis Forum 2020 ～ Webセミナーシリーズ～ 2020 10/23 WEB
- ・ステララの開発、皮膚科での長期使用経験から
十一英子 講演 Immunology Cross Conference Web Seminar 2020 11/16 WEB
- ・作用機序と臨床効果から抗IL-23p19抗体の有用性を考える
十一英子 講演 Expert Web Seminar 2021 2/25 WEB

□ 投稿論文など

- ・岡本奈都子, 白居駿也, 小亀敏明, 林雄二郎, 十一英子 座位で睡眠をとる高齢女性にみられたうつ滞性症候群の2例. 皮膚科の臨床 62(5) :611-614, 2020
- ・十一英子 掌蹠膿疱症の動物モデル. 乾癬・掌蹠膿疱症 病態の理解と治療最前線 333-334 山本俊幸編 中山書店 2020
- ・Otake-Irie H, Nakajima S, Okamoto N, Toichi E, Nomura T, Kabashima K. Prolonged acute generalized exanthematous pustulosis and atypical target-like lesions induced by hydroxychloroquine. J Dermatol. 2020 Nov 47(11);e387-388. 2020 Aug 8.

泌尿器科



診療部長
診療科長
奥野 博

専門医資格等 日本泌尿器科学会 専門医・指導医
日本泌尿器科内視鏡学会 代議員
日本生殖医学会 評議員
日本アンドロロジー学会 評議員
がん治療認定医
日本内視鏡外科学会 技術認定医
日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医
同 ロボット支援手術プロテクター
AMS社認定PVPトレーナー
INTUTIVE社認定ダ・ヴィンチコンソール術者
京都大学 臨床教授
関西医科大学 臨床教授
京都大学 医学博士

専 門 分 野 泌尿器科一般

得 意 疾 患 ロボット支援手術、前立腺癌、男性学

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	三品 睦輝	日本泌尿器科学会 専門医・指導医 がん治療認定医 日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医 INTUTIVE社認定ダ・ヴィンチコンソール術者 京都大学 医学博士	泌尿器科一般	膀胱癌 尿路結石症
医 師	宮崎 有	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本内視鏡外科学会 技術認定医 がん治療認定医 臨床研究指導医 日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医 INTUTIVE社認定ダ・ヴィンチコンソール術者	泌尿器科一般	前立腺癌 泌尿器科腫瘍 尿路結石症
医 師	三浦 高慶	日本泌尿器科学会専門医 INTUTIVE社認定ダ・ヴィンチコンソール術者 日本DMAT隊員	泌尿器科一般	泌尿器病理
専 攻 医	荒木 博賢	INTUTIVE社認定ダ・ヴィンチコンソール術者	泌尿器科一般	
専 攻 医	五十嵐 篤	INTUTIVE社認定ダ・ヴィンチコンソール術者	泌尿器科一般	
医 師 (非 常 勤)	伊東 晴喜	日本泌尿器科学会 専門医・指導医 日本透析学会 専門医	泌尿器科一般	夜間頻尿 腎不全
医 師 (非 常 勤)	真鍋 由美	日本泌尿器科学会 専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医 INTUTIVE社認定ダ・ヴィンチコンソール術者	泌尿器科一般	女性泌尿器科学

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本泌尿器科学会研修施設
-------	--------------

1. ロボット支援手術、体腔鏡、内視鏡をはじめとする低侵襲手術・検査（痛みが少なく入院期間を短く）により患者さんへの負担の軽減を図ります。
2. 最先端医療も積極的に取り入れます。
3. 地域の開業医、診療所、病院と積極的に医療連携を行います。
4. 患者さんの人権を尊重し、安心と満足 of いく良質の医療提供を目指します。

□ 主な対象疾患

腎臓癌、膀胱癌、前立腺癌、副腎腫瘍、前立腺肥大症、尿路結石症、過活動膀胱、夜間頻尿、尿失禁、膀胱瘤、骨盤臓器脱、男性不妊症、性機能障害、内分泌障害、尿路感染症、性感染症、小児泌尿器科、腹膜透析、慢性腎不全

□ 診療（業務）内容

- ・ 尿路性器悪性腫瘍に対する集学的治療を多部門と連携し積極的に行っている
- ・ ロボット支援手術を含め、体腔鏡、内視鏡をはじめとする低侵襲手術に取り組んでいる
- ・ 初診外来担当医は患者さんの入院、手術、退院後の診療を一貫して責任をもって受け持つ
- ・ 外来及び入院看護師には排尿機能検査士の取得者を配置し、専門的な医療と看護を提供
- ・ 外来診療：木曜は4診 火曜、金曜は3診、月曜、水曜は2診
- ・ 手術：月、水、金曜日の週3日間
- ・ 火曜日の早朝には外来カンファレンス
- ・ 水曜日の早朝には病理医を招いて臨床病理カンファレンス
- ・ 木曜日の早朝から全体回診（医師、看護師長）
- ・ 木曜日の朝に放射線科医を招いて放射線画像・放射線治療カンファレンス
- ・ 金曜日の早朝には薬剤師、看護師を交えた病棟症例カンファレンス
- ・ 平成19年06月～「夜間頻尿外来」開設
- ・ 平成23年11月～前立腺肥大症に対し、光選択的前立腺レーザー蒸散術（PVP）を導入
- ・ 平成26年08月～前立腺癌に対し、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘を導入
- ・ 平成28年04月～「女性外来」開設
- ・ 平成28年08月～腎臓癌に対し、ロボット支援腎部分切除術を導入
- ・ 平成30年08月～経皮・経尿道同時尿路結石内視鏡手術を導入
- ・ 平成31年02月～膀胱癌に対し、ロボット支援膀胱全摘を導入
- ・ 令和2年08月～BioJetを用いたMRI・超音波画像融合前立腺生検（先進医療A）を導入
- ・ 令和3年02月～過活動膀胱や神経因性膀胱患者に対するボトックス膀胱内注入療法を導入
- ・ 令和3年03月～前立腺肥大症に対し光選択的前立腺レーザー蒸散術（PVP）GreenLight XPS最新機器を導入

□ 診療実績（令和2年度）

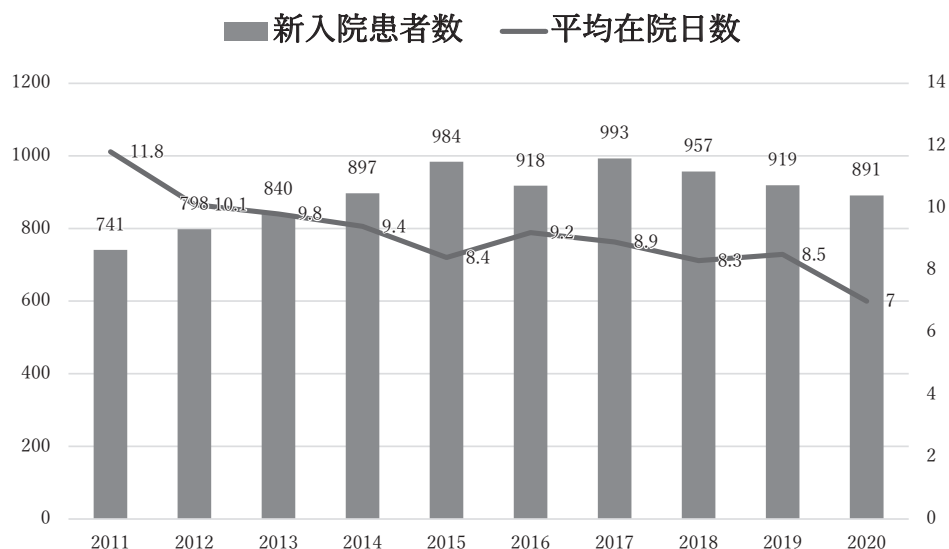
入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
17.2名	891名	7.0名

外来患者数

1日平均患者数
62.0名

入院統計(年度)過去10年間の推移



下記は平均在院日数の計算対象外になりました。

2014年度～「前立腺針生検法」

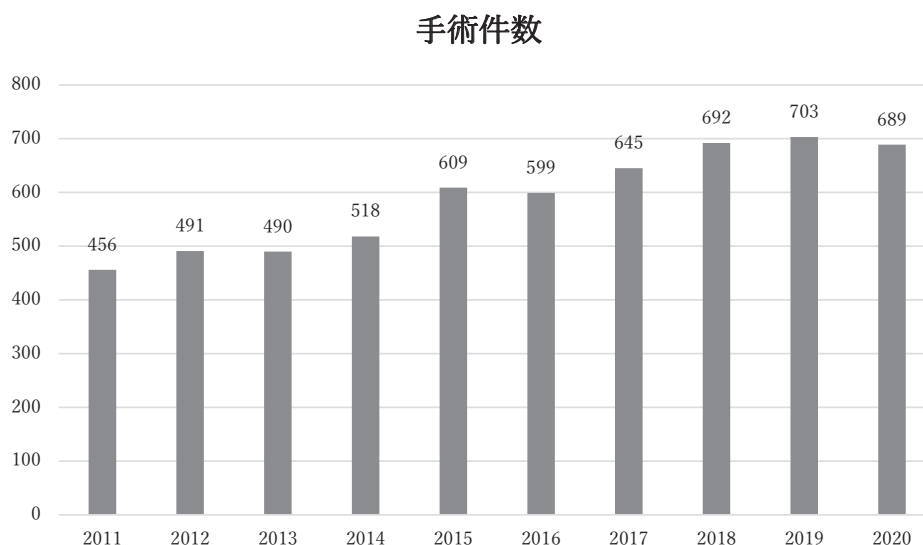
2016年度～「体外衝撃波腎・尿路結石破碎術」

主な手術・検査の件数など 令和2年度(2020年度) 2020.04～2021.03

ロボット支援 前立腺全摘	ロボット支援 腎部分切除術	ロボット支援 膀胱全摘	副腎腫瘍手術	腹腔鏡(後腹腔鏡)下腎 (尿管)悪性腫瘍手術	尿路結石手術
42件	8件	1件	13件	21件(腎12件 腎盂尿管9件)	96件(ECIRS9件 PNL0件 TUL51件 膀胱18件 ESWL18件)

前立腺肥大症 内視鏡手術	膀胱癌内視鏡 手術(TURBT)	骨盤臓器脱・ 尿失禁手術	前立腺針生検
75件(PVP60件 TURP15件)	98件	3件(TVM1件 TOT2件)	216件(経直腸62件 +経会陰104件 +BioJet経会陰50件)

手術統計(年度)過去10年間の推移



□ 地域医療連携・広報活動

奥野 博：安全な手技確立のために。GreenLight Expert Meeting. 2020.10.31

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

宮崎 有、五十嵐 篤、荒木 博賢、内田 稔大、真鍋 由美、伊東 晴喜、三品 睦輝、奥野 博：PSA4-10ng/mL症例に対する不必要な生検回避は可能か?～DRE・TRUS・MRI・PSA/パラメータを用いた前向き研究。第108回日本泌尿器科学会総会2020/12/22-24(神戸)

荒木 博賢、宮崎 有、五十嵐 篤、内田 稔大、真鍋 由美、伊東 晴喜、三品 睦輝、奥野 博、伊藤克弘：治療経過良好な前立腺癌のandrogen deprivation therapy (ADT) を安全に中止する基準は存在するか?。第108回日本泌尿器科学会総会 2020/12/24(神戸)

五十嵐 篤、荒木 則雄、河村 光栄、荒木 博賢、三浦 高慶、宮崎 有、三品 睦輝、奥野 博：当院の前立腺癌救済放射線療法(SRT)に影響を及ぼす因子の検討 またその後の救済ホルモン療法(SHT)の現状について。第108回日本泌尿器学会総会 2020/12/24(神戸)

□ 投稿論文など

Itou K, Araki H, Uchida T, Manabe Y, Miyazaki Y, Itoh H, Mishina, Okuno H: Predictive factors and radiological findings of adrenohepatic adhesion during laparoscopic adrenalectomy. *Investig Clin Urol* **61**:277-283, 2020

Teragaki M, Yamamoto T, Hosomi K, Tada Y, Maeda K, Nishiya D, Miyazaki C, Takagi Y, Sakanoue Y, Nishida Y, Okuno H, Tsuiki M and Naruse M. Miction-induced Hypertension Disclosed by Home Blood Pressure Measurement in a Patients with Small Paraganglioma. *Intern Med* **59**:793-797, 2020

伊藤克弘、荒木博賢、内田稔大、真鍋由美、宮崎 有、三品睦輝、奥野 博：ロボット支援前立腺全摘除術における早期尿禁制獲得のための新たな工夫—肛門挙筋を用いた後壁補強の有用性—。 *Jpn J Endourol* **33**:126-132, 2020

五十嵐 篤、荒木博賢、内田 稔大、宮崎 有、三品睦輝、奥野 博、森 雄貴、喜多美穂里：細菌性眼内炎を合併した気腫性腎盂腎炎に対し集学的治療で腎が温存された1例。泌尿紀要 **66**:387-392、2020

荒木博賢、五十嵐 篤、内田稔大、真鍋由美、宮崎 有、伊東晴喜、三品睦輝、奥野 博：前立腺全摘後の去勢抵抗性前立腺癌において孤立性転移摘除が著効した1例。泌尿紀要 **66**:453-457、2020

産科婦人科



診療科長
安彦 郁

専門医資格等 日本産科婦人科学会 専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本婦人科腫瘍学会 専門医・指導医
日本産婦人科内視鏡学会 技術認定医
日本内視鏡外科学会 技術認定医
日本ロボット外科学会 専門医
日本婦人科腫瘍学会 代議員
京都産婦人科医会 理事
京都大学博士(医学)
京都大学医学部臨床教授

専 門 分 野 産婦人科一般

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医療情報 部 長	北岡 有喜	日本産科婦人科学会 専門医・指導医 社会医学系専門医協会 専門医・指導医 京都大学博士(医学) 同志社大学博士(政策科学)	生殖分子生理学 医療情報学 情報システム学	
産婦人科 医 長	高尾 由美	日本産科婦人科学会 専門医・指導医 日本医師会認定産業医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 J-MELSベーシックコースインストラクター 日本スポーツ協会公認スポーツドクター 臨床研修指導医 母体保護法指定医 京都大学博士(医学)	産婦人科一般	婦人科腫瘍 不妊症
医 師	宇治田 麻里	日本産科婦人科学会 専門医・指導医 臨床研修指導医 母体保護法指定医 京都大学博士(医学)	産婦人科一般	
医 師	天野 泰彰	日本産科婦人科学会 専門医・指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本婦人科腫瘍学会 専門医・指導医 臨床研修指導医 母体保護法指定医 京都大学博士(医学)	産婦人科一般	
医 師	江本 郁子	日本産婦人科学会 専門医・指導医 日本産科婦人科学会 女性のヘルスケアアドバイザー 日本周産期新生児医学会 周産期専門医 (母体・胎児) 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本産婦人科内視鏡学会技術認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 J-MELSベーシックコースインストラクター 臨床研修指導医 母体保護法指定医	産婦人科一般	
医 師	渡部 光一	日本産科婦人科学会 専門医	産婦人科一般	

医 師	鈴木 直宏	日本産科婦人科学会 専門医 J-MELSベーシックコースインストラクター 日本周産期・新生児医学会 新生児蘇生法「一次」コース(Bコース) インストラクター	産婦人科一般	
専 攻 医	勝又 美柚		産婦人科一般	
専 攻 医	田村 紗也		産婦人科一般	
非常勤医師	高倉 賢二	日本産婦人科内視鏡学会功労会員 日本内分泌学会 評議員 日本受精着床学会 評議員 京都大学医学博士	婦人科腫瘍 産婦人科手術 内分泌疾患の診断・治療	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本産科婦人科学会 総合型専攻医指導施設 日本婦人科腫瘍学会 指定修練施設 日本周産期・新生児医学会 母体胎児指定施設 日本産科婦人科内視鏡学会 認定研修施設 臨床遺伝専門医制度 認定研修施設
-------	--

～産科～

安全で、妊婦さんひとりひとりが心から満足のいく分娩を提供します。

合併症妊娠やハイリスク妊娠、早産にも対応します。希望者に無痛分娩も行っています。

～婦人科～

女性の社会進出に伴い、外来治療や低侵襲手術（腹腔鏡手術や腔式手術、ロボット手術）を推進し、早期の社会復帰を目指します。充実した診療スタッフにより、幅広い婦人科疾患に対して対応可能です。特に、婦人科がんに対してハイレベルな診療を行います。

□ 診療（業務）内容

～産科～

- 妊婦健診では、一般的な健診のみならず、病棟助産師が立ち会い、継続して保健指導を行い生活指導なども適宜行っています。
- 分娩（出産）リスクは、自然分娩を尊重しながらも、合併症や急変に対しても、小児科（NICU）・内科・麻酔科などとも連携をとり、チームワークで対応します。
合併症妊娠やハイリスク妊娠の症例も多く取り扱っています。平成30年度（2018年度）の周産期救急搬送（母体搬送）の受け入れ件数は23件で地域の周産期救急にも積極的に貢献しています。医学的根拠に基づいた安全で安心なお産を提供すべく、日々努力しています。
- 産前・産後の母乳ケアを行い、母乳育児をサポートします。

～婦人科～

- 治療前のインフォームド・コンセントを重視します
十分な説明を行い、納得いただいたうえで治療を行うことにより、満足の得られる医療を行うことを診療のモットーとしています。また、疾患について画一化された治療を行うのではなく、それぞれの患者さんの身体的・精神的・社会的状況や希望なども十分ふまえたうえで治療方針を決定します。
- 幅広い婦人科疾患に対応します
充実した診療スタッフにより、良性疾患から悪性疾患まで幅広く婦人科疾患に対応可能です。
- 低侵襲手術を行います
女性の社会進出に伴い、入院期間・自宅療養期間の短縮が求められています。そのような社会のニーズに応えるため、積極的に低侵襲手術（腹腔鏡下手術、腔式手術、ロボット腹手術）を行い、早期の社会復帰を目指します。

4. 悪性腫瘍に対してハイレベルな診療を行います

京都府のがん診療拠点病院および日本婦人科腫瘍学会指定修練施設に認定されており、悪性腫瘍に対する診療経験が豊富にあります。常に最新の情報に基づいて、他科と連携してハイレベルな治療を行います。年間100例以上の新規婦人科悪性腫瘍患者を治療しています。悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術やロボット手術も積極的に行っています。

5. 更年期からの健康管理を推進します

直面する超高齢化社会においては、元気な老後を迎えられるよう更年期(50歳前後)からの健康管理が重要になります。更年期障害や骨粗鬆症などの女性特有の疾患に対応するため更年期からの健康管理を推進します。

□ 診療実績(令和2年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
22名	1,220名	6.6日

外来患者数

1日平均患者数
49.1名

主な手術・検査の件数など

分娩件数	帝王切開件数	婦人科開腹手術	腹腔鏡手術(ロボット含む)
260件	84件	158件	310件
ロボット手術	無痛分娩		
46件	31件		

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第142回近畿産科婦人科学会学術集会	S状結腸回転異常によりメッシュ固定位置を変更した腹腔鏡下仙骨腔固定術(LSC)の1例	天野 泰彰, 渡部 光一, 鈴木 直宏, 江本 郁子, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 安彦 郁	Web開催	2020/6/8-26
国内学会発表	第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講会	当院における早期子宮体癌腹腔鏡下手術の治療成績報告	天野 泰彰, 渡部 光一, 田村 紗也, 勝又 美柚, 鈴木 直宏, 江本 郁子, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 安彦 郁	Web開催	2020/12/14-2021/1/5
国内学会発表	第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	鏡視下手術に適した広汎子宮全摘術式の改良一後方アプローチ法による膀胱子宮靱帯後層血管の切断	天野 泰彰, 安彦 郁, 田村 紗也, 勝又 美柚, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 江本 郁子, 宇治田 麻里, 高尾 由美	Web開催	2021/1/29-2/11
国内学会発表	第72回日本産科婦人科学会学術講演会	シンポジウム1 腫瘍 免疫チェックポイント阻害薬の次へ～骨髄由来免疫抑制性細胞(MDSC)を標的とした卵巣がん新規治療の開発	安彦 郁	Web開催	2020/4/23-28
国内学会発表	第12回関西腹腔鏡下婦人科悪性腫瘍会議	[腹腔鏡下広汎子宮全摘術の新たなアプローチ①] 後方アプローチ腹腔鏡下広汎子宮全摘	安彦 郁	大阪	2020/2/1
国内学会発表	第42回日本産婦人科手術学会	子宮吊り上げ後方アプローチ式腹腔鏡下広汎子宮全摘術の術者感再現性について	安彦 郁, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 江本 郁子, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	京都	2020/2/23

国内学会発表	第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	卵巣癌の抗VEGF抗体獲得耐性の免疫学的機序の解明と克服	安彦 郁	Web開催	2021/1/29-2/11
国内学会発表	第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	腹腔鏡下広汎子宮全摘術-後方アプローチ法による膀胱子宮靱帯後層血管の切断	安彦 郁	Web開催	2020/12/14-2021/1/5
国内学会発表	第33回日本内視鏡外科学会総会	Posterior approach in Okabayashi's radical hysterectomy	Kaoru Abiko	ハイブリッド開催:横浜	2021/3/10-13
国内学会発表	第9回日本婦人科ロボット手術学会	単施設における腹腔鏡下仙骨靱帯固定術(LSC)とロボット支援下仙骨靱帯固定術	安彦 郁, 鈴木 直宏, 勝又 美柚, 田村 紗也, 渡部 光一, 江本 郁子, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 高尾 由美	Web開催	2021/3/5-6
国内学会発表	第3回産婦人科骨盤内手術手技研究会	子宮内膜症の腹腔鏡下手術子宮全摘について	渡部 光一	京都	2020/11/20
国内学会発表	第72回日本産科婦人科学会学術講演会	Multi-channel port法による単孔式腹腔鏡下手術の導入	鈴木 直宏	Web開催	2020/4/23-28
国内学会発表	第142回近畿産科婦人科学会学術集会	腹腔鏡下手術後に診断に至った子宮体部原発小細胞神経内分泌癌の1例	鈴木 直宏	Web開催	2020/6/8-26
国内学会発表	第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	両側卵管切除後に子宮漿膜下妊娠をきたし腹腔鏡下に治療し得た一例	鈴木 直宏	Web開催	2020/12/14-2021/1/5
国内学会発表	第13回日本ロボット外科学会学術集会	当院における腹腔鏡下仙骨靱帯固定術(LSC)とロボット支援下仙骨靱帯固定術(RSC)の導入時成績の比較検討	鈴木 直宏	Web開催	2021/01/23-02/26
国内学会発表	京都産科婦人科学会令和2年度学術集会	腹腔鏡下子宮全摘術後に卵巣茎捻転を繰り返した1例	高尾 由美	ハイブリッド開催:京都	2020/10/17
国内学会発表	第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	単孔式腹腔鏡下手術の11例の臨床的検討	高尾 由美	Web開催	2020/12/14-2021/1/5
国内学会発表	第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	腹腔内出血を来した漿膜下子宮筋腫の一例	江本 郁子, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 安彦 郁	Web開催	2021/1/29-2/11
国内学会発表	第72回日本産科婦人科学会学術講演会	早期子宮体癌に対する腹腔鏡下手術の導入成績	渡部 光一, 鈴木 直宏, 江本 郁子, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 安彦 郁, 高尾 由美	Web開催	2020/4/23-28
国内学会発表	第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	腹腔鏡下仙骨靱帯固定術の施行中にright-sided sigmoid colonが判明した一例	渡部 光一, 田村 紗也, 勝又 美柚, 鈴木 直宏, 江本 郁子, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 安彦 郁	Web開催	2020/12/14-2021/1/5
国内学会発表	第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	子宮体癌に対して腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術を施行し術後に小細胞神経内分泌癌の診断に至った一例	渡部 光一, 鈴木 直宏, 江本 郁子, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 安彦 郁	Web開催	2021/1/29-2/11
国内学会発表	第63回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	CIN3に対する子宮摘出の妥当性についての検討: VAIN3続発リスクの観点から	勝又 美柚	Web開催	2021/1/29-2/11
国内学会発表	京都鏡視下手術研究会	骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨靱帯固定術(LSC)とロボット支援下仙骨靱帯固定術(RSC)の治療成績の検討	勝又 美柚, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 江本 郁子, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 安彦 郁	Web開催	2020/12/5
国内学会発表	第20回産婦人科手術療法・周術期研究会	教育講演 2 市中病院で始めるRSC(ロボット支援仙骨靱帯固定術)	安彦 郁	Web開催	2021/3/26

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	江本 郁子, 安彦 郁, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 宇治田 麻里, 天野 泰彰, 高尾 由美	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術を施行し術後に小細胞神経内分泌癌の診断に至った1例	産婦人科の進歩	72	3	266 ~ 271	2020/8	その他	近畿産科婦人科学会
和文	安彦 郁	術前評価と症例選択における注意点	OGS Now basic いきなりTLH			64 ~ 69	2020/4	その他	メジカルビュー社
和文	安彦 郁	注意すべき合併症とその対策 腸管損傷	OGS Now basic いきなりTLH			144 ~ 149	2020/4	その他	メジカルビュー社
和文	安彦 郁	第4弾 ロボット支援下仙骨腔固定術	Tadedda Medical site Gynecologic LOUNGE WEB 手術見学コンテンツ				2021/3	その他	
英文	林 育代, 坂根 直樹, 江本 郁子, 安彦 郁, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	Postpartum hemorrhage is associated with neonatal body weight, pre-pregnancy body mass index, and maternal weight gain	Clinical and Experimental Obstetrics and Gynecology	47	6	920-925	2020	原著論文	
英文	山陰 一, 安彦 郁, 浅原 哲子, 高倉 賢二, 小西 郁生	Serum lactate dehydrogenase is a possible predictor of platinum resistance in ovarian cancer	Obstet Gynecol Sci.				2020/9	原著論文	
英文	林 育代, 高倉 賢二, 坂根 直樹	Association of Dietary Change during Pregnancy with Large-for-Gestational Age Births: A Prospective Observational Study	J Nutr Sci Vitaminol.	66	3	246-254	2020	原著論文	
英文	林 育代, 高倉 賢二, 坂根 直樹	Full-term low birthweight infants have differentially hypermethylated DNA related to immune system and organ growth: a comparison with full-term normal birth weight infants	BMC Res Notes.	13	1	199	2020/4	原著論文	
英文	林 育代, 高倉 賢二, 坂根 直樹	Association between socioeconomic status and small-for-gestational-age in Japan: A single center retrospective cohort study	J Obstet Gynaecol Res.	46	1	110-118	2020/1	原著論文	
英文	渡部 光一, 安彦 郁, 田村 紗也, 勝又 美柚, 天野 泰彰, 高尾 由美	Right-sided Sigmoid Colon Revealed during Laparoscopic Sacrocolpopexy	J Minim Invasive Gynecol.				2020/9	原著論文	
英文	安彦 郁, 林 琢磨, 小西 郁生	Potential Novel Ovarian Cancer Treatment Targeting Myeloid-Derived Suppressor Cells	Cancer Invest.				2021/2	原著論文以外	

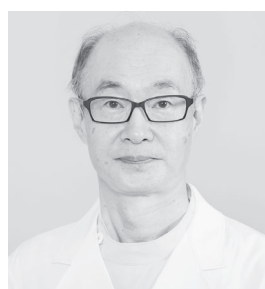
英文	安彦 郁	A Novel Direct Approach to the Deep Uterine Vein in Laparoscopic Radical Hysterectomy	J Minim Invasive Gynecol.				2020/12	原著論文	
英文	林 琢磨, 安彦 郁, 小西 郁生	Highly conserved binding region of ACE2 as a receptor for SARS-CoV-2 between humans and mammals	Vet Q.	40	1	243-249	2020/12	原著論文以外	
英文	安彦 郁	UGT1A1 polymorphism has a prognostic effect in patients with stage IB or II uterine cervical cancer and one or no metastatic pelvic nodes receiving irinotecan chemotherapy: a retrospective study	BMC Cancer	20	1	729	2020/8	原著論文	
英文	安彦 郁	Low-Grade Endometrial Stromal Sarcoma with a Nodule-in-Nodule Appearance in Preoperative Magnetic Resonance Images	Case Rep Obstet Gynecol			8973262	2020/7	原著論文	
英文	安彦 郁	Uterine cervical squamous cell carcinoma without p16 (CDKN2A) expression: Heterogeneous causes of an unusual immunophenotype	Pathol Int.	70	7	413-421	2020/7	原著論文	
英文	安彦 郁	Anti-VEGF therapy resistance in ovarian cancer is caused by GM-CSF-induced myeloid-derived suppressor cell recruitment	British J Cancer	122	6	778-788	2020/3	原著論文	

緩和ケア科



診療科長
青木 友和
令和3年3月31日まで

専門医資格等
日本脳神経外科学会
脳神経外科専門医
指導医、地方会評議員
日本脳卒中学会
脳卒中専門医
日本癌治療学会
暫定教育医
脳腫瘍ガイドライン
作製委員
アメリカ癌治療学会
(ASCO) 会員 PEACE
緩和ケア指導者
京都大学医学博士
京都大学医学部非常勤講師
専門分野
脳腫瘍(悪性)、下垂体腫瘍、
顔面けいれん、三叉神経痛、
緩和ケア



診療部長(がん診療担当)
診療科長
大谷 哲之
令和3年4月1日より

専門医資格等
日本脳外科学会 専門医
日本消化器外科 認定医
麻酔科標榜医
京都大学医学部 臨床教授
専門分野
消化器外科、緩和ケア、
臨床栄養、麻酔

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	木下 多愛	日本緩和医療学会 認定医 日本麻酔科学会 専門医 麻酔科標榜医 PEACE緩和ケア指導者	緩和ケア 麻酔	
非常勤医師	土屋 宣之	PEACE緩和ケア指導医 京滋緩和ケア研究会世話人 日本がん治療認定医機構 暫定教育医 日本臨床検査医学会 臨床検査管理医 京都府医師会がん登録委員会 委員 日本外科学会 認定医	緩和ケア 胃腸 肝臓 乳腺	
音楽療法士	飯塚 三枝子	音楽療法士 臨床音楽士 臨床音楽協会 理事 ヴィオラリスト	音楽療法	
音楽療法士	谷口 奈緒美	日本音楽療法学会 認定音楽療法士	音楽療法	
アロマセラピスト	畑 亜紀子	公認心理師 IFPA(The International Federation of Professional Aromatherapists) 認定アロマセラピスト (公式)アロマ環境協会認定アロマセラピスト／アロマインストラクター	アロマセラピー	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本緩和医療学会
-------	----------

□ 主な対象疾患

癌一般

□ 診療（業務）内容

1. 与えられた構造の中での環境整備－視覚（照明、花木）、聴覚（院内放送の個室内制限）など－
2. 利用者の価値観や生き方を尊重するためにことさら根気と丁寧さを要するケア、自立性を奪われていく困難と苦痛の中で行われるケア
3. 上記のような場を提供・俯瞰、特殊な感情労働に従事するケアスタッフへの目配り
4. 場の提供に続いてそこで有意義な時間空間を作る力を持った利用者や家族の選択のために入棟の適応の可否を判定員会で議論検討する。
5. 目的としてではなく手段としての症状緩和、薬剤による対処療法の役割は限定的である。たとえ症状緩和に成功しなくとも生きる場所を提供できる可能性もある。自宅に遠く及ばなくとも、多職種による行事企画や音楽療法、アロマセラピー、食事への気配り、家族への配慮を通してかけがえのない時間を過ごす場を作りうる。あくまで我々は触媒でしかないのだが。
6. 在宅への橋渡し、レスパイト入院への門戸開放
7. 遺族への配慮：訪問遺族の傾聴に時間をかける他に遺族会、遺族への書状を通して継続的な関わりを試みる
8. 緩和ケアチームを中心とした、一般病棟、地域医療への貢献

□ 診療実績（令和2年度）

緩和ケア内科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
6.0名	32名	33.9名

緩和ケア内科外来患者数

1日平均患者数
0.4名

緩和ケア外科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
6.9名	28名	38.3名

緩和ケア外科外来患者数

1日平均患者数
1.5名

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	日本脳神経外科学会 第79回学術総会	悪性脳腫瘍のアドバンスケアプランニングと緩和ケアの現状と問題点	青木 友和	岡山	2020/10/15
国内学会発表	第38回日本脳腫瘍学会	悪性脳腫瘍のアドバンスケアプランニングと緩和ケアの現状と問題点	青木 友和	広島	2020/12/1
国際学会発表	2020 SNO Virtual Annual Meeting	Phase I/II Study of Temozolomide Plus Nimustine Chemotherapy for Recurrent Malignant Gliomas: Kyoto Neuro-oncology Group	青木 友和	Austin Texas, USA	2020/11/19
研究セミナー・シンポジウム等	京都府看護協会	今日から使えるアロマセラピー講座(癒やしから看護まで)	畑 亜紀子	京都	2020/9/5
研究セミナー・シンポジウム等	大阪教育大学	音楽療法の歴史と臨床での音楽療法	飯塚 美枝子	大阪	2020/11
研究セミナー・シンポジウム等	京都光華女子大学	臨床での音楽療法	飯塚 美枝子	京都	2021/1

□ 投稿論文など

分類	著者(全員)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
英文	青木 友和	Genetic Analysis in Patients With Newly Diagnosed Glioblastomas Treated With Interferon-Beta Plus Temozolomide in Comparison With Temozolomide Alone.	J Neurooncol.	148	1	17-27	2020/5	原著論文	
英文	河鱈 憲幸, 畑垂 紀子, 青木 友和	Effect of Aromatherapy Massage on Quality of Sleep in the Palliative Care Ward: A Randomized Controlled Trial.	J Pain Symptom Manage.	59	6	1165-1171	2020/6	原著論文	
英文	青木友和	Current Status of Palliative and Terminal Care for Patients with Primary Malignant Brain Tumors in Japan.	Neurol Med Chir.	60	12	600-611	2020/12	原著論文	

眼科



診療部長
診療科長
喜多 美穂里

専門医資格等 京都大学眼科臨床教授
京都大学眼科非常勤講師
日本眼科学会認定 眼科指導医
日本眼科学会認定 眼科専門医
P D T 認定医
Best Doctors (2012-2021)
専門分野 網膜硝子体疾患
内視鏡併用硝子体手術
得意疾患 網膜剥離
糖尿病網膜症

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	濱 祥代	日本眼科学会専門医	眼科一般	
専 攻 医	鍵谷 悠		眼科一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本眼科学会研修施設
-------	------------

- ・科長交代があった2012年より、手術・検査機器を整備し、網膜硝子体手術を本格始動いたしました。
- ・当院眼科は、白内障手術を多く手掛けること、網膜硝子体疾患に強いことが特長です。
- ・最新硝子体・白内障手術装置、広角観察システム、眼内シャンデリア照明、眼内内視鏡、3Dビジュアルシステムを用いた小切開硝子体手術で、糖尿病網膜症・網膜剥離・増殖硝子体網膜症などの高難度の網膜硝子体疾患の治療を行っています。
- ・2012年4月より新しく保険収載となった眼内内視鏡硝子体手術を積極的に行っています。内視鏡手術では、国内外で先駆的な役割を果たしています。
- ・眼科全般に、高度で最新の医療を提供します。
- ・新しい治療方法・手術機器の開発や、手術成績などに関して、国内外に情報を発信し、他施設との連携を密に行い、毎日の診療の場に還元できるように努力しています。
- ・糖尿病網膜症：当院がWHO指定の糖尿病センターであることもあり、当院糖尿病センター・内分泌代謝疾患センターと連携して、糖尿病患者さんの網膜症診療を担当しています。病気の進行を定期的にチェックし、必要に応じて、レーザーによる網膜光凝固術や、合併症である白内障や糖尿病網膜症に対し、手術治療を行います。
- ・未熟児網膜症：NICUを有する当院小児科と連携して、未熟児の重篤な合併症である網膜症に対し、赤ちゃんの視力を守るための検査・治療を行います。

□ 主な対象疾患

- ・網膜剥離・増殖硝子体網膜症・糖尿病網膜症・黄斑円孔・黄斑上膜・黄斑浮腫・加齢黄斑変性などの網膜硝子体疾患
- ・白内障全般、緑内障全般
- ・感染症および非感染性ぶどう膜炎・眼内炎・角膜炎、視神経疾患

□ 診療（業務）内容

1. “見える”というゴールを目標に、全身の一部としての眼科治療をめざします

眼科的疾患のほかにも様々な全身疾患を併せ持つ患者さんにも、手術をはじめ、様々な治療を安全に効率良く提供し、より良い視力の獲得にむけて努力しています。

2. 地域医療の一翼として、開業医や他病院の先生方と協力し、より良い医療の提供をめざします

さまざまな医療資源を備える総合病院として、ホームドクターの先生との連携のもと、より高度な医療の提供に努力しています。内視鏡硝子体手術をはじめとする先進的医療の実践に努めます。

3. メディカルスタッフ一丸となって、安心して確かな医療を実践します

医師、看護師、視機能訓練士、メディカルクラーク等のチームワークを大切に、各々の職種が全力で日々切磋琢磨し、安心して確かな医療を受けていただけるように努力しています。

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数

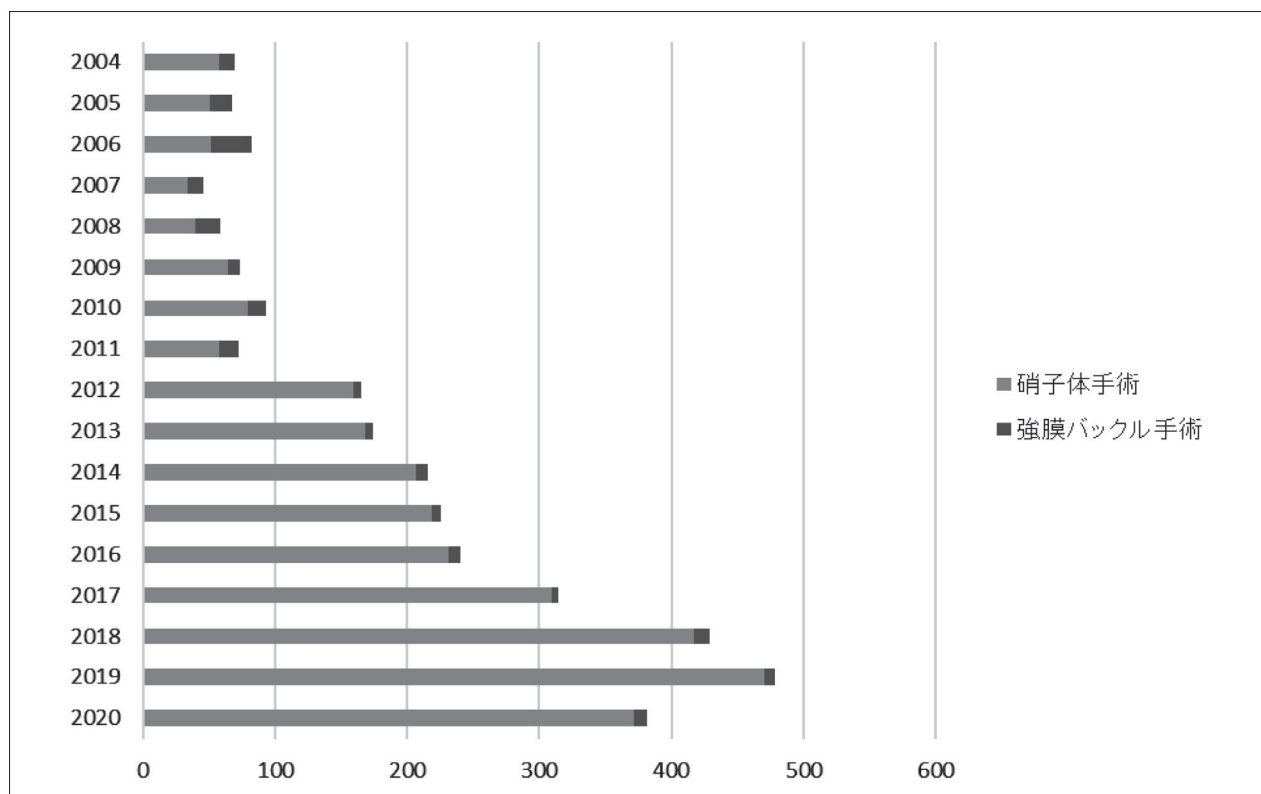
1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
9.8名	768名	4.6日

外来患者数

1日平均患者数
45.4名

主な手術の件数など

水晶体再建術	硝子体手術	強膜バックリング手術	中央手術室手術合計	外来手術
497件	372件	10件	798件	558件



□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第90回九州眼科学会	もう顕微鏡は覗かないー NGENUITYの実力 (ランチョンセミナー)	喜多 美穂里	博多市	2020/5/30 (WEB配信 2020/7/1-31)
国内学会発表	第70回山口眼科手術懇話会	3Dハイブリッド手術ーもう 顕微鏡はのぞかないー (特別講演)	喜多 美穂里	山口市	2020/9/26
国内学会発表	第10回伏見薬業連携協議会	最新!硝子体手術(特別講 演)	喜多 美穂里	京都市	2020/9/17
国内学会発表	第74回日本臨床眼科学会	網膜剥離ファイトクラブ round16 一症例をシェアし て自分のものにする(インス トラクションコース オーガ ナイザー)	喜多 美穂里	東京	2020/10/16 (WEB配信 2020/11/5- 25)
国内学会発表	第401回関西眼疾患研究会	眼内観察系アップデート ーもう顕微鏡は覗かないー (特別講演)	喜多 美穂里	京都市	2020/12/16
国内学会発表	眼科コールドケース2021	真っ白(パネリスト)	喜多 美穂里	京都市	2021/1/21 (WEB配信 2021/2/12- 26)
国内学会発表	眼科コールドケース2021	難治性の糖尿病黄斑浮腫を 考える 他(オーガナイ ザー、座長)	喜多 美穂里	京都市ほか	2021/1/21 (WEB配信 2021/2/12- 26)
国内学会発表	第44回日本眼科手術学会 総会	角膜混濁眼の内眼手術ー硝 子体手術 (総会長企画シンポジウム)	喜多 美穂里	京都市	2021/1/29 (WEB配信 2021/2/10- 3/9)
国内学会発表	第44回日本眼科手術学会 総会	眼内内視鏡2021 (総会長企画シンポジウム)	喜多美穂里	京都市	2021/1/29 (WEB配信 2021/2/10- 3/9)
国内学会発表	第44回日本眼科手術学会 総会	困った状況への分野横断的 対応ー私ならこうする (総会長企画シンポジウム オーガナイザー、座長)	喜多美穂里	京都市	2021/1/29 (WEB配信 2021/2/10- 3/9)

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	喜多 美穂里	3D Heads-up Surgery システムと内視鏡手術	Retina Medicine	9	2	51-56	2020/10	総説	先端医学社
和文	喜多 美穂里, 鍵谷 悠	白内障手術も最初から 3Dビジュアルシステ ム. My Surgery Part 3.	銀海	254	1	29-30	2021/1	総説	千寿製薬銀 海編集室
和文	五十嵐 篤, 荒木 博賢, 内田 稔大, 宮崎 有, 三品 睦輝, 森 雄貴, 喜多 美穂里, 奥野 博	細菌性眼内炎を合併し た気腫性腎盂腎炎に対 し集学的治療で腎が温 存された1例.	泌尿紀要	66		387-392	2021/11	原著論文	
英文	Mihori Kita, Yu Kagitani, Sachiyo Hama	Sub-Tenon Injection of Triamcinolone Acetonide for Choroidal Mass in Sarcoidosis: A Case Report.	International Medical Case Reports Journal	14	1	33-38	2021/1	原著論文	
英文	Mami Kusaka, Yu Kagitani, Sachiyo Hama, Mihori Kita	Scleral buckle infection caused by Mycobacterium chelonae: A Case Report.	International Medical Case Reports Journal	14	1	51-53	2021/1	原著論文	

耳鼻咽喉科・頭頸部外科



診療科長
(耳鼻咽喉科)
辻 純

専門医資格等
日本耳鼻咽喉科専門医
京都大学 医学博士
京都大学臨床教授
日本耳鼻咽喉科学会代議員
専門分野
耳科学・耳鼻咽喉科
得意疾患
中耳疾患めまい疾患



診療科長
(頭頸部外科)
安里 亮

専門医資格等
日本耳鼻咽喉科専門医
頭頸部がん専門医指導医
内分泌外科専門医
気管食道科専門医
日本がん治療認定医
日本頭頸部癌学会代議員
日本気食道科学会評議員
日本頭蓋底外科評議員
専門分野
頭頸部外科・甲状腺外科
得意疾患
頭頸部がん、甲状腺手術

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 員 (耳鼻咽喉科)	嘉田 真平	日本耳鼻咽喉科学会専門医 頭頸部がん専門医	耳鼻咽喉科 頭頸部外科一般	頭頸部癌 甲状腺癌 音声疾患
医 員 (耳鼻咽喉科)	辻 拓也	日本耳鼻咽喉科学会専門医	耳鼻咽喉科 頭頸部外科一般	耳鼻咽喉科一般
医 員 (頭頸部外科)	伊藤 通子	日本耳鼻咽喉科学会専門医	頭頸部外科一般	頭頸部外科一般
レジデント (耳鼻咽喉科)	伊藤 真裕子		耳鼻咽喉科一般	耳鼻咽喉科一般
専 攻 医 (耳鼻咽喉科)	長原 佳菜		耳鼻咽喉科一般	耳鼻咽喉科一般

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本耳鼻咽喉科学会専門医制度専門医研修施設 内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医研修施設 日本気管食道科専門医認定施設
-------	--

1. 伝音再建を中心とした中耳疾患手術
2. 頭頸部進行癌に対する拡大手術を中心とした集学的治療による治癒率向上
3. 頭頸部癌による低侵襲手術の開発によるQOL向上
4. QOLを考慮した甲状腺手術
5. 頭頸部・甲状腺外科執刀医養成のシステム
6. スタッフ全員による入院患者の診断・治療
7. 京都大学側頭骨セミナーへ講師として参加
8. めまいの診断と治療

□ 主な対象疾患

- ・真珠腫性中耳炎・慢性中耳炎
- ・めまい症
- ・頭頸部癌(口腔癌:舌癌・歯肉癌・頬粘膜癌・口腔底癌、咽頭癌、喉頭癌、鼻・副鼻腔癌:上顎洞癌・篩骨洞癌、耳下腺癌・顎下腺癌など)
- ・甲状腺癌・甲状腺良性腫瘍・副甲状腺腫瘍・バセドウ病(手術)
- ・頭頸部良性腫瘍・頭蓋底進展腫瘍・咽頭表在癌

□ 診療(業務)内容

耳鼻咽喉科と頭頸部外科はともに外来・病棟・手術を行っている(手術数などは両科合同)。真珠腫・中耳炎・めまい・顔面神経麻痺など耳科全域を行っている。一般的な頭頸部癌・甲状腺癌の治療はもとより進行癌の治療も積極的に行い根治治療を目指しており、再建を要する頭頸部進行癌や縦隔浸潤する甲状腺癌・頭蓋底に進展する頭頸部腫瘍は関西一円はもとより関東・中国地方などからも治療をうけにこられている。また、低侵襲手術としての口腔癌に対するPGAシート被覆法を開発し、学会などで積極的に発表し標準治療としての普及を図っている。さらに経口的な咽頭がんの切除により、QOLを保った治療も積極的に行っており、これらも関西以外からも手術を希望されて当科に紹介される場合が多い。

□ 診療実績(令和2年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
15.7名	440名	13.2日

外来患者数

1日平均患者数
40.3名

主な手術・検査の件数など

耳手術	鼻副鼻腔手術	甲状腺・副甲状腺手術	頭頸部腫瘍手術
18件	30件	89件	129件

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第82回耳鼻咽喉科臨床学会	口腔癌切除後のMCFP法	安里 亮, 安田 佳織, 長原 佳菜, 伊藤 通子, 辻 拓也, 嘉田 真平, 辻 純	京都	2020/12/24
国内学会発表	第82回耳鼻咽喉科臨床学会	進行性に汎血球減少をきたした鼻腔原発malignant ectomesenchymomaの一例	安田 佳織	京都	2020/12/24
国内学会発表	第82回耳鼻咽喉科臨床学会	上顎洞原発扁平上皮癌症例の検討 ～京都大学関連施設における多施設共同研究～	辻 拓也	京都	2020/12/24
国内学会発表	第82回耳鼻咽喉科臨床学会	副神経鞘腫の一例	長原 佳菜, 安里 亮, 伊藤 通子, 辻 拓也, 辻 純	京都	2020/12/24

麻酔科



診療部長
診療科長
七野 力

専門医資格等 厚労省標榜医
日本麻酔科学会指導医
日本集中治療医学会専門医
日本専門医機構認定 機構専門医
京都大学医学部臨床教授
関西医科大学臨床教授
京都大学 医学博士
専門分野 麻酔管理一般、集中治療、心臓血管外科麻酔

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野
医 師	杉本 亮大	厚労省標榜医 日本麻酔科学会指導医 日本専門医機構認定 機構専門医	麻酔管理一般 心臓血管外科麻酔
医 師	原 祐介	厚労省標榜医 日本麻酔科学会認定医	麻酔管理一般
医 師	松山 智紀	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医 京都大学 医学博士	麻酔管理一般 心臓血管外科麻酔
医 師	吉岡 清行	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般
医 師	藤田 靖子	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般
医 師	森 悠	厚労省標榜医 日本麻酔科学会指導医 日本専門医機構認定 機構専門医 日本心臓血管麻酔学会専門医 日本周術期経食道エコー認定試験 (JB POT) 合格 米国周術期経食道エコー認定試験 (PTEeXAM) 合格 日本小児麻酔学会認定医	麻酔管理一般 心臓血管外科手術の麻酔管理 小児の麻酔管理
医 師	木村 詩織	厚労省標榜医 日本麻酔科学会指導医 日本専門医機構認定 機構専門医	麻酔管理一般 集中治療管理 小児の集中治療
医 師	水津 悠	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医 日本周術期経食道エコー認定試験 (JB POT) 合格 日本集中治療医学会専門医	麻酔管理一般 心臓血管外科麻酔 救急・集中治療
医 師	米倉 なほ	厚労省標榜医	麻酔管理一般
医 師	鈴木 陽世	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般
医 師	浜川 綾子	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般
専 攻 医	南迫 一請	日本周術期経食道エコー認定試験 (JB POT) 合格	麻酔管理一般
専 攻 医	島田 覚生		麻酔管理一般
専 攻 医	安原 玄人		麻酔管理一般

専 攻 医	生野 智美		麻酔管理一般
専 攻 医	平林 雅史		麻酔管理一般
専 攻 医	松野 結		麻酔管理一般

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本麻酔科学会研修施設 日本集中治療学会認定施設
-------	-----------------------------

1. 麻酔管理
2. 集中治療管理
3. 硬膜外無痛分娩

□ 主な対象疾患

麻酔管理：外科手術一般

集中治療：敗血症、肺炎、ARDS、多臓器不全、術後管理一般

□ 診療（業務）内容

手術を受けられる患者さんに対する麻酔の施行と全身管理

当科では患者さんのご希望を最大限に尊重しながら、患者さんの全身状態、手術の内容を勘案してもっとも安全で苦痛の少ない麻酔法を選択しています。近年は全身麻酔と神経ブロックなど、各種麻酔法を組み合わせる方法が増加しています。それぞれの長所を生かしつつ、かつ短所を最小限に抑えることにより、手術が終わっても痛みが少なく、安全でしかも目覚めがよい麻酔を心がけています。

重症患者さんに対する集中治療室（ICU）での集中的治療

本院は院内に2か所の集中治療室を有する全国でも数少ない施設です。救命センターと手術室フロアにそれぞれ設置されており、ともに日本集中治療学会認定の専門医が従事しています。麻酔科ではこのうち、手術室フロアICU（院内ICU）の管理を行っています。院内ICUでは主に手術後の患者さんと重症の入院患者さんの全身管理を行っています。

□ 診療実績（令和2年度）

主な手術・検査の件数など

麻酔科管理症例 計	院内ICU入室患者数	硬膜外無痛分娩数
3564件	650件	31件

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	水津 悠, 片岡 剛, 浅田 秀典, 白神 幸太郎, 笹井 有美子, 立木 美香, 成瀬 光栄, 七野 力	心臓傍神経節腫瘍に対する心拍動下腫瘍切除術の麻酔経験	Cardiovascular Anesthesia	24	1	85～90	2020/8	原著論文	日本心臓血管麻酔学会
和文	南迫 一請, 水津 悠, 七野 力	顎関節脱臼整復後に上気道閉塞となった症例	人工呼吸	37	2	201～206	2020/11	原著論文	日本呼吸療法医学会

放射線科

<放射線治療科>



診療科長
荒木 則雄

専門医資格等 日本医学放射線学会 放射線治療専門医・研修指導医
がん治療認定医機構 がん治療認定医
臨床研修指導医
専門分野 放射線腫瘍学
乳がん、子宮頸がん、肝臓がん、緩和照射

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
放射線治療科医師	河村 光栄	日本医学放射線学会放射線治療専門医・研修指導医、第一種放射線取扱主任者、京都大学医学博士	放射線腫瘍学 頭頸部がん、 肺がん	放射線治療全般 高精度放射線治療

□ 診療科の特徴

難治がんに対する集学的治療として、根治目的の化学放射線療法を当該臓器の診療科と連携して推進しています。また骨転移カンファレンスを主催し、骨転移のみならず各種の緩和照射を提案しています。

オンコロジックエマージェンシーに対しては、即時対応を心がけています。

また、京都大学放射線治療科および関連病院と連携し、国内の各種の臨床試験にも積極的に登録しています。

□ 診療内容(対象疾患・専門疾患)

■根治照射から緩和照射まで、悪性腫瘍全般に幅広く対応しています。

■良性疾患(バセドウ眼症、ARMD、ケロイドなど)にも積極的に対応しています。

<放射線診断科>



診療科長
広川 侑奨

専門医資格等 日本医学放射線学会放射線診断専門医・研修指導医
日本核医学会専門医
PET核医学認定医
検診マンモグラフィ読影認定医(評価A-S)
臨床研修医指導医
京都大学 医学博士

専門分野 画像診断、核医学、IVR
腹部画像診断

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
放射線診断科医師	伊藤 剛	日本医学放射線学会放射線診断専門医・研修指導医 日本病理学会 認定病理医 京都大学 医学博士	画像診断、IVR	放射線診断全般
放射線診断科医師	黒田 昌志	日本医学放射線学会放射線診断専門医・研修指導医 日本核医学会専門医、PET核医学認定医 検診マンモグラフィ読影(評価A-S)	画像診断、核医学	骨軟部画像診断
放射線診断科医師	大堂 さやか	日本医学放射線学会放射線診断専門医・研修指導医 京都大学 医学博士	画像診断	婦人科画像診断
放射線診断科医師	桑原 遼	日本医学放射線学会放射線診断専門医・研修指導医 京都大学 医学博士	画像診断	婦人科画像診断
放射線診断科医師	大橋 茜	日本医学放射線学会放射線診断専門医・研修指導医 日本乳癌学会認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、検診乳房超音波読影認定医 京都大学 医学博士	画像診断	乳腺画像診断

□ 診療科の特徴

X線・CT(コンピューター断層撮影法)・MRI(磁気共鳴画像)・脳血流シンチグラムや骨シンチグラムなどSPECTやFDG-PET/CTといったRI(核医学)・食道胃透視や注腸検査といった消化管透視・腹部超音波検査・腫瘍性病変に対する加療目的や緊急対応を要する血管造影検査など幅広く診断や治療を行っています。当院では現在、64列と80列と128列の診断用MDCT 3台、3Tと1.5TのMRI3台、SPECT1台、PET-CT1台、血管造影X線診断装置3台で検査を施行しています。

- 検査にあたり、診療放射線技師とともに患者さんにとって最適な検査となるよう条件の検討や見直しを継続して行っています。
- 他診療科とのカンファレンスに参加し、各科との連携を密にし、診療の質の向上に努めています。
- 科内でも最新の知見の情報共有や京都大学病院放射線診断科との連携や日本医学放射線学会をはじめとする活動への参加および貢献なども心掛けています。

□ 放射線技師スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門資格 認定資格等
技 師 長	松尾 浩二	磁気共鳴専門技術者、エックス線作業主任者、衛生工学衛生管理者、第1種放射線取扱主任者、第一種作業環境測定士、放射線管理士、臨床実習指導者、臨床技術能力検定MRI検査3級
副技師長	西村 和英	エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師
副技師長	井上 賀仁	X線CT認定技師、エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者
主 任	吉本 篤史	放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士、PET認定技師、ストロンチウム89治療安全取扱講習会
主 任	山本 匠	磁気共鳴専門技術者、X線CT認定技師、マンモグラフィ認定技師
主 任	松本 一繁	エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、肺がんCT検診認定技師、医療情報技師、放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士
主 任	室屋 隆伸	X線CT認定技師、マンモグラフィ認定技師
主 任	清水 彰英	核医学専門技師、PET認定技師、ラジウム223治療安全取扱講習会
主 任	森山 尚貴	日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師、マンモグラフィ認定技師、放射性医薬品取り扱いガイドライン講習
技 師	川端 清志	放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士
技 師	山本 崇	救急撮影認定技師、マンモグラフィ認定技師、日本救急医学会認定ICLSインストラクター
技 師	竹原 和宏	X線CT認定技師、エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、医療情報技師、衛生工学衛生管理士、初級アドミニストレーター、第1種放射線取扱主任者、PET認定技師、情報セキュリティマネジメント、公認医療情報システム監査人、I-131アブレーション
技 師	戸坂 善彦	X線CT認定技師・医療情報技師
技 師	辰野 絢香	X線CT認定技師
技 師	嵯峨根 真也	核医学専門技師、第1種放射線取扱主任者、PET認定技師、ラジウム223治療安全取扱講習会
技 師	柴田 真啓	X線CT認定技師
技 師	濱田 佳代子	医療情報技師、マンモグラフィ認定技師、PET認定技師、情報セキュリティマネジメント
技 師	藤田 訓充	日本救命医学会認定ICLSインストラクター、日本DMAT隊員登録
技 師	吉川 拓行	
技 師	熊給 淳	磁気共鳴専門技術者、X線CT認定技師、救急撮影認定技師
技 師	若畑 旬弥	放射線管理士、放射線機器管理士、PET認定技師
技 師	池上 周平	エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、X線CT認定技師
技 師	山本 眸	マンモグラフィ認定技師
技 師	小嶋 智大	X線CT認定技師
技 師	戸川 謙太	
技 師	穴吹 泰博	ラジウム223治療安全取扱講習会
技 師	木村 篤史	
技 師	的場 徹	日本DMAT隊員登録
技 師	仲山 暁介	放射線管理士
技 師	日名地 美花	マンモグラフィ認定技師
技 師	林 由貴	マンモグラフィ認定技師
技 師	吉田 彩乃	マンモグラフィ認定技師

技 師	清水 ももこ	
技 師	牧原 佑樹	
技 師	永野 双葉	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本医学放射線学会総合修練施設
-------	-----------------

□ 主な対象疾患

悪性腫瘍全般

□ 診療(業務)内容

ほぼ全領域の画像診断、頭部および心臓血管領域を除くIVR、悪性腫瘍を中心とする放射線治療

□ 診療実績(令和2年度)

主な手術・検査の件数など(放射線治療)

放射線治療	VR	MR	CT	RI
年間治療患者数	年間治療件数	年間検査件数	年間検査件数	年間検査件数
463件	447件	11,662件	27,031件	6,743件

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	JASTRO33	Ⅲ期非小細胞肺癌CRT後 デュルバルマブ施行中のす りガラス陰影を伴う肺臓炎 の解析	河村 光栄, 荒木 則雄	札幌	2020.10.1-31
国内学会発表	JASTRO33	3D-CNNに基づく肺SBRT後 の遠隔転移予測に関する多 施設共同研究	荒木 則雄	札幌	2020.10.1-31
国内学会発表	第61回日本肺癌学会学術 集会	Ⅲ期非小細胞肺癌CRT後 デュルバルマブ施行中のす りガラス陰影を伴う肺臓炎 の解析	河村 光栄, 荒木 則雄	岡山	2020.11.13
国内学会発表	第108回日本泌尿器科学会 総会	当院の前立腺癌救済放射線 療法(SRT)に影響を及ぼす 因子の検討 またその後の救済ホルモン 療法(SHT)の現状について	五十嵐 篤, 荒木 則雄	神戸	2020.12.22-24
国内学会発表	日本乳癌学会学術総会	Ultrafast DCE-MRIの Maximum Slope (MS)と拡 散強調画像のADCを用いた 乳房病変の良悪の決定木診 断	大橋 茜	Web	2020/10/9-13
国内学会発表	日本磁気共鳴医学会大会	Can ultrafast dynamic contrast enhanced MRI and diffusion weighted imaging identify highly proliferative subtypes of breast cancer?	大橋 茜, 広川 侑奨	Web	2020/09/11- 10/04
国内学会発表	関西乳房MRI研究会 講演	初学者のための乳房MRI読 影	大橋 茜	Web	2020/11/18

国内学会発表	第76回日本放射線技術学会総会学術大会	Narrow bowtie Filter can Reduce Radiation Exposure and Maintain Image Quality: Phantom Study	森山 尚貴	Web	2020/5/15 ~ 6/14
国内学会発表	第74回国立病院総合医学会	業務従事者の被ばく低減におけるフレキシブルドーズ FDG-PET製剤の有用性	濱田 佳代子, 若畑 旬弥, 清水 彰英, 松尾 浩二	Web	2020/10/17 ~ 2020/11/14
国際学会発表	International Society for Magnetic Resonance in Medicine, Japanese chapter	Multiparametric prediction model for triple negative breast cancer subtypes using ultrafast dynamic contrast enhanced MRI	大橋 茜, 広川 侑奨	Web	2020/12/20
国際学会発表	International Society for Magnetic Resonance in Medicine	Multiparametric approach of diagnosing breast lesions using DWI and ultrafast DCE MRI: compared with conventional DCE MRI	大橋 茜	Web	2020/08/8-14
国際学会発表	European Congress of Radiology	A multiparametric approach of diagnosing breast lesions using diffusion-weighted imaging and ultrafast dynamic contrast-enhanced MRI	大橋 茜	Web	2020/07/15-19

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	河村 光栄	頭頸部癌に対する強度変調放射線治療の治療効果を予測する画像検査法は何か?	臨床放射線	65巻	8号	775-781	2020/8	総説	金原出版
和文	大橋 茜	【Women's Imaging 2020 Breast Imaging Vol.15 乳がんの個別化医療、ゲノム医療の幕開けと画像診断の展望】個別化医療、ゲノム医療時代の乳がん検診と画像診断のあり方 Abbreviated MRIの臨床的意義と将来展望	INNERVISION	35	8	12 ~ 15	2020/07	総説	Innavi net
和文	広川 侑奨	第5章 副腎および関連疾患 F 原発性アルドステロン症 3 副腎サンプリング、I 褐色細胞腫 4 PET/CT	内分泌画像検査・診断マニュアル 改定第2版			174 ~ 177、196 ~ 199	2020/11	総説	診断と治療社
和文	松本 一繁	「Radimetrics」を利用した線量管理	映像情報 Medical 12月号	52	13	22 ~ 29	2020/12	一般	産業開発機構株式会社
英文	河村 光栄	Radiotherapy planning techniques to reduce lung irradiation in head and neck cancer patients with mediastinal involvement	Radiol Phys Technol.	13	2	128-135	2020/6	原著論文	
英文	荒木 則雄	Practice patterns for postoperative radiation therapy in patients with metastases to the long bones: a survey of the Japanese Radiation Oncology Study Group	J Radiat Res.	62	2	356-363	2021/3	原著論文	

英文	荒木 則雄	Palliative brachytherapy and external beam radiotherapy for dysphagia from esophageal cancer: a nationwide survey in Japan	JJCO				2021/2	原著論文	
英文	大橋 茜	Subcategory classifications of Breast Imaging and Data System (BI-RADS) category 4 lesions on MR	Japanese Journal of Radiology	39	1	56-65	2021/1	原著論文	
英文	大橋 茜	A multiparametric approach to diagnosing breast lesions using diffusion weighted imaging and ultrafast dynamic contrast-enhanced MRI	Magnetic Resonance Imaging	71		154-160	2020/9	原著論文	
英文	大橋 茜	The comparison of high-resolution diffusion weighted imaging (DWI) with high-resolution contrast-enhanced MRI in the evaluation of breast cancers	Magnetic Resonance Imaging	71		161-169	2020/9	原著論文	
英文	大橋 茜	Background parenchymal enhancement and its effect on lesion detectability in ultrafast dynamic contrast-enhanced MRI	European Journal of Radiology	129		108984	2020/8	原著論文	
英文	大橋 茜	Evaluation of Malignant Breast Lesions Using High-resolution Readout-segmented Diffusion-weighted Echo-planar Imaging: Comparison with Pathology	Magnetic Resonance Medical Science	20	2	204-215	2021/1	原著論文	
英文	大橋 茜	New parameters of ultrafast dynamic contrast-enhanced breast MRI using compressed sensing	Journal of Magnetic Resonance Imaging	51	1	164-174	2020/1	原著論文	
英文	桑原 遼	Diffusion-weighted imaging of uterine adenomyosis: Correlation with clinical backgrounds and comparison with malignant uterine tumors	J Obstet Gynaecol Res.	47	3	949-960	2021/1	原著論文	
英文	大堂 さやか	Neuroendocrine carcinoma of uterine cervix findings shown by MRI for staging and survival analysis – Japan multicenter study	Oncotarget.	11	40	3675-3686	2020/10	原著論文	

総合リハビリテーション科



診療科長
中島 康代

専門医資格等 日本循環器学会循環器専門医
日本内科学会総合内科専門医
日本内科学会指導医
日本内科学会認定内科医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
心臓リハビリテーション指導士
京都大学 医学博士

専門分野 循環器内科
心臓リハビリテーション

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野
医 長	井村 美紀	日本リハビリテーション医学会専門医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 心臓リハビリテーション指導士 日本医学会認定スポーツ医	内科 集中治療領域リハビリテーション 呼吸リハビリテーション

□ 診療科の特徴

1. 救急医療に重点を置く当院の方針に従って、入院患者の急性期リハビリテーションを基本に診療しています。
2. 特に重症疾患に対する集中治療中の超急性期リハビリテーションに力を入れています。生命維持装置を装着した重症例に対して早期から介入していくことで床上安静による二次障害を予防し、ADL、QOLの改善に寄与します。
3. がん診療を補完するものとして、在宅療養への移行を支援します。
4. 嚥下内視鏡によって直接的な嚥下機能評価を実施し、適切な食事形態の示唆・誤嚥の防止等を行います。

□ 主な対象疾患

疾患により、またその治療に伴う安静等によって障害される身体機能の回復を目指して、各科各種疾患に対応します。

疾患別リハビリテーション：脳血管疾患（Ⅰ）、心大血管疾患（Ⅰ）、運動器（Ⅰ）、呼吸器（Ⅰ）、がん、廃用症候群（Ⅰ）

歯科口腔外科



診療科長
吉田 和也

専門医資格等 日本口腔外科学会専門医・指導医
日本顎関節学会専門医・指導医
日本補綴歯科学会専門医・指導医
日本睡眠学会 認定歯科医・評議員
日本睡眠歯科学会 専門医・指導医・評議員
大阪歯科大学 歯学博士
京都大学 医学博士
厚生労働省 歯科医師臨床研修 指導歯科医
専門分野 歯科口腔外科一般
得意疾患 睡眠時無呼吸症候群、顎口腔領域の不随意運動
(ジストニア、ジスキネジア、ブラキシズム)、顎顔面補綴

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	河岡 有美	日本口腔外科学会 認定医、日本口腔科学 認定医、日本小児口腔外科学会 認定医・ 指導医厚生労働省 歯科医師臨床研修 指導歯科医	口腔外科一般	口腔ケア
レジデント	木塚 慎哉		口腔外科一般	
レジデント	中井 美希		口腔外科一般	
非常勤医師	下郷 麻衣子	日本口腔外科学会認定医 日本口腔外科学会認定医・評議員	口腔外科一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本口腔外科学会認定機関 日本顎関節学会認定機関 日本睡眠学会認定機関 日本補綴歯科学会認定機関
-------	---

1. 迅速で的確な診断を心がけます。
2. 複数の治療法を呈示し、十分に話し合った後、最適な治療を行います。
3. 治療にあたっては低侵襲を心がけます。
4. 口腔ケアや口腔衛生指導によって、治療と予防を実践します。

□ 主な対象疾患

親知らず(智歯)、埋伏歯の抜歯・口の中の腫瘍(腫れ物)、のう胞(膿の袋)・顎の骨折や歯、口腔の外傷・顎関節症、その他の顎関節疾患・顎変形症(歯並び、咬み合わせ、受け口など顎の形の異常)・口腔乾燥や唾液の異常、舌痛症(舌のヒリヒリする痛みや違和感)・顎口腔領域の手術後や外傷による顎顔面欠損の顎顔面補綴治療・手術、放射線治療、化学療法前後の口腔衛生指導、口腔ケア、歯茎、顎の骨の炎症・口内炎、舌や顎の炎症・入院患者さんあるいは全身疾患(心疾患、糖尿病、高血圧、低血柱療法中など)のある外来患者さんの歯科治療

専門で取り扱っている疾患

- ・睡眠呼吸障害(睡眠時無呼吸症候群、いびき、上気道抵抗症候群)
- ・顎口腔領域の不随意運動(ジストニア、ブラキシズム、ジスキネジアなど)
- ・顎関節疾患(顎関節症、顎関節脱臼、咬筋肥大症、筋突起過長症、咀嚼筋腱・腱膜過形成症など)

- ・顎口腔領域の手術後や外傷による顎顔面欠損

□ 診療（業務）内容

当科は日本口腔外科学会の認定機関であるばかりではなく、日本顎関節学会、日本睡眠学会、日本補綴歯科学会の認定機関でもあり、顎口腔領域のさまざまな疾患の総合的な診断と一貫した治療が可能です。多くの大学医学部あるいは歯学部附属病院や総合病院から多数の患者さんが紹介受診されています。一般的な口腔外科的治療や救急対応、有病者（心疾患、糖尿病、高血圧、抗血栓療法中、ビスフォスフォネート系薬剤使用中など）の歯科治療、入院患者さん（一般病棟、ICU、緩和ケア病棟）の歯科治療や手術前後の口腔ケアを行います。口腔外科的治療とは主に口腔腫瘍、顎顔面外傷、顎関節疾患などの手術を要する疾患に対して行われる治療を指します。

専門で取り扱っている疾患と治療として睡眠呼吸障害（睡眠時無呼吸症候群、いびき、上気道抵抗症候群）に対する口腔内装置治療（マウスピース）、顎関節疾患（顎関節症、顎関節脱臼、咬筋肥大症、筋突起過長症、咀嚼筋腱・腱膜過形成症など）の補綴的あるいは口腔外科的治療、インプラント治療、顎口腔領域の不随意運動（ジストニア、ジスキネジア、ブラキシズムなど）の内服治療、局所麻酔薬によるブロック療法（MAB療法）、ボツリヌス療法や口腔外科的手術療法、顎口腔領域の手術後や外傷による顎顔面欠損の顎顔面補綴治療などがあります。口と顎の領域のジストニアを専門で治療や研究を行っている科は全国的にも例がありません。患者さん用のサイト「顎口腔領域の不随意運動」(<http://sites.google.com/site/oromadibulardystonia/>) を開設し、日本全国および海外からも問い合わせ、受診が急増しております。治療のため当院に入院していただくメディカルツーリズム（医療観光）により遠方からも患者さんに受診していただけるよう願っております。

□ 診療実績（令和2年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数	1日平均患者数
1.3名	102名	4.6日	39.2名

主な手術・検査の件数など

抜歯術	嚢胞摘出術	腫瘍摘出術	骨折手術	インプラント手術
831件	62件	49件	11件	25件
顎変形症手術	顎関節手術			
8件	8件			

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第7回日本ボツリヌス治療学会学術大会	CAD/CAMによる注射針誘導ガイドを用いた第二枝の三叉神経痛に対するボツリヌス治療	吉田 和也	東京	2020/9/18
国内学会発表	ZUNAGERD会オンラインセミナー	歯科口腔外科疾患への臨床応用	吉田 和也	web	2021/3/2
国内学会発表	緩和・支持・心のケア合同学術大会2020	ボツリヌス毒素の口腔領域への臨床応用	下郷 麻衣子, 織田 和博, 土屋 宣之, 塙 健, 吉田 朱美, 江藤 久美子, 坂根 直樹	京都	2020/8/9
国内学会発表	第16回日本口腔外科学会総会・学術大会	シンポジウム「がん患者を口腔から支援する」『歯科併設のない病院への訪問歯科診療による緩和ケアと和ケア病棟での口腔管理嚥下のための口腔	下郷 麻衣子	名古屋	2019/4/27

国内学会発表	令和元年度京都南口腔ケアセンター所員衛生士ステップアップセミナー 1回目	訪問歯科衛生士のためのステップアップセミナープロジェクト	下郷 麻衣子, 徳地 正純, 上田 賢, 樹 悦子	京都	2019/5/25
--------	--------------------------------------	------------------------------	---------------------------	----	-----------

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	吉田 和也	ボツリヌス毒素の口腔領域への臨床応用	日本歯科麻酔学会雑誌	48	2	33-40	2020/4	総説	日本歯科麻酔学会
和文	吉田 和也	顎口腔ジストニア	Clinical Neuroscience	38	9	1118-1121	2020/9	総説	中外医学者
和文	吉田 和也	がん治療における口腔ケア	医療	74	7	322-324	2020/9	会議録	国立医療学会
英文	吉田 和也	Development and validation of a disease-specific oromandibular dystonia rating scale (OMDRS)	Frontiers in Neurology	11		583177	2020/11	原著論文	
英文	吉田 和也	Clinical characteristics of functional movement disorders in the stomatognathic system.	Frontiers in Neurology	11		123	2020/3	原著論文	
英文	岡村 美里, 藤田 浩平, 山本 佑樹, 金井 修, 中谷 光一, 堀本 かな, 橋本 雅之, 澤井 聡, 下郷 麻衣子, 吉田 和也, 三尾 直士	Single-center analysis of antiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaw in lung cancer patients.	Asia-Pacific Journal of Clinical Oncology	16	6	380-384	2020/12	原著論文	
英文	吉田 和也	Behandlungsstrategien bei oromandibulärer Dystonie	Fortschritte der Neurologie · Psychiatrie	89			2021	原著論文以外	
英文	吉田 和也	Prevalence and incidence of oromandibular dystonia: an oral and maxillofacial surgery service-based study.	Clinical Oral Investigations				2021	原著論文	
英文	下郷 麻衣子, 浅井 啓太, 横道 直佑, 永野 恵司, 坂根 直樹	Diagnostic accuracy of patient-reported dry mouth as a predictor for oral dryness in terminally ill cancer patients.	Supportive Care in Cancer				2020/9	原著論文	
英文	吉田 和也	Development and validation of a disease-specific oromandibular dystonia ratingscale (OMDRS)	Frontiere in Neurology	11		123	2020/3		
英文	吉田 和也	Mouth opening retaining appliance after coronoidotomy for the treatment of trismus: effects on pain during postoperative training and maximal extent of mouth opening.	Clinics in Surgery	5		2737	2020/2		

救命救急センター（救命救急科）



診療部長
診療科長
笹橋 望

専門医資格等

日本救急医学会専門医・指導医
日本外科学会認定医
日本胸部外科学会認定医・
指導医
日本DMAT隊員



救命救急センター長
西山 慶

令和2年12月31日まで

専門医資格等

日本救急医学会専門医・指導医 日本集中治療医学会専門医
日本循環器学会専門医 日本救急医学会評議員
日本集中治療医学会CCU委員会 委員
日本集中治療医学会 社会保険委員会 委員
日本救急医学会 学会主導研究評価特別委員会 委員
日本循環器学会 蘇生科学小委員会 委員
FAHA

京都府高度救急業務推進協議会 委員

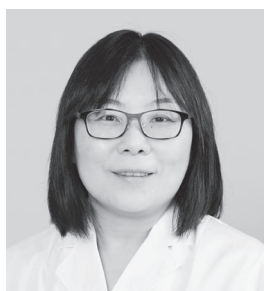
京都大学医学部 臨床教授

京都府立医科大学 臨床教授

福井大学医学部 客員准教授

専門分野

救急医学



救命救急センター長

令和3年1月1日より

救命救急診療科長

寺嶋 真理子

専門医資格等

日本救急医学会専門医・指導医
日本集中治療医学会専門医
日本外科学会専門医・指導医
日本救急医学会評議員
日本Acute Care Surgery学会認定医
Acute Care Surgery学会評議員
日本腹部救急医学会評議員
日本医師会認定産業医・スポーツ医
ICLSインストラクター/ディレクター
JATECインストラクター
JPTECインストラクター
日本DMAT隊員

専門分野

集中治療学

得意疾患

外科・外傷

集中治療

栄養療法



救命集中治療科長

別府 賢

専門医資格等

日本救急医学会専門医・指導医
日本集中治療医学会専門医
日本麻酔科学会指導医・専門医・認定医
麻酔科標榜医
日本集中治療医学会評議員
FCCSインストラクター
ICLSインストラクター/ディレクター
JATECインストラクター

専門分野

救急医学

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	田中 博之	日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医 日本内科学会内科認定医/総合内科専門医 日本医師会認定産業医 呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医/指導医 社会医学系・専門医/指導医 ICLSインストラクター /ディレクター ITLSインストラクター JATECインストラクター JMECCインストラクター /ディレクター JPTECインストラクター 日本DMAT隊員・統括DMAT	救急医学 呼吸管理 災害医療	体外循環 (W ECMO)を用いた重症呼吸管理
医 師	吉岡 崇			
医 師	川口 理佐	日本麻酔科学会専門医・認定医	救急医学 麻酔科学	
医 師	濱中 訓生	日本救急医学会専門医/指導医 日本集中治療医学会専門医 日本医学放射線学会 放射線診断専門医 日本内科学会認定内科医 麻酔科標榜医	救急医学 放射線医学	IVR
医 師	宇仁田 亮	小児科専門医・指導医 日本集中治療医学会専門医 麻酔科専門医・麻酔科認定医 麻酔科標榜医	小児科学 麻酔科学 集中治療学	
医 師	益満 茜	日本救急医学会専門医 日本DMAT隊員統括DMAT ICLSインストラクター 総合内科専門医 JPTECインストラクター JATECインストラクター	救急医学 災害医療	
医 師	松成 美恵	内科認定医、麻酔科標榜医	救急医学	
医 師	吉田 浩輔	日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医	救急医学 集中治療学	
医 師	杉谷 勇季	日本内科学会認定内科医 JMECC/ICLSインストラクター 厚生労働省認定臨床研修指定医 緩和ケア研修会終了 日本循環器学会PCASセミナー修了	循環器 集中治療 内科救急	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本救急医学会 専門医・指導医認定施設 日本集中治療医学会 専門医認定施設
-------	--

1. 京都南部の重症患者を受け入れる拠点として活動。
2. 重症多発外傷、重度熱傷、敗血症性ショックなど重症患者を集中治療室にて管理。
3. 循環器、脳卒中など専門各科と協力し、質の高い医療を提供。
4. 積極的に研修医に救急外来で初期対応をさせ、教育。

□ 主な対象疾患

敗血症/重症感染症、多発外傷、重症熱傷、急性呼吸不全、中毒

□ 診療(業務)内容

救急搬送症例に対する初期外来対応、専門診療科紹介、入院加療など
 重症救急患者への集中治療
 院内重症患者に対する集中治療
 他院からの重症紹介症例の受け入れ
 多施設との症例検討会や情報交換
 各種災害訓練の実施と参加
 蘇生講習などへの参加と指導
 研修医教育(京都大学、京都府立医科大学病院研修医を含む)
 臨床医学教育(京都大学、京都府立医科大学、同志社大学、橘大学)
 コメディカルに対する教育研修
 市民に対する救急啓蒙教育
 消防局との連携ならびに情報交換
 医師会、他病院との連携ならびに情報交換

□ 診療実績(令和2年度)

入院患者数

1 日 平 均 患 者 数	新 入 院 患 者 数	平 均 在 院 日 数
12.3名	1188名	6.0日

外来患者数

1 日 平 均 患 者 数
8.8名

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第15回 京都医療センター医療連携フォーラム	救命救急センターにおけるCOVID-19診療について	寺嶋 真理子	京都	2020/11/28
国内学会発表	第16回 京都医療センター医療連携フォーラム	救命救急センターにおける重症呼吸器不全に対するECMOを用いた集中治療戦略	吉岡 崇	京都	2020/11/28
国内学会発表	第48回日本集中治療医学会学術集会	水中毒の治療中に横紋筋融解症を併発した1例	益満 茜, 寺嶋 真理子, 生野 智美, 中田 康貴, 杉谷 勇季, 松成 美恵, 川口 理佐, 吉岡 崇, 西山 慶, 笹橋 望	香川	webオンデマンド配信 2021/2/12-3/25
国内学会発表	伏見消防救急症例検討会	社会復帰した若年女性CPAの1症例 SpO2が異常低値を示した、間質性肺炎患者の1症例 頭部打撲後しばらくしてから意識消失を起こした1症例	益満 茜, 吉岡 崇, 田中 博之, 寺嶋 真理子	京都	2020/9/9

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	杉谷 勇季, 西山 慶	【循環管理2021-'22-ガイドライン、スタンダード、論点そして私見-】どのように病態把握すべきか 成人 心電図	救急・集中治療 (1346-0935) x	32	4	1069 ~ 1079	2020/12		総合医学社
和文	寺嶋 真理子	急性食道粘膜病変 (AEML) を契機に判明した急性カフェイン中毒の症例	日本救急医学会雑誌 (0915-924X)	31	11	1519	2020/11		日本救急医学会
和文	西山 慶	学会主導研究の概要と目指すもの	日本救急医学会雑誌 (0915-924X)	31	11	938	2020/11		日本救急医学会
和文	西山 慶, 中田 康貴, 杉谷 勇季, 松成 美恵, 益満 茜, 宇仁田 亮, 田中 博之, 濱中 訓生, 寺嶋 真理子, 別府 賢, 笹橋 望	テロリズムにより生じた多数熱傷者に対するトリアージ、診療、広域搬送の経験	日本救急医学会雑誌 (0915-924X)	31	11	889	2020/11		日本救急医学会
和文	西山 慶, 吉田 浩輔, 宇仁田 亮, 益満 茜, 濱中 訓生, 川口 理佐, 吉岡 崇, 田中 博之, 別府 賢, 寺嶋 真理子, 笹橋 望	すべての心停止後患者の社会復帰を目指して 院外心肺停止患者に対する急性期頭部CTの人工知能 (Artificial intelligence; AI) 解析	日本救急医学会雑誌 (0915-924X)	31	11	715	2020/11		日本救急医学会
和文	西山 慶, 吉田 浩輔, 別府 賢	イメージでつかむAI	日本集中治療医学会雑誌 (1340-7988)	27	1	387	2020/9		日本集中治療医学会
和文	西山 慶	心臓血管系集中治療医をどのように育成すべきか? 循環器集中治療で今何が起きているのか 虚血性心疾患から心不全へ	日本集中治療医学会雑誌 (1340-7988)	27	1	359	2020/9		日本集中治療医学会
和文	西山 慶, 川口 理佐, 松成 美恵, 益満 茜, 寺嶋 真理子, 濱中 訓生, 吉田 浩輔, 別府 賢, 笹橋 望	救急集中治療領域における働き方改革~我々の取り組み~「共働き医師」を支えるために 救命救急ICUの労務管理における実態	日本集中治療医学会雑誌 (1340-7988)	27	1	341	2020/9		日本集中治療医学会
和文	西山 慶, 土屋 旬平, 川口 理佐, 松成 美恵, 益満 茜, 南迫 一靖, 勅使川原 学, 村上 博基, 吉岡 清行, 別府 賢	AIの臨床応用を科学する 救急集中治療におけるCTの人工知能 (Artificial intelligence; AI) 解析	日本集中治療医学会雑誌 (1340-7988)	27	1	275	2020/9		日本集中治療医学会

和文	村上 博基, 土屋 旬平, 濱中 訓生, 川口 理佐, 別府 賢, 笹橋 望, 西山 慶	保存的加療にて救命が 可能であったアルカリ 製剤服用による腐食性 食道穿孔の1症例	日本救急医学会 雑誌 (0915- 924X)	31	6	214-220	2020/6		日本救急医学 会
和文	吉田 浩輔, 西山 慶	【最新 救急医療機器 総覧 2020】r SO2モ ニター	救急医学 (0385 -8162)	44	7	760-763	2020/6		へるす出版
和文	吉田 浩輔, 西山 慶	【早わかり診療ガイドラ イン100-エッセンス& リアルワールド】救急 蘇生 JRC蘇生ガイドラ イン2015	Medicina (0025 -7699)	57	4	8-11	2020/4		医学書院
和文	田中 博之	脊柱運動制限 (Spinal Motion Restriction:SMR) とし ての頸椎カラー・ロン グボード固定による呼吸 抑制	日本救急医学会 雑誌 (0915- 924X)	30	9	727	2020/9		日本救急医学 会
和文	益満 茜	避難所一斉PCR検査が 避難者の不安と風評被 害を取り除いた	災害医学会誌				2020/3		災害医学会
和文	西山 慶	編集	交通外傷 メカ ニズムから診療 まで				2020/6/25		名古屋大学出 版会
和文	西山 慶, 寺嶋 真理子	2 各論-交通外傷の診療 第13章 交通外傷の合 併症	交通外傷 メカ ニズムから診療 まで			234-242	2020/6/25		名古屋大学出 版会
和文	別府 賢	2 各論-交通外傷の診療 第2章 交通外傷の患 者評価 (重症度評価法)	交通外傷 メカ ニズムから診療 まで			109-113	2020/6/25		名古屋大学出 版会
和文	別府 賢	2 各論-交通外傷の診療 第12章 高齢者の交通 外傷	交通外傷 メカ ニズムから診療 まで			223-233	2020/6/25		名古屋大学出 版会
和文	吉田 浩輔	敗血症性ショック、輸 液蘇生の後どうするか: カテコラミン・バソプレ シン・ステロイド	レジデントノー ト	vol.22	No.18		2020/3/1		羊土社
英文	濱中 訓生, 別府 賢, 寺嶋 真理子, 笹橋 望, 西山 慶	Cerebral oxygenation monitoring during resuscitation by emergency medical technicians:a prospective multicenter observational study	Acute Medecine & Surgery (2052 -8817)	7	1	6-6	2020/6		
英文	益満 茜	The Wakayama- Immediate Stroke Life Support Course: Achieving Successful Training on the Stroke Emergency System without using Mechanical Medical Training Simulators	Asian Journal of Neurosurgery	15	4	970-975	2020/10		
英文	寺嶋 真理子	Interleukin-18 levels and mouse Leydig cell apoptosis during lipopolysaccharide- induced acute inflammatory conditions.	J Reprod Immunol.	141		103167	2020/9		

健診センター



健診センター長

田上 哲也

令和3年3月31日まで

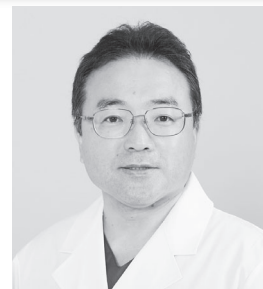
専門医資格等

日本内科学会 認定内科医・総合
内科専門医・指導医、近畿支部評議員
日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)
専門医・指導医・教育責任者、評議員
日本甲状腺学会 専門医、評議員、理事
厚生労働省 臨床研修指導医
京都大学医学部 臨床教授・講師
(非常勤)

京都大学 医学博士

専門分野 内科、内分泌・代謝

得意疾患 内分泌・代謝疾患、甲状腺疾患



健診センター長

宮本 心一

令和3年4月1日より

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
副健診センター長	島 伸子	日本消化器病学科 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本内科学会 認定内科医 日本消化器がん検診学会 認定医(胃) 日本人間ドック学会 人間ドック健診認定医 日本医師会 認定産業医 日本ヘリコバクター学会 H.pylori (ピロリ菌) 感染症認定医	消化器内科	消化器疾患、 消化器内視鏡検査
医 師	難波 綾	日本内科学会 総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科) 専門医	内分泌・代謝内科	内分泌・代謝疾患
非常勤医師	前川 高天	日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本内科学会 認定内科医 日本ヘリコバクター学会 H.Pylori (ピロリ菌) 感染症認定医 京都府胃がん内視鏡検診運営委員会 委員長 京都大学医学博士	消化器内科	消化管疾患 消化器内視鏡検査

□ 診療科の特徴

食生活の乱れや過度の飲酒、運動不足、喫煙など不適切な生活習慣の積み重ねにより、高血圧や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病が急激に増加しています。生活習慣病の多くは、自覚症状がほとんどないため、気付かないうちに動脈硬化が進行し、心筋梗塞や脳卒中などの重大な結果を招いてしまうことも少なくありません。生活習慣病は、まず予防すること、そして早期発見と早期治療が大切です。また、増加の一途をたどっている様々な臓器に発生する癌においても、予防や早期発見・早期治療が重要であることはいうまでもありません。京都医療センター健診センターは、生活習慣病や癌の早期発見に貢献しています。特に、癌の全身検索に適しているPET-CT健診や、苦痛の少ない経鼻内視鏡を用いた胃がん検診などを行い、癌の早期発見に力を入れています。ご自身だけでなく、大切なご家族の健康を守るために、定期的に健診を受けられることをお勧めします。

□ 主な対象疾患

高度で贅沢な設備とスタッフ

京都医療センターは各種の高度専門医療施設に指定されていますので、それぞれの診療設備については高度

かつ精密な検査機器が配備されています。また、各学会認定の専門医が多数常勤しており、専門的かつ高度な診断が可能となっています。当健診センターでは、最高の設備・スタッフを駆使することにより、みなさまに安心していただける健診を提供しています。

健診センター専用棟での迅速な健康診断

平成16年5月に完成した健診センター専用棟には、待合ロビー、診察室、心電図室、超音波検査室、肺機能検査室、X線一般撮影、内視鏡検査室がすべて完備されていますので、それぞれの検査・診察が効率的かつ迅速にすすめることが可能となっています。また、待ち時間の短縮など、受診されるみなさまのご負担をできるだけ軽減できるよう、常にこころがけていますので、是非ご利用いただきますよう職員一同お待ちしております。

1. より“迅速”に、より“的確”に

健診センター専用棟には、診察室、心電図、腹部超音波検査装置、X線撮影装置、上部消化管内視鏡が完備されていますので、それぞれの検査を迅速かつ効率的にすすめることが可能になっています（コース、オプション内容によっては、中央診療棟での検査、診察になります）。また、各学会の認定医・専門医が多数在籍していますので、より専門的・的確な診断が可能になっています。

2. “点”から“線”の健診

従来の、結果を眺めるだけの“点”の健診ではなく、継続的な健康管理に役立つ“線”の健診を目指しています。特にここ数年来問題視されているメタボリックシンドローム、喫煙関連疾患、ヘリコバクターピロリ菌感染症については、各診療科の専門外来と協力し、継続的な診療を受けていただけるよう心がけています。

3. より“確実”な早期発見

各領域の悪性疾患については、最近の低侵襲治療の発達で、その早期発見はより重要になっています。また近年、がんに対する様々なリスクファクターが明らかにされており、これらのリスクを考慮したハイリスク検診の試みも始まっています。当健診センターでは、子宮がん検診に、子宮頸がんのリスクファクターとされるhuman papilloma virus (HPV) 検査を、胃がん検診に血清ペプシノゲン/血中ヘリコバクターピロリ菌抗体検査を、前立腺癌にPSA測定を導入し、また、2014年10月からPETがん検診を開始し、各疾患の早期発見を目指しています。

4. より“楽”な検査

胃がんの早期発見には内視鏡検査（胃カメラ検査）の有用性が指摘されていますが、受診者にとっては、これまで“つらい”検査の一つでした。当健診センターでは極細径内視鏡による経鼻内視鏡検査を導入し、受診者にとって“つらい”検査から“楽な”検査への転換を図っています。

〈健診コース〉

基本コース	★基本コース（一般コース・脳ドック・レディースコース）に加えて、各種オプション（肺：胸部CT検査、婦人科：診察・US、乳がん：マンモグラフィなど）を受診者の希望に応じて実施しています。また、2014年度からPET健診を、2015年度から胃がん検診を始めました。 ★血液サラサラ健診 血液は体内に必要な栄養素、酵素等を運び、老廃物を取り除く働きをします。 生活習慣病予防のために「血液サラサラ健診」を受けてみませんか？ ★鼻から行う内視鏡 鼻から行う内視鏡をご存じですか？ 経鼻内視鏡検査は、口からの検査に比べ検査時の吐き気、不快感が少ないものとなっています。
一般健診	
脳ドック	
レディース	
オプション	
脳オプション	
動脈硬化オプション	
血液サラサラ度オプション	
骨粗鬆症オプション	
各種がんオプション：肺、前立腺、乳腺、子宮	
PET健診	

〈サリドマイド健診〉

先行の「全国のサリドマイド胎芽病患者の健康、生活実態に関する研究班」の研究成果を踏まえ、中年期を向かえた患者の今後の医療上・生活上の問題点を明確にし、有効な医療及び支援のあり方を検討する。また、外国での患者に対する医療の取組みに関する調査も進め、国際的な医療情報交換を推進し、患者に対する支援のあり方、取組みを世界的規模で検討していく。

京都医療センター健診センターでは、西日本居住者を対象に健診を実施している。

□ 診療実績（令和2年度）

〈受診者数〉

基本健診	一般健診	生活習慣病	脳ドック	レディース	PET検診	胃がん検診	マンモグラフィ検診	サリドマイド健診
2012年度	766	11	27	30	—	—	—	10
2013年度	802	6	34	16	—	—	—	8
2014年度	965	6	25	27	11	—	—	8
2015年度	965	2	29	20	47	4	—	7
2016年度	992	8	22	22	65	41	—	9
2017年度	1069	—	25	21	79	70	—	8
2018年度	1057	—	23	23	97	92	0	7
2019年度	1036	—	16	17	100	141	16	7
2020年度	942	—	9	14	82	104	16	2

オプション	脳	簡易脳	動脈硬化	血液流動性	骨粗鬆症
2012年度	118	—	94	36	101
2013年度	122	—	85	43	93
2014年度	144	—	135	88	135
2015年度	135	—	133	69	139
2016年度	144	—	133	72	123
2017年度	148	3	137	68	122
2018年度	144	1	123	63	114
2019年度	147	7	108	—	124
2020年度	129	2	109	—	99

がんオプション	肺がん	前立腺がん	乳がん	子宮がん
2012年度	48	161	183	140
2013年度	54	175	197	136
2014年度	76	207	221	138
2015年度	65	215	227	152
2016年度	82	219	212	146
2017年度	79	241	253	184
2018年度	77	208	243	194
2019年度	73	237	244	198
2020年度	59	209	208	179

胃がんリスク検診	A群	B群	C群	D群	E群(除菌後)	計	当院での除菌者数
2014年度	616	88	56	9	168	937	102
2015年度	617	46	17	5	254	939	44
2016年度	549	45	42	60	311	1007	28
2017年度	554	49	51	72	341	1067	38
2018年度	593	38	43	57	394	1125	29
2019年度	556	41	26	73	401	1097	20
2020年度	499	55	15	53	331	953	5

PPI内服、胃手術後、腎機能異常を除外

がん検診

上部消化管検査	内視鏡			透視	上部消化管 検査総件数	がん発見率		
	経鼻	経口	合計			内視鏡	透視	トータル
2013年度	244 (0)	206 (5)	450 (5)	312 (0)	762 (5)	1.11	0.00	0.66
2014年度	389 (1)	410 (2)	799 (3)	152 (0)	951 (3)	0.38	0.00	0.32
2015年度	458 (0)	390 (2)	848 (2)	105 (0)	953 (2)	0.24	0.00	0.21
2016年度	541 (1)	393 (2)	934 (3)	94 (0)	1028 (3)	0.32	0.00	0.29
2017年度	678 (0)	425 (5)	1103 (5)	—	1103 (5)	0.45	—	0.45
2018年度	702 (1)	413 (2)	1115 (3)	—	1115 (3)	0.27	—	0.27
2019年度	741	395 (1)	1136 (1)	—	1136	0.07	—	0.07
2020年度	691	298	989	—	989		—	

() 内は発見された胃癌数

大腸がん検診	便潜血検査		要精検者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)	がん	がん発見率 (%)
	件数	陽性数						
2013年度	781	73	73	9.3	37	50.7	2	0.26
2014年度	962	162	157	16.3	121	77.0	1	0.10
2015年度	995	145	140	14.9	100	71.4	5	0.50
2016年度	1034	128	117	11.3	75	64.1	4	0.39
2017年度	1077	121	117	10.9	80	68.4	2	0.19
2018年度	1075	108	95	8.8	58	61.1	3	0.28
2019年度	1050	129	112	10.7	62	55.4	3	0.38
2020年度	940	48	45	4.8	39	86.7		

前立腺がん検診	PSA		要精検者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)	がん	がん発見率 (%)
	件数	陽性数						
2015年度	215	8	8	3.7	6	75.0	1	0.47
2016年度	255	11	7	2.7	6	85.7	0	0.00
2017年度	241	15	8	3.3	8	100	2	0.83
2018年度	208	10	4	1.9	4	100	3	1.92
2019年度	237	10	6	2.5	5	83.3	0	0.00
2020年度	209	22	16	7.7	12	75.0	2	0.96

子宮がん検診	頸部細胞診		要精検者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)	異形成・ がん	異形成・がん 発見率 (%)
	件数	陽性数						
2015年度	172	4	4	2.3	4	100	0	0.00
2016年度	173	3	3	1.7	3	100	1 (CIN3)	0.58
2017年度	209	1	1	0.5	1	100	0	0.00
2018年度	221	1	1	0.5	1	100	0	0.00
2019年度	219	1	1	0.5	1	100	1 (CIN3)	0.46
2020年度	195	3	3	1.5	2	66.7	1 (CIN2), 1 (CIN1)	0.51

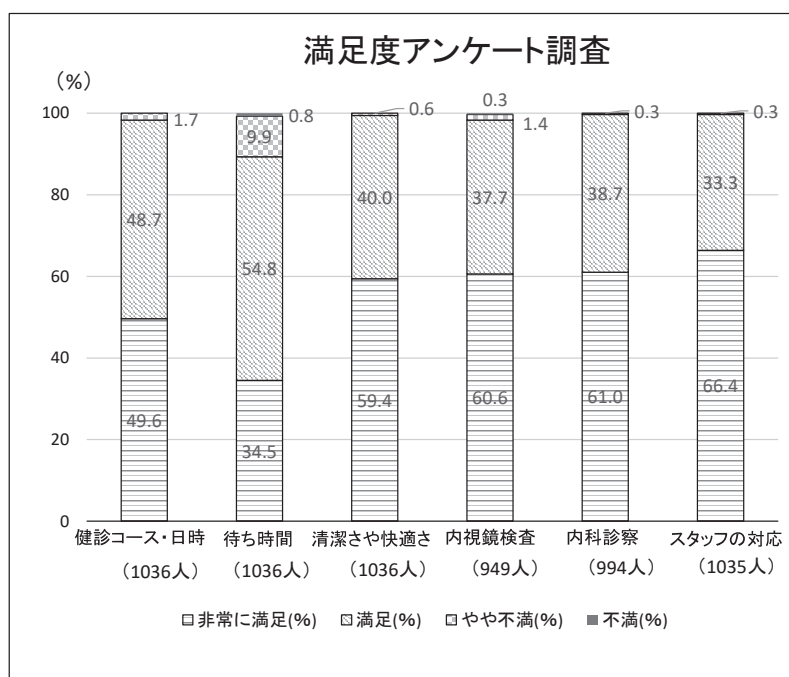
乳がん検診	マンモグラフィー検査		要精検者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)	がん	がん発見率 (%)
	件数	陽性数						
2015年度	248	99	99	39.9	86	86.9	0	0.00
2016年度	239	69	69	28.9	56	81.2	1	0.42
2017年度	278	80	80	28.8	66	82.5	1	0.36
2018年度	270	51	50	18.5	40	80.0	1	0.37
2019年度	281	40	40	14.2	31	77.5	0	0.00
2020年度	240	43	43	17.9	42	97.7	1	0.42

PET検診	件数	発見腫瘍
2014年度	11	0
2015年度	47	2(肺癌1、乳癌1)
2016年度	65	0
2017年度	79	0
2018年度	97	1(大腸癌)
2019年度	100	0
2020年度	82	0

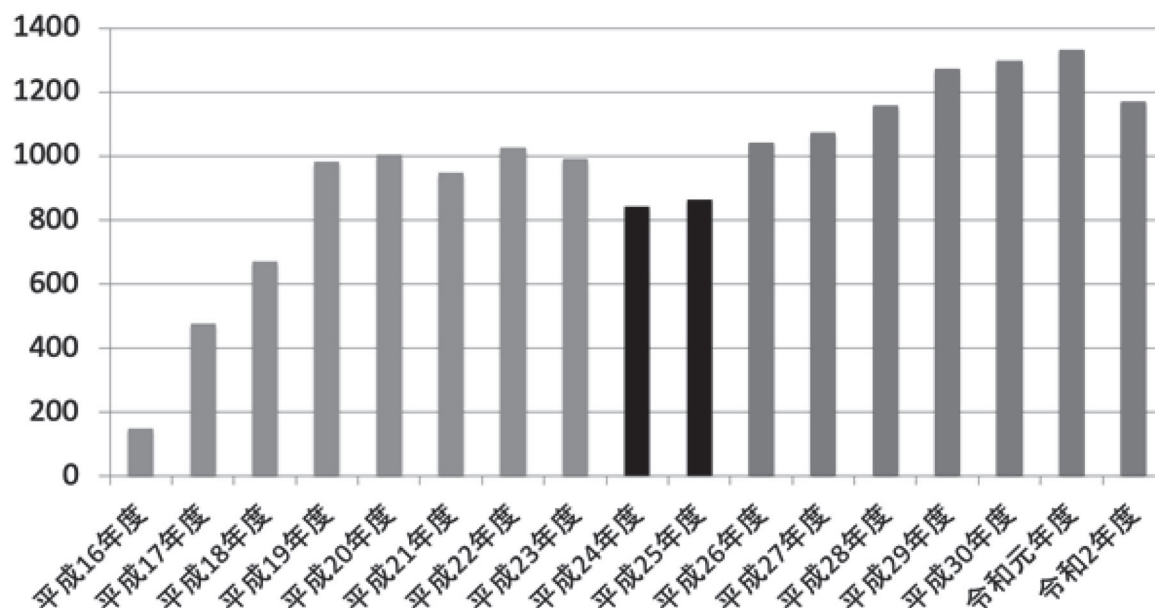
	咽喉頭癌	食道表在癌	早期胃癌	十二指腸癌	大腸癌	乳癌	子宮癌	肺癌	前立腺癌	その他の腫瘍性病変
2013年度	1	1	5	0	2	0	0	0	0	0
2014年度	1	1	3	0	1	1	0	1	0	0
2015年度	0	1	2	0	5	1	0	1	1	白血病1
2016年度	0	0	3	2	4	1	1(CIN3)	0	0	0
2017年度	1	0	5	0	2	1	0	0	2	甲状腺癌2、 膀胱癌1、 胆嚢癌1、 胸腺腫1
2018年度	0	0	3	0	3	1	0	1	3	胃神経内分泌腫瘍1、 十二指腸腫瘍1
2019年度	0	1	1	0	4	0	1(CIN3)	0	0	胃腺癌上皮型腺腫1、甲状腺癌1、 悪性リンパ腫1、 胃MALTリンパ腫1、 十二指腸腺腫1、 胆嚢癌1
2020年度	0	0	4	0	2	1	1(CIN2)、 1(CIN1)	0	1	胃腺癌上皮型腺腫3、 腎細胞癌1、 下垂体腫瘍1

満足度アンケート調査

	非常に満足(%)	満足(%)	やや不満(%)	不満(%)	
健診コース・日時	49.6	48.7	1.7	0	100
待ち時間	34.5	54.8	9.9	0.8	100
清潔さや快適さ	59.4	40.0	0.6	0	100
内視鏡検査	60.6	37.7	1.4	0.3	100
内科診察	61.0	38.7	0.3	0.0	100
スタッフの対応	66.4	33.3	0.3	0	100



年度別年間総受診者数(人)



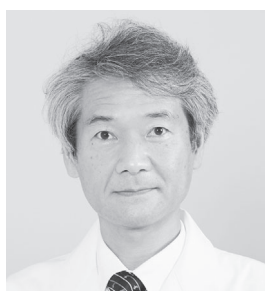
□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	島 伸子, 前川 高天, 勝島 慎二	京都医療センター健診センター方式"パラパラ動画風静止画撮影法"の紹介～胃がん内視鏡検診ダブルチェックの精度向上を目指して～	第59回消化器がん検診学会総会	福岡 (Web開催)	2020.9.30 ～ 10.01	2020.9.30 ～ 10.01
	前川 高天	京都市の胃がん内視鏡検診における基準静止画像55(卓上版)と静止画像撮影法	令和2年度京都府対策型胃がん内視鏡検診従事者研修会	京都	2020.11.28	2020.11.28

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文総説・著者 (筆頭著者)	田上 哲也	Internal Medical Care-Endocrine and Metabolic Disorders	Guide for the Management of Thalidomide Embryopathy 2020			34-36	日ノ下文彦	医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	2020.5
英文総説・著者 (筆頭著者)	島 伸子, 前川 高天	Internal Medical Care-Esophagogastrroendoscopy (EGD)and Gastrointestinal Diseases	Guide for the Management of Thalidomide Embryopathy 2020			48-50	日ノ下文彦	医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	2020.5

臨床研究センター



臨床研究センター長
八十田 明宏

専門医資格等 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医
日本内科学会 総合内科専門医
専門分野 内科・内分泌代謝・骨代謝

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野
展 開 医 療 研 究 部 長	長谷川 浩二	日本循環器学会 認定循環器専門医 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 アメリカ心臓協会専門医 (FAHA) アメリカ心臓協会専門医 (FACC) 日本禁煙科学会認定 上級禁煙支援医 日本臨床分子医学会 評議員 日本心不全学会 評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 国際心臓研究学会 (ISHR) 評議員 日本内科学会近畿支部 評議員 日本禁煙科学会 治療分科会長 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員 認定NPO法人日本心血管協会元理事長 日本動脈硬化学会評議員禁煙推進部会委員 国際心筋症・心筋炎・心不全学会幹事 国際心血管薬物療法学会 (ISCP) 常任理事・元理事長 世界心臓連合タバコ専門家グループ委員 京都大学医学博士 大阪医科大学非常勤講師 静岡県立大学客員教授 京都大学医学部臨床教授	心不全、虚血性心疾患、 心血管危険因子管理・ 特に禁煙指導、心血管 展開医療、薬物療法に 関する研究
内 分 泌 代 謝 高 血 圧 研 究 部 長	浅原 哲子	日本内科学会 指導医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本神経内分泌学会 評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 日本動脈硬化学会 認定動脈硬化専門医・評議員 日本病態栄養学会 評議員 日本抗加齢医学会 専門医 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医・指導医	糖尿病、肥満症(メタボ リックシンドローム) 疾 患、内分泌代謝内科、予 防医学、遺伝診療

		日本糖尿病学会近畿支部 評議員 日本糖尿病生活習慣病ヒューマンデータ学会 評議員 日本性差医学・医療学会 評議員 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師 帝京大学医学部 臨床研究医学講座特任教授 滋賀医科大学 社会医学講座 公衆衛生学部門 客員教授 同志社大学 スポーツ健康科学部 客員教授 九州大学 医学研究院病態制御内科学分野 非常勤講師 国立循環器病研究センター 客員研究員 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター フェロー	
予 防 医 学 研 究 室 長	坂 根 直 樹	日本内科学会 認定内科医 京都府立医科大学医学博士	糖尿病、予防医学
研 究 室 長 (先 端 医 療 技 術 開 発)	和 田 啓 道	日本内科学会 総合内科専門医・指導医 日本循環器学会 認定循環器専門医 認定NPO法人日本心血管協会 評議員 京都大学医学博士	内科・循環器内科、冠動脈疾患、慢性腎臓病、コホート研究、バイオマーカー開発
臨 床 内 分 泌 代 謝 (専 任) 研 究 室 長	日 下 部 徹	日本内科学会 総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 京都大学医学博士 京都大学客員研究員	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、脂肪委縮症、内分泌サルコペニア、遺伝診療
がんゲノム 医 療 研 究 室 長	林 琢 磨	日本人類遺伝学会・遺伝医学臨床研究コーディネーター 日本救急医学会認定 ICLSインストラクター 臨床心理カウンセラー 米国立衛生研究所(NIH)/米国疾病対策センター (CDC) BL3(P3)感染マテリアル取り扱い主任者資格(新興感染症) 東京都/動物取扱管理責任者(同資格) がん展開医療研究会 幹事 学校法人梅花女子大学/大学院 教授(兼務) 医学博士	婦人科腫瘍学 癌ゲノム医療学 腫瘍学 新興感染症学

研究室長 (情報化推進: 併任)	北岡 有喜	社会医学系専門医協会 専門医・指導医 日本産科婦人科学会 専門医・指導医 日本専門医機構 産婦人科 専門医 臨床研修指導医 九州大学医学部 非常勤講師 京都情報大学院大学 客員教授 医学研究所北野病院 第11研究部長(客員) 総務省 地域情報化アドバイザー 地方公共団体情報システム機構経営審議委員会 委員 独立行政法人情報処理推進機構「先進的IoT プロジェクト支援事業」 メンター 平成24年度「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰 地方創生に資する「地域情報化大賞」大賞・総務大臣賞 受賞 第4回「健康寿命をのばそう!アワード」厚生労働省健康局長優良賞 受賞 ITコンソーシアム京都 医療情報化部会 部会長 京都大学博士(医学) 同志社大学博士(政策科学) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会委員・データ利用審査委員会委員 京都府がん医療戦略推進会議 院内がん登録部会 部会長 国立病院等総合情報ネットワーク研究会 副会長	生殖分子生理学・医療情報学・情報システム学・政策科学・公共政策学
研究室長 (分子内分泌代謝: 併任)	田上 哲也	日本内科学会 総合内科専門医・指導医近畿支部評議員 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・教育責任者評議員・近畿支部幹事 日本甲状腺学会 専門医・評議員・理事 厚生労働省 臨床研修指導医 京都大学医学博士 京都大学 臨床教授・非常勤講師	内科・内分泌代謝(甲状腺疾患)
研究室長 (内分泌系腫瘍: 併任)	奥野 博	日本泌尿器科学会 専門医 指導医 日本泌尿器内視鏡学会 代議員 日本生殖医学会 評議員 日本アンドロロジー学会 評議員 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本内視鏡外科学会 技術認定医 日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医 同ロボット支援手術プロテクター(前立腺・腎・膀胱) 京都大学 医学博士 京都大学 臨床教授 関西医科大学 臨床教授	泌尿器科一般 男性学 前立腺癌 ロボット支援・腹腔鏡手術
研究室長 (臨床疫学情報: 併任)	小山 弘	日本内科学会 認定内科医・指導医 京都大学博士(医学) 京都大学医学部臨床教授 日本内科学会専門医部会役員 日本内科学会専門医部会近畿支部役員 医療系大学間共用試験実施評価機構医学系OSCE実施小委員会委員・診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験医学系実施管理小委員会委員	内科一般、内科診断学、医学教育、臨床疫学

研究室長 (糖尿病:併任)	河野 茂夫	日本糖尿病学会 糖尿病専門医・指導医・評議員 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医 日本内科学会 総合内科専門医・指導医	糖尿病、足病変
研究室長 (血管障害:併任)	塚原 徹也	日本脳神経外科学会 専門医・評議員 日本脳卒中学会 脳卒中専門医・評議員 日本脳卒中の外科学会 技術指導医 日本脳神経外科認知症学会理事	脳卒中外科、脳血管障害、脳腫瘍、脳神経外科一般
研究室長 (生命情報科学:併任)	七野 力	厚生労働省による麻酔科標榜許可 日本専門医機構 専門医 日本麻酔科学会 指導医 日本集中治療医学会 専門医 京都大学医学部臨床教授 関西医科大学臨床教授	麻酔科学全般 心臓血管外科手術の麻酔管理 集中治療における呼吸・循環管理
流動研究員	井上 隆之		
流動研究員	曾和 尚也		
流動研究員	滝川 裕介		

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第84回日本循環器学会学術集会	禁煙前後の BMI, 腹囲, 血液検査値と血尿酸値(UA)の比較検討	尾崎 裕香, 小見山 麻紀, 和田 啓道, 山陰 一, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 高橋 裕子, 森本 達也, 長谷川 浩二	Web	2020/7/27-8/2
国内学会発表	第15回禁煙科学会学術総会	禁煙治療におけるアロマセラピー併用療法臨床研究の立ち上げ	小見山 麻紀, 畑 亜紀子, 尾崎 裕香, 和田 啓道, 浅原 哲子, 山陰 一, 八十田 明宏, 森本 達也, 高橋 裕子, 長谷川 浩二	静岡	2020/12/20
国内学会発表	第63回日本糖尿病学会年次学術集会	TREM2の認知症発症における意義	浅原 哲子	Web開催	2020/10/5-16
国内学会発表	第41回日本肥満学会&第38回日本肥満症治療学会学術集会	心血管疾患リスク合併を予測するサルコペニア肥満の診断方法に関する検討	池上 健太郎, 日下部 徹, 村中 和哉, 赤松 裕訓, 山陰 一, 井上 隆之, 浅原 哲子	WEB	2021/3/25 ~ 2021/4/20
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会学術集会	骨粗鬆症患者における筋骨連関と生理的濃度にある甲状腺ホルモンが骨および筋肉に及ぼす影響に関する検討	石原 裕己, 日下部 徹, 濱中(廣嶋) 佳歩, 中谷 理恵子, 難波 多挙, 立木 美香, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	WEB	2020/11/19 ~ 2020/12/15
国内学会発表	第22回日本骨粗鬆症学会	サルコペニア合併骨粗鬆症患者の臨床的特徴に関する検討	日下部 徹, 石原 裕己, 兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 難波 多挙, 立木 美香, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	WEB	2020/10/9 ~ 2020/10/11
国内学会発表	第41回日本肥満学会&第38回日本肥満症治療学会学術集会	認知症発症予知マーカー・TREM2の肥満・脂肪組織における病態生理学的意義の検討	井上 隆之, 田中 将志, 山陰 一, 村中 和哉, 日下部 徹, 浅原 哲子	WEB	2021/3/25 ~ 2021/4/20
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会学術集会	高齢者の甲状腺機能と認知障害の関係について	田上 哲也, 浅原 哲子, 山陰 一, 中村 道三	奈良	2020/11/19-21
国内学会発表	第93回日本内分泌学会学術総会	アルドステロン産生腺腫におけるACTH反応性とその臨床的意	難波 多挙, 兼子 大輝, 石原 裕己, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	Web開催	2020/7/20-2020/8/31
国内学会発表	第55回糖尿病学の進歩	ガイドラインの実践:食事療法の実践と課題(シンポジウム)	坂根 直樹	オンデマンド配信、LIVE	2021/3/5

国際学会発表	Metabolism Conference	Exercise improves BAT-released signaling lipids capacity in response to cold exposure	二連木 晋輔, 同道 正行, 小谷 和彦, 坂根 直樹	Copenhagen	2021/3/23
国際学会発表	The American Society for Nutrition 2020	Development and Validation of a Decisional Balance Tool to Assess Perceived Benefits and Barriers of Vegetable Intake in Adults	河口 八重子, 染井 順一郎, 菅沼 彰子, 二連木 晋輔, 坂根 直樹	シアトル	2020/6/1
国際学会発表	World Congress on Cancer and Diagnostics	as Tumor-suppressor Defines New Targets for Uterine Leiomyosarcoma Therapy	林 琢磨, 小西 郁生	London, UK	2020/6/15
国内学会発表	第72回日本産科婦人科学会学術講演会	Molecular pathological approach for Cancer Precision Medicine in Uterine mesenchymal tumors: PRUM-IBio Study	林 琢磨	東京国際フォーラム, Tokyo, Japan	2020/4/26

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
英文	和田 啓道, 松田 守弘, 鶴木 崇, 高木 大輔, 井口 守文, 益永 信豊, 石井 充, 日下部 徹, 八十田 明宏, 浅原(佐藤)哲子, 阿部 充, 赤尾 昌治, 長谷川 浩二	Impact of Smoking Status on Growth Differentiation Factor 15 and Mortality in Patients With Suspected or Known Coronary Artery Disease: The ANOX Study.	J Am Heart Assoc.	9	22	e018217	2020/11	原著論文	
英文	小見山麻紀, 尾崎 裕香, 宮崎 雄輔, 八十田 明宏, 和田 啓道, 山陰 一, 浅原(佐藤)哲子, 森本 達也, 高橋 裕子, 長谷川 浩二	Short-term Changes in Self-rating Depression Scale Scores after Smoking Cessation in Neurotic Patients.	Intren Med.					原著論文	
英文	和田 啓道, 松田 守弘, 鶴木 崇, 高木 大輔, 井口 守文, 益永 信豊, 石井 充, 山陰 一, 日下部 徹, 八十田 明宏, 佐藤 浅原 哲子, 阿部 充, 赤尾 昌治, 長谷川 浩二	Distinct Characteristics of VEGF-D and VEGF-C to Predict Mortality in Patients With Suspected or Known Coronary Artery Disease.	J Am Heart Assoc	9	9	e015761	2020/5	原著論文	

英文	村田 敬, 浅原 哲子, 坂根 直樹, 菅沼 彰子	Protocol for a Randomized, Crossover Trial to Decrease Time in Hypoglycemia by Combined Intervention of the Usage of Intermittent-Scanning Continuous Glucose Monitoring Device and the Structured Education Regarding its Usage: Effect of Intermittent-Scanning Continuous Glucose Monitoring to Glycemic Control Including Hypoglycemia and Quality of Life of Patients with Type 1 Diabetes Mellitus Study (ISCHIA Study)	Tokai J Exp Clin Med					原著論文	
英文	浅原 哲子	Effects of Dapagliflozin on Renin-Angiotensin-Aldosterone System Under Renin-Angiotensin System Inhibitor Administration.	Endocr J	67	11	1127-1138	2020/11	原著論文	
英文	日下部 徹	Observation of p. R4810K, a Polymorphism of the Mysterin Gene, the Susceptibility Gene for Moyamoya Disease, in Two Female Japanese Diabetic Patients with Familial Partial Lipodystrophy 1.	Intern Med.	59	20	2529-2537	2020/10	原著論文	
英文	日下部 徹, 横田 繁史, 清水 美佳, 井上 隆之, 田中 将志, 北野(大植)隆司, 村中 和哉, 山陰 一, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 浅原 哲子	Differential effects of sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor and low-carbohydrate diet on body composition and metabolic profile in obese diabetic db/db mice.	BMJ Open Diabetes Res Care	8	1	e001303	2020/9	原著論文	
英文	河野 茂夫	Diabetic Foot Worldwide : Pacific Region	The Foot in Diabetes (Fifth Edition): WILEY Blackwell			75-78	2020	原著論文以外	
英文	山陰 一, 浅原 哲子, 和田 啓道, 長谷川 浩二	A Randomized Placebo-controlled, Double-blind Study of Kosen-cha, a Polymerized Catechin-rich Green Tea, for Obesity in Pre-obese Japanese Subjects.	BRB Reports				2020/in press	原著論文	

英文	山陰 一, 小西 陽介, 村中 和哉, 浅原 哲子	Association of Protein Tyrosine Phosphatase 1B (PTPN1) Gene Polymorphism with the Effects of Weight Reduction Therapy on Body Weight and Glycolipid Profiles in Obese Patients.	J Diabetes Investig	Online ahead of print			2021/1	原著論文	
英文	山陰 一, 田中 将志, 井上 隆之, 小鳥 真司, 日下部 徹, 浅原 哲子	Effects of dapagliflozin on the serum levels of fibroblast growth factor 21 and myokines and muscle mass in Japanese patients with type 2 diabetes: a randomized, controlled trial.	J Diabetes Investig	11	3	653-661	2020/5	原著論文	
英文	田中 将志, 浅原 哲子	Taxifolin: a potential therapeutic agent for cerebral amyloid angiopathy	Frontiers in Pharmacology				2021/in press	原著論文	
和文	難波 多挙, 田上 哲也, 浅原 哲子	レプチン	日本臨床増刊号 高血圧学 上巻－高血圧制圧の現状と展望－	78巻増刊号2	1180	366-370	2020/7	総説	日本臨牀社
和文	河野 茂夫	河野茂夫	糖尿病専門医研修ガイドブック (改訂第8版) (日本糖尿病学会)			345-349	2020/10	総説	診断と治療社
英文	藤田 浩平, 嘉田 真平, 金井 修, 畑 啓昭, 小田垣 孝雄, 浅原 哲子, 田上 哲也, 八十田 明宏	Quantitative SARS-CoV-2 Antibody Screening of Healthcare Workers in the Southern Part of Kyoto City During the COVID-19 Pre-pandemic Period.	Front Public Health	8	-	-	2020/12	原著論文	
和文	日下部 徹, 池上 健太郎, 浅原 哲子	サルコペニア肥満(肥満者でサルコペニアであるサルコペニア肥満者は存在するか?)	日本サルコペニア・フレイル学会誌	4	1	28-33	2020/6	総説	(株)メディカルレビュー社
和文	坂根 直樹	職域における性・年代別の内臓脂肪蓄積とメタボリックコンポーネントの関係(原著論文)	肥満研究	26	2	245-253	2020/8	原著論文	(一社)日本肥満学会
英文	村田 敬, 坂根 直樹	Assessment of the accuracy of an intermittent-scanning continuous glucose monitoring device in patients with type 2 diabetes mellitus undergoing hemodialysis (AIDT2H) study	Ther Apher Dial			1-9	2021/1	原著論文	
英文	坂根 直樹, 小谷 和彦, 菅沼 彰子, 二連木 晋輔, 高橋 かおる, 葛谷 英嗣	Self-weighing frequency and the incidence of type 2 diabetes: post hoc analysis of a cluster-randomized controlled trial	BMC Res Notes	13	1	1-6	2020/8	原著論文	
英文	村田 敬, 坂根 直樹, 二連木 晋輔, 菅沼 彰子	Predictive Factors of the Adherence to Real-Time Continuous Glucose Monitoring Sensors: A Prospective Observational Study (PARCS STUDY)	J Diabetes Sci Technol				2020/8	原著論文	

英文	大谷 良, 坂根 直樹, 二連木 晋輔	Association Between Serum Apolipoprotein A1 Levels, Ischemic Stroke Subtypes and Plaque Properties of the Carotid Artery	J Clin Med Res	12	9	598-603	2020/9	原著論文	
英文	林 琢磨, 小西 郁生	Characteristics of Leiomyosarcoma: Induction of Hematogenous Metastasis by Isolated Uterine Mesenchymal Tumor Stem-like Cells	Anticancer Research	40	3	1255-1265	2020/4	原著論文	
英文	林 琢磨	Biological significance of recombination-activating gene 1, RAG1 in optic nerve neuropathy	New Frontiers in Ophthalmology			1-4	2020/6	原著論文	
英文	林 琢磨, 小西 郁生	Zoonotic Disease: A Highly Conserved Binding Region of Angiotensin-Converting Enzyme 2 as a Receptor for Severe Acute Respiratory Syndrome Coronavirus 2 (SARS-CoV-2) between Humans and Mammals	International Journal of Trend in Scientific Research and Development (IJTSRD)	5	1	1-6	2020/12	原著論文	

遺伝診療部



診療部長
八十田 明宏

専門医資格等 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医
日本内科学会 総合内科専門医
京都大学 医学博士
京都大学医学部 非常勤講師
専門分野 内科・内分泌代謝(骨代謝)

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

役職	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
顧問	三宅 秀彦	日本産科婦人科学会 専門医 指導医、 日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会 臨床遺伝専門医 指導医、 日本人類遺伝学会 臨床細胞遺伝学認定士、日本周産期・新生児学会 周産期(母体・胎児)専門医、日本人類遺伝学会： 評議員 広報委員会委員長 教育推進委員 臨床細胞遺伝学セミナー実行委員、 日本遺伝カウンセリング学会：理事・評議員、 日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会共同認定 臨床遺伝専門医制度委員会 委員、日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会共同認定 認定遺伝カウンセラー制度委員会 委員、日本家族性腫瘍学会 広報委員、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻 遺伝カウンセリングコース 教授	産婦人科学 臨床遺伝学	臨床遺伝学(遺伝カウンセリング) 周産期医療
室長	浅原 哲子	日本内科学会 認定内科医・指導医・総合内科専門医、日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医、日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本神経内分泌学会 評議員、日本心血管内分泌代謝学会 評議員、日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医、日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員、日本肥満症治療学会 評議員、日本動脈硬化学会 動脈硬化専門医・評議員、日本病態栄養学会 評議員、日本抗加齢医学会 専門医、日本糖尿病学会近畿支部 評議員、日本糖尿病生活習慣病ヒューマンデータ学会 評議員、 京都大学医学博士、京都大学非常勤講師、 国立循環器病研究センター 客員研究員、同志社大学 スポーツ健康科学部 客員教授、 帝京大学医学部 臨床研究医学講座 特任教授、滋賀医科大学 社会医学講座 公衆衛生学部門 客員教授、九州大学大学院 医学研究院 病態制御内科学分野(第三内科) 非常勤講師、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センターフェロー	糖尿病 肥満症(メタボリックシンドローム) 内分泌代謝 予防医学 遺伝診療	糖尿病 肥満症 内分泌疾患 遺伝性疾患全般

医 師	日下部 徹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医、日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医、日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医・評議員、日本神経内分泌学会 評議員、日本心血管内分泌代謝学会 評議員、日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医、日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員、日本肥満症治療学会 評議員、日本サルコペニア・フレイル学会 評議員、京都大学大学院医学研究科 客員研究員、京都大学 医学博士	糖尿病 肥満症 内分泌代謝	肥満症 糖尿病 サルコペニア 骨粗鬆症
医 師	橋本 有紀子	日本小児科学会専門医、日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	小児科全般 小児内分泌 先天代謝異常 新生児 遺伝診療	小児内分泌、 先天異常
認定遺伝 カウンセラー	小西 陽介	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	遺伝カウンセリング	遺伝性疾患全般
医 師	北 誠	日本小児科学会専門医 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター	未熟児・新生児、 小児全般	先天異常
医 師	難波 多挙	日本内科学会 認定内科医、日本内分泌学会 内分泌代謝(内科)専門医、米国心臓協会 FAHA、臨床研修指導医、ミシガン大学医学部 リサーチ・アシスタント・プロフェッサー	内科 内分泌・代謝	内分泌代謝疾患
医 師	安彦 郁	日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本婦人科腫瘍学会専門医・代議員、日本癌治療認定医機構、癌治療認定医、日本産婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本ロボット手術学会認定医、京都大学医学博士	産婦人科学 婦人科腫瘍学	婦人科悪性腫瘍 腫瘍免疫
医 師	江本 郁子	日本産科婦人科学会専門医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	産婦人科一般	周産期一般
医 師	和田 美智子	日本産科婦人科学会専門医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	産婦人科一般	周産期一般
医 師	鈴木 直宏	日本産科婦人科学会専門医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	産婦人科一般	婦人科腫瘍
メディカル アドバイザー	林 琢磨	日本人類遺伝学会・遺伝医学臨床研究コーディネーター、日本救急医学会認定 ICLSインストラクター、臨床心理カウンセラー、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST) 科学技術評価審査委員、東京都/日本水環境学会COVID-19タスクフォース 科学技術アドバイザー、米国立衛生研究所(NIH) /米国疾病対策センター(CDC) BL3(P3) 感染マテリアル取り扱い主任者資格(新興感染症)、東京都/動物取扱管理責任者(同資格)、Springer Nature編集部 科学査読審査評価委員(腫瘍学、婦人科腫瘍学分野)、がん展開医療研究会 幹事、(他 知的財産管理技能士など複数の国家資格を有する)、国立病院機構京都医療センター 高度がん治療セン	婦人科腫瘍学 癌ゲノム医療学 腫瘍学 感染症学 新興感染症学	婦人科腫瘍 癌ゲノム医療 腫瘍 新興感染症

		ター 癌ゲノム医療 室長 学校法人梅花女子大学/大学院 教授(兼務)、博慈会記念総合病院 老人病研究所 外部研究員、 医学博士		
--	--	---	--	--

□ 診療科の特徴

認定施設等	臨床遺伝専門医制度委員会 認定研修施設 がんゲノム医療連携病院 遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構 基幹施設
-------	---

1. 2014年に発足した新しい診療科です。京都府下には遺伝診療科を有する病院が3施設ありますが、当院は京都市および京都府南部の遺伝診療に貢献しています。
2. 臨床遺伝専門医 指導医2名と臨床遺伝専門医4名を含む11名の医師と認定遺伝カウンセラー、研究者が在籍しています。また、臨床遺伝専門医の認定研修施設であり、他施設に在籍する医師の研修も行っています。
3. 全ての疾患領域を対象にカウンセリングを行っています。
4. 院内の各診療科および地域との連携に努め、患者さんがよりよい医療を受けられるようにお手伝いをします。

□ 主な対象疾患

遺伝性乳がん卵巣がん症候群、リンチ症候群、家族性大腸ポリポーシス、神経線維腫症、多発性内分泌腫瘍症、褐色細胞腫、網膜芽細胞腫 などの家族性腫瘍

ファブリー病、ポンペ病、高フェニルアラニン血症、ムコ多糖症、家族性高コレステロール血症、脂肪萎縮症、性分化疾患、尿崩症、ジテルマン症候群、バーター症候群、甲状腺ホルモン不応症 などの代謝疾患・内分泌疾患
ブルガダ症候群、QT延長症候群、エーラス・ダンロス症候群、マルファン症候群およびその類縁疾患、軟骨無形成症、骨形成不全症 などの循環器および骨結合組織疾患

脊髄性筋萎縮症、ハンチントン病、デュシェンヌ/ベッカー型筋ジストロフィー、ミトコンドリア病、副腎白質ジストロフィー、家族性アルツハイマー病、脆弱X症候群 などの神経筋疾患

その他、遺伝性疾患全般

□ 診療（業務）内容

1. 診断を目的として行われる遺伝学的検査のサポートを行います。
2. 遺伝性疾患と診断された後の心理的サポートや情報提供を行い、現在の状況や将来のリスクに適応するためのサポートを行います。
3. 家系内に遺伝性疾患と診断された方がおられる場合の、ご家族の方々の発症リスクや、発症前診断についての検討や情報提供を行い、その人らしい選択ができるようにサポートをします。
4. 保因者診断についての検討とサポートを行います。

□ 診療実績（令和2年度）

遺伝診療部 外来患者数

年間総患者数	年間初診患者数
118名	75名

主な疾患の件数など

腫瘍	神経筋	内分泌代謝	
97件	5	4件	
循環器	小児	周産期	その他成人
4件	1件	5件	2件

□ 地域医療連携・広報活動

- ・ 地域における遺伝医療の啓発

□ 学術活動報告 (学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者 (当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第63回日本甲状腺学会学術集会	多発性内分泌腫瘍症2型の遺伝カウンセリング:甲状腺髄様がん術前に遺伝学的検査を行った一例	小西 陽介, 日下部 徹, 難波 多挙, 橋本 有紀子, 北 誠, 和田 美智子, 鈴木 直宏, 江本 郁子, 安彦 郁, 林 琢磨, 三宅 秀彦, 浅原 哲子, 八十田 明宏	奈良	2020/11/19-21
国内学会発表	第44回日本遺伝カウンセリング学会学術集会	京都医療センターにおける遺伝カウンセリングロールプレイ演習導入の試み	小西 陽介, 飛騨 美希, 和田 美智子, 北 誠, 橋本 有紀子, 難波 多挙, 江本 郁子, 安彦 郁, 日下部 徹, 三宅 秀彦, 浅原 哲子, 高倉 賢二, 八十田 明宏	沖縄	2020/7/3-5
国内学会発表	日本人類遺伝学会第65回大会	Oral English Session 3 Cancer Genetics	林 琢磨	名古屋, 日本	2020/11/18-12/2

□ 投稿論文など

分類	著者 (当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
英文	難波 多挙	Genetic, Cellular, and Molecular Heterogeneity in Adrenals With Aldosterone-Producing Adenoma	Hypertension	75	4	1034-1044	2020/4	原著論文	
英文	難波 多挙	Biochemical, Histopathological, and Genetic Characterization of Posture-Responsive and Unresponsive APAs	J Clin Endocrinol Metab	105	9	e3224-e3235	2020/9	原著論文	
英文	難波 多挙	Prevalence of Somatic Mutations in Aldosterone-Producing Adenomas in Japanese Patients	J Clin Endocrinol Metab	105	11	e4066-e4073	2020/11	原著論文	
英文	難波 多挙	Identification of Somatic Mutations in CLCN2 in Aldosterone-Producing Adenomas	J Endocr Soc	4	10	bvaa123	2020/10	原著論文	
英文	日下部 徹	Observation of p. R4810K, a Polymorphism of the Mysterin Gene, the Susceptibility Gene for Moyamoya Disease, in Two Female Japanese Diabetic Patients with Familial Partial Lipodystrophy 1.	Intern Med.	59	20	2529-2537	2020/10	原著論文	

医療安全管理部



副院長
医療安全管理部長
白神 幸太郎



医療安全管理副部長
阿部 充



訴訟専門職
栗谷 圭一



医療安全管理係長
塩 早苗
令和3年3月31日まで



医療安全管理係長
吉田 活子
令和3年4月1日より



副看護師長
竹原 美佳

患者安全の確保、医療の質の担保と向上への取り組みは、急性期基幹病院である当院において最も重要な課題であり、安全文化の醸成は医療教育機関としての責務である。これらの課題、責務を達成するために医療安全管理部が活動している。院内に医療安全管理室を設置し、各部署に医療安全推進担当者(リスクマネージャー)において医療安全管理体制を整備している。医療安全管理委員会、リスクマネージャー会議などの定例会議を主催するとともに、随時オカレンス症例検討会、ハイリスク診療検討会などを開催している。また、電子化した報告システムによりインシデント・アクシデント事例を収集し、個々の事例に対応するだけでなく、マニュアル等の定期的な見直しを行い、医療安全管理体制の強化充実を図っている。院内で共有すべき情報については積極的に情報発信を行い、スタッフ教育にも力を注いでいる。医療事故調査制度がスタートしてから5年が経過しており、当院で生じた死亡症例についてはモニタリングし、迅速かつ適切に事例の収集と検討が可能となるシステムが整備された。これらの取り組みを通じて、医療に伴って発生する様々な危険や有害事象をモニターし、調査、分析して医療に反映させること、重大な有害事象に対して病院をあげて迅速に対応すること、スタッフ教育や院内システムの改善に役立てることを目標としている。

1. 医療安全管理体制

1) 組織図…医療安全管理マニュアル 参照

2) 構成メンバー

医療安全管理部長 1名

医療安全管理副部長 1名

医療訴訟専門職 1名

医療安全管理係長 1名

看護部医療安全担当副看護師長:1名

医療安全推進担当者(リスクマネージャー)各部署から1名 計61名

2. 医療安全に関する日常活動

- 1) 医療安全に関する院内の情報収集及び実態調査(定期的な院内の巡回・点検、マニュアルの遵守状況の点検)
- 2) マニュアルの作成及び点検と見直しの提言等
- 3) インシデント・アクシデントレポートの収集、保管、分析、具体的な改善策の提案、分析結果の現場へのフィードバックと集計結果の管理
- 4) 医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知
- 5) 医療安全に関する職員への啓発、広報
- 6) 医療安全に関する教育研修の企画・運営

7) 医療安全対策ネットワーク整備事業に関する報告

8) 医療安全管理に係る連絡調整に関すること

3. 業務実績

1) 医療事故に関する会議開催状況 (2020年度)

- (1) 拡大医療安全管理委員会 1件
- (2) 医療事故本部対策会議 1件
- (3) オカレンス事例検討会議 11件
- (4) ハイリスク診療検討会議 9件

2) マニュアル、ガイドラインの作成・改訂

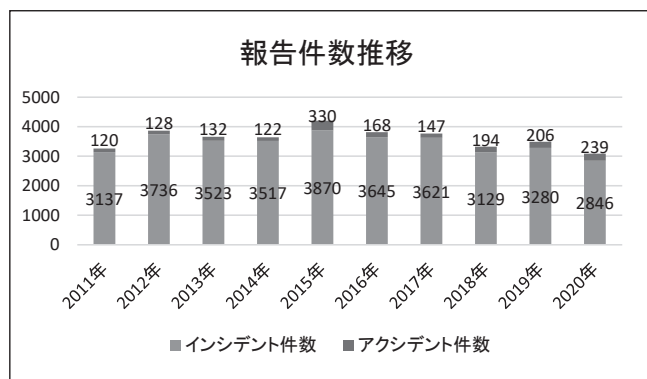
- ・ 中心静脈カテーテル運用マニュアル(2012年)
- ・ インスリン指示に関するテンプレート整備(2017年)
- ・ ロヒプノール院内使用指針(2014年)
- ・ 抗血栓薬の適正使用と周術期の取り扱いに関するガイドライン(2021年改訂)
- ・ 院内転倒時の頭部・顔面打撲対応(2019年改訂)
- ・ 深部静脈血栓症・肺塞栓症の予防対策ガイドライン(2019年改訂)
- ・ 医療安全管理マニュアル(2020年改訂)
- ・ 医療事故防止対策マニュアル(2020年改訂)

3) インシデント・アクシデントレポート収集

- ・ 2020年度報告件数 3085件

インシデント2846件
(レベル0～レベル2)

アクシデント239件
(レベル3a～レベル5)

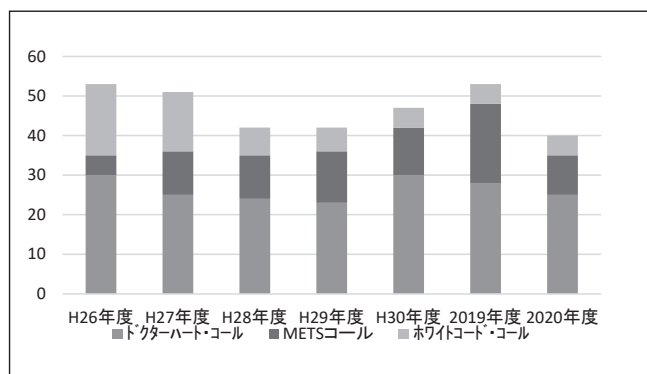


4) 2020年度 緊急コール件数

ドクターハートコール:25件

METSコール:10件

ホワイトコードコール:5件



5) 医療安全に関する活動及び情報提供

- ・ 医療安全管理委員会 1回/月 計12回
- ・ リスクマネージャー会議 1回/月 計12回
- ・ 診療科長会議、医局会、管理診療会議での情報提供
- ・ 事故事例の情報発信等
- ・ 各部門カンファレンス・検討会等参加

6) 医療安全に関する教育研修

(1) 医療安全研修会

1. 「医療事故調査制度 院内体制整備とその効果」
2. 「宗教的輸血拒否患者に対する当院の対応」
3. 「有害事象対応 患者家族との関係をこじれさせないために」

DVD視聴期間：令和2年12月10日～令和3年1月31日

＊上記の研修から2研修以上を視聴する。

(2) 医療事故防止研修会

新規導入医療機器：人工呼吸器研修(ザビーナ300、NKV-330)

令和2年11月16日、17日、18日、20日開催

7) 医療安全に関する講義

新採用者研修、看護助手等採用時研修、幹部看護師任用候補者研修、看護学校講義
医療安全管理研修、スペシャルメディカルクラーク研修 等

医療情報部



医療情報部長

情報システム管理室室長
診療情報管理室室長
高度がん治療センター
がん登録・情報部長
臨床研究センター
政策医療企画研究部
情報化推進研究室室長
北岡 有喜

専門医資格等 京都大学博士(医学)
同志社大学博士(政策科学)
社会医学系専門医協会 専門医・指導医
日本産科婦人科学会 専門医・指導医
日本専門医機構 産婦人科専門医
臨床研修指導医
九州大学医学部 非常勤講師
京都情報大学院大学 客員教授
医学研究所北野病院 第11研究部長(客員)
総務省 地域情報化アドバイザー
地方公共団体情報システム機構経営審議委員会 委員
独立行政法人情報処理推進機構
「先進的IoTプロジェクト支援事業」メンター
ITコンソーシアム京都 医療情報化部会 部会長
都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会
がん登録部会委員・データ利用審査委員会委員
京都府がん医療戦略推進会議
院内がん登録部会 部会長
国立病院等総合情報ネットワーク研究会 副会長

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等
診療情報管理室 室員	秋好 香織	診療情報管理士・院内がん登録実務初級者
診療情報管理室 室員	前田 夕子	診療情報管理士・院内がん登録実務中級者・医療情報技師・情報セキュリティマネジメント試験合格者.
診療情報管理室 室員	口村 恭子	診療情報管理士・院内がん登録実務中級者
診療情報管理室 室員	三崎 晴美	診療情報管理士
スペシャル医療クラーク	長谷川 紗世	内分泌代謝センター担当
スペシャル医療クラーク	宮田 朋代	泌尿器科担当
スペシャル医療クラーク	赤井 樹理	外科担当・院内がん登録実務初級者・日本癌治療学会認定データマネージャー・JCOG臨床試験セミナー入門編修了
スペシャル医療クラーク	西田 千賀子	産婦人科・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	甲田 実樹	呼吸器内科担当・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	柴田 暢子	形成外科担当・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	西山 望実	循環器内科担当
スペシャル医療クラーク	中村 繭子	消化器内科・内視鏡センター担当・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	村上 雅代	救命センター担当
スペシャル医療クラーク	小川 文代	呼吸器外科担当・管理栄養士
スペシャル医療クラーク	森園 郁子	脳神経センター担当
スペシャル医療クラーク	中尾 真理	腎臓内科担当
スペシャル医療クラーク	加藤 由美子	緩和ケア科担当

スペシャル医療クラーク	南野 和代	整形外科担当・院長室
スペシャル医療クラーク	田中 直美	心臓外科担当
スペシャル医療クラーク	黒田 果奈	脳神経センター担当
スペシャル医療クラーク	山崎 真理子	眼科担当
スペシャル医療クラーク	細川 真莉奈	麻酔科担当
スペシャル医療クラーク	川口 裕希子	消化器内科・内視鏡センター担当・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	金本 知恵	皮膚科担当
スペシャル医療クラーク	牧原 麻理子	糖尿病センター
スペシャル医療クラーク	増野 加奈子	呼吸器内科担当
スペシャル医療クラーク	久保田 明美	小児科担当
スペシャル医療クラーク	岸本 泰子	歯科口腔外科担当
スペシャル医療クラーク	水島 有樹子	整形外科担当
医 療 ク ラ ー ク	戸田 由美子	事務助手(手術室担当)
医 師 事 務 作 業 補 助 者	畑中 優希	消化器内科担当
医 師 事 務 作 業 補 助 者	土谷 美鈴	泌尿器科担当
情報システム管理室 室員	園田 淳	運用管理職員(委託)
情報システム管理室 室員	太田 佳子	運用管理職員(委託)
情報システム管理室 室員	村岡 大督	運用管理職員(委託)
情報システム管理室 室員	濱崎 詩織	運用管理職員(委託)
非常勤システムエンジニア	日下 寛治	システムエンジニア
流 動 研 究 員	滝川 裕介	システムエンジニア・情報セキュリティマネジメント試験合格者・医療情報技師
研 究 員	湊 拓巳	臨床工学技士
研 究 員	小川 麻理	日医認定ITインストラクター・情報処理士
研 究 員	横田 健吾	システムエンジニア・情報セキュリティマネジメント試験合格者
研 究 員	松島 大介	システムエンジニア・データベーススペシャリスト・情報セキュリティスペシャリスト・ソフトウェア開発技術者
研 究 員	小森 由宗	システムエンジニア
研 究 員	小森 谷祥明	システムエンジニア

□ 診療科の特徴

1. 京都医療センター医療情報部は、独立行政法人化以前の2003年7月に国立病院としては初めて設置が認可された医療情報部です。
2. 医師と情報システムエンジニアの資格を持つ人材が部長を担当しており、ベンダーに依存することなく、医療現場のニーズにマッチした情報システムの要件定義や開発・導入・構築を迅速かつ適価で行っています。
3. 京都府・京都市が設置した情報基盤協議会である「ITコンソーシアム京都」医療情報化部会と連携し、「ポケットカルテ」などの二次医療圏を包括する地域医療連携基盤の企画・設計・開発・構築・運用・整備なども行っています。
4. 情報システムや診療記録管理だけでなく、診療諸記録作成の専門職として「スペシャル医療クラーク」を独自に育成し各診療科に配置することで、医師・看護師などの専門職が専門業務に集中出来る環境を構築すると共に、診療諸記録の質の向上ならびに診療の質の向上に努めています。

□ 診療（業務）内容

医療情報部は3部署で構成されています。各部署の名称と主な業務内容は以下の通りです。

1. 病院情報システム管理室

病院情報システム（電子カルテシステム）の開発・構築・運用・整備および将来計画に関すること

2. 診療情報管理室

診療諸記録及び診療情報の管理・調査・研究およびがん登録に関すること

3. 診療支援チーム

スペシャル医療クラークを独自に育成し、各診療科などに配置することで、医師など専門職の事務作業を軽減すると共に、診療諸記録の精度向上や処理を迅速化すること

また、研究業務は臨床研究センター情報化推進研究室と一体化し、医療情報の研究、教育及び利用、病院の運営及び診療の管理に係る情報化などの研究開発を行っています。

□ 活動実績

2020年度

1. 情報管理教育研修 2回開催

2. 医療情報委員会 12回開催

3. 医療情報小委員会 45回開催

4. 医療情報セミナー 1回開催

5. 「地域ICT利活用広域連携事業」地域共通診察券運営協議会 6回開催

6. 京都府がん医療戦略推進会議 院内がん登録部会 4回開催

7. 京都府がん医療戦略推進会議 院内がん登録部会 登録実務WG 4回開催

8. 京都府がん医療戦略推進会議 院内がん登録部会研修会 4回開催

9. 京都府院内がん登録セミナー 1回開催

10. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会—がん登録部会 1回参加

11. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会「データ利用審査委員会」 5回参加

12. 京都医療センター「スペシャル医療クラーク（SMC）育成コース」を1クール開催

□ 公務・地域医療連携・広報活動

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第1回がん登録部会，WEB開催，2020年6月16日
第104回（2020年度第1回）地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」北岡有喜ほか，京都医療センター，2020年6月18日
院内がん登録部会，WEB開催，2020年6月11日
院内がん登録実務WG，WEB開催，2020年6月11日
院内がん登録部会研修会，WEB開催，2020年6月11日
地方公共団体情報システム機構 第27回経営審議委員会，地方公共団体情報システム機構web会議室，2020年6月22日
院内がん登録部会，WEB開催，2020年8月20日
院内がん登録実務WG，WEB開催，2020年8月20日
院内がん登録部会研修会，WEB開催，2020年8月20日
第105回（2020年度第2回）地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」北岡有喜ほか，京都医療センター，2020年8月24日
第106回（2020年度第3回）地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」北岡有喜ほか，京都医療センター，2020年10月16日

(第9回)院内がん登録セミナー 2020京都, WEB開催, 2020年11月28日,29日
第107回(2020年度第4回)地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券(すこやか安心カード)運営協議会」北岡有喜ほか, 京都医療センター, 2020年12月10日
情報セキュリティセミナー「情報セキュリティ 10大脅威とその対策」北岡有喜ほか, 京都医療センター, 2020年12月10日
院内がん登録部会, WEB開催, 2020年12月10日
院内がん登録実務WG, WEB開催, 2020年12月10日
院内がん登録部会研修会, WEB開催, 2020年12月10日
令和2年度がん戦略推進会議研修部会, WEB開催, 2020年12月25日
スペシャル医療クラーク育成コース/京都府病院協会医師事務作業補助者スキルアップ研修 北岡有喜ほか, 京都医療センター, 2020年10月1日～2020年12月28日
第108回(2020年度第5回)地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券(すこやか安心カード)運営協議会」北岡有喜ほか, 京都医療センター, 2021年2月18日
院内がん登録部会, WEB開催, 2021年2月25日
院内がん登録実務WG, WEB開催, 2021年2月25日
院内がん登録部会研修会, WEB開催, 2021年2月25日
地方公共団体情報システム機構 第29回経営審議委員会, 地方公共団体情報システム機構 会議室, 2021年3月19日

□ 学会活動報告(学会・研究発表など)

演者・演題・学会名
北岡 有喜, 中国国家中医薬管理局「病院のトップマネジメント」訪日研修.患者と医療者のための医療情報システムの概要,一般財団法人日本国際協力センター, 2019年1月24日; 京都
北岡 有喜, ICT/IoTを利活用した医療分野における働き方改革:PHRと連動したスマートグラスによる体外循環技術の継承と安全性向上に関する研究開発, 田附興風会医学研究所第92回研究所セミナー, 2019年5月15日; 大阪
湊 拓巳, スマートグラスを利活用した人工心肺業務支援による働き方改革の試み, 第29回日本臨床工学会, 2019年5月18日; 岩手
北岡 有喜, ポケットカルテがあなたを守る, 公益財団法人体質研究会第4回特別講演会, 2019年6月22日; 京都
湊 拓巳, スマートグラスを利活用した透析療法安全性向上に関する試み, 第64回日本透析医学会学術集会・総会, 2019年6月28日; 神奈川
北岡 有喜, パーソナルヘルスレコード(PHR)を利用したビッグデータの解析による統合医療の評価法, 第8回エビデンスに基づく統合医療研究会, 2019年9月7日; 大阪
湊 拓巳, 経皮的心肺補助装置の遠隔システムの開発, 第45回日本体外循環技術医学会 大会, 2019年10月5日; 愛知
湊 拓巳, スマートグラスによる人工心肺業務の安全性向上に関する試み, 第45回日本体外循環技術医学会 大会, 2019年10月5日; 愛知
湊 拓巳, スマートグラスによる高度専門的技術の継承, 第73回国立病院総合医学会, 2019年11月9日; 愛知
北岡 有喜, 【特別講演】ICT/IoTを利活用した医療分野における働き方改革:PHRシステム「ポケットカルテ®」と連動したスマートグラスによる体外循環技術の安全性向上に関する研究開発, 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター成果発表会, 2020年3月14日

□ 投稿論文など

著書・雑誌名	著書・タイトル
公益財団法人政策医療振興財団 研究助成事業報告書(平成30年度)	湊 拓巳, 北岡 有喜, 滝川 裕介, 白神 幸太郎, 片岡 剛, 大谷 直哉, 嵯峨根由奈, 瀬津 健太郎. スマートグラスによる体外循環技術の安全性向上に関する研究. 公益財団法人政策医療振興財団 研究助成事業報告書(平成30年度). 2019; 233-238
体外循環技術	湊 拓巳, 嵯峨根 由奈, 瀬津 健太郎, 滝川 裕介, 北岡 有喜. 経皮的心肺補助装置の遠隔システムの開発. 体外循環技術. 2019; 46:3:261
独立行政法人国立病院機構京都医療センター 成果発表会講演集2020314	北岡 有喜, 湊 拓巳, 滝川 裕介. 【特別講演】ICT/IoTを利活用した医療分野における働き方改革:PHRシステム「ポケットカルテ®」と連動したスマートグラスによる体外循環技術の安全性向上に関する研究開発. 2020 ;51-56

□ 賞罰

総務省 地方創生に資する「地域情報化大賞」 大賞／総務大臣賞受賞 「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」 2015,3,6

厚生労働省 第4回健康寿命をのばそうアワード 厚生労働省健康局長優良賞受賞 「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」 2015,11,16



□ 院内情報処理業務支援

2020年度	病診連携用画像DVDR作成件数(放射線科、手術術野動画等)	4505件	(月平均363件)
2019年度	病診連携用画像DVDR作成件数(放射線科、手術術野動画等)	4776件	(月平均405件)
2018年度	病診連携用画像DVDR作成件数(放射線科、手術術野動画等)	5801件	(月平均507件)
2017年度	病診連携用画像DVDR作成件数(放射線科、手術術野動画等)	4448件	(月平均371件)
2016年度	病診連携用画像DVDR作成件数(放射線科、手術術野動画等)	4672件	(月平均389件)
2015年度	病診連携用画像DVDR作成件数(放射線科、手術術野動画等)	3453件	(月平均288件)
//	病診連携用画像CD-R作成件数(放射線科、内視鏡センター)	1129件	(月平均194件)
2014年度	病診連携用画像CD-R作成件数(放射線科、内視鏡センター)	5271件	(月平均439件)
2013年度	病診連携用画像CD-R作成件数(放射線科、内視鏡センター)	3771件	(月平均314件)
2012年度	病診連携用画像CD-R作成件数(放射線科、内視鏡センター)	3684件	(月平均307件)

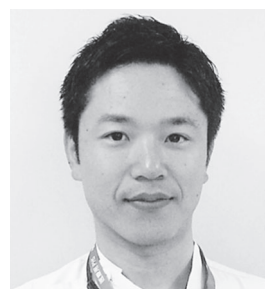
感染制御部



感染制御部長
奥野 博
令和3年3月31日まで



感染制御部長
令和3年4月1日より
ICTリーダー
小田垣孝雄



副看護師長
(専従)
森 誠司

専門医資格等

日本泌尿器科学会専門医・
指導医京都大学臨床教授
関西医科大学臨床教授日
本生殖医学会 評議員日
本アンドロロジー学会評議
員
日本癌治療 認定医
日本内視鏡外科学会技術
認定医
日本泌尿器内視鏡学会・腹
腔鏡技術認定医京都大学
医学博士

専門分野

泌尿器科一般
得意疾患
前立腺がん
男性学
尿路感染症

専門医資格等

ICD:Infection Control
Doctor
日本内科学会総合内科専
門医/指導医
日本化学療法学会抗菌化
学療法指導医
日本プライマリ・ケア連合
学会プライマリ・ケア認定
医/指導医
日本医師会認定産業医

専門分野

内科一般、感染制御
得意疾患
一般内科疾患

専門医資格等

CNIC:Certified Nurse
InfectionControl
感染管理認定看護師

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	畑 啓昭	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 日本内視鏡外科学会 内視鏡外科技術認定医・評議員 日本食道学会 食道科認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 日本臨床外科学会 評議員 ICD(インフェクションコントロールドクター) 日本外科感染症学会 周術期感染管理認定医・教育 医・評議員・教育委員会委員長・編集委員会委員 日本感染症学会 評議員・臨床研究促進委員会委員 日本化学療法学会 評議員・抗菌化学療法認定医制 度審議委員会委員・国際渉外委員会委員 日本化学療法学会・日本感染症学会 JAID/JSC 感染症治療ガイドライン作成委員・MRSA感染症の 治療ガイドライン作成委員・ 薬剤耐性菌感染症を対象とした抗菌薬ガイドライ ン作成に関する合同委員会委員・	上部消化管 外科感染症	胃がん 食道がん

		Journal of Infection and Chemotherapy, Senior Editor 日本環境感染学会 JHAIS委員会委員 ダ・ヴィンチ コンソール術者ライセンス取得 京都大学 医学博士		
非常勤医師	遠藤 文司	ICD(インфекションコントロールドクター)日本内科学会 認定内科医日本消化器病学会 消化器病専門医日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・学会本部学術評議員・近畿支部評議員日本肝臓学会 専門医日本消化器がん検診学会 胃・肝胆膵認定医日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医・抗菌化学療法指導医日本医師会認定産業医臨床研修指導医難病指定医大阪市介護保険認定審査委員身体障害者福祉法第15条第1項による指定医師	内科、消化器内科全般	肝道・膵疾患検査・治療
薬剤師 (ICT専任)	保井 健太	KLEC認定薬剤師 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師		
薬剤師 (AST専任)	稲田 顕慶	KLEC認定薬剤師		
薬剤師 (専任)	村津 圭治	KLEC認定薬剤師 認定実務実習指導薬剤師 NST専門療法士		
検査科 (専任)	田栗 貴博			
検査科 (専任)	吉川 耕平	感染制御認定臨床微生物検査技師		
経営企画 室 長	小林 良平			
事務	諸木 真知			

□ 診療(業務)内容

平成9年4月に院内感染対策チームが(ICT)設立し、平成22年4月にはICTを核とする感染制御部が発足しました。そのモットーは院内の感染管理と職員の健康管理を通じて、患者さんが安心して診療を受けられる環境を提供することを目指しています。

さらにその使命として医師、看護師、リンクナース、薬剤師、臨床検査技師、事務など多くの職員がそれぞれに得意とする分野を分担し、責任をもってこれを行っています。実務はICTリーダーを中心に週に1回ICTミーティングを行い、さらに週に1回定期的に院内ICTラウンドを実施しています。また日常の感染対策に関する相談に関しても随時対応しています。

活動例)

- ①インフルエンザ、感染性胃腸炎、結核などの院内感染対策業務
- ②手術部位感染、中心静脈カテーテル関連血流感染などのサーベイランス業務
- ③針刺し・切創事故対応業務
- ④職員対象の各種ワクチン接種業務
- ⑤抗菌薬適正使用推進業務
- ⑥その他、院内感染対策に必要とされる業務

この活動内容は病院長直轄の「院内感染対策委員会」(月1回)と平成22年4月に発足した「抗菌薬の適正使用に関する小委員会」(月1回)にて報告・審議・決定がなされるシステムとなっています。

平成24年度には感染防止対策推進に関する診療報酬が改定され、これまで以上に感染対策チーム(ICT)の活動が求められるようになりました。平成26年度の改訂でも大きな変更点はなく継承されています。

＊感染防止対策加算2を算定する当院連携施設：浩照会 伏見桃山総合病院 弘仁会 大島病院
淀さんせん会 金井病院 医聖会 学研都市病院 医聖会 八幡中央病院

□ 地域医療連携・広報活動

第1回院内感染対策講習会

日時：2020年7月～8月 映像視聴

テーマ：「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について」

第2回院内感染対策講習会

日時：2021年3月 映像視聴

テーマ：「コロナから学ぶ感染症予防～消毒薬～」

抗菌薬適正使用教育セミナー「バンコマイシンのPK/PD ～トラフ値からAUC/MIC管理へ～」

日時：2021年3月25日、29日

場所：京都医療センター 新棟4階多目的ホール

講師：小田垣孝雄 畑啓昭

第1回感染防止対策地域連携カンファレンス

日時：2020年6月5日

場所：京都医療センター 新棟4階多目的ホール

テーマ「COVID-19(疑い)患者のゾーニング」

演者：小田垣孝雄

第2回感染防止対策地域連携カンファレンス

日時：2020年9月4日

場所：京都医療センター 新棟4階多目的ホール

テーマ：「COVID-19検査の状況～当院の対応と今後について」

演者：田栗貴博

第3回感染防止対策地域連携カンファレンス

日時：2020年12月4日

場所：京都医療センター 新棟4階多目的ホール

テーマ：「コロナ到来!? 今日から俺は消毒薬マスター」

演者：保井健太

第4回感染防止対策地域連携カンファレンス

日時：2021年2月5日

場所：京都医療センター 新棟4階多目的ホール

テーマ：「今年度の総括」

感染防止対策加算相互評価(京都市立病院・京都医療センター相互間)

日時：2020年11月12日

場所：京都市立病院

日時：2020年11月26日

場所：京都医療センター

伊藤人工透析クリニックへの感染対策ラウンド

日時・2020年9月10日

参加者：小田垣孝雄 森 誠司

大島病院へのCOVID-19の院内感染について回診と助言

日時・2021年1月14日、1月21日

参加者：小田垣孝雄 森 誠司

大島病院へのCOVID-19専用病棟ゾーニングの助言と指導

日時・2021年2月22日

参加者：小田垣孝雄 森 誠司

業績(発表)

小田垣孝雄「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について 総論」第1回院内感染対策講習会 2020年7月～8月(京都医療センター映像視聴)、「COVID-19(疑い)患者のゾーニング」第1回感染防止対策地域連携カンファレンス(京都医療センター)

小田垣孝雄「バンコマイシンのPK/PD ～トラフ値からAUC/MIC管理へ～」抗菌薬適正使用教育セミナー 2021年3月25日、29日(京都医療センター 新棟4階多目的ホール)

田栗貴博「COVID-19検査の状況～当院の対応と今後について」第2回感染防止対策地域連携カンファレンス 2020年9月4日(京都医療センター 新棟4階多目的ホール)

保井健太「コロナ到来!? 今日から俺は消毒薬マスター」第3回感染防止対策地域連携カンファレンス 2020年12月4日(京都医療センター 新棟4階多目的ホール)

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
研究セミナー・シンポジウム等	第40回日本脳神経外科学会コンgres総会	第2回感染対策講習会 講演「周術期感染対策に関するガイドラインと最近のトピックス」	畑 啓昭	金沢	2020/8/12
国内学会	第94回日本感染症学会学術講演会	シンポジウム18「外科手術を必要としたClostridioides difficile 感染症症例について」	畑 啓昭	東京	2020/8/20
国内学会	第68回日本化学療法学会総会	術後感染予防抗菌薬の基本	畑 啓昭	神戸	2020/9/13
国内学会	第68回日本化学療法学会総会	動画で見る!術中の感染対策手技 一般外科医	畑 啓昭	神戸	2020/9/13
国内学会	第82回日本臨床外科学会総会	AEGIS-Women共催ブースセミナー 外科医のCOVID-19対策「Withコロナ外科医が気をつけること」	畑 啓昭	WEB開催	2020/10/29 ～2020/11/30
研究セミナー・シンポジウム等	日本環境感染学会	院内感染講習会事業 厚生労働省動画チャンネル(YouTube)「手術部位感染防止対策」	畑 啓昭	YouTube	2020/11上旬 ～2021/3中旬
国内学会	第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会 第63回日本感染症学会中日本地方会学術集会 第68回日本化学療法学会西日本支部総会 合同開催	第57回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 年次テーマ:基本に立ち返る AST主導の抗菌薬適正使用を支援する 「感染症以外の術後発熱」	畑 啓昭	福岡	2020/11/5

研究セミナー・シンポジウム等	Healthy Discussion seminar WEB	Colon Preparation	畑 啓昭	東京	2020/11/8
研究セミナー・シンポジウム等	研修医のための輸液セミナー	『術後輸液』の部屋 「何をどれだけどんな根拠で？」	畑 啓昭	京都	2020/11/22
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会・学術集会	ランチョンセミナー 4 SSI 予防ガイドライン遵守率の現状と次の一手 「外科感染症ガイドラインの最新遵守率について」	畑 啓昭	WEB開催	2020/11/27
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会・学術集会	周術期の抗菌薬適正使用の取り組み	畑 啓昭, 松末 亮, 山岡 竜也, 末永 尚浩, 宗景 史晃, 三木 晶森, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 山口 高史	WEB開催	2020/11/27
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会・学術集会	教育委員会企画プログラム 外科医が知っておくべき微生物検査について	畑 啓昭	WEB開催	2020/11/27
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会・学術集会	術後感染予防抗菌薬の適正使用に向けた病棟薬剤師の取り組み	熊谷 康平, 畑 裕基, 村津 圭治, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久, 畑 啓昭	WEB開催	2020/11/27
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会・学術集会	シンポジウム4 消化器外科領域における周術期感染対策 「周術期の抗菌薬適正使用の取り組み」	畑 啓昭, 松末 亮, 山岡 竜也, 末永 尚浩, 宗景 史晃, 三木 晶森, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 山口 高史	WEB開催	2020/11/27
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会・学術集会	外科感染症入門講座18 「ドレーン」	畑 啓昭	WEB開催	2020/11/28
国内学会	第42回日本手術医学会総会	感染対策セミナー 2 「SSI 防止対策 ー最近のガイドラインを比較検討するー」	畑 啓昭	高松	2020/12/4
国内学会	第75回日本消化器外科学会総会	ワークショップ 13 【総論】 周術期感染対策の最前線 「周術期感染対策における抗菌薬適正使用 (Antimicrobial Stewardship) の継続的・多様な取り組み」	畑 啓昭, 大倉 啓輔, 後藤 健太郎, 岡田 はるか, 山岡 竜也, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	和歌山	2020/12/16
国内学会	第45回日本外科系連合学会学術集会	大腸手術における周術期感染対策の現状と問題点	畑 啓昭, 松末 亮, 山口 高史	WEB開催	2020/12/23

□ 投稿論文など

分類	著者(全員)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「整形外科感染対策における国際コンセンサス」	INFECTION CONTROL	29	4	77	2020/4	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭, 吉岡 尚子	V 術後合併症とその管理 7.感染症・その他「SSI」	消化器外科	43	5	915-918	2020/4	総説	へるす出版
和文	畑 啓昭	原著 術後感染予防抗菌薬の適正使用に向けた病棟薬剤師による電子カルテを用いた処方提案の効果	日本外科感染症学会雑誌	17	4	167-171	2020/4	原著論文	日本外科感染症学会
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「イレウスと腸閉塞は違うの?」	INFECTION CONTROL	29	5	73	2020/5	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	V 院内マニュアルの作成 1.術後感染予防抗菌薬マニュアルを院内で作成したいのですが、基本的な事項と作成上の注意点について教えてください	AST 虎の巻: 日常の疑問に答える!			180-186	2020/5	解説	中外医学社

和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「ガイドラインはどうやって探すの?」	INFECTION CONTROL	29	6	77	2020/6	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「脾臓摘出後のワクチン接種ガイドライン」	INFECTION CONTROL	29	7	85-86	2020/7	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン」	INFECTION CONTROL	29	8	68-69	2020/8	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「術前の禁煙に関するガイドライン」	INFECTION CONTROL	29	9	69-70	2020/9	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「ヘリコバクター・ピロリ感染のライン」	INFECTION CONTROL	29	10	63-64	2020/10	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	CHAPTER 2 各論 2-1 基本的抗菌薬 10. ニトロイミダゾール系抗菌薬 2-2 耐性菌治療薬 05. グリシルサイクリン系抗菌薬	抗菌薬適正使用 生涯教育テキスト 第3版			171-176 222-225	2020/10	講義	日本化学療法学会
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「虫垂炎のガイドライン」	INFECTION CONTROL	29	11	85-86	2020.11	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭, 末永 尚浩, 大谷 哲之, 松末 亮, 山口 高史, 猪飼 伊和夫	総特集 消化器・一般外科手術における感染対策・周術期管理 II. 各論 2) 胃手術における感染対策・周術期管理	手術	74	12	1701-1709	2020/11	総説	金原出版
和文	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「脳室炎・髄膜炎のガイドライン」	INFECTION CONTROL	29	12	74-75	2020/12	解説	メディカ出版
和文	畑 啓昭	特集 知っておきたい外科感染症 周術期予防抗菌薬	消化器外科	44	1	15-25	2021/1	総説	へるす出版

教育研修部



教育研修部長
小山 弘

専門医資格等 日本内科学会内科指導医
日本内科学会総合内科専門医
京都大学医学部臨床教授
日本内科学会専門医部会企画担当幹事
医療系大学間共用試験実施評価機構医学系OSCE実施小委員会
委員／Post-CC OSCE実施管理小委員会

□ 教育研修部の特徴

施設認定等	臨床研修指定病院
-------	----------

1. スーパーローテーション方式を採用し、各科を広く経験しています。
 2. 臨床研修医は、ERの担当を通じ幅広く急性疾患、外傷に対応する能力を習得すると同時に、地域医療に貢献しています。
 3. 古くからの教育病院として、臨床研修医を教える文化のある病院です。
- ※ 臨床研修医との懇談会、伏見地区総合診療臨床カンファレンス、地域医療研修など、伏見医師会の先生方には多大なご支援をいただき深く感謝しております。

□ 診療（業務）内容

当院の臨床研修プログラムに所属する臨床研修医、および京都大学医学部、京都府立医科大学、滋賀医科大学などの臨床研修プログラムに所属する臨床研修医で、協力病院として当院で研修を行う臨床研修医の、研修に関する諸問題を担当しています。

また、京都府医師会臨床研修のあり方に関する検討委員会の委員として、京都府全体の臨床研修に関する活動を行っています。

□ 地域医療連携・広報活動

伏見総合診療臨床カンファレンス（伏見医師会館にて）

京都府医師会研修サポート委員会委員長

京都府地域医療支援センター運営会議委員

伏見医師会理事

地域医療部



地域医療部長
瀬田 公一



地域医療連携室長
笹橋 望
(令和3年5月1日から)

□ 地域医療部の特徴

2019年11月に「患者支援センター」を開設しました。

退院支援センター、入院支援センター、救急診療受付、診療受付センター、がん相談支援センター、患者相談窓口を同じフロアへ統合・移転を行い、より緊密な医療連携を築いていけるよう職員一同精進しています。

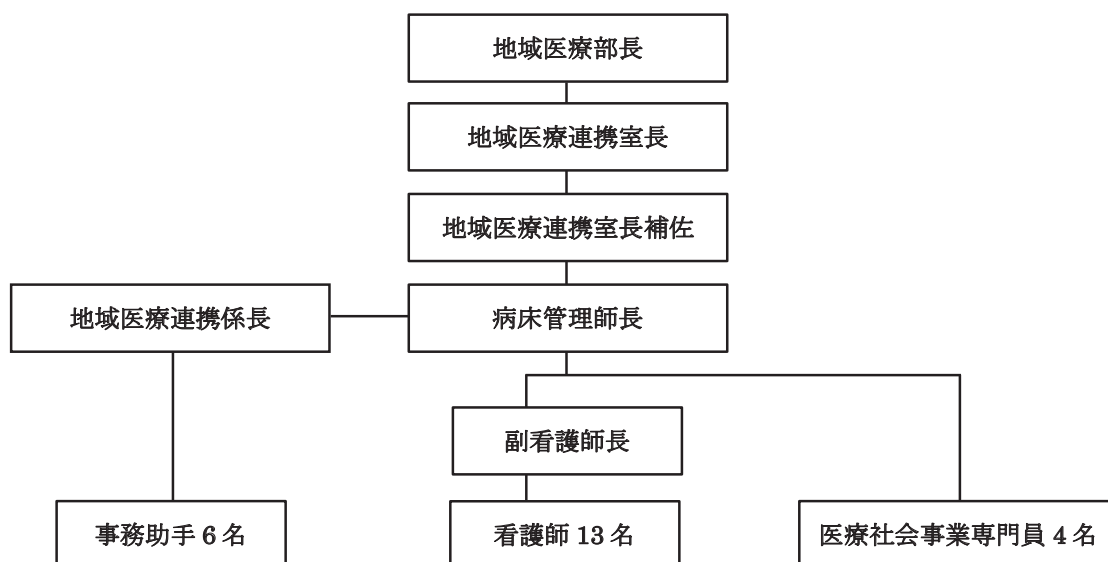
□ 患者支援センターの業務内容

退院支援	退院支援(転院や退院の調整) 医療、介護、福祉に関わる機関との連携
入院支援	入院前までの患者情報の聴取 利用している社会資源(介護サービス等)の確認 入院生活のオリエンテーション 内服中の薬剤の確認
救急診療受付	救急紹介患者受診の受付
診療受付	他院からの初診、検査予約 他院への診療、検査予約 診療情報の提供、依頼 他院からの転院調整 セカンドオピニオン外来申し込み 居宅介護支援計画連絡票の受付 訪問看護指示書、訪問リハビリ指示書の管理
がん相談支援センター	がんに関する相談
患者相談窓口	療養に関する相談 福祉制度(介護保険、障害制度、難病等)に関する説明、相談 医療費、生活費などの経済的問題についての相談
その他	開放型病床のデータ管理 市民公開講座、各種講演会の開催 広報誌、外来担当医表等の送付 各医療機関への訪問

1. 沿革と体制

2002年 地域医療連携室設置
 2007年 地域がん診療拠点病院の指定
 2008年 地域医療支援病院の承認
 2018年 地域連携支援センターへ名称変更
 2019年 患者支援センター開設

2. 構成メンバー



3. スタッフ

患者支援センター

令和2年10月1日時点

地域医療連携室長補佐	梶田 佳範
病床管理師長	小林 美保
副看護師長	井垣 美紗子
地域医療連携係長	和田 佳奈子
主任医療社会事業専門員	弘中 孝佳
看護師	塗師 雅美
看護師	太田 香織
看護師	松岡 和子
看護師	中窪 美奈
看護師	人見 真理
看護師	小山田 素子
看護師	須藤 こころ
看護師	瀧下 遥奈
看護師	森井 奈美
看護師	細見 晃世
看護師	河瀬 真弓
看護師	八木 あゆみ
非常勤看護師	池内 安芸子

医療社会事業専門員	石田 沙友梨
医療社会事業専門員	吉岡 孝師
医療社会事業専門員	仲江 陽大
予約担当	諸木 真知
予約担当	薄井 智子
予約担当	川崎 小枝子
予約担当	若原 響子
予約担当	上奥 雅彦
予約担当	松本 里織

□ 業務実績（令和2年度）患者支援センターの業務内容

〈退院支援〉

- ・ 転院支援件数766件
- ・ 転院支援件数在院日数31.3日
- ・ 地域連携診療計画管理料算定件数141件

〈入院支援〉

- ・ 入院支援件数4097件

〈救急診療受付〉

- ・ 救急受診受付件数1,092件
- ・ 救急受診受入後入院件数519件

〈診療受付〉

- ・ 地域医療連携室経由予約件数（診療予約）7,828件 （検査予約）815件
- ・ 1日平均予約件数（診療予約）32.3件 （検査予約）3.4件
- ・ セカンドオピニオン相談件数50件 実績件数22件
- ・ 紹介率78.0% 逆紹介率122.5%

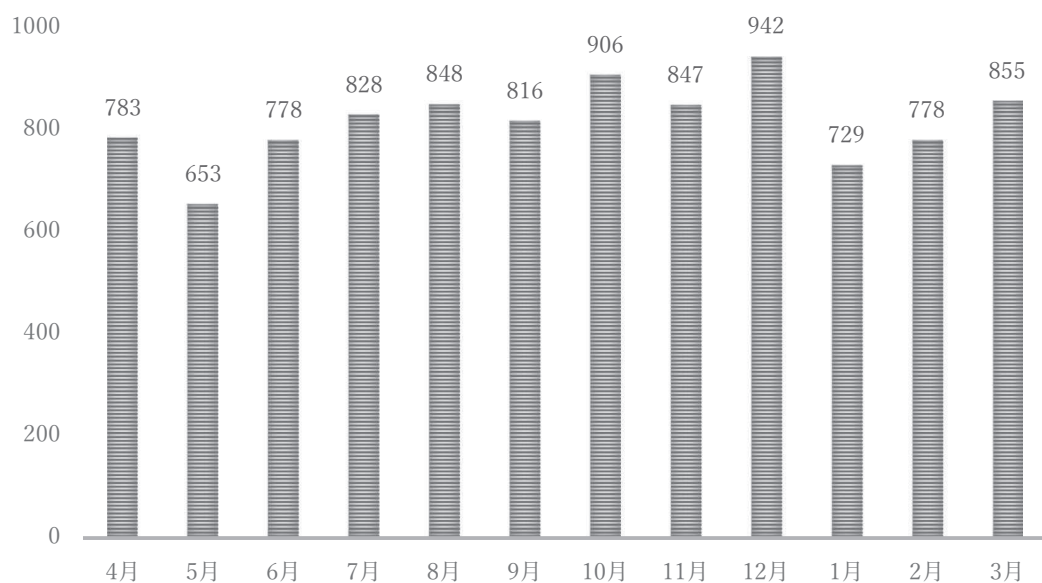
〈がん相談支援センター・患者相談窓口〉

- ・ 延べ相談件数23,412件

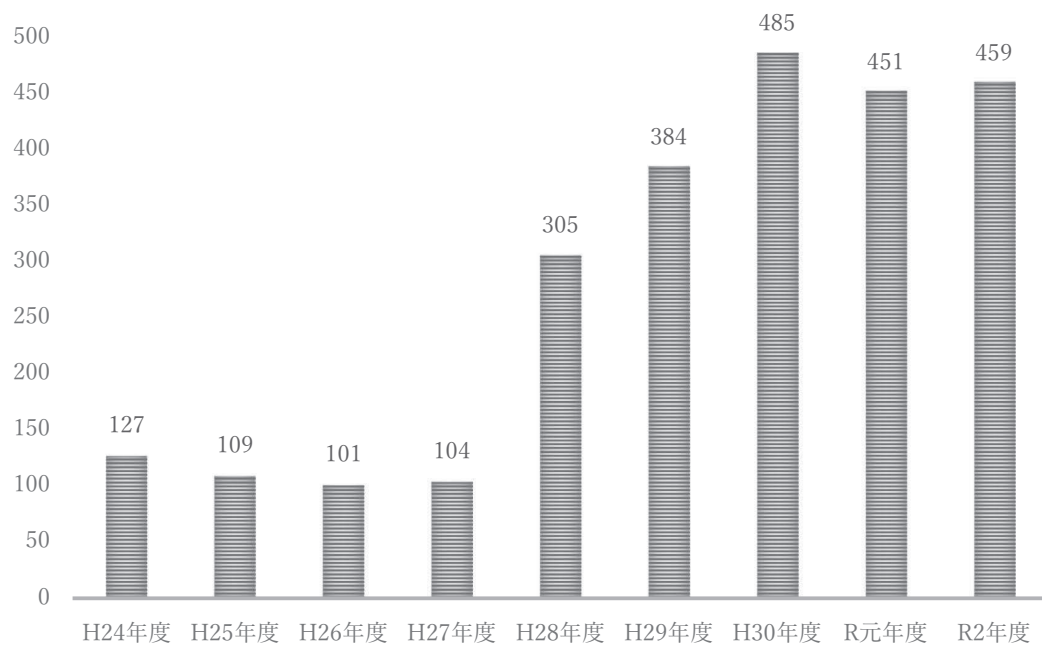
〈その他〉

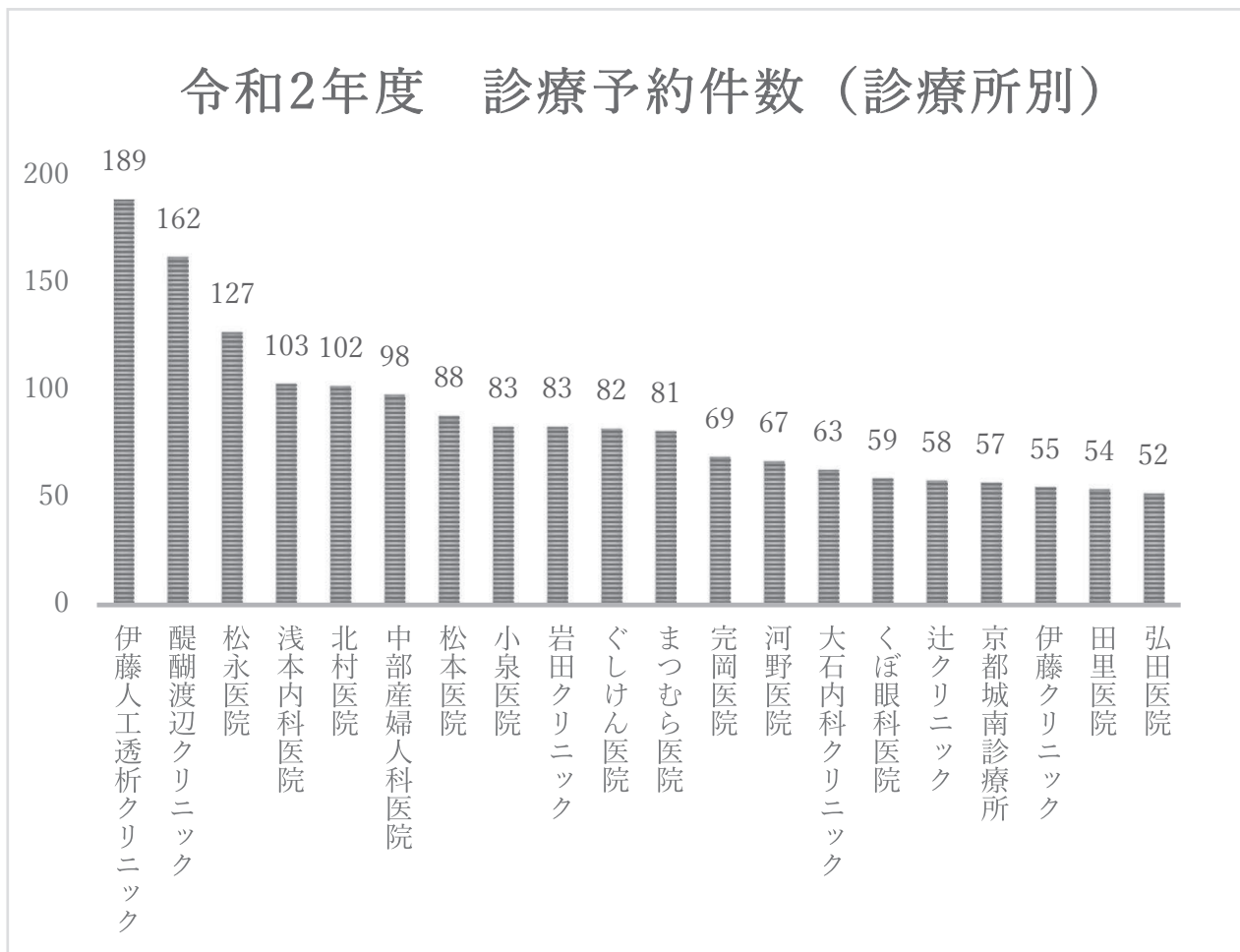
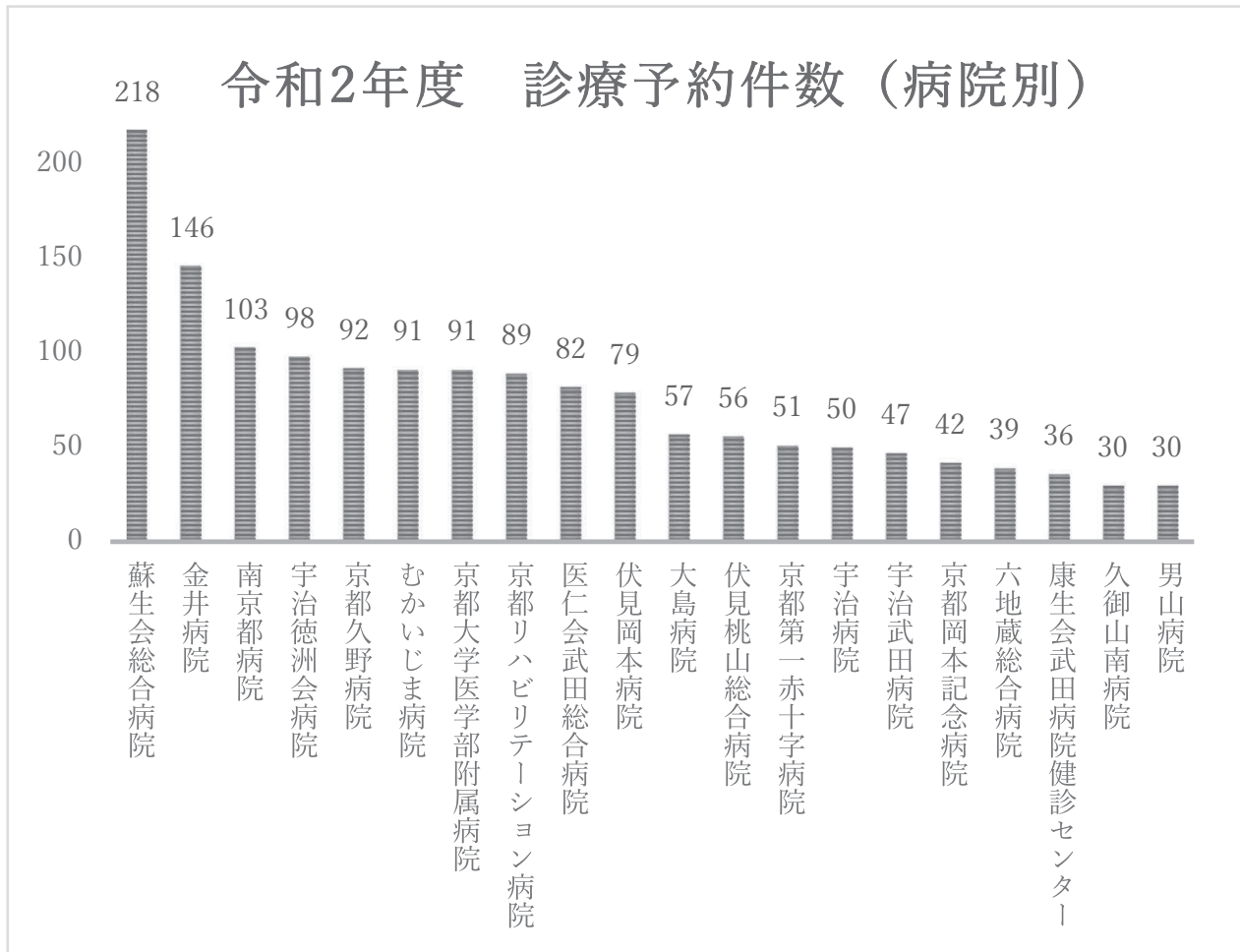
- ・ 開放型病床登録医数129件
- ・ 地域医療連携委員会 1回/月
- ・ 地域支援病院運営委員会 四半期1回

令和2年度 入退院支援加算 1 算定件数

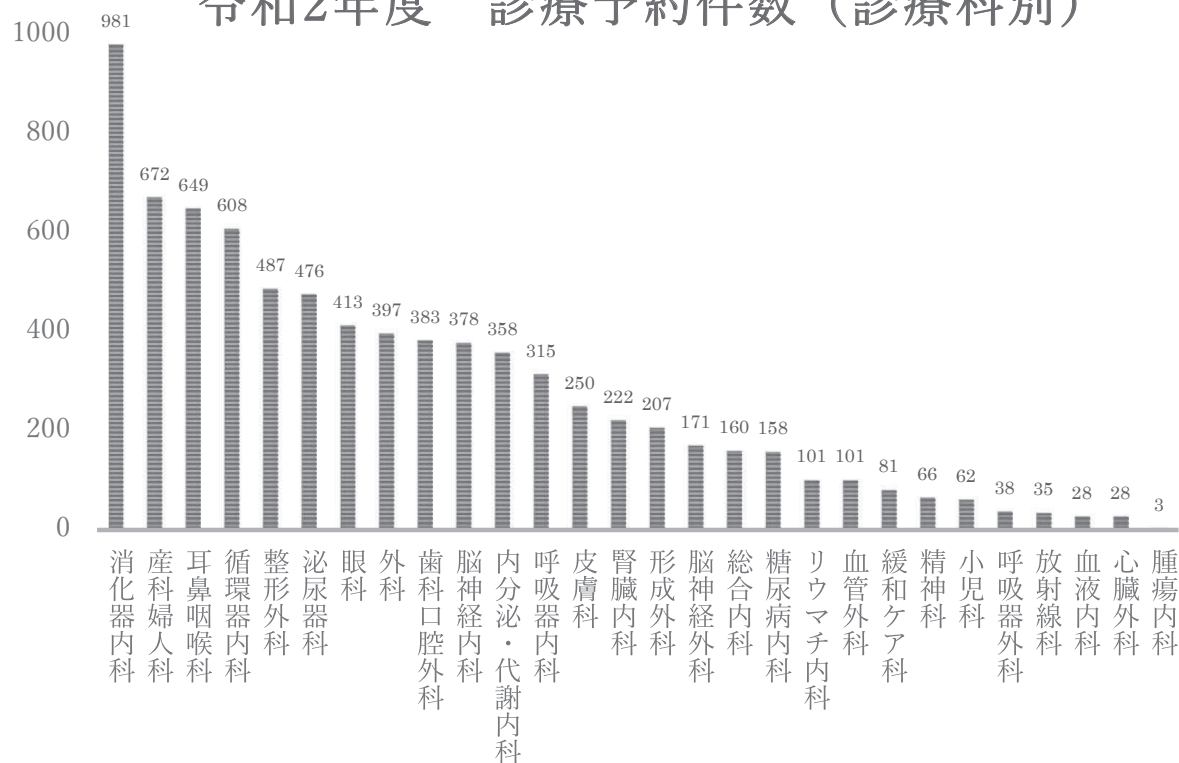


在宅支援件数

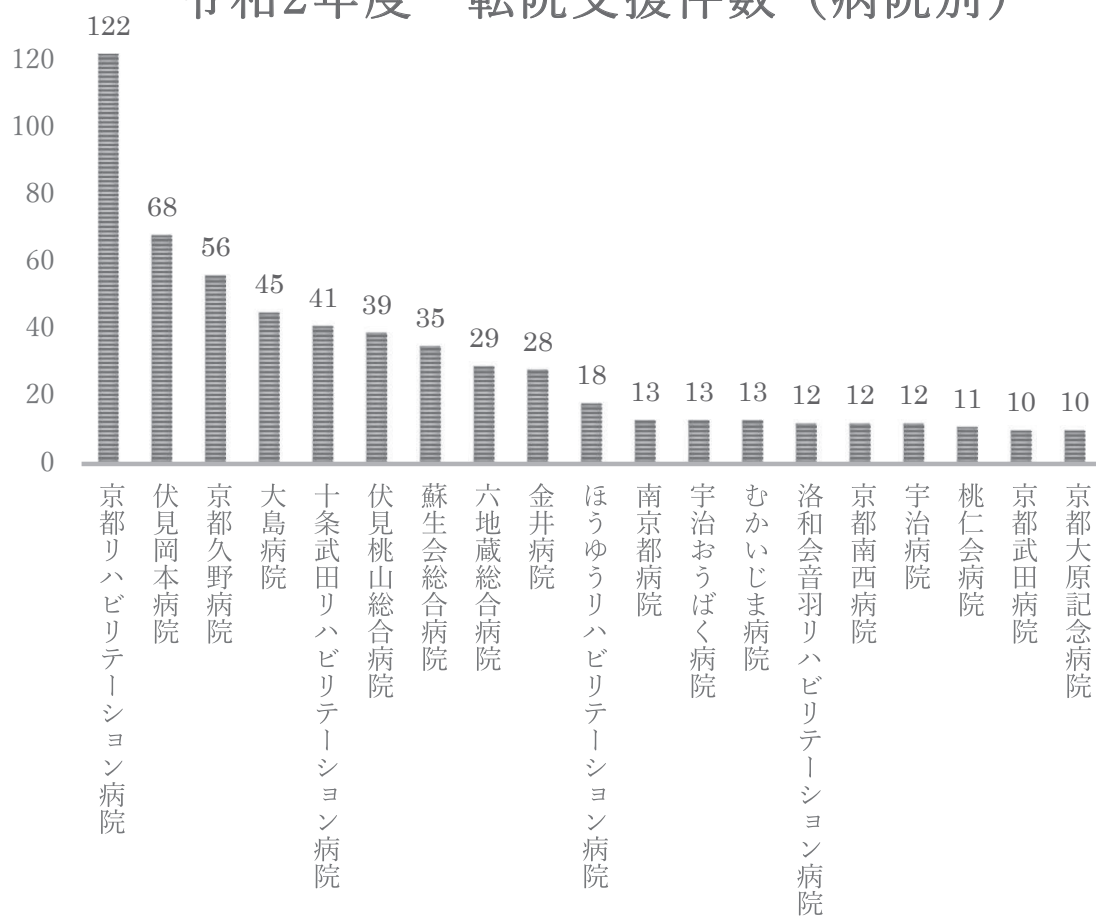




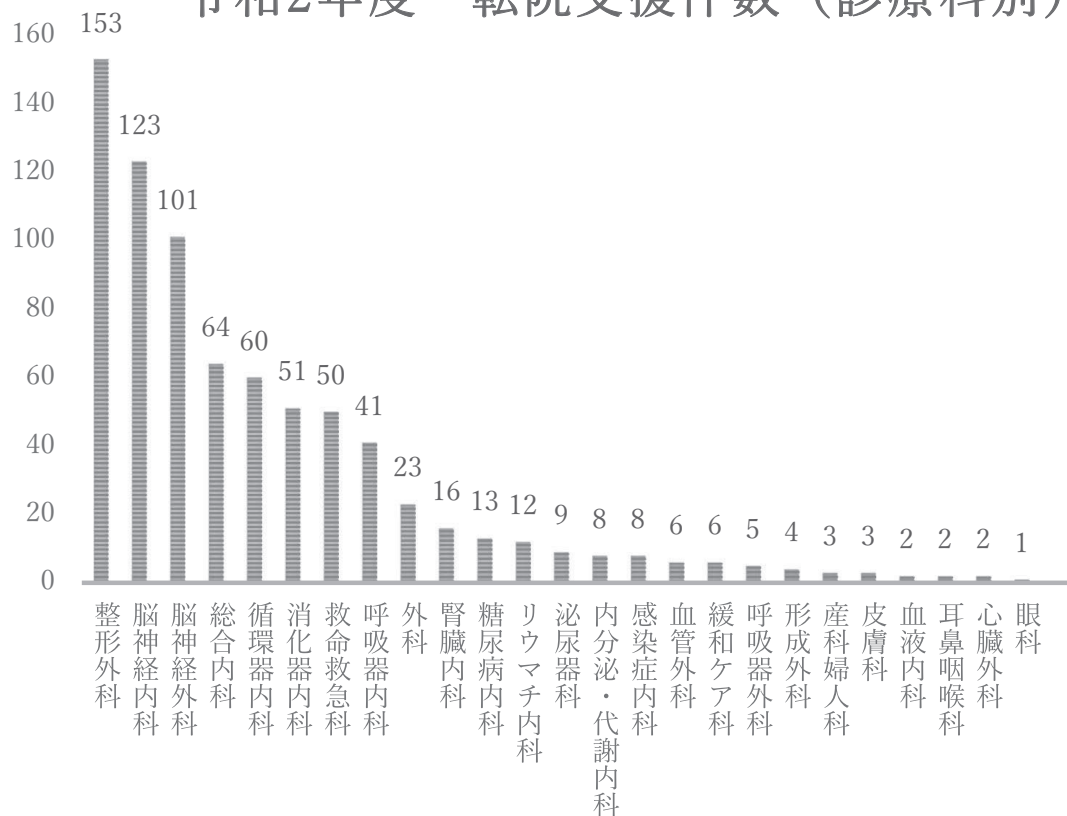
令和2年度 診療予約件数（診療科別）



令和2年度 転院支援件数（病院別）



令和2年度 転院支援件数（診療科別）



□ 地域医療連携・広報活動

- ・「“がん治療最前線”三本の矢! ～京都医療センターの挑戦～」

京都医療センター医療連携フォーラム 2020年7月4日 Web開催

- ・「京都医療センターの救急・新たなスタート」

京都医療センター医療連携フォーラム 2020年11月28日 Web開催

- ・「新体制で一歩前へ 消化器内科&脳神経内科」

京都医療センター医療連携フォーラム 2021年3月27日 Web開催

薬剤部



薬剤部長
本田 芳久
令和3年3月31日まで

専門医資格等
薬剤師認定制度認証機構
認証生涯研修認定薬剤師 (KLEC)
日本薬剤師研修センター認定
実務実習指導薬剤師
京都薬科大学特定教授
大阪大谷大学薬剤部臨床教授



薬剤部長
土井 敏行
令和3年4月1日より

専門医資格等
薬剤師認定制度認証機構
認証生涯研修認定薬剤師 (KLEC)
日本薬剤師研修センター
認定実務実習指導薬剤師

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等
副薬剤部長	山下 大輔	KLEC認定薬剤師、日本医療薬学会指導薬剤師、日本病院薬剤師会感染制御専門薬剤師
副薬剤部長	別府 博仁	日本臨床救急医学会救急認定薬剤師、日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師、KLEC認定薬剤師、日本DMAT隊員
治験主任	田中 有	日本臨床薬理学会認定CRC
調剤主任	村津 圭治	KLEC認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 NST専門療法士
製剤主任	田中 亮	KLEC認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師、外来がん治療認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師
病棟業務管理 主 任	池上 洋平	KLEC認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師、日本循環器学会認定心不全療養指導士
医薬品情報 管 理 主 任	松井 尚美	KLEC認定薬剤師
薬務主任	小原 直紘	KLEC認定薬剤師、日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
薬 剤 師	馬場 雅子	
薬 剤 師	物部 加容子	
薬 剤 師	神林 由樹	
薬 剤 師	岩上 祥愛	日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師
薬 剤 師	田淵 寿美	KLEC認定薬剤師
薬 剤 師	白井 祐也	KLEC認定薬剤師
薬 剤 師	佐々木 祐太	日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師
薬 剤 師	松本 真理子	日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本糖尿病療養指導士認定機構日本糖尿病療養指導士、KLEC認定薬剤師
薬 剤 師	和田 遼子	小児薬物療法認定薬剤師
薬 剤 師	市原 英則	麻薬教育認定薬剤師、日本DMAT隊員、KLEC認定薬剤師
薬 剤 師	野田 拓誠	外来がん治療認定薬剤師
薬 剤 師	藤本 佳奈	
薬 剤 師	松田 璃沙	KLEC認定薬剤師
薬 剤 師	保井 健太	KLEC認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師

薬 剤 師	壇 梨恵	KLEC認定薬剤師、日病薬病院薬学認定薬剤師
薬 剤 師	石川 晋平	
薬 剤 師	江島 怜那	KLEC認定薬剤師
薬 剤 師	宮地 由香里	
薬 剤 師	前川 由季菜	
薬 剤 師	上柳 汐果	
薬 剤 師	東 里奈	KLEC認定薬剤師
薬 剤 師	稲田 顕慶	日本DMAT隊員、KLEC認定薬剤師
薬 剤 師	綿榎 充穂	KLEC認定薬剤師
薬 剤 師	杉山 紗彩	
薬 剤 師	山階 規子	KLEC認定薬剤師、日病薬病院薬学認定薬剤師
非常勤薬剤師	今居 由佳	

□ 診療科の特徴

1. 各病棟に担当薬剤師を配置し、病棟薬剤業務実施加算を特殊病棟を含め実施している。
2. 外来化学療法室での抗がん剤無菌調製、レジメンチェック、服薬指導を実施している。
また、薬剤師外来（化学療法）を設置し、がん患者管理指導料算定業務をおこなっている。
3. 救命救急、ICU、NICU病棟に専任の薬剤師を配置し、ハイケア患者に対する薬物療法の質の向上を図っている。
4. ICT、NST、がん、緩和医療をはじめとしたチーム医療と各診療科の専属薬剤師が連携を取り、医師やその他の医療従事者と共働で入院患者の薬物療法の質の向上に努めている。
5. 早期体験実習生、長期実務実習生の受け入れなど質の高い教育研修を行っている。
6. 平成24年度に京都薬科大学と、また平成28年度に摂南大学と包括協定を締結し、教育や臨床研究の発展を図っている。
7. 治験・臨床研究実施におけるCRC業務等を実施している。
8. 患者支援センターに担当薬剤師を配属し、入院予定患者を対象に面談を行い、持参薬の確認等を行っている。また、術前患者の抗血栓薬服用の確認も行っている。

□ 診療（業務）内容

「薬学的介入によるアウトカムの検証」

＜病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務＞

医師、看護師らとの連携により、可能な限り入院患者の初回投与時及び退院時の服薬指導を実施するとともに、薬剤管理指導の増大と医療の質の向上に寄与する。

＜医薬品の安全性の確保＞

積極的に副作用情報を収集し、医薬品の安全性を確保するとともに医薬品情報の収集・提供体制の強化を図る。さらに、プレアボイド情報の収集に努め、迅速な対応を行う。また、医薬品関連インシデントの解析から、病棟専任薬剤師が医療事故防止策に積極的にアプローチする。

＜注射薬の無菌調製業務＞

全診療科の抗悪性腫瘍剤の無菌調製を実施し、医療従事者の安全性を確保するとともに医療事故の防止を努める。

患者の安全性確保のため抗悪性腫瘍剤のレジメン管理の適正化を薬剤師主導で実施する。

＜医薬品管理の適正化＞

薬事委員会を通じて同種同効薬の整理を行い、採用医薬品数の縮減に努める。

<教育研修・研究>

積極的に各種研修に参加し資格認定及び専門薬剤師等の取得に努める。

薬学実務実習生、研修生を積極的に受け入れ、質の高い教育研修を行う。また、業務の効率化及び医療の質向上を目的とした研究業務を行い、学会などに積極的に参加する。

<調剤過誤防止>

ヒヤリ・ハット報告の収集・分析・対策を迅速に行い、再発防止に努めるとともに監査の徹底により調剤過誤を減少させる。

<チーム医療、クリニカルパスの参画>

薬剤師の専門性を活かした業務を推し進め、緩和ケア、糖尿病療養、ICT、NST救命救急などのチーム医療に貢献する。また、クリニカルパスの運用において、薬剤部として積極的に関わり薬物療法の適正化に努める。

<地域医療連携の強化>

地域医療パスにおいて、服用薬の管理等、薬学的管理事項に関与し、在院日数の短縮に貢献するとともに、お薬手帳で薬薬連携の充実を図る。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会	第68回日本化学療法学会総会	当院におけるベダキリンフマル酸塩・デラマニド併用におけるQT延長の発現状況について	上柳 汐果	神戸	2020/9/13
国内学会	第47回 日本小児臨床薬理学会学術集会	新生児の中心静脈栄養無菌調製・監査時における業務効率改善への取り組み	松田 璃沙, 江島 怜那, 田中 亮, 村津 圭治, 松井 尚美, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	群馬	2020/9/26
国内学会	第74回国立病院総合医学会	当院におけるブレアボイド報告増加への取り組み	江島 怜那, 松田 璃沙, 松井 尚美, 別府 博仁, 山下 大輔, 本田 芳久	新潟	2020/10/7-2020/11/14
国内学会	第74回 国立病院総合医学会	新型コロナウイルス(COVID-19)感染症患者受け入れ施設としての薬剤部の対策と取り組みについて	池上 洋平, 村津 圭治, 別府 博仁, 山下 大輔, 本田 芳久	新潟	2020/10/7-2020/11/14
国内学会	第74回国立病院総合医学会	患者支援センターを基軸とした入退院時の情報共有に対する取り組みと課題	小原 直紘, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	新潟	2020/10/7-2020/11/14
国内学会	第30回日本医療薬学会年会	クリゾチニブ誘因性嘔吐のリスク因子および予防的制吐療法に関する後方視的検討	熊谷 康平, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	名古屋	2020/10/24-2020/11/1
国内学会	第30回日本医療薬学会年会	ナルデメジンの有効性・安全性の検討	野田 拓誠, 村津 圭治, 田中 亮, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	名古屋	2020/10/24-2020/11/1
国内学会	第33回日本外科感染症学会総会学術集会	術後感染予防抗菌薬の適正使用に向けた病棟薬剤師による電子カルテを用いた処方提案の効果	熊谷 康平, 村津 圭治, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久, 畑 啓昭	東京	2020/11/27
国内学会	第42回日本病院薬剤師会近畿学術大会	処方箋薬品名称表記変更がインシデント内容に与える影響	藤本 佳奈, 池上 洋平, 村津 圭治, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	大阪	2021/1/30-2021/1/31
研究セミナー・シンポジウム等	第42回日本病院薬剤師会近畿学術大会	がん薬物療法における認定薬剤師としての役割	佐々木 祐太	大阪	2021/1/31
国内学会	第42回日本病院薬剤師会近畿学術大会	京都医療センターにおける連携充実加算算定患者への介入方法と介入効果の調査	田淵 寿美, 田中 亮, 佐々木 祐太, 村津 圭治, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	大阪	2021/1/30-2021/1/31
国際学会	第42回日本病院薬剤師会近畿学術大会	外来急性気道感染症に対する経口抗菌薬の年齢別処方傾向に関する検討	保井 健太, 熊谷 康平, 村津 圭治, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	大阪	2021/1/30-2021/1/31

国内学会	第42回日本病院薬剤師会 近畿学術大会	国立病院機構近畿グループ におけるプレアボイド報告 の集積調査	綿榎 充穂, 村津 圭治, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	大阪	2021/1/30- 2021/1/31
国内学会	日本臨床腫瘍薬学会	進展型小細胞肺癌患者にお けるアテゾリズマブ+カルボ プラチン/エトポシド療法の 血液毒性発現調査	市原 英則, 池上 洋平, 村津 圭治, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	オンライン	2021/3/21- 2021/3/22

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	熊谷 康平, 村津 圭治, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久, 畑 啓昭	術後感染予防抗菌薬の 適正使用に向けた病棟 薬剤師による電子カル テを用いた処方提案の 効果	日本外科感染症 学会雑誌	17巻	4号 特集 号	1-5			医学図書出版

臨床検査科



臨床検査科長
勝島 慎二

専門医資格等 日本内科学会 認定内科医 指導医
日本消化器病学会 専門医・指導医・近畿支部評議員・本部評議員
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医・近畿支部評議員・本部評議員
日本医学放射線学会 放射線科診断専門医
日本肝臓学会 専門医・西部会評議員
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医・指導責任者
日本消化管学会 胃腸科専門医
日本消化器がん検診学会 総合認定医
京都大学医学博士

専門分野 消化器内科全般
得意疾患 肝疾患
炎症性腸疾患

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

氏 名	役職名	認定資格等
技師スタッフ		
新井 浩司	臨床検査技師長	日本適合性認定協会臨床検査室技術審査員、京都府院内臓器移植コーディネーター、がんゲノム医療コーディネーター、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
田栗 貴博	副臨床検査技師長	
栗山 陽子	副臨床検査技師長	認定輸血検査技師、認定血液検査技師、二級臨床検査士（血清学）、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
村上 伊久子	主任臨床検査技師	超音波検査士（循環器）、心臓リハビリテーション指導士、ペースメーカー/ICD関連情報担当者（CDR）認定、CERTIFIED CARDIAC DEVICE SPECIALIST、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
寺野 雅美	主任臨床検査技師	超音波検査士（循環器）、超音波検査士（血管）、血管診療技師、緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
小森 法子	主任臨床検査技師	認定血液検査技師、骨髄検査技師、二級臨床検査士（血液学）、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
吉川 耕平	主任臨床検査技師	認定臨床微生物検査技師、感染制御認定臨床微生物検査技師（ICMT）、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
鶴田 康倫	主任臨床検査技師	細胞検査士、国際細胞検査士、有機溶剤作業主任者、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者、がんゲノム医療コーディネーター、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
松延 大樹	主任臨床検査技師	中級バイオテクノロジスト認定、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
井門 浩美	主任臨床検査技師	超音波検査士（循環器）、超音波検査士（産婦人科）、超音波検査士（消化器）、超音波検査士（血管）、血管診療技師、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
井藤 博史	主任臨床検査技師	
古屋 晃子	臨床検査技師	認定輸血検査技師、認定血液検査技師、二級臨床検査士（血液学）、緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
西山 智美	臨床検査技師	超音波検査士（循環器）、緊急臨床検査士、管理栄養士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講

前川 美翠穂	臨床検査技師	超音波検査士(循環器)、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
大平 真梨子	臨床検査技師	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
伊藤 大輔	臨床検査技師	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
平野 花奈	臨床検査技師	緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
丸野 大輝	臨床検査技師	緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
金丸 青空	臨床検査技師	緊急臨床検査士、二級臨床検査士(血液学)、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
竹澤 遼	臨床検査技師	緊急臨床検査士、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
道面 将嗣	臨床検査技師	細胞検査士、有機溶剤作業主任者、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
近澤 薫	臨床検査技師	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
松本 泰三	臨床検査技師	緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
吉廣 優希	臨床検査技師	緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
西山 絢菜	臨床検査技師	緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
鈴木 遥	臨床検査技師	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
津高 紗央	臨床検査技師	細胞検査士、国際細胞検査士、二級臨床検査士(病理学)、有機溶剤作業主任者、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者、毒劇物取扱者、中級バイオテクノロジスト認定、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
松田 由美	臨床検査技師	
吹田 奈帆美	臨床検査技師	
久保 槇也	臨床検査技師	緊急臨床検査士、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
尾上 結穂	臨床検査技師	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
黒木 瑠菜	臨床検査技師	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
楠木 秀和	臨床検査技師(再)	細胞検査士、国際細胞検査士、有機溶剤作業主任者、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者
益田 喜信	臨床検査技師(再)	
井本 元治	非常勤臨床検査技師	超音波検査士(消化器)、診療情報管理士、第二種ME技術実力検定
三浦 辰朗	非常勤臨床検査技師	
藤田 晶絵	非常勤臨床検査技師	臨床工学士、第二種ME技術実力検定、体外循環技術認定士、健康食品管理士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
受付スタッフ		
村井 佳世	事務助手(非常勤)	
中尾 弥生	事務助手(非常勤)	
岩崎 京子	事務助手(非常勤)	
松本 弓佳利	事務助手(非常勤)	
森川 信子	事務助手(非常勤)	
藤井 浩美	事務助手(非常勤)	

□ 科(室)の特徴

1. 正しいデータを臨床側に返すことは、臨床検査技師の大切な任務であり、その命ともいえる精度管理に大きなエネルギーを注いでいます。
2. 当センターは日本の政策医療で、内分泌・代謝性疾患の基幹的役割を担っています。当科は臨床検査のトップ集団であることを自覚し、政策医療関連の検査の充実を図っています。
3. 緊急検査は、24時間対応しています。
4. 感染防御という立場から積極的に取り組むため、ICT(感染防御チーム)の活動に臨床検査技師も参加しています。
5. 輸血業務を一元化し、安全かつ適正な輸血管理業務を行っています。

□ 診療(業務)内容

当科の業務は臨床検査を行うことであり、臨床検査は検体検査と生理機能検査の2つの分野に大きく分かれます。

1. 検体検査：血液、尿、便、痰、手術により切り出された組織、穿刺液等を用いて行う検査です。肝機能検査や生活習慣病の血糖・尿糖検査、貧血検査、がん細胞検査等がこの中に含まれます。検査部門としては血液学検査、生化学検査、免疫学検査、輸血関連検査、微生物学検査、病理学検査、一般検査があります。
2. 生理機能検査：直接患者さんの身体に接して、体内からの情報や変化の状態を数字や画像に変換して目で見えるようにする検査です。分野別に心電図検査、肺機能検査、脳波検査、筋電図検査、超音波検査、聴力検査、睡眠時無呼吸検査、出血時間検査があります。

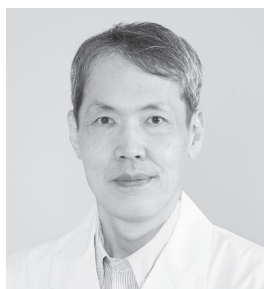
□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第69回 日本医学検査学会	グリコヘモグロビン分析装置「The Lab 001」の基本性能評価	小森 法子, 金丸 青空, 栗山 陽子	千葉+Web	2020/10/01 ～2020/10/31 視聴可能
研究セミナー・シンポジウム等	2020 関西BDエキスポ ト ウェブセミナー	当センターにおける薬剤感受性検査の運用方法	吉川 耕平	大阪	2020/11/14
研究セミナー・シンポジウム等	感染防止対策地域連携カンファレンス	COVID-19 検査の状況～当院の対応と今後について～	田栗 貴博	京都	2020/9/4
国内学会発表	一般社団法人日本心エコー学会第31回学術集会	肺癌術後の肺静脈断端部左房内に血栓形成を来した心房細動の一例	大平 真梨子	島根	2020/8/15
国内学会発表	日本超音波医学会第93回学術集会	一酸化炭素中毒後に心筋障害を来し、左室心尖部血栓を合併した一例	前川 美翠穂	wed開催 (仙台)	2020/12/1 ～ 12/3
国内学会発表	日本超音波医学会第93回学術集会	右心房に巨大転移巣を形成した進行性膀胱癌の一例	平野 花奈	wed開催 (仙台)	2020/12/1 ～ 12/3

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
和文	松田 由美	1. 分析前の工夫・改善 4. 高速凝固促進剤入り採血管で析出したフィブリンの影響と対処法	医療検査と自動化 (科学技術マニユアル第19集)	46		8～9		Q&A	(一社)日本医療検査科学会
和文	新井 浩司	～新型コロナウイルス感染症(SARS-CoV-2)臨床検査室における危機管理(緊急報告):BCP(業務継続計画)作成の勧め～	医療と検査機器・試薬	44	1	37～44	2021/2	総説	ラボサービス・宇宙堂八木書店
英文	田栗 貴博	Observational study of skin and soft-tissue Staphylococcus aureus infection in patients infected with HIV-1 and epidemics of Pantone-Valentine leucocidin-positive community acquired MRSA infection of Osaka, Japan	Journal of infection and Chemotherapy	26	12	1254-1259	2020/12		

病理診断科



病理診断科長
森吉 弘毅

専門医資格等 病理専門医
細胞診専門医
死体解剖資格

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野
専 攻 医	三林 聡子	死体解剖資格	
臨 床 検 査 技 師	鶴田 康倫	日本細胞検査士、国際細胞検査士	
臨 床 検 査 技 師	楠木 秀和	日本細胞検査士、国際細胞検査士	
臨 床 検 査 技 師	道面 将嗣	日本細胞検査士	
臨 床 検 査 技 師	西山 絢菜		
臨 床 検 査 技 師	竹澤 遼		
臨 床 検 査 技 師	津高 紗央	日本細胞検査士、国際細胞検査士	
臨 床 検 査 技 師	久保 模也		

□ 科の特徴

1. 病理医2名でダブルチェックを行い、診断精度の向上を図っています。
2. 細胞検査士の資格を持つ検査技師と協力し、細胞診業務を行っています。
3. コンサルテーション等で京大病院病理診断科との協力体制を築いています。
4. 組織診、細胞診、術中迅速診断、病理解剖、CPCのいずれについても正確かつ迅速な診断を心がけています。
5. カンファレンス等を通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

□ 診療（業務）内容

1. 組織診断：生検や手術によって採取された検体に対し、良悪性の判定、炎症の有無などを調べ、診断名を確定します。また、治療効果や腫瘍のステージ、転移の有無などの判定を行い、以後の治療方針の決定に役立てています。2020年は6896件の組織診断を行いました。
2. 細胞診：子宮頸部擦過、尿、喀痰、甲状腺やリンパ節の穿刺などによって得られた細胞を観察し、良悪性の判定を行います。2020年は7379件の細胞診を行いました。
3. 他院標本診断：セカンドオピニオンや転院によって当院を受診された患者さんが持参された標本を改めて検討し、診断の確認を行っています。2020年は141件の他院標本診断を行いました。

4. 術中迅速診断：手術中に提出された検体を15-20分程度で診断し、手術範囲や術式の決定に役立てています。2020年は418件の術中迅速診断を行いました。
5. 病理解剖：亡くなられた患者さんのご遺体を解剖し、病態を詳しく調べて、生前に分からなかった事も解明しています。2020年は17件の病理解剖を行いました。
6. CPC：臨床各科と合同で病理解剖症例の検討を行い、様々な視点から病態を調べて、今後の診断や治療に役立てています。また、研修医と共に発表を行い、医学教育に寄与しています。
7. カンファレンス：臨床各科と定期的にカンファレンスを実施し、臨床情報と病理所見のすり合わせを行っています。また、手術検体の切り出しの際の外科医立ち会いや、個別症例についてのディスカッションを通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	巻	号	ページ	発行年月	論文種類	出版社
英文	森吉 弘毅	Neonatal Fc receptor induces intravenous immunoglobulin growth suppression in Langerhans cell histiocytosis	Patol Int.	71	3	191-198	2021/3	原著論文	
英文	海透 修子, 後藤 雅史, 井口 美季子, 奥野 芳章, 森吉 弘毅, 小山 弘	Methotrexate-associated lymphoproliferative disorder with histopathological features of histiocytic necrotizing lymphadenitis	Mod Rheumatol Case Rep.	5	1	141-144	2021/1	原著論文	
英文	成田 匡大, 森吉 弘毅	Is the nerve in the inguinal canal really protected by an investing fascia? Is it a real entity?	Hernia				2020/9	原著論文	
英文	伊藤 高範, 藤田 浩平, 岡村 美里, 奥野 芳章, 斎藤 漸太郎, 金井 修, 中谷 光一, 森吉 弘毅, 三尾 直士	Pleural involvement of diffuse large B-cell lymphoma mimicking malignant pleural mesothelioma	Respir Med Case Rep.	31		101-206	2020/8	原著論文	
英文	森吉 弘毅, 八十田 明宏	Acromegaly accompanied by diabetes mellitus and polycystic kidney disease	Endocr J.	68	1	103-110	2021/1	原著論文	

臨床栄養科



臨床栄養科長
大谷 哲之
令和3年3月31日まで



臨床栄養科長
村田 敬
令和3年4月1日より

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等
栄養管理室長	平野 和保	
副栄養管理室長	森岡 宏介	日本糖尿病療養指導士
主任栄養士	大谷 弥里	NST専門療法士
栄養士	出島 美咲	
栄養士	廣部 香奈	
栄養士	中村 玲欧菜	
調理師長	福井 勝	
副調理師長	石井 俊雄	
副調理師長	山田 弘喜	
主任調理師	西田 正直	
主任調理師	坂本 尚人	
調理師	蒲生 亘	
調理師	博多 健二	
調理師	榊村 勝利	
調理師	荒川 和彦	
調理師	澤邊 元弘	
調理師	松尾 隆生	
栄養士	佐野 里花子	
非常勤栄養士	苅谷 衣純	
非常勤事務助手(栄養管理室)	山城 智佐子	
育児短時間(栄養士)	騎馬 沙苗	
育児休業(主任栄養士)	中辻 晴香	NST専門療法士
育児休業(栄養士)	北川 洋子	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本臨床栄養代謝学会NST稼働認定施設
-------	---------------------

1. 栄養サポートチーム活動
2. 専門外来栄養指導の実施
3. 特別メニュー食の提供
4. 個人対応食 (PS食) の提供
5. 緩和ケア病棟での特別行事食の実施
6. 集中治療室における早期栄養介入

□ 診療(業務)内容

1. 食事の提供

入院患者を対象に大量調理施設衛生マニュアルに基づいた管理のもと、安全な食事(一般食及び治療食)を提供している。患者サービス、喜ばれる食事の一環として、週3回の選択食や月2回以上の行事食を実施している。患者アンケートでは、毎回70%以上の患者に良好な評価を頂いている。緩和ケア病棟、化学療法における食欲不振時には、管理栄養士が訪室し、個別対応食 (PS食) の提供をしている。

2. 栄養食事指導

外来及び入院患者を対象に個人指導や心臓病教室などの集団指導を実施。特に外来指導においては、継続したフォローアップを重視し、医師と連携した療養指導を実施している。CSII(インスリンポンプ) 外来や1型糖尿病専門外来、メタボリックシンドローム外来などの専門外来指導も実施している。今年度8月より、自宅や職場で栄養食事指導を受けていただける、電話での栄養食事指導を開始した。Covid-19禍において、外出による感染リスクの軽減にも繋がっている。

3. チーム医療

栄養サポートチームや、緩和ケアチーム、糖尿病透析予防チームなどチームの一員として管理栄養士が積極的に参加している。今年度は、集中治療室に入室される患者に対して、栄養介入を開始した。栄養サポートチームでは、中心的な役割を担い、患者の情報収集や情報発信を積極的に行っている。

4. 教育研修

今年度は5つの管理栄養士養成大学より、23名の実習生を受入れ、人材育成に寄与している。

□ 地域医療連携・広報活動

糖尿病週間イベント「サルコペニア・フレイル」

ポスター掲示と食品サンプル、疑似体験コーナーの設置

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第9回学術集会	次世代を見据えた栄養指導のあり方～情報通信機器を活用して～	大谷 弥里, 平野 和保, 坂根 直樹, 村田 敬	Web	2020/11/2～9
国内学会発表	第17回国立病院栄養研究学会	次世代を見据えた栄養指導のあり方～情報通信機器を活用して～	大谷 弥里, 平野 和保, 坂根 直樹, 村田 敬	Web	2021/1/23
国内学会発表	第9回臨床高血圧フォーラム	療養指導士セミナー CKDの食事・栄養指導	平野 和保	Werb	2021/5/15～29
国内学会発表	第9回臨床高血圧フォーラム	美味しい減塩食“かるしお”の推進ー産業界との連携によるポピュレーションアプローチー	平野 和保(共同)	Werb	2021/5/15
国内学会発表	第74回国立病院総合医学会	循環器病予防のための美味しい減塩食“かるしおレシピ”の海外展開-ロシアの病院への可能性-	平野 和保(共同)	Werb	2020/10/16-17

リハビリテーション科



診療科長
山田 茂

専門医資格等 日本専門医機構整形外科専門医
日本整形外科学会運動器リハビリテーション医
京都大学 医学博士 京都大学医学部 臨床教授
専 門 分 野 運動器領域

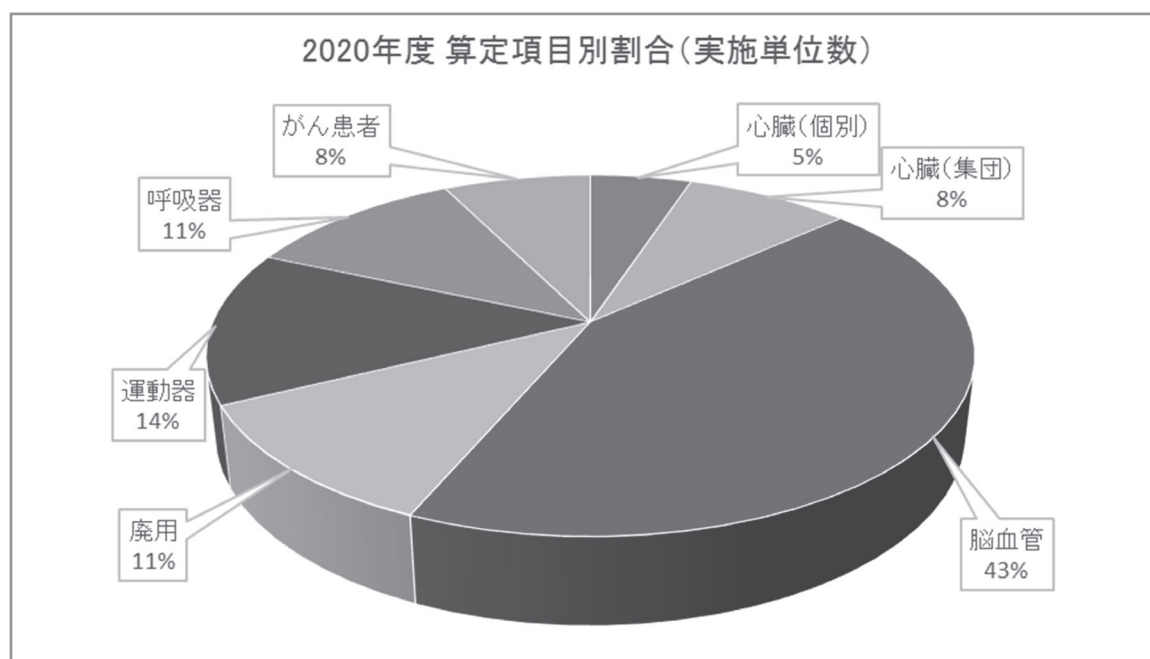
令和2年10月1日時点

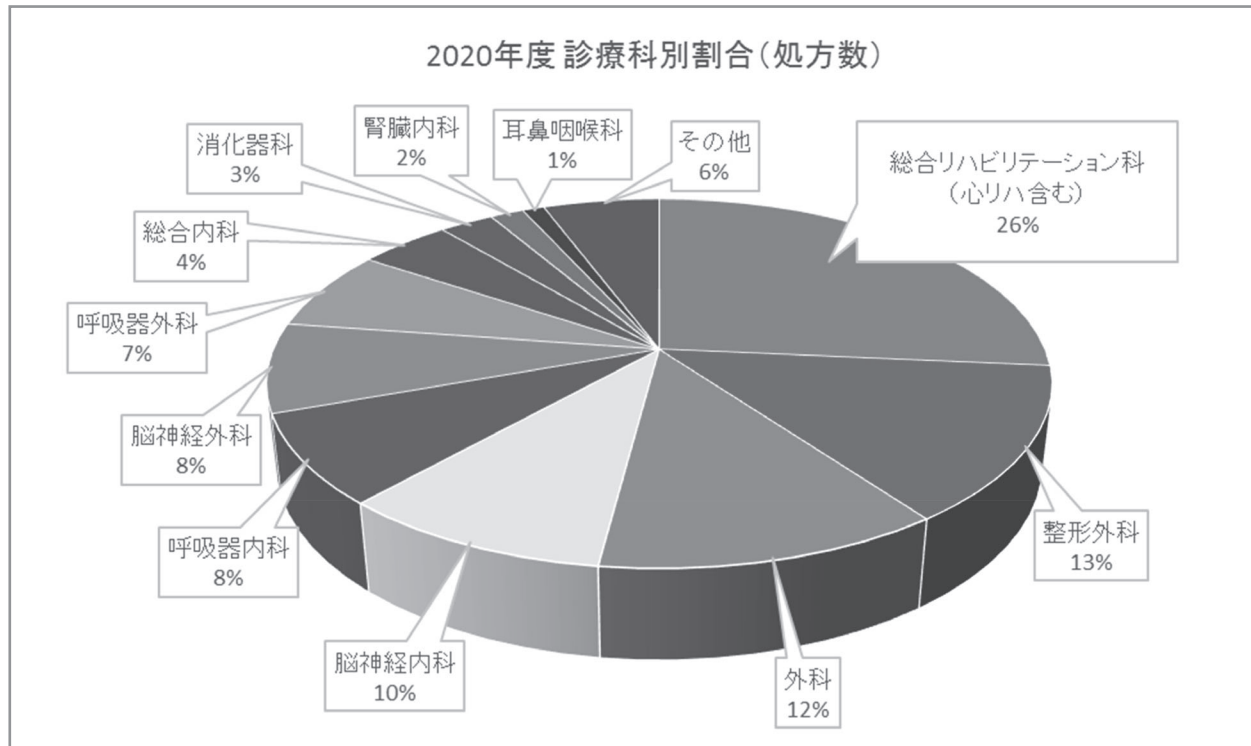
	氏名	専門医資格等
理学療法士長・近畿グループ理学療法専門職	上野 俊之	呼吸療法認定士、がんのリハビリテーション研修修了
副理学療法士長	仲山 卓志	がんのリハビリテーション研修修了
主任理学療法士	山原 純	心臓リハビリテーション指導士、がんのリハビリテーション研修修了日本理学療法士協会認定理学療法士(呼吸)
主任理学療法士	谷川 由実	心臓リハビリテーション指導士、がんのリハビリテーション研修修了
主任理学療法士	安田 夏盛	心臓リハビリテーション指導士、がんのリハビリテーション研修修了
主任理学療法士	今中 辰茂	心臓リハビリテーション指導士、呼吸療法認定士 日本理学療法士協会認定理学療法士(運動器)
理学療法士	渡邊 俊介	心臓リハビリテーション指導士、呼吸療法認定士、がんのリハビリテーション研修修了
理学療法士	橋本 明希子	呼吸療法認定士、がんのリハビリテーション研修修了
理学療法士	久保 美佳子	呼吸療法認定士、がんのリハビリテーション研修修了
理学療法士	岡崎 将人	がんのリハビリテーション研修修了
理学療法士	永山 ひろみ	呼吸療法認定士、がんのリハビリテーション研修修了
理学療法士	高田 芽依	
理学療法士	山上 晴暉	
主任作業療法士	峯 哲也	がんのリハビリテーション研修修了
作業療法士	森岡 良太	
作業療法士	河津 啓志	がんのリハビリテーション研修修了
作業療法士	本田 大貴	がんのリハビリテーション研修修了
作業療法士	高橋 倫香	がんのリハビリテーション研修修了
作業療法士	藪下 裕輝	がんのリハビリテーション研修修了
作業療法士	廣尾 千晴	がんのリハビリテーション研修修了
言語聴覚士	森永 浩介	がんのリハビリテーション研修修了
言語聴覚士	小林 理絵	がんのリハビリテーション研修修了
言語聴覚士	奥村 真裕	がんのリハビリテーション研修修了
言語聴覚士	野田 響子	がんのリハビリテーション研修修了
言語聴覚士	加藤 利和	

非常勤理学療法士	池上 健太郎	がんのリハビリテーション研修修了
育児短時間(理学療法士)	廣野 さつき	がんのリハビリテーション研修修了
育児休業(理学療法士)	高本 美菜	心臓リハビリテーション指導士、呼吸療法認定士、がんのリハビリテーション研修修了
育児休業(言語聴覚士)	梶田 梨紗子	がんのリハビリテーション研修修了
育児休業(言語聴覚士)	蓬臺 綾江	
非常勤事務助手 (リハビリテーション科)	横田 美樹	

●科の特徴

- ・脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、廃用症候群、がん等あらゆる疾患を治療対象として、質の高い理学療法、作業療法、言語聴覚療法の提供を目指しています。
- ・各診療科から直接処方を受けるシステムを導入し、入院時からの早期リハビリ介入を実践しています。
- ・休日リハビリ体制の充実を図り、可及的速やかな早期離床を実践しています。
- ・NST、RST、排尿ケアチーム、褥瘡対策チーム、転倒転落予防チーム等のチーム医療に積極的に参加し、安全で高度な医療の提供に努めています。
- ・各科・病棟カンファレンスを通じて医師や多職種との連携・情報共有に取り組んでいます。
- ・COVID-19患者に対して、必要に応じて介入しています。
- ・新人教育マニュアルに則った職員教育をはじめ、各種研修会、勉強会を通じた人材育成を実践しています。
- ・施設基準：心大血管疾患リハビリテーション料〔Ⅰ〕
脳血管疾患等リハビリテーション料〔Ⅰ〕
廃用症候群リハビリテーション料〔Ⅰ〕
運動器リハビリテーション料〔Ⅰ〕
呼吸器リハビリテーション料〔Ⅰ〕
がん患者リハビリテーション料





●業務の内容

理学療法

- ・脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、がん患者など幅広い疾患を対象に、運動療法や物理療法を用いて、起き上がる・座る・立ち上がる・歩くなどの基本的動作能力の改善に取り組んでいます。
- ・医師や看護師をはじめ多職種と連携をとったリスク管理のもと、ICU・HCU入棟中の患者を含め発症直後の早期から介入を開始しています。
- ・周術期の患者に対しては、術前から介入を開始し、術翌日よりスムーズな早期離床を目指しています。
- ・心不全、心筋梗塞、心臓外科術後、閉塞性動脈硬化症などの患者を対象に、症状に合わせてエルゴメータ、ドレッドミル、ニューステップなどの器具を用いた心臓リハビリテーションを実施しています。また、退院に向けて、運動、食事、服薬などの総合的な生活指導を行い円滑な社会復帰を目指しています。更に、退院後も必要に応じて外来心臓リハビリテーションを導入しています。
- ・小児科医と連携を取りながら、NICU入室患者へ介入しています。
- ・退院後の生活も念頭に置き、家屋の環境調整のアドバイスや在宅酸素導入の支援を含めた専門職としての関わりを通し、患者の生活の質の向上に努めています。

作業療法

- ・作業活動を用いて食事や更衣、トイレや入浴、家事動作など日常生活で必要となる能力の維持、改善を目指します。また、住環境に適した動作訓練および福祉機器などの調整をはかることで、患者の生活の質の向上を支援しています。
- ・脳血管疾患に対して、発症急性期より早期介入、早期離床に取り組み、機能回復を目指して主に上肢機能訓練を実施しています。
- ・運動器疾患に対して、術前の評価から介入。術後は早期より機能回復練習と日常生活で想定される動作の訓練や指導を実施しています。
- ・呼吸器疾患に対して、日常生活の動作の中で必要な酸素流量の評価と動作の指導を実施しています。また、在宅酸素療法を導入された場合には操作や管理の指導を行っています。

- ・がん患者に対して、多職種と連携し疼痛コントロールを図りながら生活の質の向上を目指し、個々のニーズに合わせた介入を行っています
- ・心疾患患者に対して、認知機能検査を実施。結果をもとに多部門と連携し本人または家族へ生活上の留意点の指導を行っています。
- ・手の外科に関して
2018年より、整形外科・形成外科の医師と連携をとりながら手の手術後の患者に対し手指機能訓練を実施しています。

言語聴覚療法

- ・脳血管疾患や神経筋疾患、がん（舌、口腔底、咽頭など）などの発声発語機能、言語機能、高次脳機能、摂食嚥下機能などに障害のある方に対して、言語聴覚士が検査・訓練および指導などの専門的な関わりにより、機能の改善と生活の質の向上を支援しています。
- ・コミュニケーション機能の障害に対して、発症急性期から構音訓練、音声訓練、失語症訓練を実施しています。
- ・摂食嚥下機能の障害に対して、直接的嚥下訓練、間接的嚥下訓練、口腔ケアなどを用いて機能改善を目指します。
- ・記憶や高次脳機能に問題を抱えた患者に対し評価、訓練を実施しています。

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類 (国際学会もしくは国内学会)	発表学会	演題名 等	演者(当院)	開催地	発表年月日
国内学会発表	第54回日本作業療法学会	重症化した皮膚筋炎患者に対する食事動作への関わり	藪下 裕輝, 峯 哲也	新潟 (オンライン開催)	2020/9/25 ~ 2020/10/25

臨床工学科



臨床工学科長
阿部 充

令和2年10月1日より

□ スタッフ

令和2年10月1日時点

	氏名	専門医資格等
臨床工学技士長	林 輝行	体外循環認定士・補助人工心臓管理技術認定士(小児を含む)
主任臨床工学技士	柳澤 雅美	3学会合同呼吸療法認定士・透析技術認定士・不整脈治療専門臨床工学技士
臨床工学技士	丸宮 千冬	3学会合同呼吸療法認定士・植込み型心臓デバイス認定士
臨床工学技士	瀬津 健太郎	3学会合同呼吸療法認定士
臨床工学技士	湊 拓巳	体外循環技術認定士・透析技術認定士
臨床工学技士	植田 哲朗	
臨床工学技士	永田 京夏	
臨床工学技士	吉川 拓都	
臨床工学技士	長屋 祐太郎	
臨床工学技士	上野 純弥	
臨床工学技士	桜井 明寛	体外循環技術認定士・透析技術認定士
臨床工学技士	沼田 篤志	植込み型心臓デバイス認定士
育児休業(臨床工学技士)	嵯峨根 由奈	3学会合同呼吸療法認定士・体外循環技術認定士

□ 診療科の特徴

患者さんへ安全かつ安心して、高度な医療技術が受けていただける環境づくりに努める。

□ 業務内容

臨床工学科の業務内容

臨床工学の業務は、大きく【臨床支援業務】と【医療機器管理業務】の2つの分野があります。

『臨床支援業務』:呼吸・循環・代謝に関わる生命維持装置の操作

『医療機器管理業務』:院内での医療機器の効率的な運用を行う為、機器の選定から廃棄に至るまで医療機器の総合的管理

日々高度化する医療において、不可欠な人工呼吸器(呼吸療法)・人工透析(血液浄化療法)・人工心肺(体外循環)など、生命に直結する重要な生体機能を代行する医療機器の管理と操作のプロフェッショナルとして活動しています。また、患者さんの状態に合わせて安全に最適な条件で治療の手助けを行い、病院内の医療機器全般について、いつでも、有効かつ安全・安心して臨床使用できるように運用・保守管理するという重要な役割も担っています。医療の中心にある患者さんを見据え、臨床工学技士として、必要な専門知識と技術を『工学分野』と『医学分野』を交え日々努力しています。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

第30回日本臨床工学技士会 「当直の限界から働き方を考える」 柳澤 雅美 2020/9/29 名古屋

看護部



看護部長
池田 仁美

令和3年3月31日まで



看護部長
福井 久美子

令和3年4月1日から

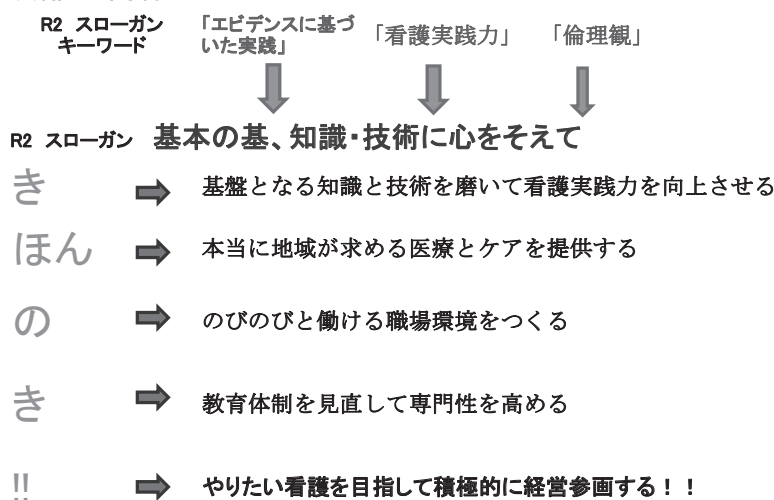
国立病院機構の理念に沿った病院の使命を認識し、機構の看護職員として以下の役割を果たす

1. 機構及び病院の理念を踏まえた良質の看護サービスの提供に努める
2. 看護の質の向上を目指し、臨床看護の研究、業務の改善を行う
3. 良質な看護を提供するために、看護職員をはじめ看護に関係する職員の教育研修を行う
4. 看護の提供と経営効率の調和を図り、病院経営に参画する
5. チーム医療推進のための調整を図る
6. 地域住民への健康教育活動に参画する

□ 看護部の理念

私たちは、常に患者さんと共に歩み、
安心して納得のいく医療を受けていただくために、
わかりやすく丁寧な看護を提供いたします

□ 看護部の目標



□ 看護部の組織

I. 看護部組織図
(別紙1：看護部組織図)

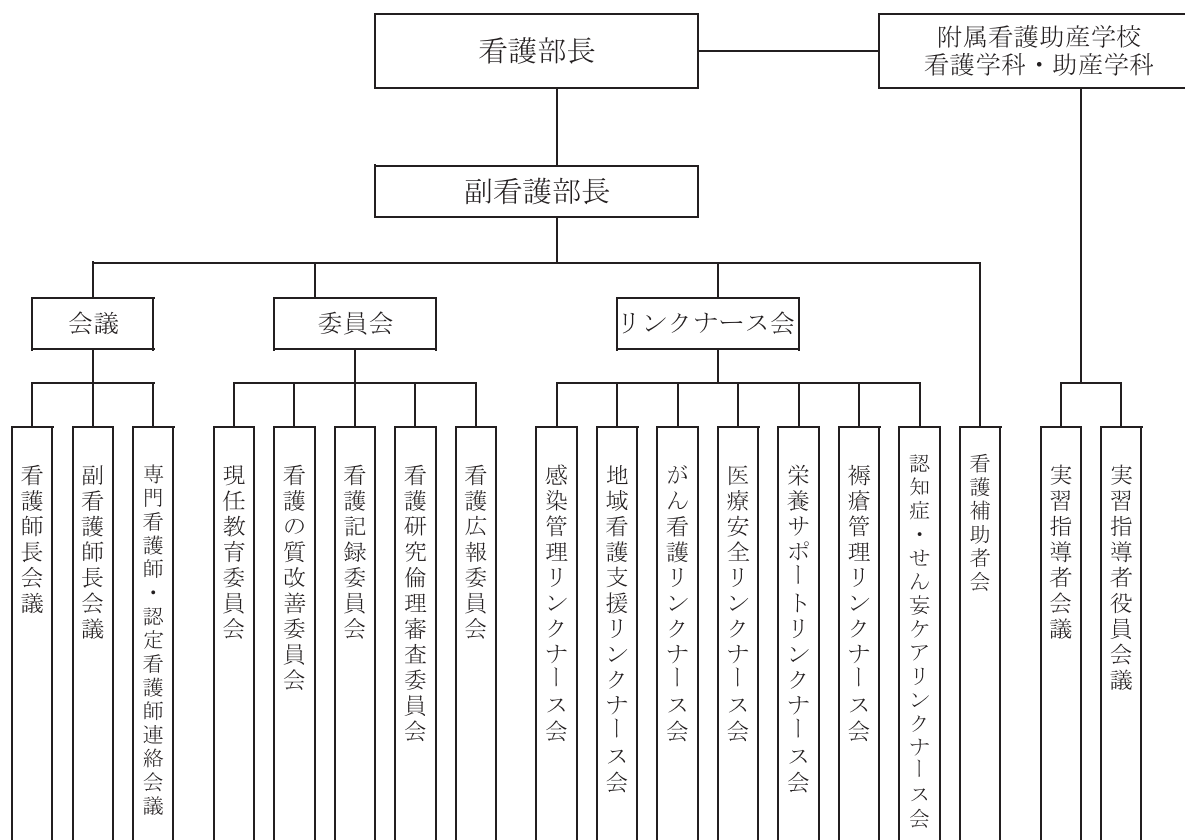
II. 看護部会議・委員会
(別紙2：看護部会議・委員会機能図)

□ 看護部の活動

(別紙3：看護部の活動)



別紙2：看護部会議・委員会組織図（機能図）



看護部が関わる主な病院諸会議

- | | |
|-----------------|---------------|
| ○管理診療会議 | ○透析委員会 |
| ○経営企画・業績評価委員会 | ○臨床検査委員会 |
| ○コロナ本部会議 | ○広報委員会 |
| ○サービス向上委員会 | ○輸血療法委員会 |
| ○薬事委員会・医療材料委員会 | ○化学療法委員会 |
| ○診療報酬管理委員会 | ○医療安全管理委員会 |
| ○病床管理委員会・小委員会 | ○医療事故対策委員会 |
| ○外来管理委員会 | ○リスクマネージャー会 |
| ○手術室運営委員会 | ○院内感染対策委員会 |
| ○集中治療室運営委員会 | ○災害対策委員会 |
| ○救命救急委員会 | ○医療機器安全管理委員会 |
| ○緩和ケア運営委員会 | ○医療情報委員会・小委員会 |
| ○地域医療連携委員会 | ○クリティカルパス委員会 |
| ○褥瘡対策委員会 | ○安全衛生委員会 |
| ○栄養管理委員会・NST委員会 | ○動物実験委員会 |
| ○倫理委員会 | |

別紙 3：看護部の教育計画・委員会活動状況

看護部委員会活動状況（令和2年度）

	委員会名	活動目標	活動内容
委員会	看護師長会	看護師長の管理能力を高める (看護師長会を4つのグループに分けて活動を行った)	【管理者に必要とされるコンピテンシーを理解できる。管理者が自己の課題を明確にし、コンピテンシーを習得することが出来る】 9 / 12に看護師長、副看護師長対象にコンピテンシー学習会(講師:武村雪絵先生)をWebで実施した。参加者49名 10 / 29看護師長会でコンピテンシー事例検討会を実施した。 【COVID19感染患者への対応が出来る。院内発生時の対応が出来る。COVID19患者のケアを行うスタッフの精神的サポート方法を理解し実践できるようにする】 院内感染症発生時の対応について検討した。1-8病棟の3ヶ月毎のローテーション計画の立案、日勤での応援体制の計画を実施した。また、全病棟にPPE着脱練習を実施した。 【新人看護管理者が日常業務を通して成長することが出来る】 1～2年目の看護師長5名を対象にシャドウイングを実施した。対象者毎に目標を設定し意図的に場面を見ることが出来るような計画を個々に立案した。個々のニーズに合わせた計画立案をしたことで研修生からは目標が達成できたと評価を得た。 1 / 26新人看護師が経験した1事例をもとにマネージメントリフレクションを実施した。 【病棟内・病院内のあらゆる業務を見直し、安全かつ効率的に業務を行うことが出来る】 各病棟のワンデイ調査から業務量調査を行い、結果を分析した結果、入院転入の処理に時間を要していることが明らかになった。持参薬が多く、薬剤科と調整を行い、2-7病棟から入院支援センターで薬剤介入を開始した。持参薬に係る業務の時間短縮につなぐことが出来た。
	副看護師長会	看護部の目標達成に向け、副看護師長の役割を果たす	【働き方改革(業務改善・タスクシフト)】 業務内容を見直し、全病棟が統一してなくせることは何か洗い出しを行い、業務のスリム化を図った。しかし、超過勤務削減までには至っていない。他職種へのタスクシフトについて検討を行い、補助者マニュアルを改定した。 【現場教育(実習指導者の教育・OJTの強化)】 実習環境、指導者教育の充実を図ることを目的に、新採用者対象にアンケートを実施した。そのアンケートを提示し、実習受入病院としての対応を検討した。附属看護学校の2年目に対する実習オリエンテーションでは1年目、3年目、5年目の看護師に参加してもらい、学生からの質疑応答に対応できる体制とした。実習オリエンテーションで看護師の質疑が出来たことで学生から好印象の意見が多かった。また、附属看護学校3年生対象に、各病棟の個別ブースを作成し就職説明会を行った。学生からのアンケートでは、各病棟の特徴が理解できたと評価が高かった。 【マニュアル整備】 看護実践基準47項目を改定した。看護手順は196項目中85項目を改定した。残りの項目については次年度に改定をしていく予定である。入退院チェックリストも改定し、使用開始したが問題であった退院処方の渡し忘れについての件数の減少は見られていない。
	現任教育	1. 現場教育の強化	【現場教育と集合教育の連動】 - COVIDの影響により、ACTy研修生への研修は、5月はDVD視聴による各部署での研修とし、集合教育については6月末より実施した。一度に集合する人数を15名程度とし、時間短縮し、感染対策を行い実施した - また、緊急事態宣言の出た2月以降の研修は、集合して行う計画の修正を行いWebに変更して実施した。 - 現場での研修生の状態から、研修内容を考えるように工夫した(事前課題など) - 研修の考え方の用紙に研修前後のOJTについての記載欄を作成し、現場の教育に活かしやすいように工夫した。継続教育に繋げてもらえるように、研修での状況も含めて伝えるようにした。 - 研修後のアンケートをQRコードで入力(氏名入力)してもらい、研修生の理解度、認識、志向などを知り、個別に継続した教育ができるように工夫した。 - ナースングスキルを活用していくために、レベルⅠ研修でナースングスキルのテストを活用した。また、看護師長、副看護師長へ、指導者権限を付与した。 - 研修実施状況は別紙参照 【教育力の向上】 - ACTyレベルⅡ～Ⅴの各部署での教育計画の作成と実施 - 看護部長との研修の打ち合わせに担当の副看護師長も入るよう調整した - 現任教育担当副看護師長への看護研究を指導するにあたっての疑問点等、アンケート調査の実施 - 倫理に関することのみ、マニュアルを作成 - ACTy研修生の各部署での教育計画の作成と実施 - 看護研究マニュアルの作成(倫理に関することのみ) 2月3月で副看護師長対象に、計3回、外部講師による教育に対する研修会の実施

委員会	現任教育	2. 継続教育の強化	【院内研修(自己研鑽)の効果的な実施】 ・ニーズに合った院内研修(自己研鑽)の計画と実施 ・全職員対象の(自己研鑽)研修のニーズ調査を実施。特に研修内容や講師などの要望に偏りはなく、これまでの実施と大差はなかった。しかし、当日参加できない場合にも視聴できるようにして欲しいという要望が多かった。 - 今年度はCOVIDの影響で、積極的な研修を検討できず ・教育体制の全体像の検討(専門教育ラダー、認定ナース制度、IVナース) ・全看護師対象の研修ニーズ調査を実施(6月)※回答189(回収率32%) ・看護研究研修の実施(ZOOMでの環境調整)※会場20名、ZOOMでの参加25名
	看護の質改善	1. 丁寧な看護実践を行うために看護職員の資質向上を図ることが出来る	接遇に関する取り組みテーマを6・7月「あいさつ」、8・9・10月「言葉づかい・態度」、11・12・1月「他職種間の連携」とし、毎月スローガンを掲げ、強化月間として取り組みを行った。病院全体へ看護部の取り組みとして幹部会議・コメデックスにて周知し、他職種への評価依頼を行い、各病棟と他部門に評価台紙を設置し、「いいね」と思ったらいいねシールを貼ってもらうようにした。6・7月は取り組み方法に不明点があったため、シールの貼り方の再周知や評価台紙の貼り付け位置の統一を行い、8月には取り組み方法が定着、医師や他部門から評価協力をいただくことができた。毎月、メールで看護部長・副看護部長、質委員へ取り組みや結果を伝達した。又、取り組みの病棟差が出ている状況の解決に向け、委員による病棟ラウンドを行ったり、看護師長会で投げかけ、自部署の取り組みが活性化し、気持ちのいいあいさつや態度・言葉づかいで対応できるようにした。9月から毎月、各病棟のスローガンの提示、2ヶ月毎に病棟ラウンドを実施。取り組み結果・評価も毎月、フィードバックし、接遇向上を目指した。クッション言葉を活用できるように「クッション言葉とは?」「代表的なクッション言葉」のポスターを作成し、全病棟に貼付し、視覚的に訴えた。他部門からのバツ×評価については全病棟に周知し対応策を検討し、その部門に返して改善に向けて取り組んでいることを伝え、同じようなエラーを起こさないように取り組んだ。又、患者の検査送迎等のバツ×内容で自分たちの業務的都合の理由ばかりが先立っており、患者中心に物事を考えていない現状があったため、全病棟でカンファレンスを行い、対応策を検討してもらった。この取り組み等の結果から、現在、他部門からは「すれちがいや病棟訪問時、気持ちいいあいさつや丁寧な対応をしてくれるようになった」「患者の検査送迎時等、遅れる時には連絡をとりあったり、調整できるようになった。患者を待たせなくなった」といった声が聞かれるようになった。
		2. 患者満足度が向上する	コロナ禍に伴い、患者・家族は面会禁止を強いられており、多大なストレスやせん妄発症リスク等が高い状況である。面会制限の中、看護師で行える患者・家族へのサービスの提供を行い、看護の質を向上させていく必要があったため、面会実施状況調査を行った。その後、院内で面会制限ワーキングが立ち上がったため、調査結果を引き継いだ。
	看護記録	看護記録記載基準に沿った適切な記録の周知とともに、実施した看護がわかる看護記録の充実を図る	【看護記録記載基準に沿った看護記録のスタッフへの周知と指導】 ・5月昨年度の病院機能評価で決定した看護記録の周知 ・5月量的な看護記録監査の実施(各病棟5例) ・6月～7月に集計結果より記載漏れの多いものを再度周知 ・11月～1月量的な看護記録監査の実施(各病棟5例)を行った。 量的監査結果より、主には前回の入院のままでアレルギーや既往歴などの記載漏れがある。また、日常生活自立度などの術後の再評価、内服開始時の再評価、行動制限の継続時、退院決定、カンファレンス記録などの記載漏れが多かった。 ・質的な監査の実施とともに、11月より量的監査も再開して毎月5例実施 【実施した看護がわかる看護記録の充実】 ・6月質的な看護記録監査項目の抽出 ・7月事例より抽出した内容より、質的監査表の作成と見直し ・9月質的な看護記録監査表の使用方法的説明 ・9月質的な看護記録監査の実施(各病棟5例)、×が多いものについて周知 ・11月～1月質的な看護記録監査の実施(各病棟5例)を実施した。 各病棟1事例より記録が記載できている、またはできていないと判断するものを記載して、監査項目の内容の抽出し、質的な看護記録監査表を作成した。 9月1回目監査実施、11月～1月に毎月5例継続して実施 【標準看護計画の見直し】 ・6月看護問題の使用状況調査の実施 ・7月看護問題の使用状況調査結果をもとに各病棟での意見交換 ・9月看護問題、共同問題、標準看護計画の考え方について説明 ・9月～10月各病棟、委員会メンバーより病棟スタッフへ説明と周知、10月末までに各病棟で使用頻度の多い、看護問題、共同問題の抽出、クリティカルパスにある標準看護計画があるか調査 ・12月～1月看護計画、共同問題、標準看護計画の作成 ・1月医療情報小委員会提出、3/4電子カルテ看護計画差し前予定 調査767名(このうち緊急入院345名)の結果、一番使用頻度の多い看護問題は、「地域社会コーピングの促進状態」「転倒・転落ハイリスク」「皮膚統合性障害のリスク障害」「せん妄ハイリスク患者の看護」であった。また、各病棟で「〇〇患者の看護」150名が独自で作成されていた。 看護問題69個、共同問題168個、標準看護計画98個の抽出と作成をした。

チーム会	感染管理 チーム	標準予防策・感染経路別予防策が各部署で実践できる	【正しい手指衛生の遵守への取り組み】 自分がどのくらい使用しているかを自覚するために1ヶ月間、毎日使用量を測定した。毎日測定すること以外に各病棟では、 ・手指衛生のタイミングのポスターを掲示 ・個人目標を立てる ・個人の使用量をグラフ、ランキング形式にする。 ・採血室では個人持ちを採用 ・スタッフへの個人指導 ・なぜ使用できないのか話し合いを行うなどの取り組みを行った。 1月の最終ゴージョー使用回数で、目標回数に到達したのは、11/23病棟(前期は6/23病棟) 昨年度の平均の使用回数を上回った病棟は、19/23病棟
			【個人防護具(PPE)を適切に身につける取り組み】 ・前期に聴取したPPEに関する各部署の問題点の中から、各部署の「ゴム手袋の使用状況の問題と対策について話し合ってもらった機会を設けた。 「手袋の装着で誤っていると考える場面」 「それを改善するための取り組み」 ・看護部発信のPPEに関する対策 病室前のプラスチック手袋の撤去 PPE脱着手技の再チェック ゴム手袋に関する問題 ・処置をするときに手袋が装着されていない ・汚染手袋を交換せずにドアノブを触っている ・パソコンなど手袋が不要な時に手袋をしているなど
			【感染防止の視点での環境が維持できる取り組み】 前期の環境整備においてできていない割合が高いものについて病棟で改善策を講じた。 「ペン型インスリンのリキャップをしない」 「8割以下で破棄する」 「使用時以外は蓋を閉める」 1月に再度環境ラウンドを抜き打ちで実施 できている割合が低い項目 「ハリクイは8割以下」 53% 「ハリクイの蓋を閉める」 67% 「ペン型インスリンリキャップしない」 36% 抜き打ちのチェックであったが前期よりも環境は改善されていた。しかし、ハリクイの適切な使用の項目はできていない現状である
チーム会	地域連携 リンクナース会	1. 自部署の退院支援が強化できる	【退院支援実施後の追跡調査を行う】 (外来受診時、聞き取りを行い評価する) 退院後初回外来受診時にリーフレットを使用した患者に8項目の聞き取り調査を行った。また、感想と意見を聞いた。結果から、病棟における退院指導の患者の反応、リーフレットの内容を見直し検討した。 8月に聞き取り調査の実施期間としたがCOVID-19感染状況もあり、調査数が最低値4件 最大値10件(10件調査予定)の結果であり、バラツキがあった。これは、当院のコロナ発生の時期が影響した。自病棟の患者の意見から課題を明らかにし改善策を検討した。「退院指導」の説明の充実、積極的リーフレットの使用等に取り組んだ。2-3病棟は、独自のリーフレットを使用していたが院内統一様式に一部変更できた。新規作成はなかった。
		2. 退院支援が必要な患者に在宅等で継続したケアを実施する	
チーム会	医療安全 リンクナース会	1. 内服管理アセスメントフローチャートを活用した内服管理が定着する	【ケアマネジャーと入院時より連携をとることを推進する】 「入退院支援に関する診療報酬加算」表を作成周知、また「入退院時チェックシート」ケアマネジャー連絡欄を追加し、入院時にケアマネジャーに連絡する仕組みを整えた。 7月 9月 11月にケアマネジャーとの連携に関するONE DAY調査を実施した。 連絡できた件数:7月67.5% →9月85%→11月75% ケアマネジャーの来院:7月11件→ 9月13件→ 11月20件 連絡し来院件数:7月9件→9月9件→11月18件 介護支援等連携指導料の算定 7月17件→ 9月10件→→ 11月21件 (R1年合計318件月平均26.5 R2年合計108件月平均12.0件:12月まで)
		2. 誤薬(内服・注射)のインシデントを昨年度より減らすことが出来る	
チーム会	医療安全 リンクナース会	1. 内服管理アセスメントフローチャートを活用した内服管理が定着する	【内服管理アセスメントフローシート実施における問題点の解決と改訂】 各病棟の内服アセスメントフローチャートの実施状況を確認し使用上の問題点の抽出を行った。アセスメントが出来ていない件数は6月33件、7月33件、8～10月は各月20件、12月は1件まで改善できた。
		2. 誤薬(内服・注射)のインシデントを昨年度より減らすことが出来る	

連絡会	専門看護師・認定看護師連絡会	1. 組織横断的な活動を行い、実践や集合教育を通して当院の看護実践力の強化する	【現場の看護力の向上：各部署でタイムリーな相談、カンファレンス、出前学習会の実施】 1) 専門認定看護師活用について看護師長会で活用方法について案内。メール送信（7月、12月に実施） 2) 専門認定看護師活用の申し込み受付、日程調整、実施 3) 専門認定看護師各個人の、自部署の相談、カンファレンス学習会件数と内容の2ヶ月ごとの集計 4) カンファレンス・学習会の実施内容について紹介した。 【窓口への依頼件数】 講師依頼：4病棟から8分野11件（がん看護3件、感染管理1件、皮膚排泄1件、乳がん1件、緩和1件、がん放射線2件、救急看護1件、老人看護1件） 直接依頼については実施件数参照 【実施件数】 6月～1月分 自部署：相談119件 カンファレンス・学習会123件 他部署：相談291件 カンファレンス・学習会224件
		2. リソースナースとして活動し地域の看護の質を向上出来る	

教育研修

1) 看護部教育研修

	研修目的	受講者	時間	開催日	主な研修内容
新採用者研修	【消防訓練】火災時、初動のための消化器、消火栓の使用について	60	1.0時間	4月3日	演習（消防訓練）
レベルⅣ研修	【業務改善】業務改善に取り組み、チームの中で看護の質を高めるためのリーダーシップを発揮することができる	55	1.0時間	6/8～6/12	講義（DVD視聴） 自己ワーク
レベルⅠ研修	【報告・連絡・相談】安全な医療を提供するためのコミュニケーションの重要性を理解し、報告・連絡・相談ができる能力を養う	60	1.5時間	6/19 6/26	グループワーク
レベルⅤ研修	【看護研究】臨床の看護の中で起こる疑問を抽出することができる	32	1時間	6/22～6/26	講義（DVD視聴） 自己ワーク
レベルⅣ研修	【後輩育成】後輩育成の役割を果たすため支援できる能力を養う	56	1.5時間	6/29 7/3	講義、 グループワーク
レベルⅡ研修	【ALS】急変時の対応を通し、自己の役割を学ぶ	38	2時間	7月6日	講義、演習
レベルⅠ研修	【BLS】看護実践の場において、急変時の基本的な対応を学ぶ	60	2.5時間	7/29 7/30	演習
レベルⅡ研修	【IVナース】抗がん剤を安全に取り扱う	44	1時間	8/14 8/31	講義、演習
レベルⅠ研修	【セルフコントロール】セルフコントロールについて学び、ストレスへの対処がわかる	58	1時間	9/4 9/7	講義 グループワーク
レベルⅢ研修	【リーダーシップ】リーダーシップについて理解し、日々のリーダーを担える能力を養う	57	1.5時間	9/11 9/15	講義 グループワーク
レベルⅤ研修	【キャリアアンカー】自己のキャリアについて振り返り、キャリアアンカーについて考える	47	1時間	9月30日	講義 グループワーク
レベルⅣ研修	【意思決定支援】意思決定支援の必要性を理解し、実践する能力を養う	53	1.75時間	10/5 10/7	講義 グループワーク
レベルⅡ研修	【入退院支援】当院の入隊医院システムを理解し、退院支援における看護師の役割を理解する	38	1.5時間	10/12	講義 グループワーク
レベルⅠ研修	【多重課題】看護チーム内の複数患者の担当において、安全・安心な看護を実践できる能力を養う	58	2時間	10/29 10/30	グループワーク
レベルⅢ研修	【認知症看護】認知症患者に対し、全人的氏点からアセスメントを行い、個別性をとらえた看護を見いだすことができる	57	1.75時間	11/2 11/5	講義 グループワーク
レベルⅤ研修	【RCA分析】インシデント事例に対して原因分析が行え、看護ケアの質保証のために医療安全の重要性について考えることができる	47	1.75時間	11月27日	講義 グループワーク
レベルⅡ研修	【倫理】倫理的問題に気づき、患者中心の看護を実践する必要性を理解できる	38	1.25時間	12/2	グループワーク

レベルⅠ研修	【倫理】看護職の倫理に基づいた行動がとれる	57	1.25時間	12/18 12/25	グループワーク
レベルⅠ研修	【IVナース】CVポートを安全に取り扱うことができる	59	0.75時間	12/18 12/25	講義、演習
レベルⅢ研修	【意思決定支援】意思決定支援に必要な看護を学ぶ	57	1.75時間	1/8 1/15	講義、グループワーク (15日はWebで実施)
レベルⅤ研修	【看護研究】自己の看護研究課題を進める	33	2.5時間 (1人15分)	1月29日	個別指導
レベルⅣ研修	【業務改善】業務改善の成果を共有し、問題解決に向けたリーダーシップ能力を高める	56	1.25時間	2/26 3/1	成果発表
レベルⅡ研修	【リフレクション】リフレクションの概念や方法について学び、自己の看護実践を振り返る習慣をつける	38	1.5時間	2/3 2/5	講義、グループワーク (Webで実施)
レベルⅠ研修	【看護観】看護観のまとめを共有し、専門職業人として自己の課題を明確にすることができる	57	1.25時間	2/15 2/19	看護観発表 意見交換
がん看護研修	地域がん診療連携拠点病院がん看護研修第1回京都医療センターELNEC-J研修会 人々への質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを提供出来るように知識・技術・態度を習得した看護師を育成する	18	2日間	11/7 ～ 11/8	講義 グループワーク

2) 外部講師による教育研修

NO.	研修内容	対象	参加人数	日時	講師
1	コンピテンシー研修	看護師長・副看護師長	49	9月12日	東京大学大学院医学系研究科 健康学科・看護学専攻 看護管理学/看護体系・機能学分野 准教授 竹村雪江
2	【教育】現場教育(OJT)の考え方について学ぶ	副看護師長	52	3月10日	京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 臨床看護学講座 生活習慣病看護学分野 内藤知佐子
3	【教育計画の作成①】自部署で活用できる教育計画を立案することが出来る(教育・研修設計に必要な学習科学に基づく知見を知る)	副看護師長	25	2月25日	国立循環器病研究センター 政岡 祐輝
4	【教育計画の作成②】自部署で活用できる教育計画を立案することが出来る(今年度の病棟の教育計画を評価し、改善策を講じた教育計画への示唆を得る)	副看護師長	25	3月18日	国立循環器病研究センター 政岡 祐輝
5	BSケア(乳房ケア)研修会	助産師・看護師・教員	6	11月21日・22日	NPO法人 BSケア 理事長 寺田恵子

看護部研究業績

1) 院内研究発表(成果発表)

NO.	タイトル	部署	発表者
1	看護師長会COVID-19ワーキングの取り組み	看護師長会	紀田 幸子
2	時間外勤務の一因である持参薬管理における実態調査	看護師長会	塩見 明子
3	せん妄予防対策の取り組み ～せん妄ハイリスク患者ケア加算導入を通して～	看護部	落合 恵
4	2020年度 ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムの開催報告	看護部長室	坂井 みさき
5	業務改善 ～11時間勤務の超過勤務削減を目指して～	1病棟6階	小原 せい子
6	看護の質改善委員会 「いいね」シールの取り組み	1病棟7階	小西 みゆき
7	人工呼吸器装着患者の自宅退院における病棟看護師の役割	1病棟7階	神崎 菜都美
8	感染症内科病棟の取り組み	1病棟8階	南 真由美

9	ついに来た!周産期COVID19にどう対応する? ～感染防御と母子の思いの両立に向けた取り組み～	2 病棟 3 階	周産期COVID19チーム 助産師
10	家族と一緒に取り組んだ自閉症患者への退院支援 ～脳出血後の自宅退院を目指して～	2 病棟 4 階	椎木 悠加
11	リハビリ科と行う転倒転落のカンファレンスにおける看護師の行動変化	2 病棟 4 階	津田 時位
12	コロナ禍における術後せん妄患者の安全な療養環境の見直し	2 病棟 6 階	井口 晴菜
13	面会制限がある中で、私たちに出来るケアとは～倫理的視点から～	緩和ケア	荒木 由香里
14	内服の与薬準備時間の確保によるインシデント減少への取り組み	特別室個室	山崎 実穂
15	特別室個室病棟に勤務する看護師が 遭遇した困難場面における患者対応	特別室個室	喜多田 泰子
16	手術室でのCOVID - 19陽性患者の受け入れの実際 -帝王切開手術事例を通して-	手術室	飯田 紘子
17	ロボット支援根治的前立腺摘除(RARP)術後の腹圧性尿失禁早期回復に 向けた効果的な骨盤底筋運動指導方法の検証	救命HCU	木村 夏実
18	発熱患者受診に対する救急外来の対応 ～ゾーニングと感染対策および看護師トリアージにフローチャートを活用して～	救急外来	久保田 大樹
19	コロナ禍でも教育連携は止めない!外傷連携研修会運営実施報告 ～『Code Trauma (外傷倶楽部) 2020』年間研修実施軌跡～	救急外来	久保田 大樹

2) 院外研究発表

NO.	タイトル	学会名	部署	発表者
1	急性期病院におけるデイケアと今後の課題	国立病院総合医学会	2 病棟 4 階	泉谷 聖子
2	整形外科病棟におけ睡眠薬変更が患者の入院生活に及ぼす影響の検証	国立病院総合医学会	2 病棟 5 階	大藤 慧斗
3	脳血管疾患患者を病院から地域へと支えるシームレスな看護(パネル ディスカッション座長)	日本循環器看護学会	2 病棟 4 階	山口 理恵子

学生実習受入

1	京都医療センター附属京都看護助産学校 看護学科	1年生75名 2年生84名 3年生74名
2	京都医療センター附属京都看護助産学校 助産学科	15名
3	舞鶴医療センター附属看護学校	38名
4	京都看護大学 看護学部看護学科	66名(途中COVID19のため実習中断あり)
5	京都橘大学看護教育研修センター 認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケア分野	4名

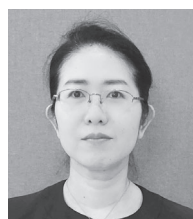
京都看護助産学校



副学校長
前中 由美



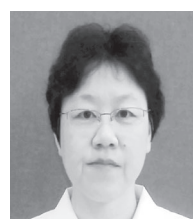
看護学科 教育主事
伊藤 睦美



看護学科教育主事
谷口 秀美
令和3年3月31日まで



看護学科 教育主事
藤尾 泰子
令和3年4月1日から



助産学科 教育主事
伊藤 美栄
令和3年3月31日まで



助産学科 教育主事
佐藤 美春
令和3年4月1日から

□ 教育理念

感じる心、考える力、主体的な行動

人間愛を基盤とし、生命の尊厳と人権の尊重ができる感性豊かな人間性を育てることに主眼をおき、看護専門職として必要な基礎的知識、技術、態度を習得し、保健医療福祉の変化に対応できる人材を育成する。

□ 教育目的

看護師若しくは助産師として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

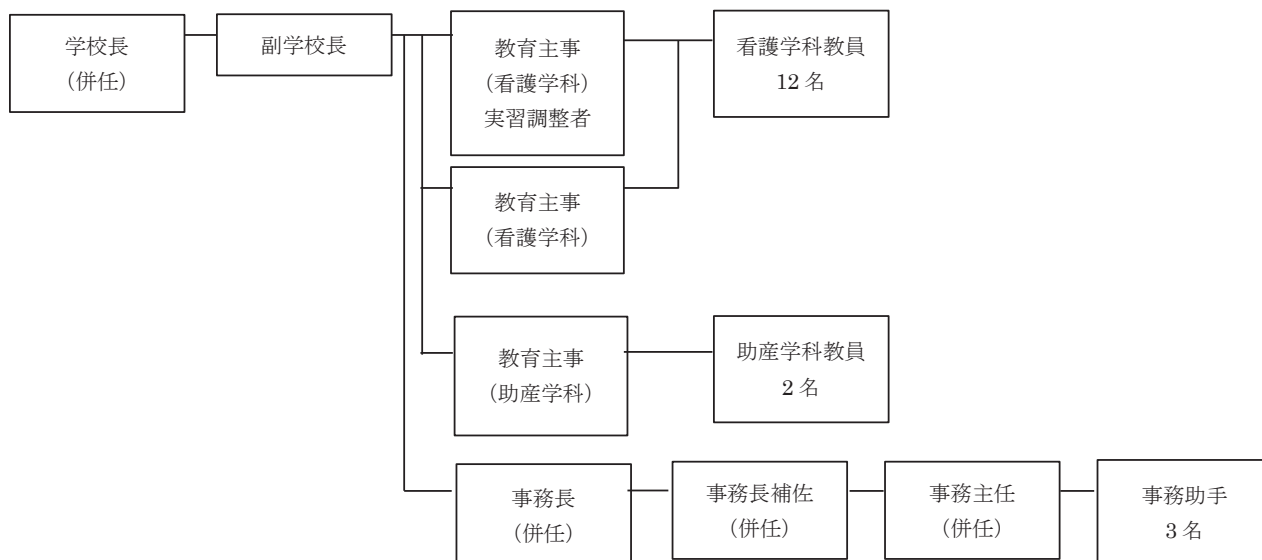
□ 教育目標

1. 生命の尊厳と個々の人権を尊重できる感性豊かな人間性を養う。
2. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解し、看護師としての人間関係を形成する能力を養う。
3. 看護師としての責務を自覚し、倫理に基づいた看護を実践する。
4. 科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する基礎的能力を養う。
5. 健康の保持・増進、疾病の予防および健康の回復に関わる看護を、健康状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う。
6. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割および他職種の役割を理解し、他職種と連携・協働する基礎的能力を養う。
7. 社会の動向に関心を持ち、常に主体的に看護を探究する姿勢と自己研鑽し続ける能力を養う。

□ 課程・定員

課 程	学 科	入学定員	総 定 員	在籍者数(令和3年5月1日)			
				1年生	2年生	3年生	合計
看護専門課程	看護学科 (3年課程)	80人	240人	87人	73人	83人	261人
看護専門課程	助産学科 (1年課程)	18人	18人	18人	—	—	18人
計		98人	258人	105人	73人	83人	279人

□本校の組織(令和3年度)



□令和2年度 部門目標

部門目標		重点目標	主な取り組み
1	地域社会のニーズ・学生のニーズに応じた質の高看護教育の実践	- 魅力あるカリキュラムの構築 - 多職種連携教育への取組 - 学生の臨床判断能力・看護実践能力の向上を目指した教育の充実 - 看護教員能力開発プログラム活用における教員の教育実践能力の向上	2022年度カリキュラム改正に向け、検討会議を計画的に実施。 - 看護技術取得に、学生同士によるピアチェックを導入。 - 高機能シミュレーターを用いた演習による臨床判断能力向上。
2	将来看護師・助産師として国立病院機構及び地域に貢献できる優秀な人材の確保	- 応募者の確保 - 高い国家試験合格率の維持 - 国立病院機構及び京都府への就職者の確保	- 高校訪問88校(前年度44校) - ホームページに学校紹介動画 - オープンキャンパスを来校型とオンライン型を同時開催。
3	学生が安心して学べる教育環境の整備	- COVID-19感染拡大防止対策の徹底、状況に応じた教育計画の変更、学生の学習保障 - 適切な危機管理体制の構築・整備 - 大学等における修学支援制度の開始にあたり運用マニュアルの整備	5月より遠隔授業開始。学生との連絡体制整備。(ZOOM、Google class roomを活用) - 臨地実習の一部を学内実習へ変更。実習方法・評価の調整。 - 学校における「感染予防・対応マニュアル」作成・周知徹底 - 修学支援新制度の活用による学生の支援体制の整備
4	職員が働きやすい職場環境の充実	- 働き方改革に向けた取り組みの推進 - 職場のハラスメント予防、相談の適切な対応	- 在宅勤務の導入 - 変則勤務の活用による超過勤務時間の削減 - 相談窓口を周知

□入学状況

看護学科

年度 (回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	補欠 合格者数	合格者からの 入学者数	補欠者からの 入学者数	入学者数	退学者数	原級 留置者 (在籍者)	3年以上 在籍した 卒業生数	卒業生数 (3年)
平成30年度 (第17回生)	推薦(学校)	19	19	19	0	19	0	19	1			18
	推薦(公募)	24	24	20	0	20	0	20				20
	社会人	13 (2)	13 (2)	6	0	6	0	6		1		5
	一般	102 (10)	100 (10)	55 (3)	10	32 (2)	0	32 (2)	2			30
	合計	158 (12)	156 (12)	100 (3)	10	77 (2)	0	77 (2)	3	1	0	73 (2)
2019年度 (第18回生)	推薦(学校)	19	19	19	0	19	0	19				
	推薦(公募)	17	17	15	0	15	0	15				
	社会人	18 (2)	18 (2)	12 (1)	0	12 (1)	0	12 (1)	1			
	一般	80 (7)	76 (7)	58 (2)	3 (2)	39 (2)	0	39 (1)	2 (1)			
	合計	134	130	104	3	85	0	85 (2)	3 (1)			
令和2年度 (第19回生)	推薦(学校)	11	11	11	0	11	0	11				
	推薦(公募)	15 (1)	15 (1)	13 (1)	0	13 (1)	0	13 (1)				
	社会人	16 (2)	16 (2)	12 (1)	0	10 (1)	0	10 (1)				
	一般	66 (3)	61 (3)	53 (2)	0	26 (1)	2 (1)	28 (2)	1			
	一般 (2回目)	14 (2)	13 (2)	13 (2)	0	13 (2)	0	13 (2)	1			
	合計	122 (8)	116 (8)	102 (6)	0	73 (5)	2 (1)	75 (6)	2			
令和3年度 (第20回生)	推薦(学校)	41 (2)	41 (2)	41 (2)	0	41 (2)	0	41 (2)				
	推薦(公募)	27 (3)	27 (3)	21 (1)	0	21 (1)	0	21 (1)				
	社会人	11	10	6	0	6	0	6				
	一般	55 (3)	51 (3)	32 (1)	5	19 (1)	0	19 (1)				
	一般 (追試験)		2	1	0	0	0	0				
	合計	134 (8)	131 (8)	101 (4)	5	87 (4)	0	87 (4)				

() 男性再掲

助産学科

年度 (回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	補欠 合格者数	合格者からの 入学者数	補欠者からの 入学者数	入学者数	退学者数	卒業生数
2020年 (第52回生)	特別選抜 (学校)	16	16	12	0	12	0	12	0	12
	特別選抜 (施設)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	40	35	6	2	4	2	6	0	6
	合計	56	51	18	2	16	2	18	0	18
令和3年度 (第53回生)	特別選抜 (学校)	12	12	10	0	10	0	10		
	特別選抜 (施設)	0	0	0	0	0	0	0		
	一般	46	38	8	3	7	1	8		
	合計	58	50	18	3	17	1	18	0	0

□卒業生の進路

<看護学科>

令和3年5月1日現在

年度	回生	卒業 者数	就職							進学				未就 職
			国立病院機構		NC	官公 立	法人	その他	看護職 以外	保健 師	助産 師	養護 教諭	大学	
			自施設	他施設										
平成28年度	第13回生	82	43	29	1	0	1	1	0	0	6	0	0	1
平成29年度	第14回生	87	42	29	3	1	5	1	0	0	6	0	0	0
平成30年度	第15回生	73	22	29	7	4	3	0	0	0	4	0	1	3
令和元年度	第16回生	88	30	25	3	9	8	0	0	1	8	0	0	4
令和2年度	第17回生	74	36	26	2	3	0	0	0	0	4	0	2	1

年度	府内／府外	卒業生数	府内 就職者数	(再掲)		府外 就職者数	進学者	その他
				北部就職者	実習就職者			
平成30年度	府内出身者	51	35	1	31	12	3	1
	府外出身者	22	7	0	7	11	2	2
令和元年度	府内出身者	53	34	0	32	12	4	3
	府外出身者	35	12	0	12	17	5	1
令和2年度	府内出身者	47	35	0	34	10	2	0
	府外出身者	27	15	1	14	7	4	1

<助産学科>

年度	回生	卒業 者数	就 職					未就職	
			国立病院機構		官公立	法人	その他		看護職
			自施設	他施設					以外
平成28年度	第48回生	24	4	9	6	5	0	0	0
平成29年度	第49回生	23	2	10	5	6	0	0	0
平成30年度	第50回生	22	2	7	8	5	0	0	0
令和元年度	第51回生	18	4	5	6	3	0	0	0
令和2年度	第52回生	18	3	11	4	0	0	0	0

年度	府内／府外	卒業生数	府内 就職者数		(再掲)				府外 就職者数		その他
					北部就職者		実習就職者				
			助産師	看護師	助産師	看護師	助産師	看護師	助産師	看護師	
平成30年度	府内出身者	7	6	0	2	0	3	0	1	0	
	府外出身者	15	1	0	0	0	0	0	14	0	
令和元年度	府内出身者	6	5	0	1	0	3	0	1	0	
	府外出身者	12	3	0	0	0	2	0	9	0	
令和2年度	府内出身者	4	2	1	0	0	2	1	1	0	
	府外出身者	14	2	0	0	0	2	0	11	1	

□国家試験合格状況

<看護学科>

		全体 (%)	機構附属 (%)		
			全国	近畿	本校
107回 (H30.3)	全体 (新卒)	91.0 (96.3)	98.4 (98.8)	99.7	100
108回 (H31.3)	全体 (新卒)	89.3 (94.7)	97.3 (98.1)	99.0	95.9
109回 (R2.3)	全体 (新卒)	89.2 (94.7)	97.3 (98.2)	98.5	96.6
110回 (R3.3)	全体 (新卒)	89.2 (94.7)	90.4 (95.4)	98.3	100

<助産学科>

		全体 (%)	機構附属 (%)	
			全国	本校
101回 (H30.3)	全体 (新卒)	98.7 (99.4)	100	100
102回 (H31.3)	全体 (新卒)	99.6 (99.9)	100	100
103回 (R2.3)	全体 (新卒)	99.4 (99.5)	100	100
104回 (R3.3)	全体 (新卒)	99.6 (99.7)	100	100

□入学試験実施状況

看護学科	一次試験	二次試験	合格発表
一般入試	令和3年1月21日 (木)	令和3年1月23日 (土)	令和3年1月28日 (木)
社会人入試	令和2年11月12日 (木)	令和2年11月14日 (土)	令和2年11月19日 (木)
公募推薦入試	令和2年11月12日 (木)		令和2年11月19日 (木)
推薦入試			

助産学科	一次試験	二次試験	合格発表
一般入試	令和3年1月21日 (木)	令和3年1月23日 (土)	令和3年1月28日 (木)
特別選抜入試	令和2年11月12日 (木)		令和2年11月19日 (木)

□学生募集活動

<ガイダンス>

月	日	曜	内容	場所	出席者	実績数
7	5	日	TAP主催 オンラインガイダンス 滋賀県立甲西・水口・大津高等学校	オンライン (ZOOM)	谷口	7人
	10	金	昭栄広報主催 京都すばる高等学校	京都すばる高等学校	谷口	2人
	16	木	TAP主催 滋賀県立伊吹高等学校	伊吹高等学校	谷口	1人
8	3	月	TAP主催 滋賀県立甲西高等学校	甲西高等学校	谷口	3人
	8	土	さんぼう主催進学説明会 (大阪)	梅田スカイビル	谷口	5人
	30	日	さんぼう主催進学説明会 (京都)	メルパルク	谷口	19人
10	22	木	ケーホウ主催 京都府立北嵯峨高等学校	北嵯峨高校	谷口	10人
11	2	月	エフォール主催 京都府立福知山高等学校	福知山高等学校	谷口	2人
	5	木	華頂女子高等学校	華頂女子高等学校	谷口	17人
	11	水	TAP主催 京都府立田辺高等学校	文化パルク城陽	谷口	2人
2	4	木	さんぼう主催 大阪府立三島高等学校	三島高等学校	谷口	2人
	9	火	TAP主催 比叡山高等学校	比叡山高等学校	谷口	12人
	12	金	TAP主催 京都府立東宇治高等学校	東宇治高等学校	谷口	9人
	17	水	ケーホウ主催 京都府立向陽高等学校	向陽高等学校	谷口	12人
3	10	水	TAP主催 京都府立西城陽高等学校	西城陽高等学校	太田	35人

<高校訪問>

	都道府県別訪問校 (新規再掲)	訪問校数 (指定校再掲)	内容
7月	京都府 39校(6校) 大阪府 8校(0校) 滋賀県 15校(0校) 福井県 1校(0校)	63校(44校)	学校説明会 入学試験の説明 看護系進学予定者・主な進路の確認 情報交換
8月	京都府 7校(0校) 奈良県 9校(0校) 兵庫県 2校(2校)	18校(2校)	学校説明会 入学試験の説明 看護系進学予定者・主な進路の確認 情報交換
9月	京都府 7校(0校) 大阪府 4校(0校)	11校(0校)	学校説明会 入学試験の説明 看護系進学予定者・主な進路の確認 情報交換
延べ訪問高校数 92校 (新規 8校)			

<オープンキャンパス>

(1) 高校教員対象

感染拡大防止のため中止

(2) 応募者対象

学 科	日 程	参加者数	WEB参加者数	内 容
看護学科	令和2年 7月19日(日)	40名	—	学校説明 学校生活の紹介 入学試験の説明 模擬授業体験 沐浴、採血 看護学生との交流
	令和2年 8月23日(日)	31名	—	
	令和2年 9月 5日(土)	27名	—	
	令和2年10月10日(土)	29名	10名	
	令和3年 3月13日(土)	21名	3名	
	計	147名	13名	
助産学科	令和2年 7月19日(日)	27名	19名	学校説明 学校生活の紹介 入学試験の説明 助産学生体験 モデル人形による分娩介助
	令和2年 8月23日(日)	35名	16名	
	令和2年 9月 5日(土)	22名	18名	
	計	84名	53名	

□研究活動

1) 研究活動

<学会発表>

日程	学会名	テーマ	研究者(○発表)
令和3年3月20-21 (Web)	第35回日本助産学会学術集会(神戸)	卒業前の分娩助産OSCEの実施と学生の学び	○北井 英子 柚木 麻央, 伊藤美 栄

<執筆・論文投稿>

収蔵誌	出版社	タイトル	教員 (○筆頭)
看護教育	医学書院	特集:看護実践につながる専門基礎科目の教授法 「助産師養成課程における臨床推論能力の育成～専門基礎科目の知識として～」	○伊藤 美栄
アドバンス助産師のための教育プログラム	医学書院	「助産師に必要な臨床推論力」 「OJTとOff-JT」 「参考となる研修プログラム例」	○伊藤 美栄

<令和2年度 京都医療センター成果発表会>

日程	テーマ	研究者 (○発表)
令和3年 3月13日	COVID-19禍におけるオンライン授業による学習効果と課題～助産診断・技術学Ⅱ分娩期の学習内容の分析～(ポスター)	○並崎 直美 柚木麻央 北井英子
令和3年 3月13日	臨地実習での看護援助の実施における学生の困難感とその対処方法	○大上 寿子 住田 尚子 寺田 博子
令和3年 3月13日	基礎看護技術教育における看護学生のピア評価導入	○榮 圭子 晝間 梓 伊藤 智美

<副学校長・教育主事協議会 研修グループ>

名称	テーマ	副学校長・教育主事
1.2年目看護教員育成	1・2年目教員の「教育実践力」の向上を図る。 授業実施校における集合研修 計2回	前中 由美, 伊藤 睦美 他
中堅看護教員の育成	学校運営に携わる自分の役割を認識し、目標達成に向けた実践を通しリーダーとして成長する。 オンラインによる研修 計3回	伊藤 美栄 他
教員能力開発プログラム	活用の検討	谷口 秀美 他
倫理審査委員会設立	倫理審査委員会の設立、規程作成	

<教員研修会 研究グループ>

	テーマ	教員
京都1G	訪問看護実習終了後のアンケート結果からオンライン授業における指導案作成	太田 恵子, 中村 なぎさ 山本 緑
京都 2G	臨地実習での看護援助の実施における学生の困難と対処方法	大上 寿子, 住田 尚子 寺田 博子
京都3G	基礎看護教育における看護学生のピア評価導入	榮 圭子, 晝間 梓 伊藤 智美
京都4G	新人看護師の採血技術指導を看護教員が行うことによる教育効果の考察	近藤 尚子, 寺田 美鳥 太田 恵子
京都5G	遠隔授業の取り組みの実践報告	北井 英子, 柚木 麻央 並崎 直美

<授業研究>

日程	科目	授業内容	教員
令和2年 6月9日	助産学科 助産診断・技術学Ⅱ	「分娩介助技術演習」	並崎 直美
令和2年 6月18日	助産学科 助産診断・技術学Ⅱ	「分娩期臨床推論①情報整理」	伊藤 美栄
令和2年 7月3日	助産学科 助産診断・技術学Ⅰ	「妊婦健診シミュレーション」	柚木 麻央
令和2年 7月3日	助産学科 助産診断・技術学Ⅲ	「沐浴・新生児計測技術演習」	北井 英子
令和2年 7月6日	助産学科 助産診断・技術学Ⅱ	「妊婦健診OSCE」	柚木 麻央
令和2年 7月10日	基礎看護技術Ⅳ	酸素療法	晝間 梓
令和2年 10月22日	老年看護学演習Ⅱ	認知症高齢者と家族のサポート・高齢者の権利擁護	山本 緑
令和2年 10月26日	基礎看護技術Ⅲ	清拭・寝衣交換	寺田 博子
令和2年 11月16日	基礎看護技術Ⅴ	採血	大上 寿子
令和2年 11月30日	基礎看護技術Ⅵ	注射の準備の実際 薬液の吸い上げ	寺田 美鳥
令和2年 11月30日	看護の統合と実践Ⅳ	腹腔鏡術後患者の看護ロールプレイ	中村 なぎさ
令和2年 12月8日	看護過程展開技術	看護計画の実施(ロールプレイ)に向けた授業案の検討	太田 恵子
令和2年 12月17日	看護過程展開技術	看護計画の実施 (ロールプレイ)	太田 恵子
令和3年 1月7日	小児看護学概論	小児の成長発達	榮 圭子
令和3年 1月7日	老年看護援助技術	おむつ交換	伊藤 智美
令和3年 1月13日	成人看護援助技術Ⅰ	症状看護	住田 尚子
令和3年 2月16日	特別教育活動	卒業前分娩介助OSCE	並崎 直美
令和3年 2月17日	特別教育活動	卒業前分娩介助OSCE	並崎 直美
令和3年 2月18日	特別教育活動	卒業前分娩介助OSCE	並崎 直美

2) 研修

<近畿グループ>

感染拡大防止のため中止

<副学校長・教育主事協議会>

(1) 中堅看護教員研修

日程	研修内容	担 当	参加者
令和2年 10月19日	1. 「IV教育課程評価」の自己点検・自己評価から考える自校の 学校運営における組織の課題の明確化 2. 自己評価および組織の課題共有 (WEB開催)	伊藤 美栄	北井 英子 寺田 博子
令和2年 12月11日	1. 組織の課題に対する目標設定・取り組み状況・目標達成状 況報告(中間発表) 2. 今後の課題解決に向けての情報交換・検討 (WEB開催)	伊藤 美栄	北井 英子 寺田 博子
令和3年 2月19日	1. 実践の継続・最終評価 2. 組織課題解決の成果 (WEB開催)	伊藤 美栄	北井 英子 寺田 博子

(2) 1,2年目教員研修

日程	研修内容	担 当	参加者
令和2年 7月10日	1. 遠隔授業参観「基礎看護技術Ⅳ(呼吸を整える援助 酸素療 法)」 2. 授業参観リフレクション 3. 現在の授業実施状況について 4. 看護教員能力開発プログラムの教育実践力「授業実践」の レベルⅠとⅡの自己評価	前中 由美 伊藤 睦美	晝間 梓 並崎 直美
令和2年 11月26日	1. 先輩教員の授業「洗髪援助の実践」にサポート教員として 参加 2. 演習授業のリフレクション 3. 「教授活動自己評価尺度-看護技術演習用-」を用いて自己 の授業のリフレクション	前中 由美 伊藤 睦美	晝間 梓 並崎 直美

<学校>

(1) 実務研修

日程	研修内容		教員
令和2年 4/13,15	京都医療センター	新人看護師の採血技術の指導・新人看護師の入職時の 看護技術の到達度を知る	晝間 梓
令和2年 4/20,22	京都医療センター	新人看護師の継続教育に参加することで、技術習得状況 を把握し、今後の基礎教育に活かす。	伊藤 智美
令和2年 4/21,23	京都医療センター	新人看護師の採血技術の状況を知るとともに指導を行う	太田 恵子
令和2年 4/24,28	京都医療センター	新人看護師の出身校によるレディネスの違いを把握し、 技術指導に必要な項目を考える。	山本 緑
令和2年 4/17,21	京都医療センター	採血における事故防止対策を学び、学生指導に活かす。 病棟におけるOJTについて学び、学生指導に活かす。	寺田 美鳥
令和2年 4/23,27	京都医療センター	卒業生の技術状況を知り、強化すべき教育内容・方法を 考える。	中村 なぎさ
令和2年 4/27,30	京都医療センター	新人教育としての採血の指導について考える。病棟業務 の実際を知り、基礎教育に活かす。	寺田 博子
令和2年 4/28,5/1	京都医療センター	病棟管理の実際を知り、今後の学生指導に活かす	大上 寿子
令和2年 4/14,16 10/6"	京都医療センター 南京都病院	・新人看護師の採血技術の確認 ・実習施設における在宅支援の実際と看護管理を知る	住田 尚子

令和2年 4/15,17 10/6	京都医療センター 南京都病院	・新人看護師への技術習得への支援と病棟看護の実際を知り実習指導に活かす。 ・実習施設における在宅支援の実際と看護管理を知る	榮 圭子
令和2年 4/16,20	京都医療センター	病棟で実際に行われている看護を体験することで、講義・実習指導に活かす	近藤 尚子
令和2年 4/30.5/1	京都医療センター	実習病院のシステム理解とコロナ対策が行われている中で新人教育に携わる	並崎 直美
令和2年 4/22.24	京都医療センター	新卒看護師の現任教育の実際を知る機会とする。看護基礎技術の経験機会とする。	柚木 麻央
令和2年 4/13.14	京都医療センター	看護・助産業務から離れているため現場を知ること、卒業生の現任教育の実際を知る	北井 英子

3) 社会への貢献

<公開講座>

日 程	テーマ	参加者数
令和2年7月19日	1. 感染予防と免疫力アップ 2. ビニール袋でガウンを作ろう 3. コロナ予防体操、スマホッ首予防体操	18名
令和2年8月23日	1. 感染予防と免疫力アップ 2. ビニール袋でガウンを作ろう 3. コロナ予防体操、スマホッ首予防体操	8名

<教員の講習会、研修等の講師>

日程	研修内容	教員
令和2年 8月22日	滋賀県看護協会 令和2年度 生涯教育研修会 「臨床推論を用いた助産師教育を学び、実践力向上をめざそう!」 助産実践能力習熟段階レベルⅢ 認証制度 研修	伊藤 美栄
令和2年 10月3日	茨城県助産師会 令和2年度茨城県助産師会研修会 「助産師の臨床推論力を鍛えよう」	伊藤 美栄
令和3年 3月7日、14日	公益社団法人 全国助産師教育協議会 ファーストステージ研修 「助産師教育方法論 6.授業評価の考え方(臨床推論とOSCE含む)」	伊藤 美栄

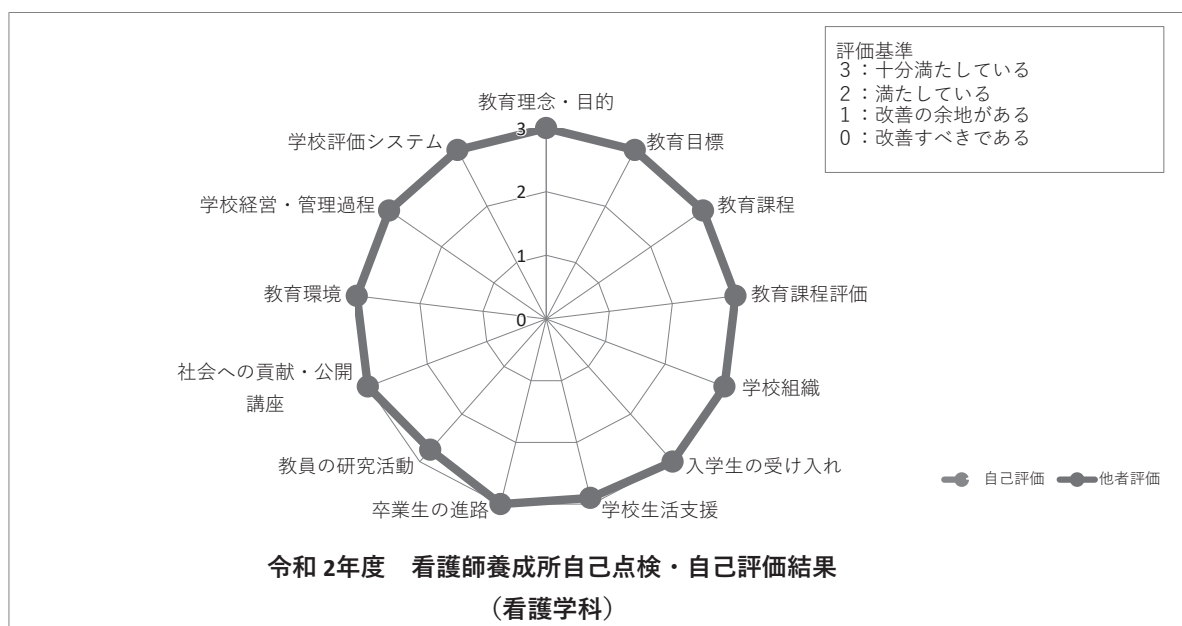
<研修生受け入れ>

日程	研修内容		受け入れ数
令和2年 10月26日～10月29日	教員インターンシップ	講義見学 技術演習参加 実習指導見学 学内での学生指導	1名
令和2年 10月26日～10月30日	教員インターンシップ	講義見学 技術演習参加 実習指導見学 学内での学生指導	1名
令和2年 11月24日～11月27日	教員インターンシップ	講義見学 技術演習参加 実習指導見学 学内での学生指導	1名
令和2年 11月24日～11月27日	教員インターンシップ	講義見学 技術演習参加 学内での学生指導	1名

学校評価の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。

令和元年度は国立病院機構近畿グループ5校の副学校長・教育主事・教員による学校相互評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。

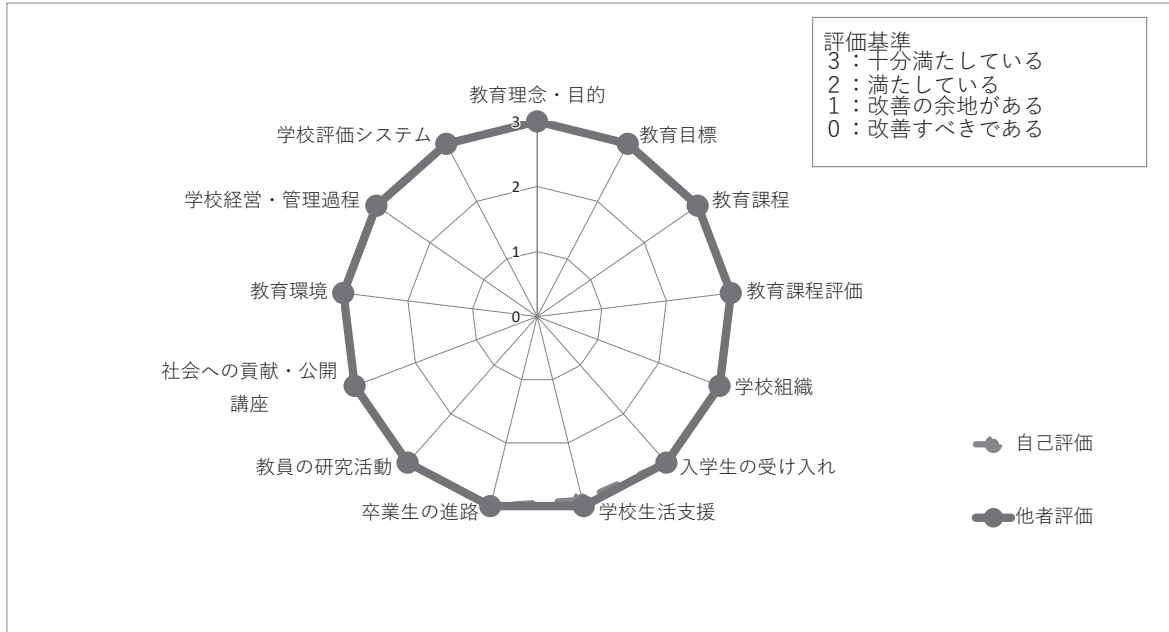


	評価項目	評価の視点	R2年度	R1年度
I	教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。	3.0	2.7
II	教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒業後教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。	3.0	3.0
III	教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているかについて評価します。	3.0	3.0
IV	教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。	3.0	3.0
V	学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適正であるかと防災対策や個人情報保護について評価します。	3.0	2.9
VI	入学生の受入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。	3.0	3.0
VII	学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。	2.9	3.0
VIII	卒業生の進路	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。	3.0	3.0
IX	教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。	2.8	3.0
X	社会への貢献・公開講座	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズをふまえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。	3.0	2.9
X I	教育環境	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。	3.0	3.0
X II	学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。	3.0	2.9
X III	学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。	3.0	3.0
全 体 平 均			3.0	2.9

学校評価の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。

令和元年度は国立病院機構近畿グループ5校の副学校長・教育主事・教員による学校相互評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。



	評価項目	評価の視点	R2年度	R1年度
I	教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。	3.0	3.0
II	教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒業教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。	3.0	3.0
III	教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているかについて評価します。	3.0	3.0
IV	教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。	3.0	3.0
V	学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適正であるかと防災対策や個人情報保護について評価します。	3.0	2.9
VI	入学生の受入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。	3.0	3.0
VII	学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。	3.0	3.0
VIII	卒業生の進路	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。	3.0	2.8
IX	教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。	3.0	3.0
X	社会への貢献・公開講座	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズをふまえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。	3.0	2.9
X I	教育環境	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。	3.0	3.0
X II	学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。	3.0	2.7
X III	学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。	3.0	3.0
全 体 平 均			3.0	2.9

令和2年度 学校関係者評価

1. 学校関係者評価の目的

- 1) 教育に関する知見を有する者、臨地実習施設の関係者、看護管理者経験者、卒業生などの学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。
- 2) 学校関係者との連携協力により、特色のある学校づくりを推進する。

2. 学校関係者評価委員名簿

規 程	所 属 氏 名
教育に関する知見を有する者	京都教育大学 教育学科 教授 相澤 伸幸
臨地実習施設の関係者	京都医療センター 看護部長 池田 仁美
看護管理者経験者	洛和会ヘルスケアシステム 洛和会TQM支援センター 部長 伊藤 文代
卒業生(一定のキャリアを持つ者)	京都医療センター 看護師長 橋本 恵

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時: 令和3年2月22日(月) 13:00 ~ 14:30

実施場所: 京都医療センター附属京都看護助産学校 会議室

4. 学校関係者評価委員会の実施方法

- 令和2年度の学校の重点目標についての取り組みと課題を報告(看護学科・助産学科)
- 令和2年度の自己点検・自己評価結果の報告
- 学校関係者の皆様からの学校運営への評価と、課題解決に向けて学校関係者の皆様と検討

5. 総評

1. コロナ禍の学校運営の工夫について

- ・今年度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で教育環境に大きな変化を強いられた。その中で、教育水準の維持に向けて様々な工夫がされている。科学的分析を行い、良い取り組みは今後も継続されると良い。

2. 遠隔授業について

- ・対面・オンラインそれぞれの良さがある。教育内容によってどちらが適しているのか見極めていく。
- ・ICTを活用することで、課題の提出や授業評価などタイムリーに対応できるようになったのは良い。
- ・遠隔授業の準備は対面授業よりも非常に時間を要する。また、操作に不慣れな学生や講師のサポートが必要であり、教員の業務量が増えている。事務職員が配置された学校もあり、検討されるとよい。

3. 臨地実習について

- ・実習の多くは国立病院機構の病院で実施しており、実習方法に制約はあったものの感染対策を行った上で患者を受け持った実習が行えた。
- ・実習における制約(1回の訪問は15分以内など)は、就職してからの効率的な情報収集・看護にもつながるため、この取り組みは今後も継続されるとよい。

4. 卒業生の評価について

- ・看護学科ではホームカミングデーをWebで開催。助産学科は実習施設に就職した学生から話を聞いた。
- ・助産学科卒業後、助産業務につく時期が遅くなっている。早く助産業務を開始した方が良いのではないかな。

まとめ

コロナ禍で多くの問題に対応する中で、ICT化に取り組み、感染予防対策を図りながら教育の質の維持・向上に取り組まれている。今年度の様々な取り組みについて、経過や成果を科学的に分析し、今後の教育に活用されることを望む。

編集後記

令和２年度一番の出来事といえば小池薫新院長体制になったことが挙げられます。あとは残念ですが、コロナに始まり、コロナに終わった一年でした。アニュアルレポートの役割として、京都医療センターでのコロナとの戦いの一年を、ここに記載しておきます。

令和２年	２月１７日	第１回新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催
令和２年	２月１７日	帰国者接触者外来を設置
令和２年	４月３日	新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを表明
令和２年	４月１５日	感染症内科、感染症救急科、感染症内科病棟、感染症救急科病棟立ち上げ 新型コロナウイルス感染症患者受け入れ開始
令和２年	１２月１７日	地域連携室で新型コロナウイルス抗体検査を開始
令和２年	１２月２１日	新型コロナウイルス感染症患者受け入れ病棟を拡大
令和３年	２月１９日	新型コロナウイルスワクチン先行接種開始
新型コロナ感染症対策本部会議開催数		63回
新型コロナウイルス感染症入院患者数		123名
内 死亡退院		14名

大変な一年でしたが、悪いことばかりではありませんでした。医療連携フォーラムをWeb配信できる技術を獲得した一年でもありました。

令和２年 ７月 ４日 第14回 “がん治療最前線”三本の矢 ～京都医療センターの挑戦～
令和２年 １１月 ２８日 第15回 京都医療センターの救急・新たなスタート
令和３年 ３月 ２７日 第15回 新体制で一步前へ 消化器内科&脳神経内科
と、3回の京都医療センター医療連携フォーラムをWeb開催しました。

さて、平成２３年度から再開したこのアニュアルレポートですが、令和２年度版で10年目となりました。当院の日々の活動を年次でまとめることは、単に外部への情報発信のためだけではなく、院内にあっても病院一丸となつての努力の歩みを個々の職員が改めて認識することで当院のさらなる発展につながると考えています。これからも広報委員会としてアニュアルレポートを毎年発刊することを通じて、京都医療センターの一層の発展とひいては地域への医療の貢献に役立てれば甚だ幸いです。

広報委員会委員長
地域医療部長
瀬田 公一

